

入間市
高齢者等実態調査報告書

令和8年3月

入 間 市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
II	調査結果のまとめ.....	2
III	調査結果.....	9
1	介護予防・日常生活圏域二ーズ調査.....	9
問1	あて名のご本人について.....	9
問2	あなたのご家族や生活状況について.....	14
問3	からだを動かすことについて.....	20
問4	食べることにについて.....	28
問5	毎日の生活について.....	36
問6	地域での活動について.....	47
問7	就労について.....	53
問8	たすけあいについて.....	55
問9	健康について.....	64
問10	認知症にかかる相談窓口の把握について.....	69
問11	その他について.....	70
2	生活機能評価等に関する分析.....	96
1	機能別リスク該当者割合の分析.....	96
3	在宅介護実態調査.....	116
A票	調査対象者様ご本人について、お伺いします.....	116
B票	主な介護者の方について、お伺いします.....	136
IV	資料.....	149
1	介護予防・日常生活圏域二ーズ調査票.....	149
2	在宅介護実態調査票.....	157

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、高齢者の生活状況や保健・福祉に関するニーズを把握し、今後の高齢者保健福祉行政のより一層の計画的かつ効果的な推進と、令和9～11年度を計画期間とする次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の基礎資料とするため、実施するものです。

2 調査対象

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：65歳以上で要介護認定を受けていない高齢者、介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援認定者

在宅介護実態調査：在宅で生活している要介護認定者

3 調査期間

令和8年1月13日～2月2日

4 調査方法

郵送配付・郵送回収方式

5 回収状況

調査票の種類	配布数	回収数	回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1,500件	1,109通	73.9%
在宅介護実態調査	1,500件	650通	43.3%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

Ⅱ 調査結果のまとめ

(1) 日常生活圏域ニーズ調査

①基本属性・世帯状況

【調査結果】

回答者の年齢階層は「75～79 歳」が 27.1%と最も高く、性別は「女性」が 54.5%で「男性」の 43.7%を上回っています。世帯構成では「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 43.1%と最多であり、次いで「1人暮らし」が 19.2%、「息子・娘との2世帯」が 16.3%となっており、高齢者のみの世帯が6割を超えています。

現在の介護・介助の状況については、85.2%が「介護・介助は必要ない」と回答していますが、認定別で見ると、要支援認定者・総合事業対象者では「何らかの介護が必要」「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が高くなっています。介護が必要となった主な原因は、「高齢による衰弱」が 26.2%で最も高く、次いで「骨折・転倒」が 15.9%となっていますが、「脳卒中」が 11.0%と疾病による原因も高くなっています。

【課題】

高齢者のみの世帯が主流となる中で、加齢に伴う身体機能の低下や不慮の転倒に加え、脳卒中などの疾患も介護に直結している現状がうかがえます。加齢に伴う筋力低下などの「運動機能」の維持だけでなく、疾患管理を含めた総合的な「身体機能」の両面による重度化防止に向けた早期の介護予防介入と、独居・高齢者夫婦世帯への見守り体制の充実が課題であると考えられます。

②身体状態・運動状況

【調査結果】

身体機能に関しては、過去1年間に転倒経験が「ある」と回答した割合は 32.6%（1度・2～4度・何度もの合計）に達しており、転倒に対する不安についても 51.5%が“不安である”と回答しています。外出頻度は「週2～4回」が 45.0%で最多ですが、昨年より外出が“減っている”人が 24.0%見られます。外出を控える理由は「足腰などの痛み」が 49.0%と突出していますが、「外での楽しみがない」が 16.3%、「経済的に出られない」が 9.2%と社会的・経済的要因も、閉じこもりを誘発する一因となっています。

移動手段は「徒歩」が 67.9%と最も高いものの、「自動車（自分で運転）」も 50.0%と半数に達しており、自家用車への依存度が高い傾向が見られます。栄養状態については、BMI による判定で 10.6%が「やせ」に該当し、口腔機能では「固いものが食べにくくなった」人が 29.2%、「むせることがある」人が 28.4%見られます。また、「自分の歯が 20 本以上で入れ歯なし」の人は 35.9%に留まり、「自分の歯が 19 本以下で入れ歯を利用している」人は 33.7%となっています。

【課題】

転倒不安を抱える高齢者が半数を超える中で、痛みや身体的不安が外出機会を阻害し、閉じこもりや低栄養を誘発する負の循環がうかがえます。また、将来的な運転免許の返納を見据えた場合、徒歩や公共交通機関を補完する移動支援策の検討とともに、歯の維持や入れ歯の適切な利用を含む口腔ケアと栄養改善を一体的に推進するフレイル※対策が課題であると考えられます。

※フレイル・・・健康な状態と要介護状態の中間の段階を指す。

③認知機能・こころの健康

【調査結果】

認知機能の主観的評価では、39.0%が「物忘れが多い」と感じており、日付認識については25.0%が「今日が何月何日かわからない時がある」と回答しています。特に要支援認定者・総合事業対象者においてこれらの割合が高い傾向が見られます。こころの健康状態については、42.5%が「気分が沈んだり、ゆううつになったりすることがある」と回答し、22.7%が「物事に対して興味がわからない」としており、一定の抑うつ傾向が見られます。

機能別分析によると、全体平均で37.8%が認知機能低下のリスク、45.1%がうつ傾向のリスクに該当すると判定されています。

【課題】

認知機能の低下を自覚する層や、精神的な充足感を得られていない層が一定数見られることがうかがえます。認知機能の維持には社会参加や人との交流が有効とされることから、社会的なつながりを再構築するため、アウトリーチ支援の強化や、早期の認知症予防プログラムへの接続を強化することが課題であると考えられます。

④グループ活動・就労状況・地域での支え合い

【調査結果】

地域活動の参加状況は、「収入のある仕事」や「スポーツ関係」「ボランティアのグループ」のグループにおいて定期的な参加（週1回以上）が見られますが、「健康推進クラブ（老人クラブ）」などは「参加していない」割合が高くなっています。就労状況については、50.7%が「引退した」とする一方で、18.2%が「非常勤（パート・アルバイト等）」として働いています。

社会的なつながりについては、心配事を相談できる相手として「配偶者（54.7%）」「友人（43.3%）」が上位に挙がる一方、病気の際の看病・世話については「配偶者（58.1%）」への依存が強く、「そのような人はいない」とする者も7.1%見られます。友人・知人と会う頻度は「月に何度か」が25.4%で最多ですが、19.3%は「ほとんどない」と回答しています。

【課題】

就労や趣味活動を通じて社会性を維持している層がいる一方で、配偶者以外に頼れる相手が限定的な層の存在がうかがえます。特に、友人との交流が希薄な層や、特定の身内のみに頼る構造は、将来的な孤立リスクを孕んでいることから、既存の組織（健康推進クラブ（老人クラブ等））に捉われない多様な社会参加の場を創出し、地域内での互助機能を再構築することが課題であると考えられます。

⑤健康について

【調査結果】

主観的健康観については、「まあよい」とする回答が 68.6%と最も高く、一定の健康意識が維持されている傾向が見られます。一方で、18.0%は「あまりよくない」と感じており、特に要支援認定者等においてその割合が高い傾向がうかがえます。

現在治療中または後遺症のある病気については、「高血圧」が 42.5%と突出しており、次いで「目の病気（18.6%）」の順となっています。認定別で見ると、要支援認定者等では「脳卒中」「心臓病」「筋骨格の病気」「外傷（転倒・骨折等）」の割合が一般高齢者に比べて顕著に高く、身体機能の低下が認定状況に直結している実態がうかがえます。また、一般高齢者においても、「高血圧」が 42.1%、「脂質異常症」が 11.6%と慢性疾患を抱える方が多く、潜在的な介護リスクが存在していることがうかがえます。

【課題】

介護・介助が必要になった原因の多くが高齢による衰弱や骨折・転倒であることを踏まえると、一般高齢者を含む全世代的な視点で、生活習慣病の重症化予防や転倒予防に向けた保健医療の推進を一体的に行うことが重要な課題であると考えられます。

⑥デジタル活用状況

【調査結果】

携帯電話（スマートフォン含む）の所有率は 88.8%に達しており、高齢者の日常生活において情報通信端末が広く普及している状況が見られます。利用内容については、「電話をかける（92.5%）」や「メールの送信・受信（82.2%）」といったコミュニケーション手段としての活用が主流ですが、「インターネットで検索」も 59.0%に上り、能動的な情報収集も行われている傾向がうかがえます。

一方で、パソコンの所有率は 39.9%に留まり、年代が上がるにつれて「持っていない」の割合が高くなる傾向が見られます。

【課題】

特に 90 歳以上では携帯電話の非所有率も高まっており、デジタル技術を活用した情報提供を行う際には、超高齢層におけるデジタルデバインド（情報格差）への配慮が不可欠です。ICT を活用した見守りや情報配信の有効性を高める一方で、アナログな情報伝達手段との併用を維持していくことが課題であると考えられます。

※ICT・・・情報通信技術

⑦自治会・健康推進クラブ（老人クラブ）等について

【調査結果】

自治会の加入状況は 74.8%が「加入している」と回答しており、地域における基礎的な地縁組織としての機能が維持されている傾向が見られます。しかし、未加入者および退会者のうち、今後の加入意向がある者は 13.1%に留まり、80.9%が「いいえ」と回答していることから、新規加入の促進には課題が見られます。

シルバー人材センターについては、認知度は 84.1%と非常に高いものの、実際の会員は 5.4%、今後の加入意向も 8.6%と限定的です。

健康推進クラブ（老人クラブ）については、「知らない」とする回答が 53.4%と半数を超え、特に 65～69 歳の若年高齢層で認知度が低い傾向が見られます。知っている人の中でも加入率は 10.9%に留まり、今後の加入意向も 16.1%となっています。

【課題】

既存の組織を通じた社会参加が伸び悩む中で、就労やスポーツ・趣味など、高齢者の多様なニーズに合致した新たな社会参加の場を創出することが課題であると考えられます。

⑧認知症施策・権利擁護制度

【調査結果】

認知症に関する相談窓口の認知度は、「知っている」が 24.4%に留まり、66.8%が「知らない」と回答しています。ただし、地域包括支援センターにおいて相談できることについては 44.0%が認識しています。認知症に対するイメージは「なりたくない」が 76.5%と圧倒的であり、次いで「自分も認知症になるかもしれない（57.1%）」、「身近な問題である（55.1%）」が続いています。

権利擁護制度については、成年後見制度の「名前も内容も知っている」人は 29.0%に留まり、43.6%が名前のみの認知となっています。利用意向についても「利用したい」は 4.1%と低調です。日常生活自立支援事業では、41.6%が「名前も内容も知らない」状況にあります。

【課題】

認知症を身近な不安として捉えながらも、具体的な相談先や法的保護制度の理解が進んでいない実態がうかがえます。特に、権利擁護制度の認知度の低さは、判断能力低下後の生活支援に支障をきたすおそれがあるため、地域包括支援センターを核とした相談体制の周知徹底と、成年後見制度等の必要性・利便性に関する普及啓発の強化が課題であると考えられます。

(2) 在宅介護実態調査

⑨ケアラーの属性

【調査結果】

主な介護者（ケアラー）の属性は、「子」が 53.0%で最も多く、次いで「配偶者」が 33.7%となっており、親族が主たる役割を担っています。ケアラーの性別は「女性」が 62.0%、「男性」が 32.9%と依然として女性の割合が高いものの、男性による介護も一定数見られます。

ケアラーの年齢階層は「60代」が 25.8%、「50代」が 25.3%、「70代」が 20.9%と続いています。被介護者の年齢は「85～89歳」が 31.4%と最多で、90歳以上も 23.2%に達しており、いわゆる「老老介護」や、現役世代が親を介護する構造が顕著となっています。

【課題】

高齢の親を、定年前後の子や高齢の配偶者が支えている実態がうかがえます。介護者自身も加齢による健康不安を抱え始める時期にあることから、介護者の健康管理への配慮や、世帯全体を支える包括的な支援が重要であると考えられます。

⑩介護負担の実態

【調査結果】

介護の頻度については、家族・親族からの介護が「ほぼ毎日ある」とする割合が 33.8%で最多となっています。介護の内容は「その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）」が 66.3%と最も多く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き（59.2%）」「外出の付き添い、送迎等（58.7%）」となっており、生活全般にわたる多忙な状況が見られます。

介護における不安要素は「認知症状への対応」が 20.4%で最も高く、次いで「夜間の排泄」「外出の付き添い」が続いています。仕事との両立については、主な介護者の 26.9%が「フルタイム」、14.4%が「パートタイム」で働いており、7.9%の介護者が「過去1年間に介護を理由に仕事を辞めた」と回答しています。

【課題】

認知症ケアや排泄介助など、精神的・肉体的な負担が大きい項目に不安が集中していることがうかがえます。特に働きながら介護に従事する層において、労働時間の調整による両立の限界が見られることから、レスパイトケア（休息支援）の充実とともに、介護者の具体的な不安要素に直接アプローチする包括的な支援体制の構築が課題であると考えられます。

⑪サービス利用状況

【調査結果】

公的介護サービスの利用状況は、62.9%が「利用した」とする一方で、34.9%は「利用していない」と回答しています。サービスを利用していない理由は、「現状では利用するほどの状態ではない」が35.2%で最多ですが、「本人にサービス利用の希望がない（18.1%）」といった拒否感や、「家族が介護するため必要ない（11.0%）」という家族による抱え込みも見られます。

在宅継続の意向については、64.8%が「施設等への入所は検討していない」とし、在宅生活を望む傾向が強いことがわかります。今後の継続に必要と感じる支援としては、「移送サービス（25.5%）」「外出同行（通院、買い物など）（17.2%）」「配食（15.8%）」などが上位に挙がっています。

【課題】

本人の強い在宅意向がある一方で、家族介護に依存するあまり適切なサービス導入が遅れる懸念もうかがえます。今後、介護負担が増大しても在宅生活を継続するためには、本人・家族の心理的抵抗感を解消し、移送や配食といった生活支援系サービスを早期から適切に組み合わせる体制の構築が課題であると考えられます。

⑫介護者の就労支援

【調査結果】

主な介護者の就労状況は、「働いていない」が50.0%である一方、41.3%が何らかの形で就労（フルタイム26.9%、パートタイム14.4%）しており、仕事と介護の両立を担っている実態が見られます。介護のために「労働時間を調整している（38.8%）」、「休暇を取得している（32.2%）」とする回答が多く、個人の努力で両立を維持している傾向がうかがえます。

勤め先に求める支援としては、「介護休業・介護休暇等の制度の充実（43.4%）」が最も多く、次いで「労働時間の柔軟な選択（31.6%）」が挙げられています。特に要介護3以上の重度者を介護する層では、時間調整や休暇取得の割合が4割を超え、負担が増大している状況が見られます

【課題】

今後の継続について、「問題はあるが、何とか続けていける」とする層が多いことから、レスパイトケアの充実とともに、企業と連携した就労継続支援の推進が課題であると考えられます。

(3) 全体のまとめ

入間市の調査結果からは、高齢者のみの世帯が主流となる中で、「高齢による衰弱（フレイル）」や「転倒」をきっかけに介護が必要になることが浮き彫りとなりました。高齢者の約半数が転倒不安や抑うつ傾向、認知機能への不安を抱えており、特に「痛み」に起因する外出抑制が社会的な孤立や身体機能低下を加速させている傾向がうかがえます。

また、認知症・権利擁護制度においては、市民の知識不足が課題としてあります。

在宅介護の現場では、50～60 代の子や配偶者が主たる担い手となっており、認知症対応や仕事との両立、夜間の負担に大きな不安が見られます。本人・家族ともに在宅継続意向は強いものの、サービス利用への心理的抵抗や家族による抱え込みが一定数存在しています。

在宅介護においては、約 4 割の介護者が働きながら介護を担っており、労働時間の調整等で限界を抱えつつ継続している状況が見られます。今後は、生活支援サービスの充実や、認知症・権利擁護に関する相談体制のさらなる周知に加え、介護者の就労継続を支える包括的な支援体制の構築が、住み慣れた地域での生活継続を実現するための鍵になると考えられます。

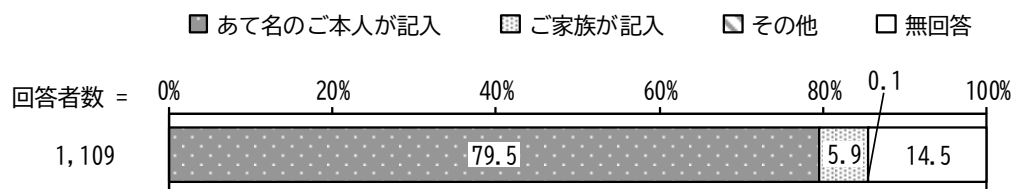
今後の課題として、「移動支援・配食・見守り」といった生活支援の重層化とともに、介護者の就労継続を支えるレスパイト機能の強化、さらには認知症や権利擁護制度に関する相談窓口の更なる認知度向上が、住み慣れた地域での生活を支えるための鍵になると考えられます。

Ⅲ 調査結果

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

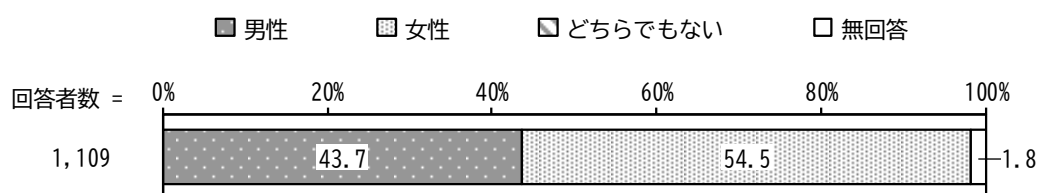
「あて名のご本人が記入」の割合が79.5%、「ご家族が記入」の割合が5.9%となっています。



問1 あて名のご本人について

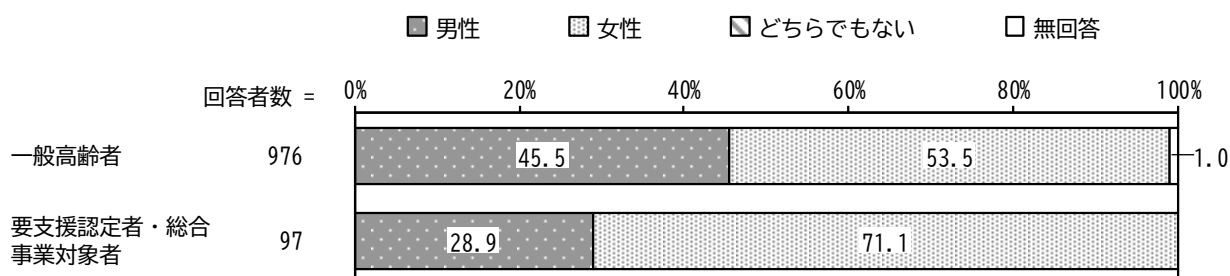
問1-1 あなたの性別を教えてください（1つのみ）

「男性」の割合が43.7%、「女性」の割合が54.5%となっています。



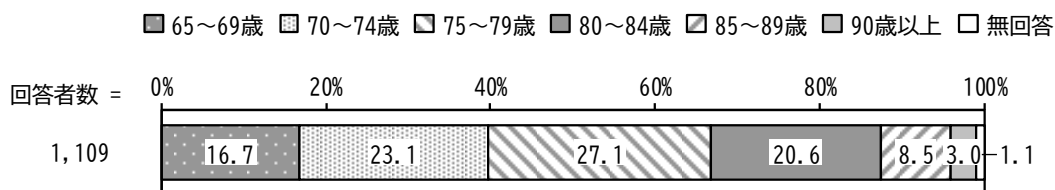
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「男性」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「女性」の割合が高くなっています。



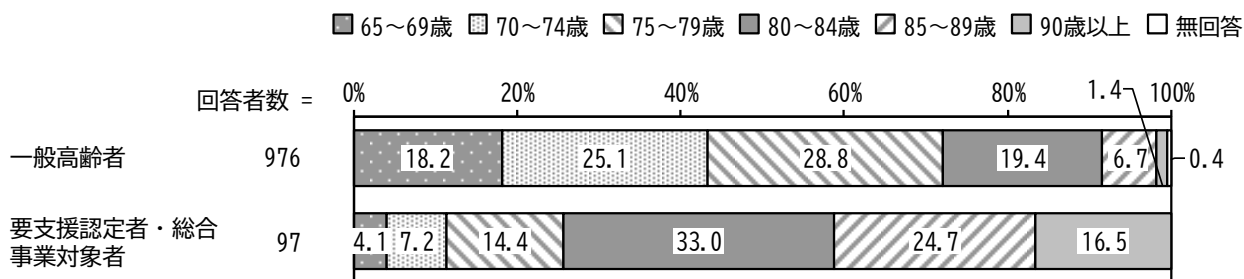
問１－２ あなたの年齢を教えてください（１つのみ）

「75～79 歳」の割合が 27.1%と最も高く、次いで「70～74 歳」の割合が 23.1%、「80～84 歳」の割合が 20.6%となっています。



【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「65～69 歳」「70～74 歳」「75～79 歳」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「80～84 歳」「85～89 歳」「90 歳以上」の割合が高くなっています。

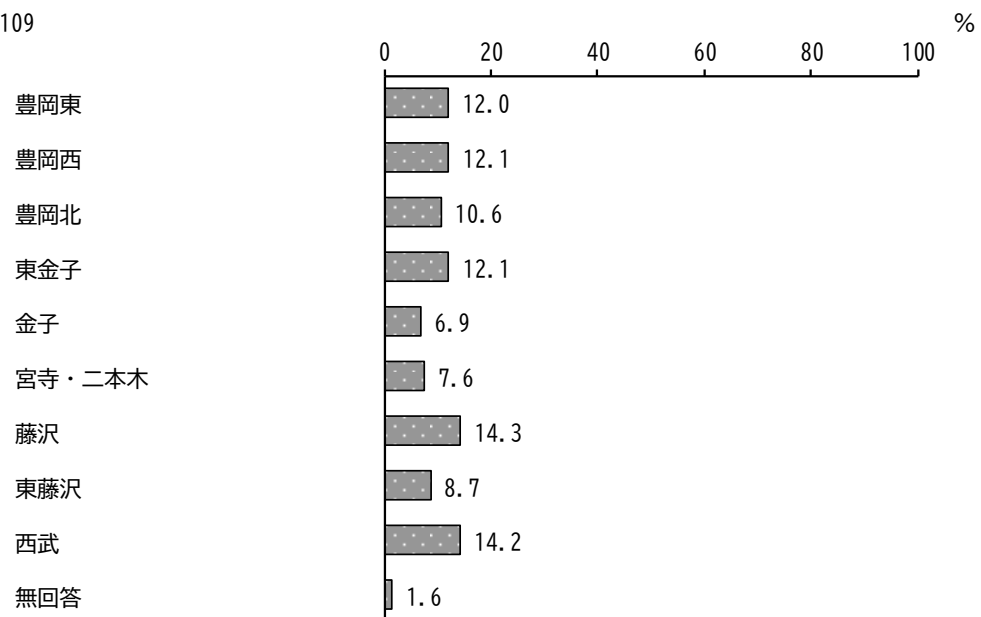


問１－３ あなたがお住まいの地区を教えてください（１つのみ）

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、「藤沢」の割合が14.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,109



【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	豊岡東	豊岡西	豊岡北	東金子	金子	宮寺・二本木	藤沢	東藤沢	西武	無回答
全 体	1,109	12.0	12.1	10.6	12.1	6.9	7.6	14.3	8.7	14.2	1.6
一般高齢者	976	12.1	12.1	11.1	12.1	6.9	7.5	14.3	8.5	14.4	1.0
要支援認定者・総合事業対象者	97	12.4	11.3	3.1	12.4	8.2	9.3	17.5	12.4	13.4	0.0

【家族構成別】

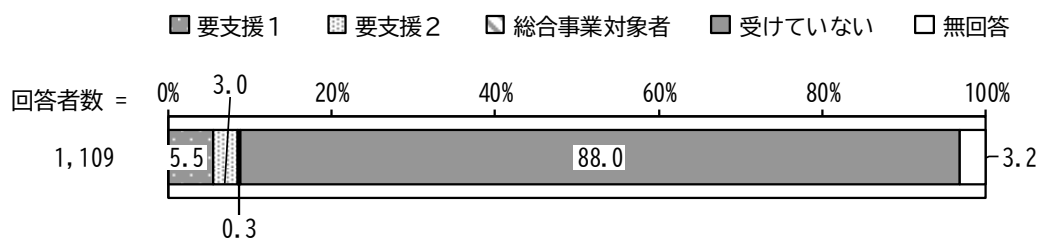
家族構成別にみると、夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）で「豊岡北」の割合が高く、「西武」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	豊岡東	豊岡西	豊岡北	東金子	金子	宮寺・二本木	藤沢	東藤沢	西武	無回答
全 体	1,109	12.0	12.1	10.6	12.1	6.9	7.6	14.3	8.7	14.2	1.6
1人暮らし	213	16.0	12.2	10.3	11.3	4.7	4.7	14.6	10.3	13.6	2.3
夫婦２人暮らし（配偶者65歳以上）	478	11.1	15.9	10.7	11.1	7.5	6.7	13.8	8.2	14.4	0.6
夫婦２人暮らし（配偶者64歳以下）	40	7.5	7.5	25.0	15.0	5.0	5.0	12.5	12.5	7.5	2.5
息子・娘との２世帯	181	11.6	7.2	10.5	12.2	7.2	10.5	17.1	8.8	12.2	2.8
その他	176	9.7	8.0	7.4	16.5	6.8	11.4	13.6	7.4	17.0	2.3

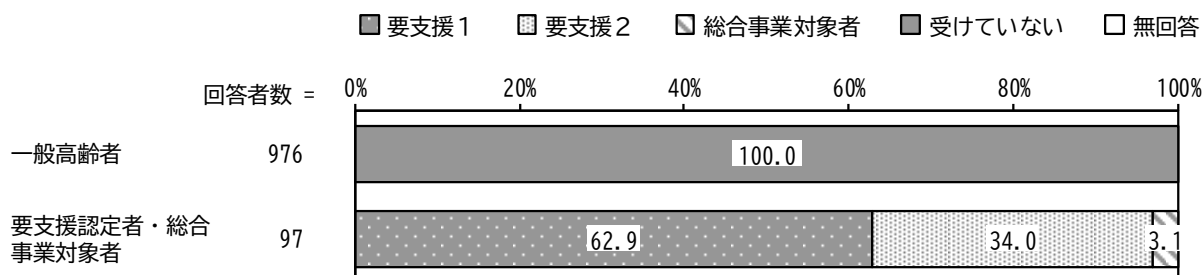
問1－4 あなたの要介護認定等を教えてください（1つのみ）

「受けていない」の割合が88.0%と最も高くなっています。



【認定別】

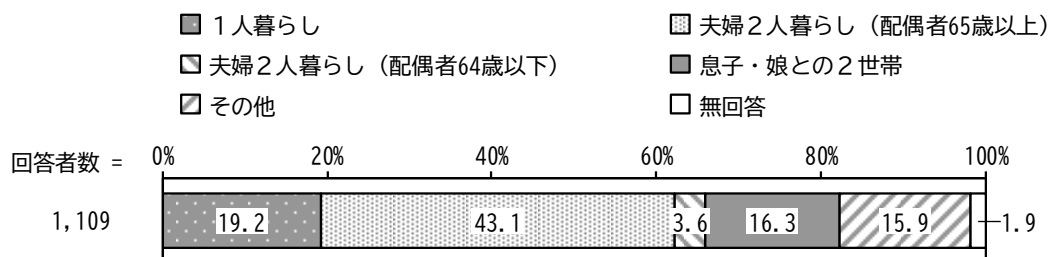
認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「受けていない」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「要支援1」「要支援2」の割合が高くなっています。



問2 あなたのご家族や生活状況について

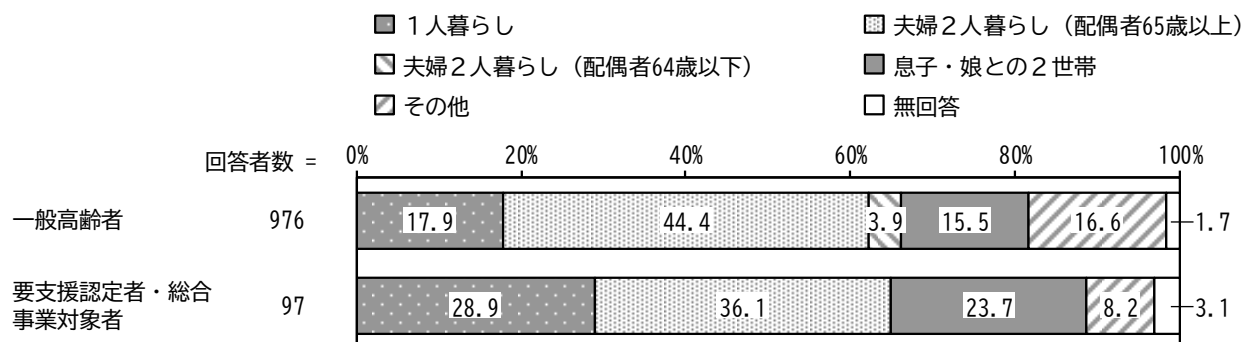
問2-1 家族構成を教えてください（1つのみ）

「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」の割合が 43.1%と最も高く、次いで「1人暮らし」の割合が 19.2%、「息子・娘との2世帯」の割合が 16.3%となっています。



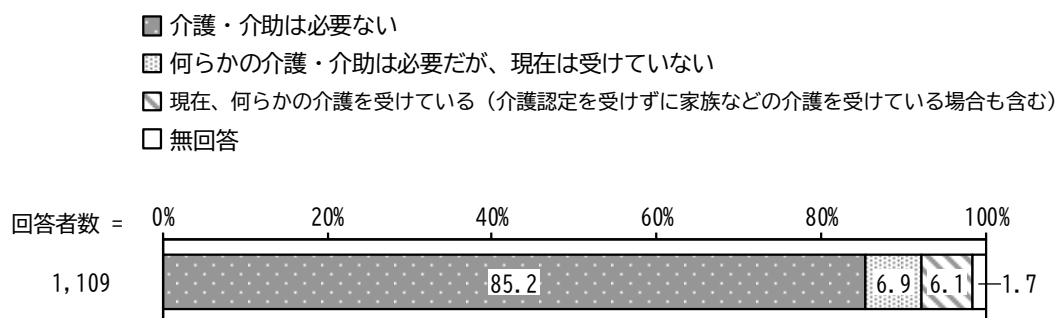
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「1人暮らし」「息子・娘との2世帯」の割合が高くなっています。



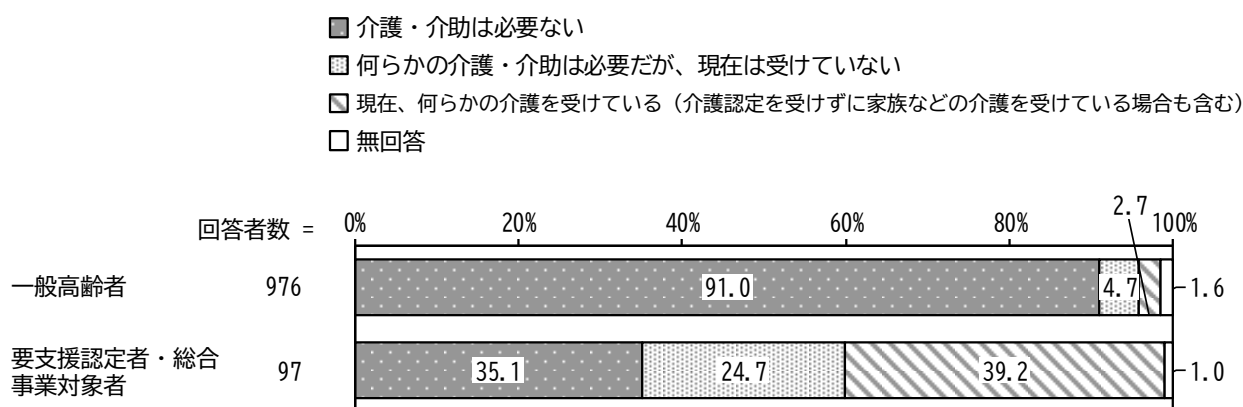
問２－２ あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（１つのみ）

「介護・介助は必要ない」の割合が 85.2%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が 6.9%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が 6.1%となっています。



【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「介護・介助は必要ない」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が高くなっています。

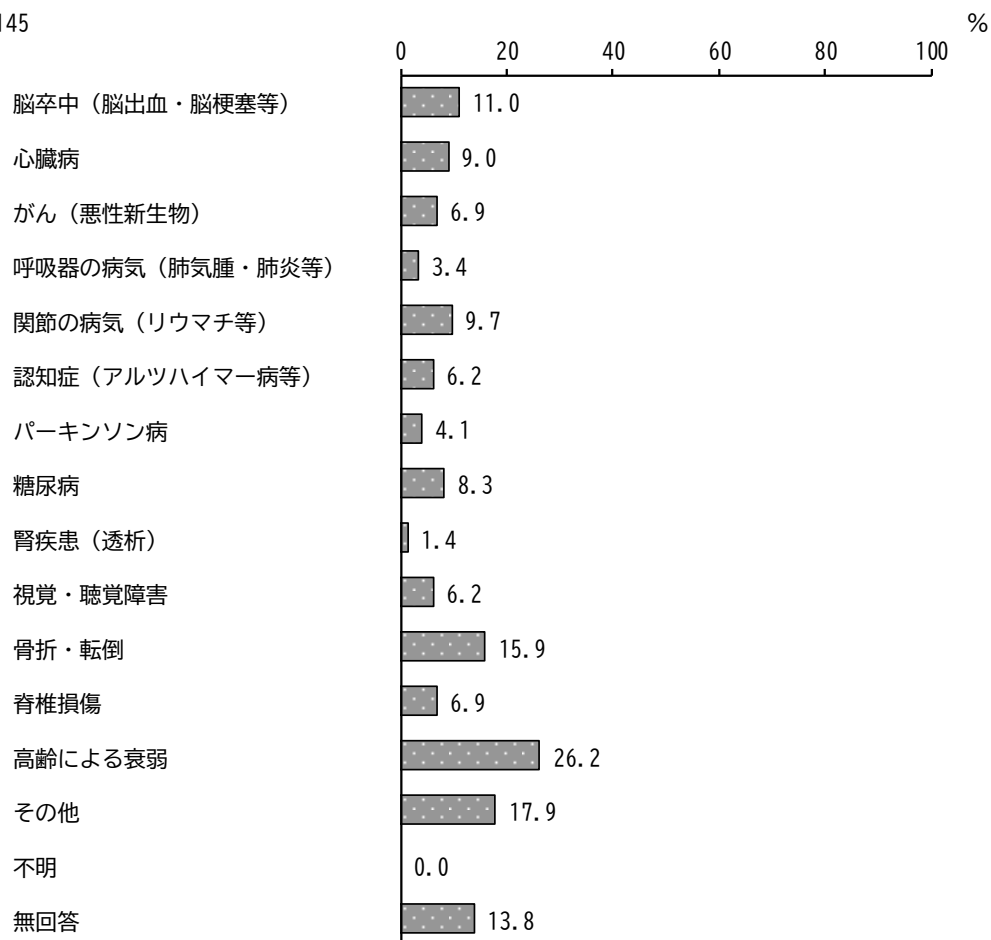


【問2－2において「介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）

「高齢による衰弱」の割合が 26.2%と最も高く、次いで「骨折・転倒」の割合が 15.9%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」の割合が 11.0%となっています。

回答者数 = 145



【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「糖尿病」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「心臓病」「関節の病気（リウマチ等）」「パーキンソン病」「骨折・転倒」「高齢による衰弱」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	脳卒中 (脳出血・脳 梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生物)	呼吸器の病気 (肺炎等)	関節の病気 (リウマ チ等)	認知症 (アルツハイ マー病等)	パーキンソン病	糖尿病
全 体	145	11.0	9.0	6.9	3.4	9.7	6.2	4.1	8.3
一般高齢者	72	9.7	5.6	6.9	2.8	5.6	5.6	1.4	11.1
要支援認定者・総合事業対象者	62	12.9	11.3	6.5	3.2	16.1	6.5	8.1	4.8

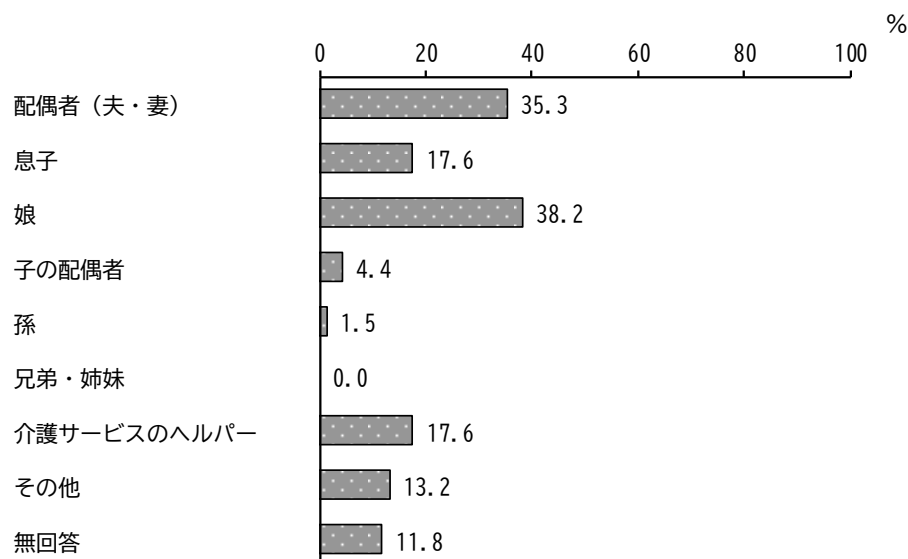
区分	腎疾患 (透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全 体	1.4	6.2	15.9	6.9	26.2	17.9	0.0	13.8
一般高齢者	0.0	6.9	11.1	5.6	19.4	15.3	0.0	19.4
要支援認定者・総合事業対象者	1.6	4.8	21.0	8.1	32.3	22.6	0.0	9.7

【問2-2において「現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

② 主にどなたの介護・介助を受けていますか（いくつでも）

「娘」の割合が38.2%と最も高く、次いで「配偶者（夫・妻）」の割合が35.3%、「息子」、「介護サービスのヘルパー」の割合が17.6%となっています。

回答者数 = 68



【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「配偶者（夫・妻）」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「息子」「娘」「介護サービスのヘルパー」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	妻 配偶者（夫・妻）	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護サ ービス のヘル パー	その他	無 回 答
全 体	68	35.3	17.6	38.2	4.4	1.5	0.0	17.6	13.2	11.8
一般高齢者	26	46.2	7.7	30.8	3.8	0.0	0.0	3.8	3.8	26.9
要支援認定者・総合事業対象者	38	26.3	26.3	42.1	5.3	2.6	0.0	28.9	18.4	2.6

【家族構成別】

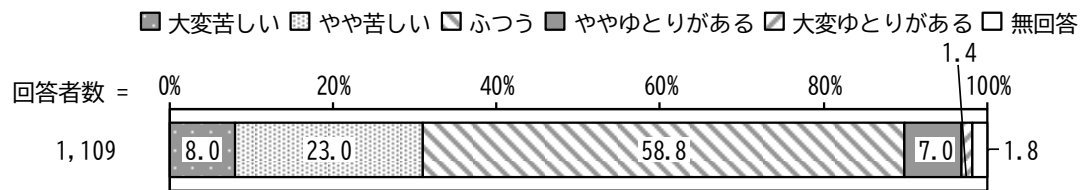
家族構成別にみると、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）で「配偶者（夫・妻）」、息子・娘との2世帯で「娘」、1人暮らしで「介護サービスのヘルパー」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	妻 配偶者（夫・妻）	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護サ ービス のヘル パー	その他	無 回 答
全 体	68	35.3	17.6	38.2	4.4	1.5	0.0	17.6	13.2	11.8
1人暮らし	14	0.0	7.1	28.6	0.0	0.0	0.0	28.6	35.7	14.3
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	20	70.0	20.0	20.0	5.0	0.0	0.0	5.0	0.0	15.0
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
息子・娘との2世帯	22	18.2	27.3	54.5	9.1	0.0	0.0	18.2	9.1	9.1
その他	9	55.6	11.1	55.6	0.0	11.1	0.0	22.2	22.2	11.1

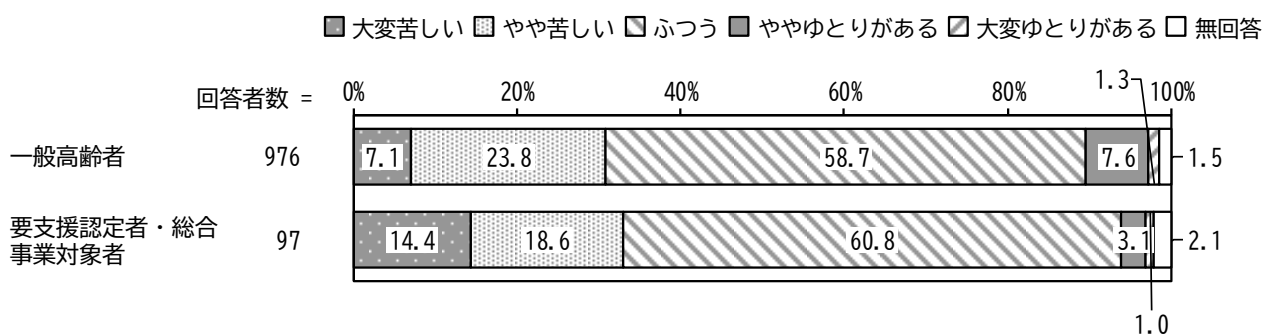
問２－３ 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（１つのみ）

「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい”の割合が31.0%、「ややゆとりがある」「大変ゆとりがある」を合わせた“ゆとりがある”の割合が8.4%となっています。



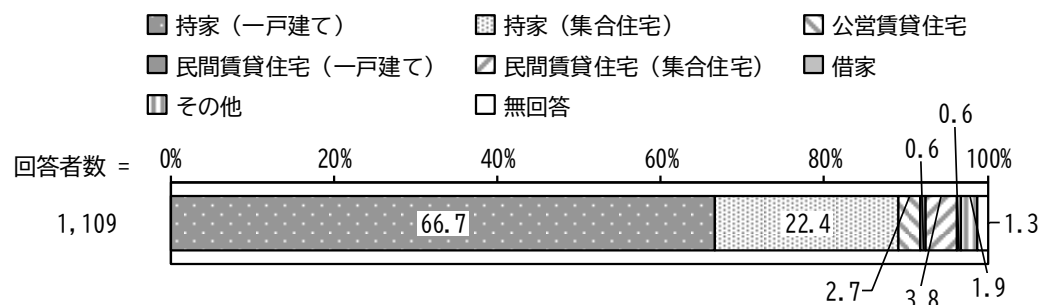
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「やや苦しい」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「大変苦しい」の割合が高くなっています。



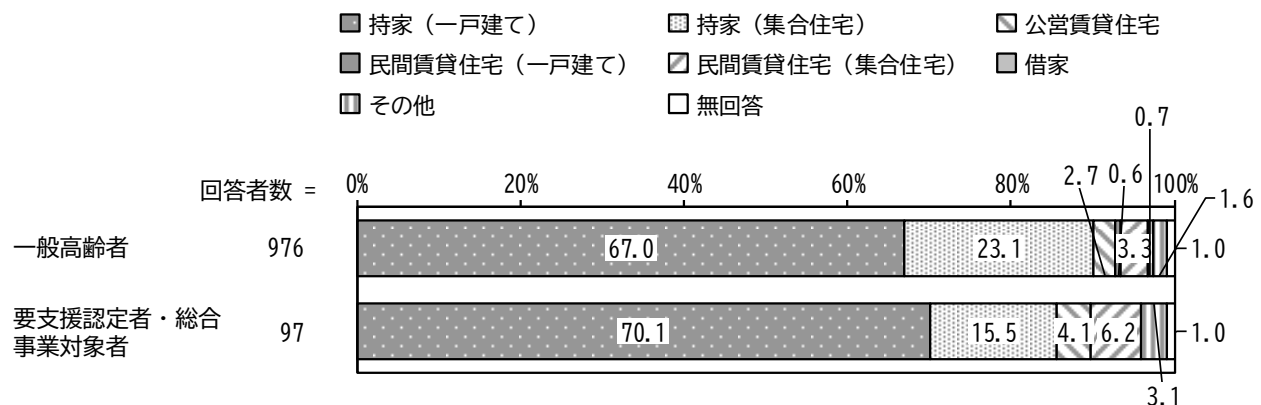
問２－４ お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（１つのみ）

「持家（一戸建て）」の割合が66.7%と最も高く、次いで「持家（集合住宅）」の割合が22.4%となっています。



【認定別】

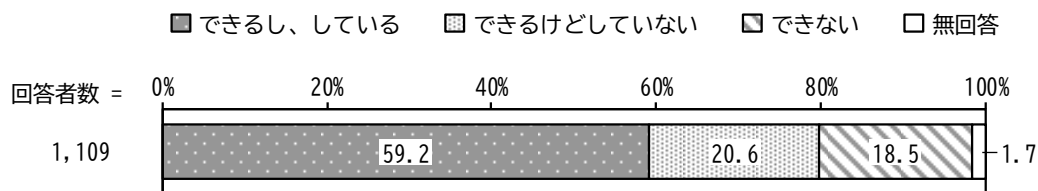
認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「持家（集合住宅）」の割合が高くなっています。



問3 からだを動かすことについて

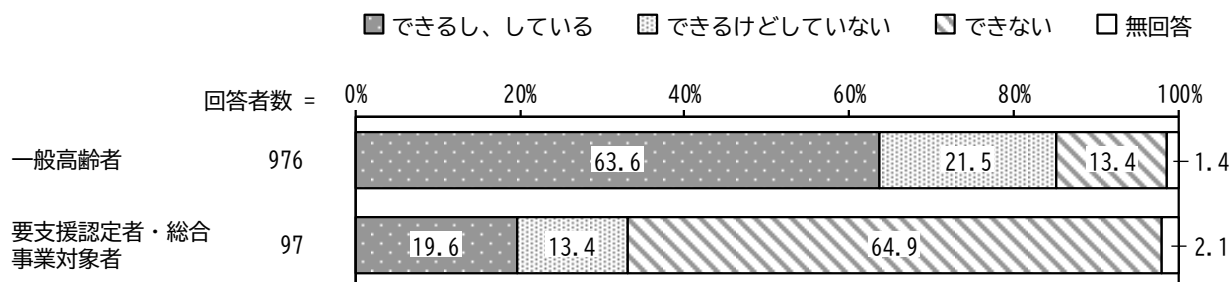
問3-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇り降りできますか（1つのみ）

「できるし、している」の割合が 59.2%、「できるけどしていない」の割合が 20.6%、「できない」の割合が 18.5%となっています。



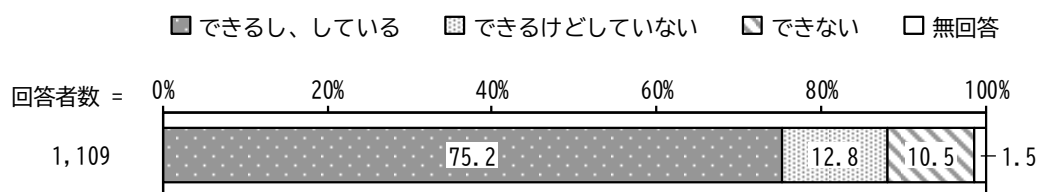
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「できない」の割合が高くなっています。



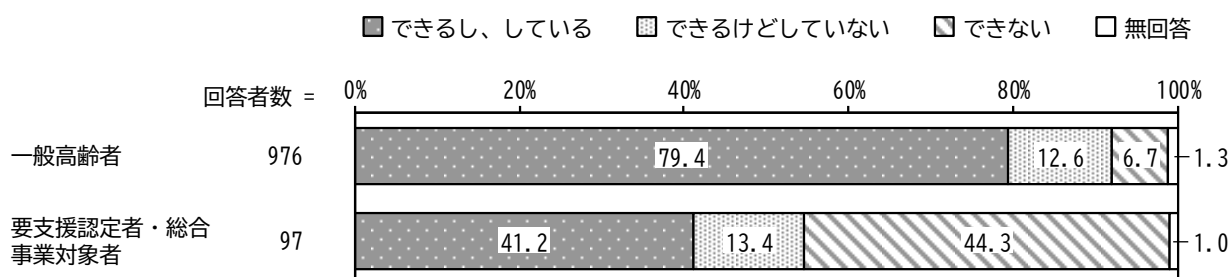
問3-2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（1つのみ）

「できるし、している」の割合が 75.2%、「できるけどしていない」の割合が 12.8%、「できない」の割合が 10.5%となっています。



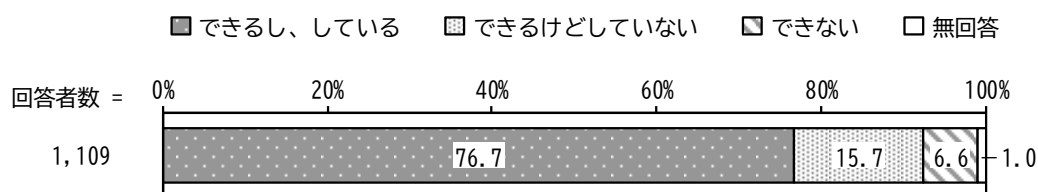
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「できない」の割合が高くなっています。



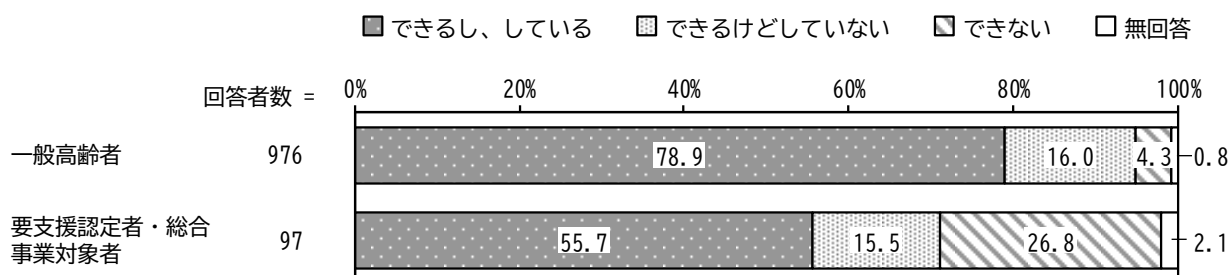
問3-3 15分位続けて歩いていますか（1つのみ）

「できるし、している」の割合が 76.7%、「できるけどしていない」の割合が 15.7%、「できない」の割合が 6.6%となっています。



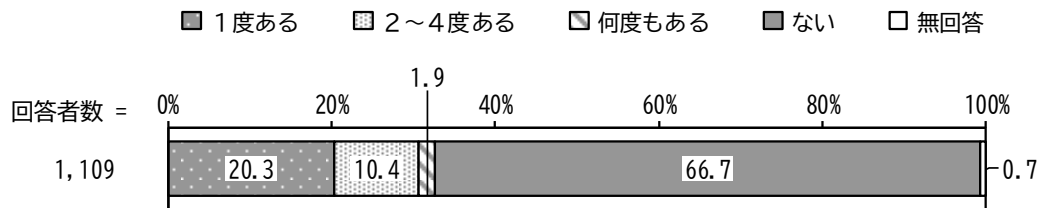
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「できない」の割合が高くなっています。



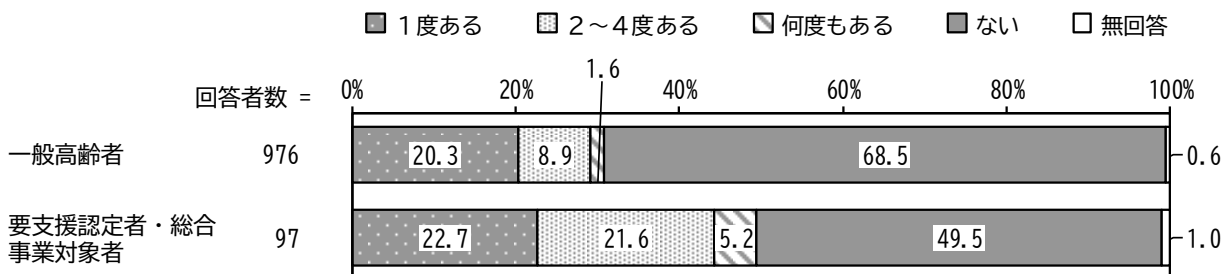
問3-4 過去1年間に転んだ経験がありますか（1つのみ）

「ない」の割合が66.7%と最も高く、次いで「1度ある」の割合が20.3%、「2～4度ある」の割合が10.4%となっています。



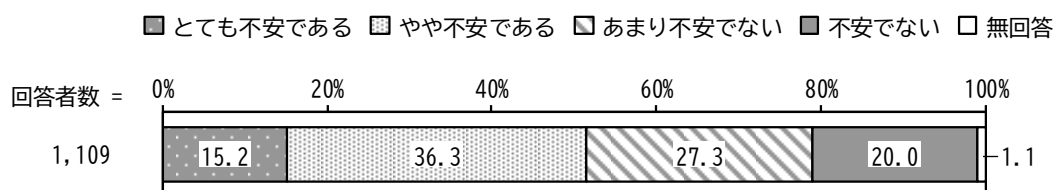
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「ない」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「2～4度ある」の割合が高くなっています。



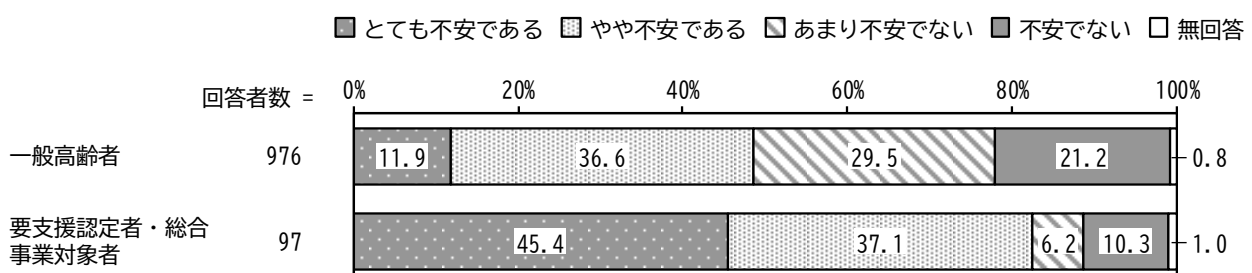
問3-5 転倒に対する不安は大きいですか（1つのみ）

「とても不安である」「やや不安である」を合わせた「不安である」の割合が51.5%、「あまり不安でない」「不安でない」を合わせた「不安でない」の割合が47.3%となっています。



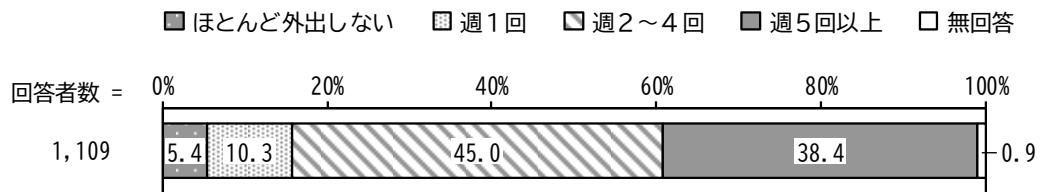
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「不安でない」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「とても不安である」の割合が高くなっています。



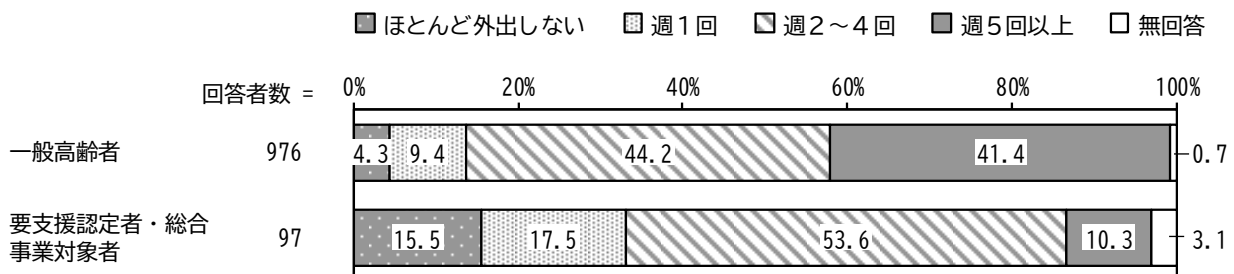
問3-6 週に1回以上は外出していますか（1つのみ）

「週2～4回」の割合が45.0%と最も高く、次いで「週5回以上」の割合が38.4%、「週1回」の割合が10.3%となっています。



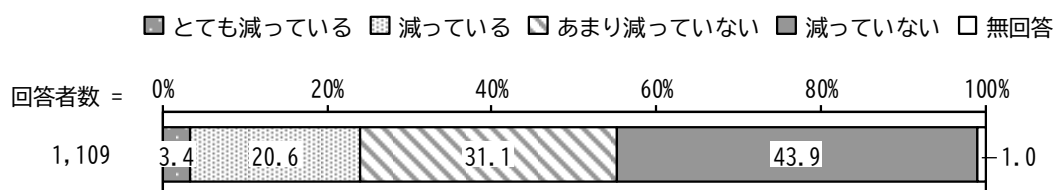
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「週5回以上」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「ほとんど外出しない」「週1回」「週2～4回」の割合が高くなっています。



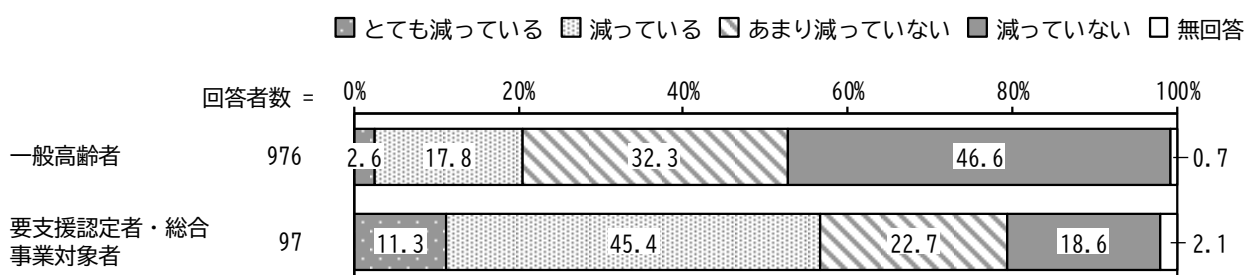
問3-7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（1つのみ）

「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている”の割合が24.0%、「あまり減っていない」「減っていない」を合わせた“減っていない”の割合が75.0%となっています。



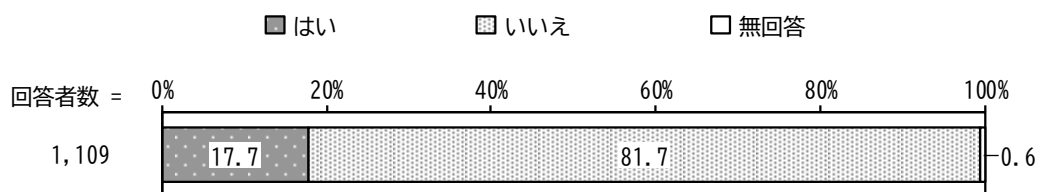
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で“減っていない”の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で“減っている”の割合が高くなっています。



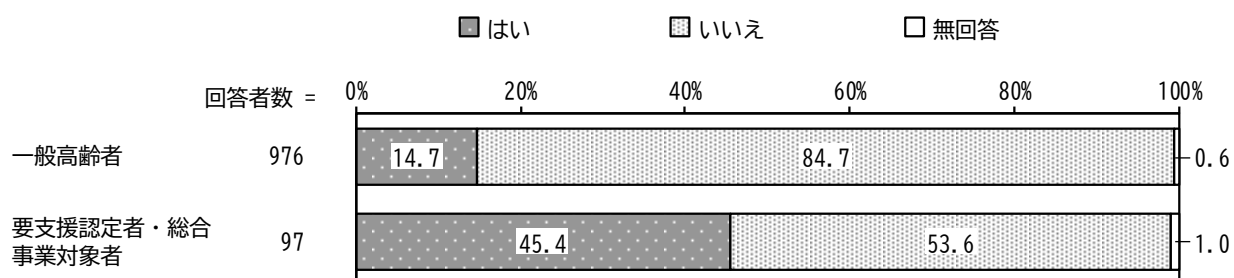
問３－８ 外出を控えていますか

「はい」の割合が17.7%、「いいえ」の割合が81.7%となっています。



【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「いいえ」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「はい」が高くなっています。

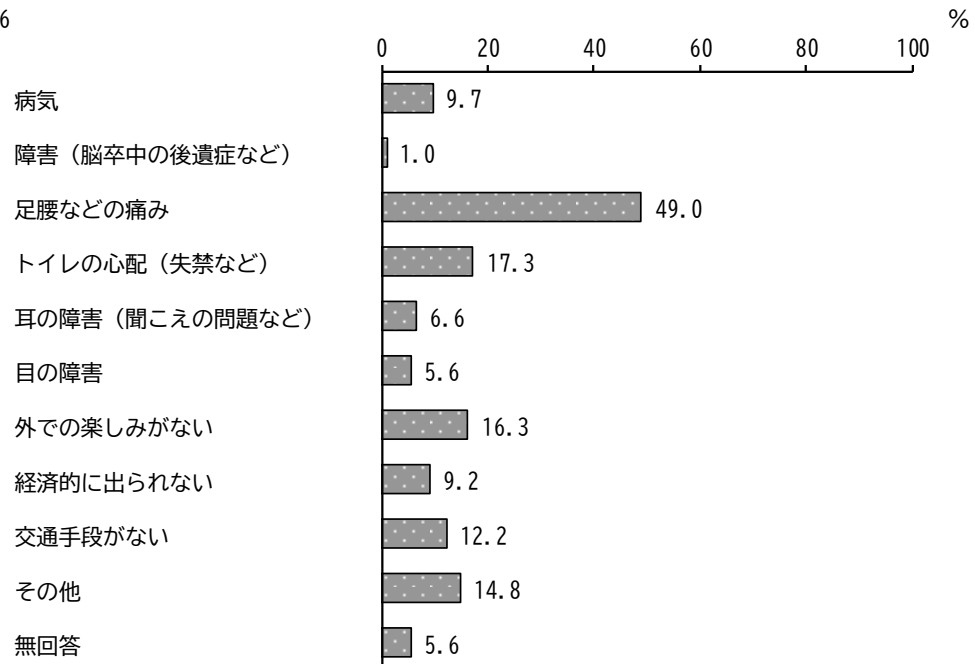


【問３－８で「はい」（外出を控えている）の方のみ】

① 外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）

「足腰などの痛み」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「トイレの心配(失禁など)」の割合が 17.3%、「外での楽しみがない」の割合が 16.3%となっています。

回答者数 = 196



【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「外での楽しみがない」「経済的に出られない」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「病気」「足腰などの痛み」「交通手段がない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	病気	障害（脳卒中の 後遺症など）	足腰などの 痛み	トイレの心配 (失禁など)	耳の障害（聞こ えの問題など）	目の障害	外での楽しみ がない	経済的に出ら れない	交通手段がな い	その他	無回答
全 体	196	9.7	1.0	49.0	17.3	6.6	5.6	16.3	9.2	12.2	14.8	5.6
一般高齢者	143	6.3	0.7	46.2	17.5	7.0	5.6	17.5	10.5	7.7	17.5	5.6
要支援認定者・総合事業対象者	44	18.2	0.0	59.1	18.2	6.8	6.8	11.4	4.5	22.7	9.1	4.5

【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプを比較してみると、インドア派外交的で「交通手段がない」、インドア派内向的で「病気」、アウトドア派外交的で「経済的に出られない」、アウトドア派内向的で「目の障害」「経済的に出られない」の割合が高くなっています。

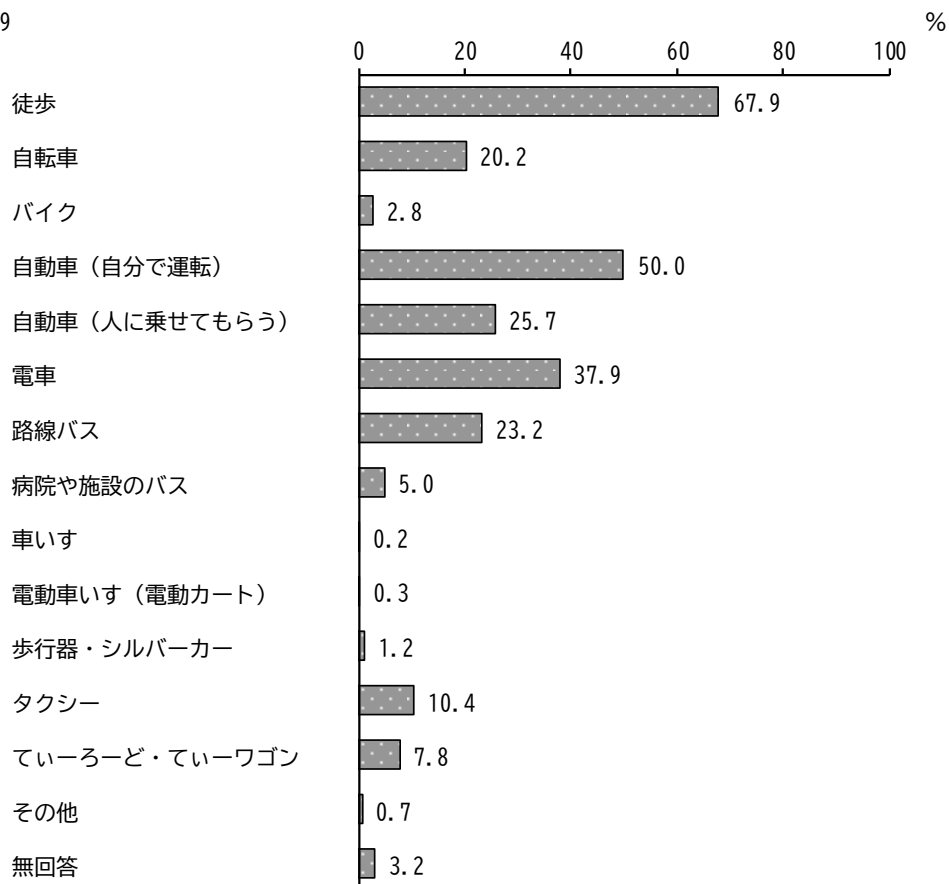
単位：％

区分	回答者数 (件)	病気	障害(脳卒中の 後遺症など)	み足腰などの 痛	トイレの心配 (失禁など)	耳の障害(聞こ えの問題など)	目の障害	外での楽し みがない	経済的に出 られない	交通手段が ない	その他	無回答
全 体	196	9.7	1.0	49.0	17.3	6.6	5.6	16.3	9.2	12.2	14.8	5.6
インドア派外交的	33	12.1	3.0	48.5	15.2	3.0	9.1	18.2	9.1	18.2	15.2	0.0
インドア派内向的	55	14.5	0.0	49.1	16.4	7.3	5.5	12.7	1.8	14.5	12.7	3.6
アウトドア派外交的	48	2.1	0.0	50.0	16.7	6.3	2.1	16.7	14.6	8.3	22.9	6.3
アウトドア派内向的	35	11.4	0.0	37.1	11.4	5.7	11.4	20.0	17.1	8.6	8.6	8.6

問３－９ 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）

「徒歩」の割合が 67.9%と最も高く、次いで「自動車（自分で運転）」の割合が 50.0%、「電車」の割合が 37.9%となっています。

回答者数 = 1,109



【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「徒歩」「自転車」「自動車（自分で運転）」「電車」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「自動車（人に乗せてもらう）」「病院や施設のバス」「歩行器・シルバーカー」「タクシー」「ていーろーど・ていーワゴン」の割合が高くなっています。

単位：%

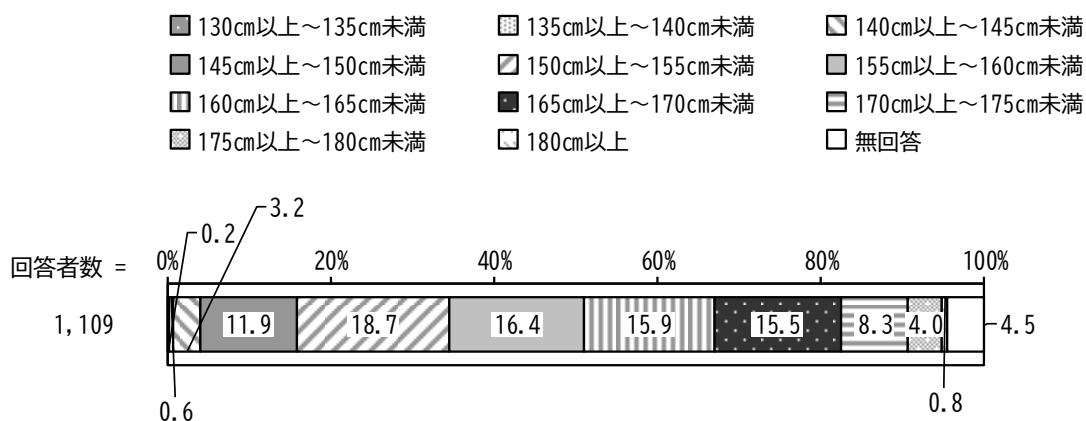
区分	回答者数（件）	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（電動カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	ていーろーど・ていーワゴン	その他	無回答
全 体	1,109	67.9	20.2	2.8	50.0	25.7	37.9	23.2	5.0	0.2	0.3	1.2	10.4	7.8	0.7	3.2
一般高齢者	976	69.5	22.1	3.1	54.7	23.6	39.9	23.4	3.4	0.0	0.0	0.3	8.3	7.0	0.5	3.4
要支援認定者・総合事業対象者	97	55.7	4.1	0.0	11.3	48.5	24.7	19.6	21.6	1.0	3.1	9.3	29.9	15.5	2.1	2.1

問4 食べることについて

問4－1 身長・体重

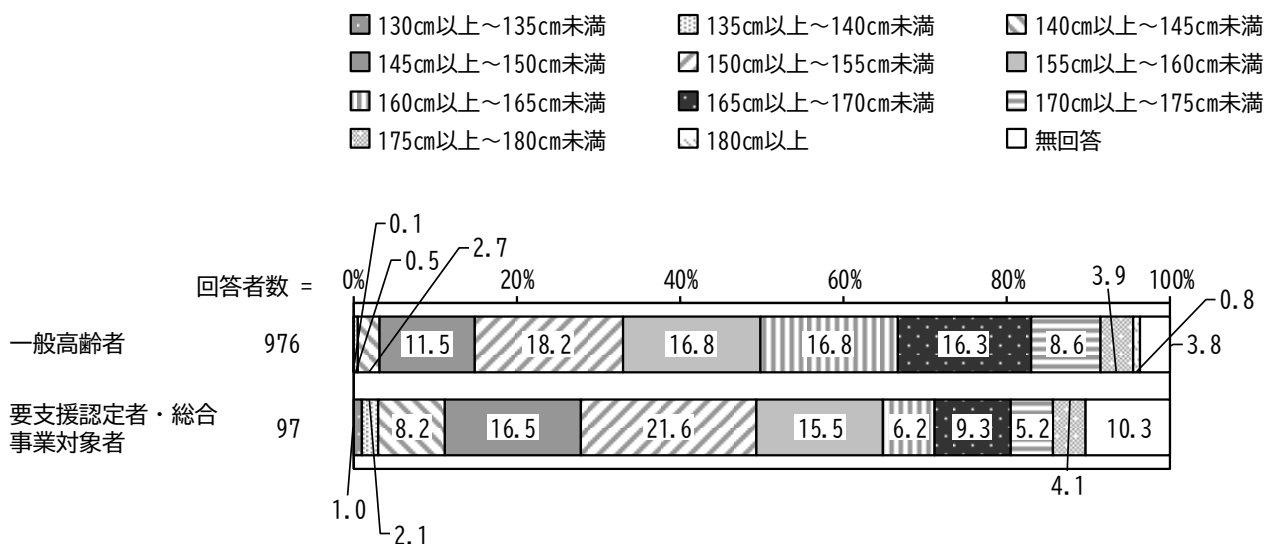
身長（cm）

「150cm 以上～155cm 未満」の割合が 18.7%と最も高く、次いで「155cm 以上～160cm 未満」の割合が 16.4%、「160cm 以上～165cm 未満」の割合が 15.9%となっています。



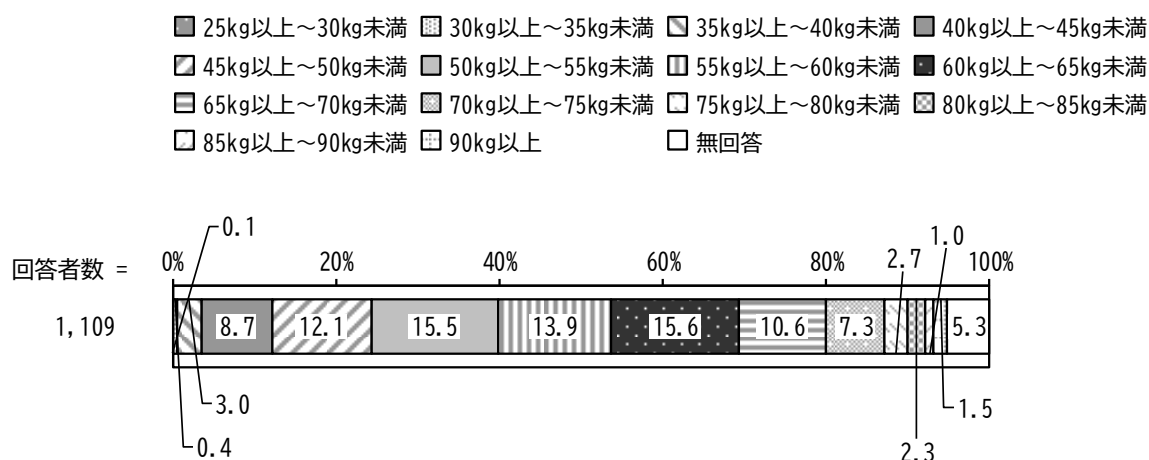
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「160cm 以上～165cm 未満」「165cm 以上～170cm 未満」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「140cm 以上～145cm 未満」「145cm 以上～150cm 未満」の割合が高くなっています。



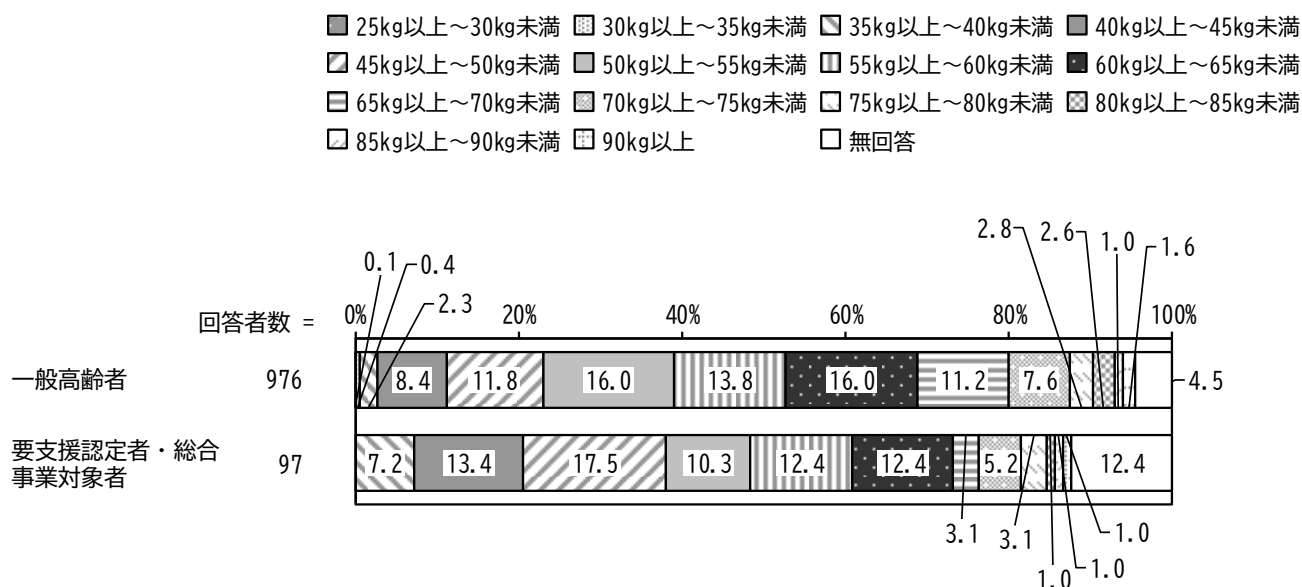
体重 (kg)

「60kg 以上～65kg 未満」の割合が 15.6%と最も高く、次いで「50kg 以上～55kg 未満」の割合が 15.5%、「55kg 以上～60kg 未満」の割合が 13.9%となっています。



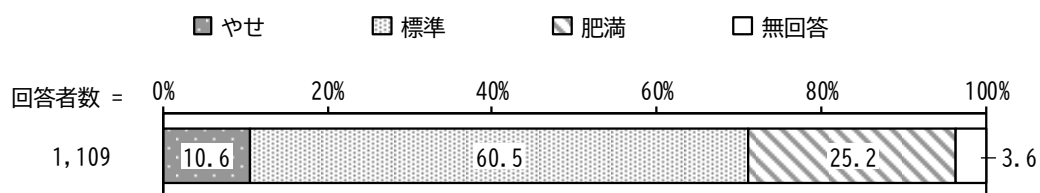
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「50kg 以上～55kg 未満」「65kg 以上～70kg 未満」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「40kg 以上～45kg 未満」「45kg 以上～50kg 未満」の割合が高くなっています。



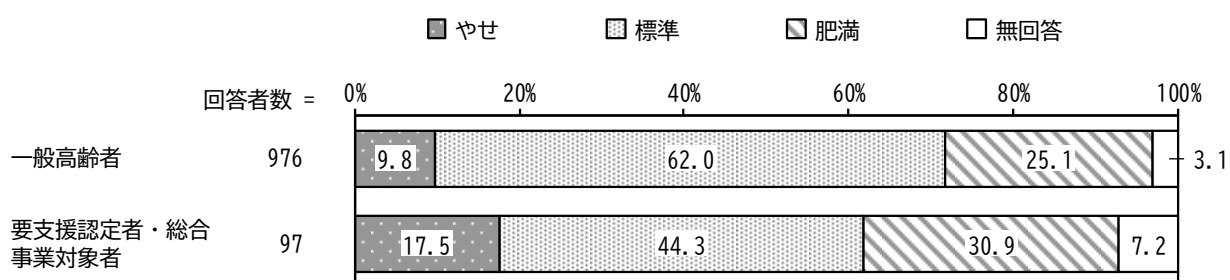
BMI※

「やせ」の割合が 10.6%、「標準」の割合が 60.5%、「肥満」の割合が 25.2%となっています。



【認定別】

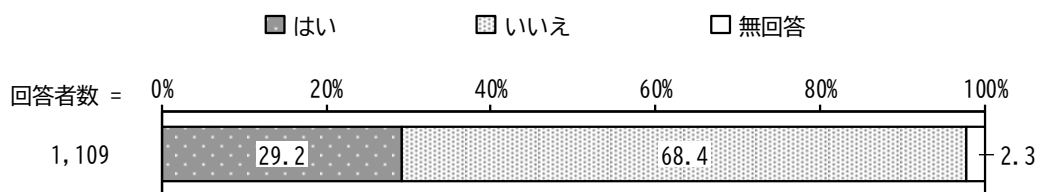
認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「標準」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「やせ」「肥満」の割合が高くなっています。



※BMI・・・体格を表す指標として国際的に用いられている指数で、[体重 (kg)] ÷ [身長 (m) の2乗] で求められる。

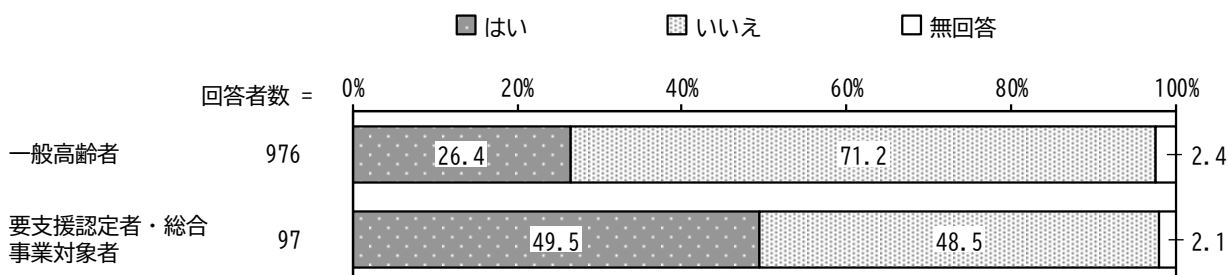
問４－２ 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

「はい」の割合が29.2%、「いいえ」の割合が68.4%となっています。



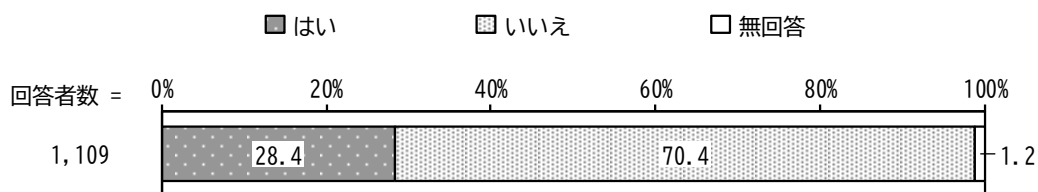
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、要支援認定者・総合事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。



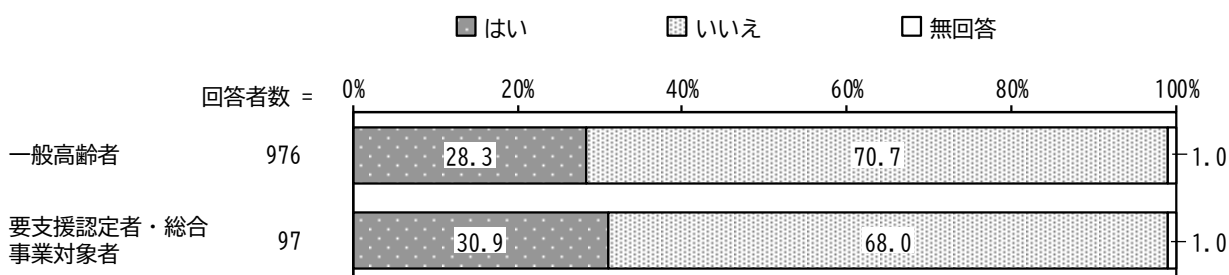
問４－３ お茶や汁物等でむせることがありますか

「はい」の割合が28.4%、「いいえ」の割合が70.4%となっています。



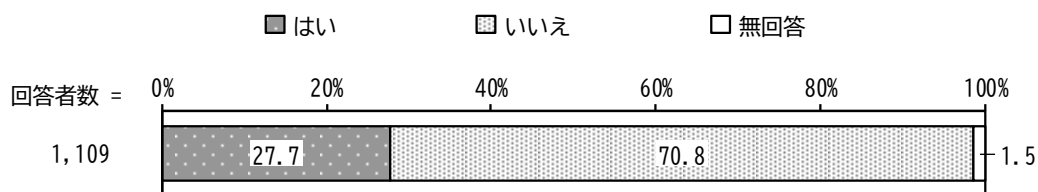
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



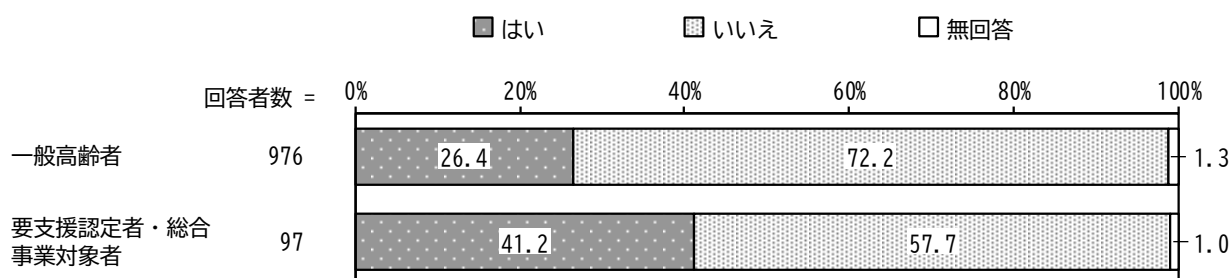
問４－４ 口の渇きが気になりますか

「はい」の割合が27.7%、「いいえ」の割合が70.8%となっています。



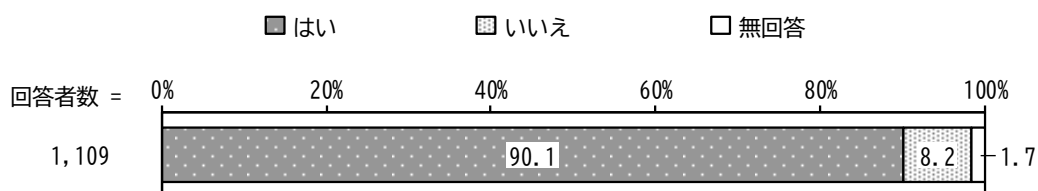
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、要支援認定者・総合事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。



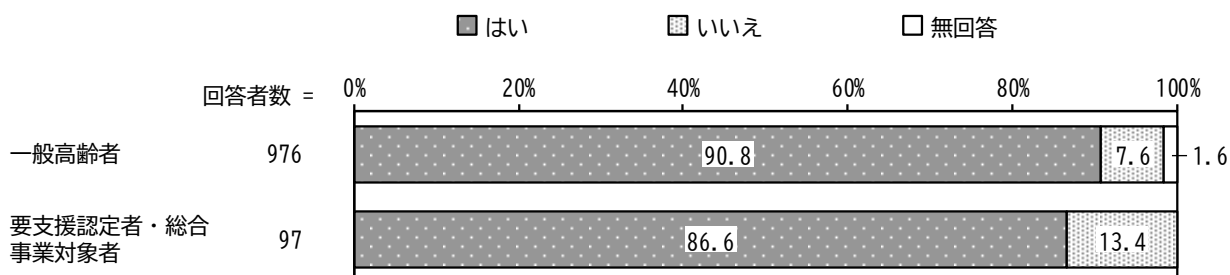
問４－５ 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

「はい」の割合が90.1%、「いいえ」の割合が8.2%となっています。



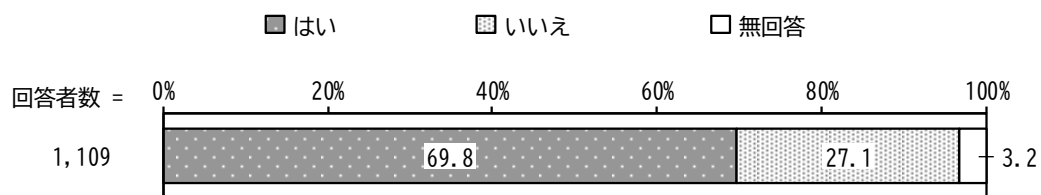
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、要支援認定者・総合事業対象者で「いいえ」の割合が高くなっています。



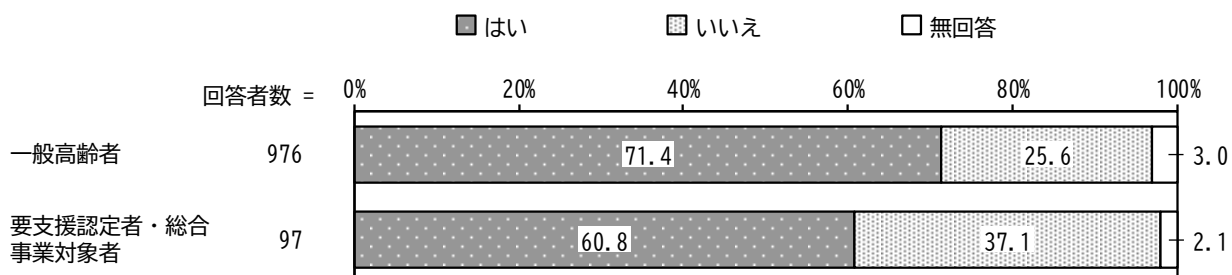
問４－６ 噛み合わせは良いですか

「はい」の割合が69.8%、「いいえ」の割合が27.1%となっています。



【認定別】

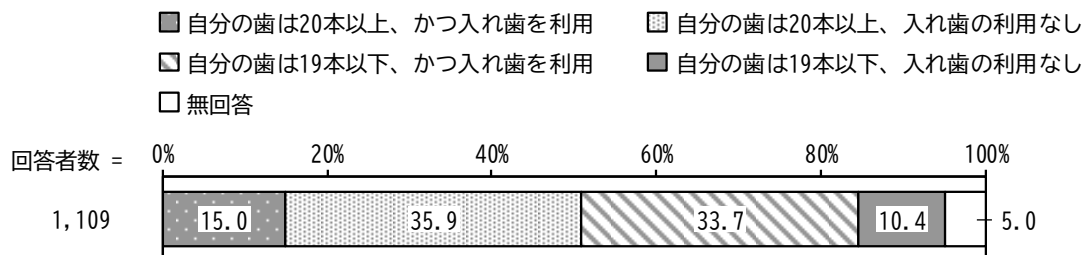
認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、要支援認定者・総合事業対象者で「いいえ」の割合が高くなっています。



問4－7 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

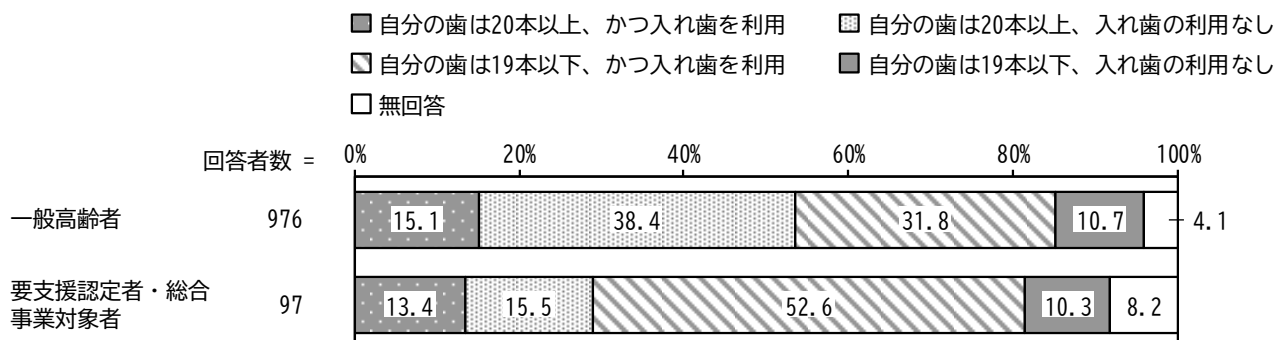
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です) (1 つのみ)

「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が 35.9%と最も高く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が 33.7%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が 15.0%となっています。



【認定別】

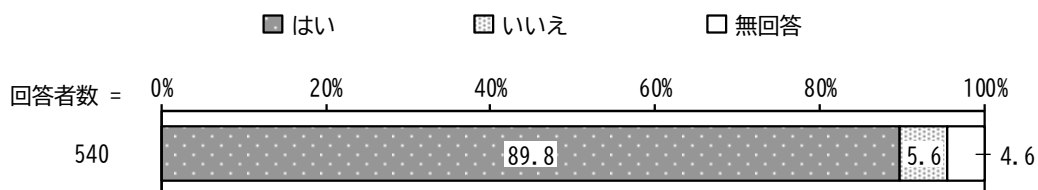
認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が高くなっています。



【問4－7で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

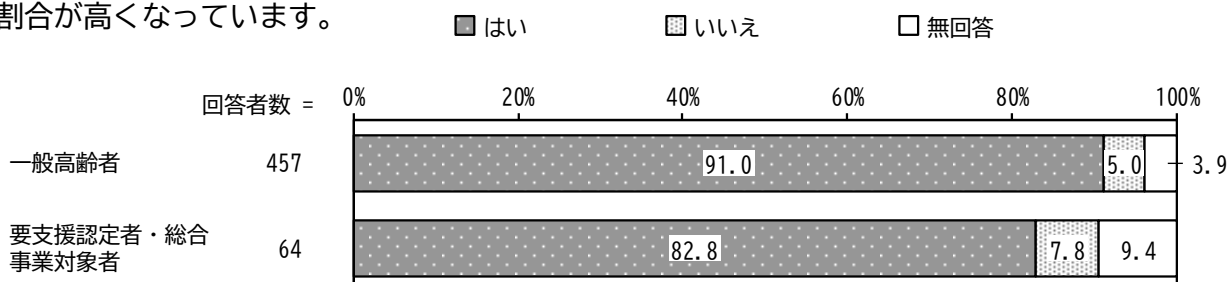
① 毎日入れ歯の手入れをしていますか

「はい」の割合が 89.8%、「いいえ」の割合が 5.6%となっています。



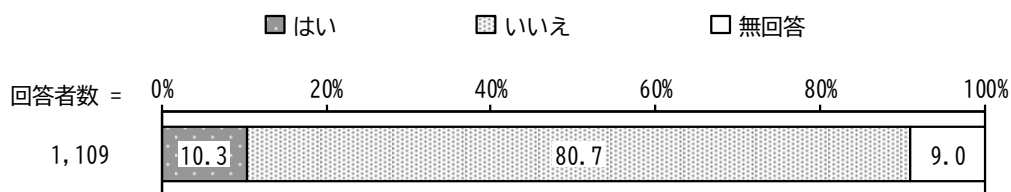
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「はい」の割合が高くなっています。



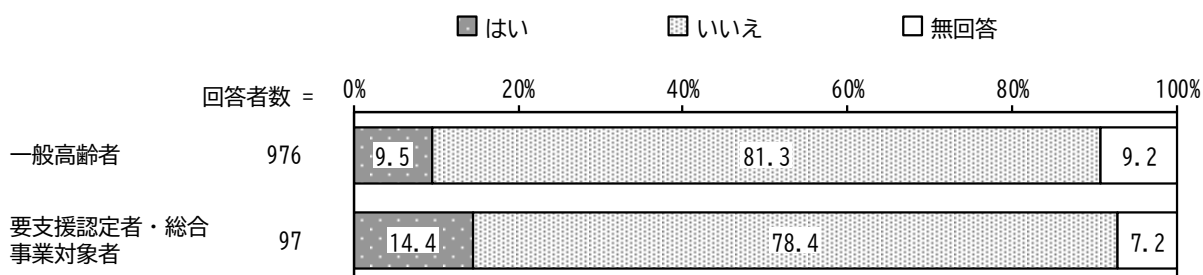
問４－８ ６か月間で２～３kg以上の体重減少がありましたか

「はい」の割合が10.3%、「いいえ」の割合が80.7%となっています。



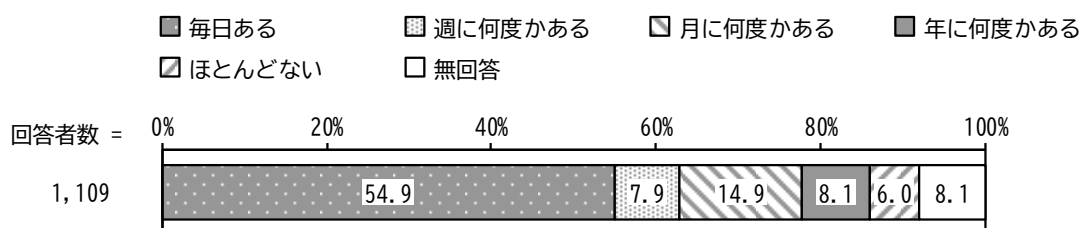
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



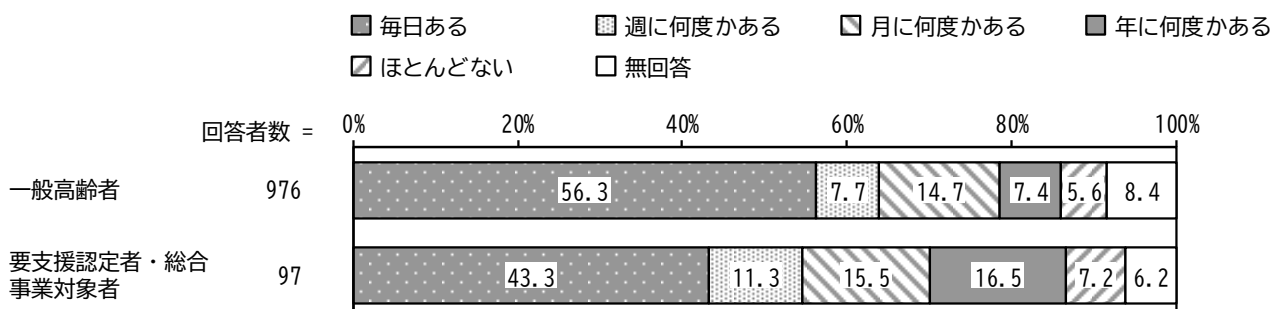
問４－９ どなたかと食事をとにもする機会がありますか（１つのみ）

「毎日ある」の割合が54.9%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が14.9%となっています。



【認定別】

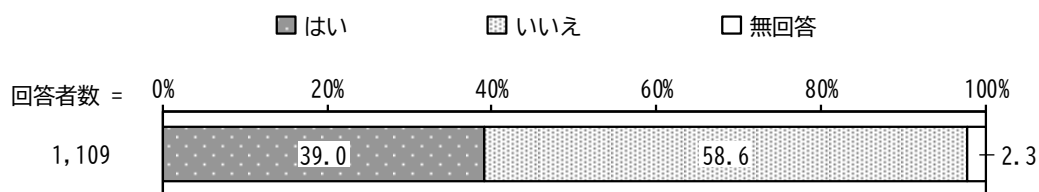
認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「毎日ある」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「年に何度かある」の割合が高くなっています。



問5 毎日の生活について

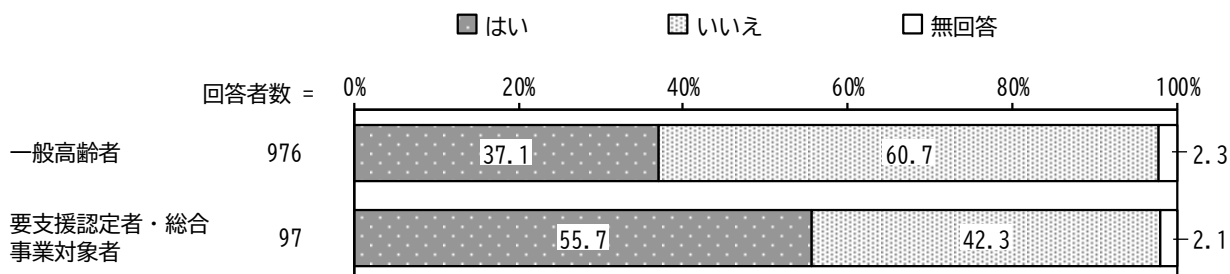
問5－1 物忘れが多いと感じますか

「はい」の割合が39.0%、「いいえ」の割合が58.6%となっています。



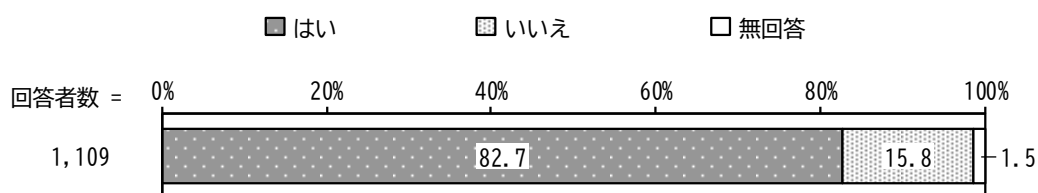
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、要支援認定者・総合事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。



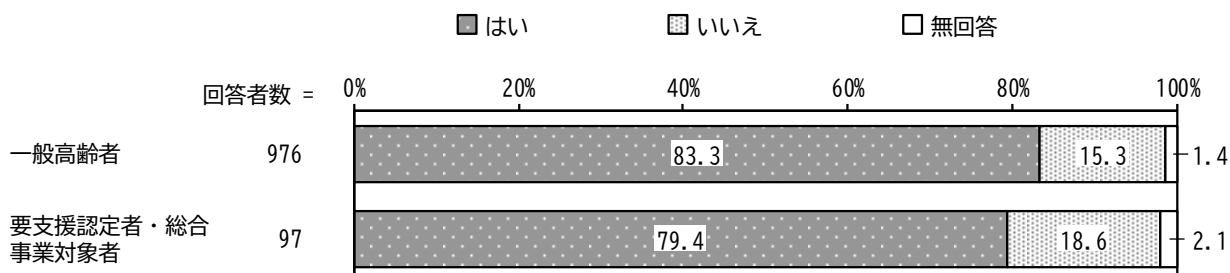
問5－2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

「はい」の割合が82.7%、「いいえ」の割合が15.8%となっています。



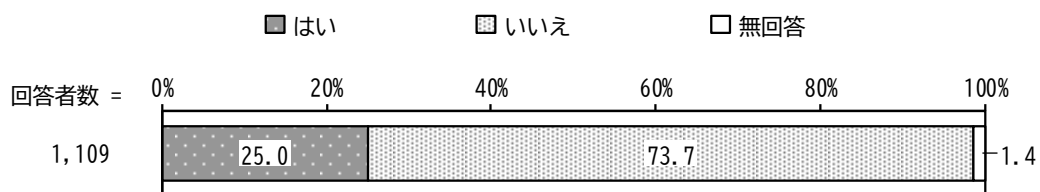
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



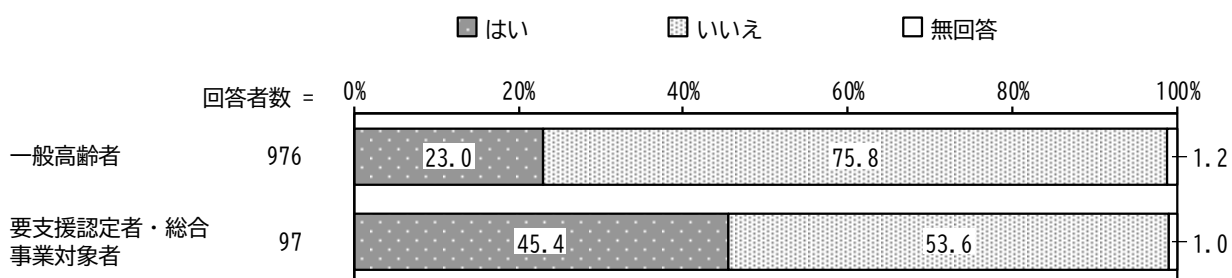
問5－3 今日が何月何日かわからないときがありますか

「はい」の割合が25.0%、「いいえ」の割合が73.7%となっています。



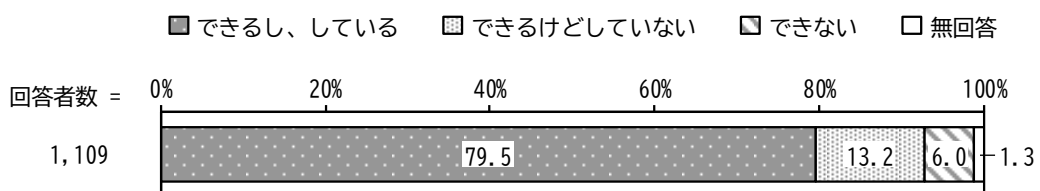
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、要支援認定者・総合事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。



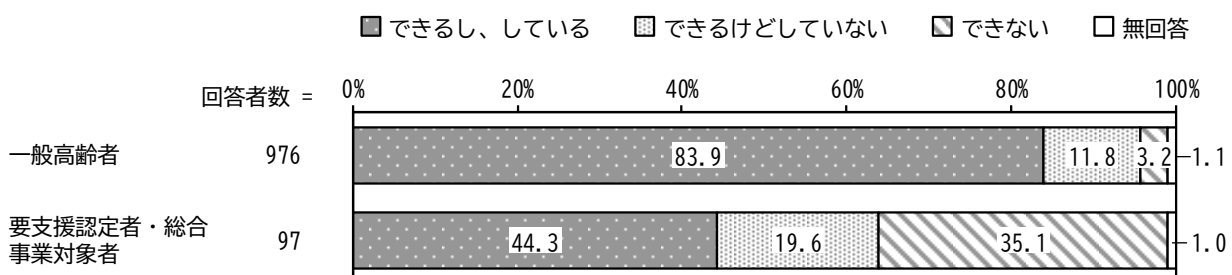
問5－4 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（1つのみ）

「できるし、している」の割合が79.5%、「できるけどしていない」の割合が13.2%、「できない」の割合が6.0%となっています。



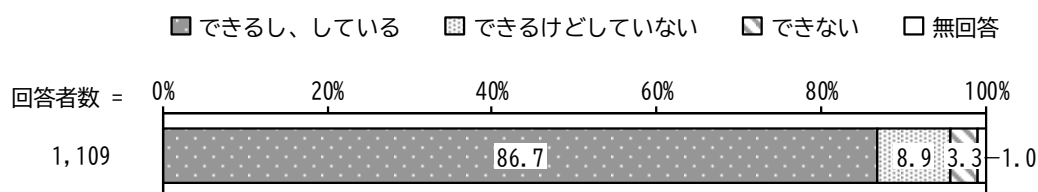
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっています。



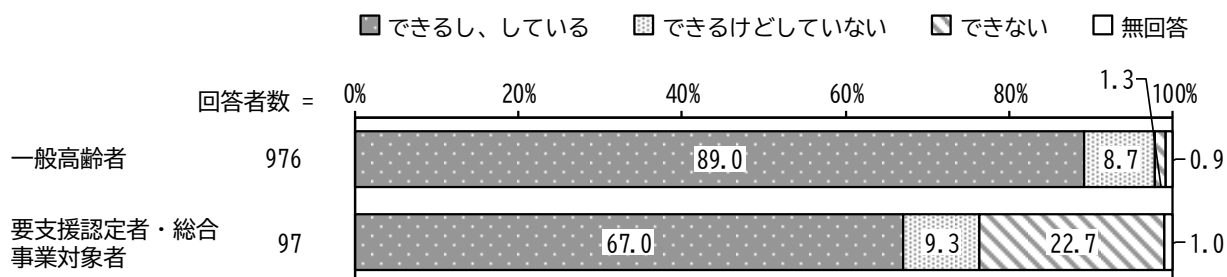
問５－５ 自分で食品・日用品の買い物をしていますか（１つのみ）

「できるし、している」の割合が 86.7%、「できるけどしていない」の割合が 8.9%、「できない」の割合が 3.3%となっています。



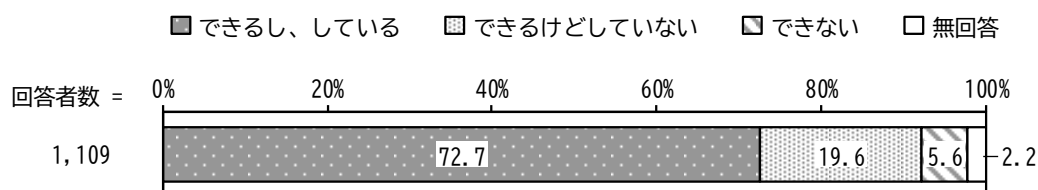
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「できない」の割合が高くなっています。



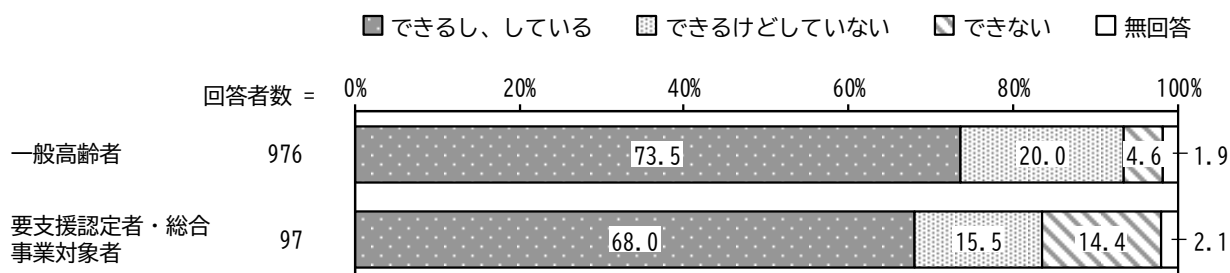
問５－６ 自分で食事の用意をしていますか（１つのみ）

「できるし、している」の割合が 72.7%、「できるけどしていない」の割合が 19.6%、「できない」の割合が 5.6%となっています。



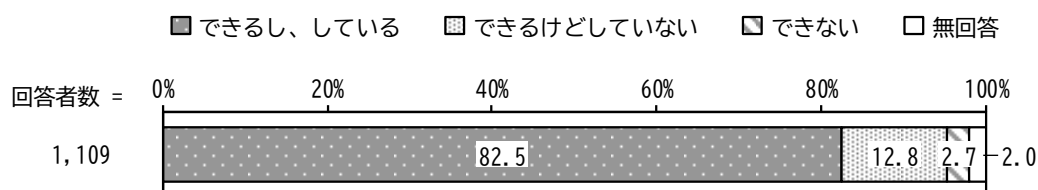
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「できない」の割合が高くなっています。



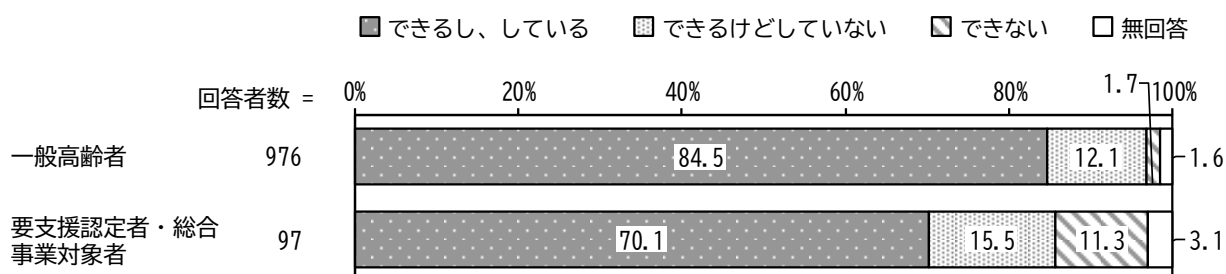
問５－７ 自分で請求書の支払いをしていますか（１つのみ）

「できるし、している」の割合が 82.5%、「できるけどしていない」の割合が 12.8%、「できない」の割合が 2.7%となっています。



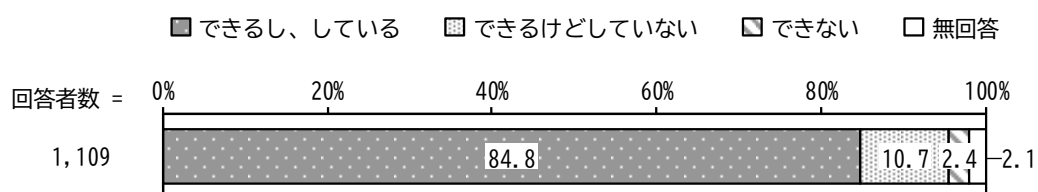
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「できない」の割合が高くなっています。



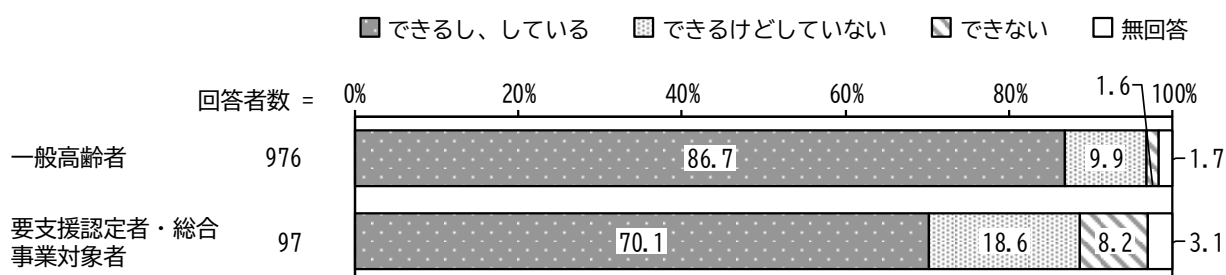
問５－８ 自分で預貯金の出し入れをしていますか（１つのみ）

「できるし、している」の割合が 84.8%、「できるけどしていない」の割合が 10.7%、「できない」の割合が 2.4%となっています。



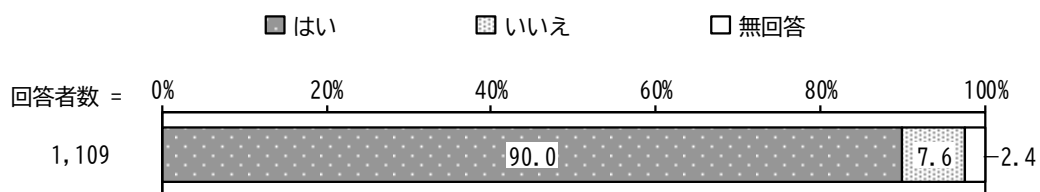
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「できるけどしていない」「できない」の割合が高くなっています。



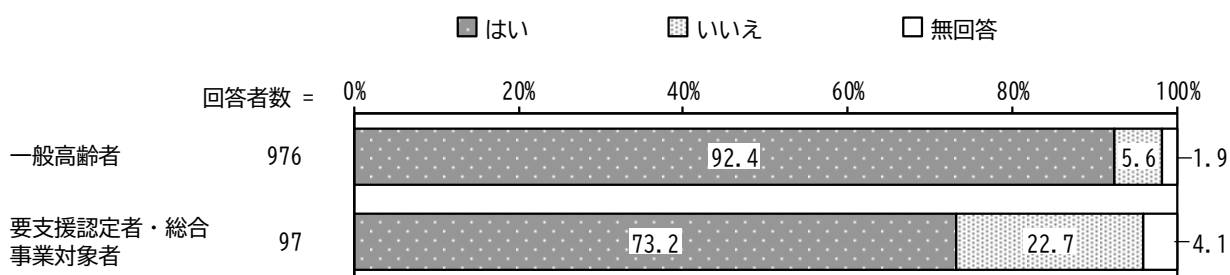
問５－９ 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

「はい」の割合が90.0%、「いいえ」の割合が7.6%となっています。



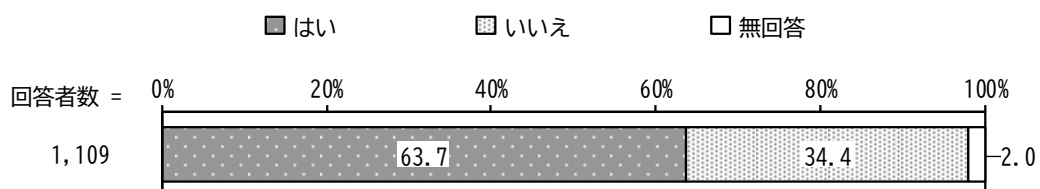
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、要支援認定者・総合事業対象者で「いいえ」の割合が高くなっています。



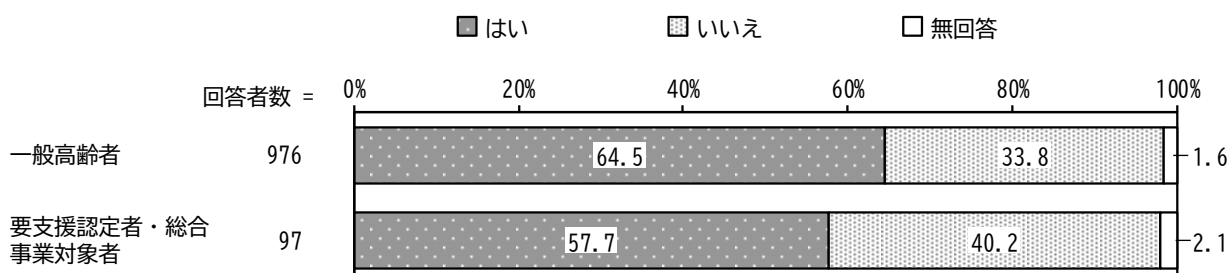
問５－１０ 新聞を読んでいますか

「はい」の割合が63.7%、「いいえ」の割合が34.4%となっています。



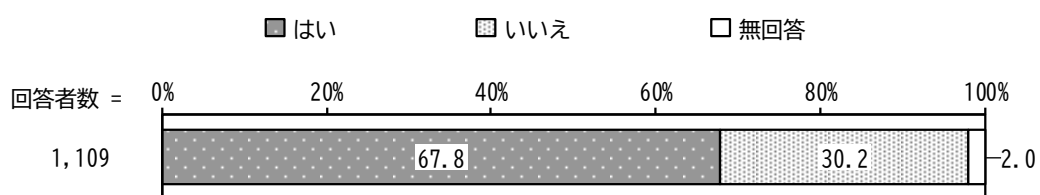
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、要支援認定者・総合事業対象者で「いいえ」の割合が高くなっています。



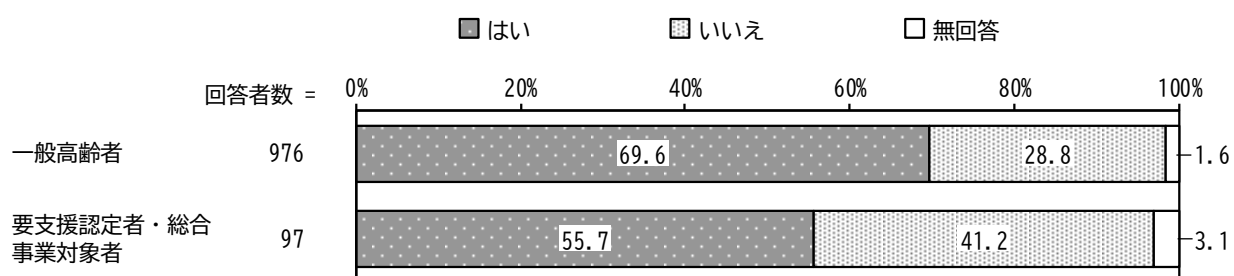
問5－11 本や雑誌を読んでいますか

「はい」の割合が67.8%、「いいえ」の割合が30.2%となっています。



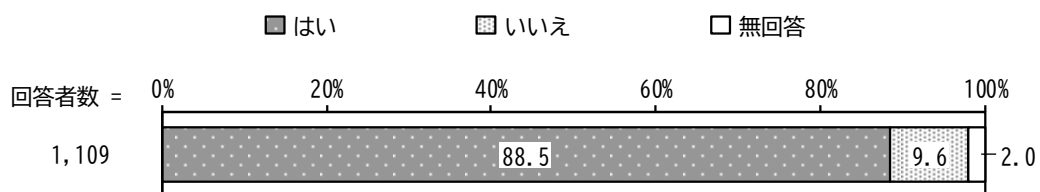
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、要支援認定者・総合事業対象者で「いいえ」の割合が高くなっています。



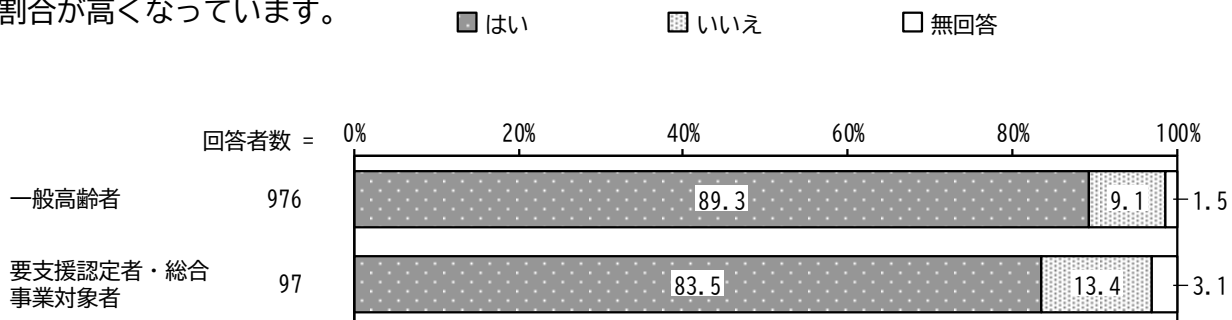
問5-12 健康についての記事や番組に関心がありますか

「はい」の割合が88.5%、「いいえ」の割合が9.6%となっています。



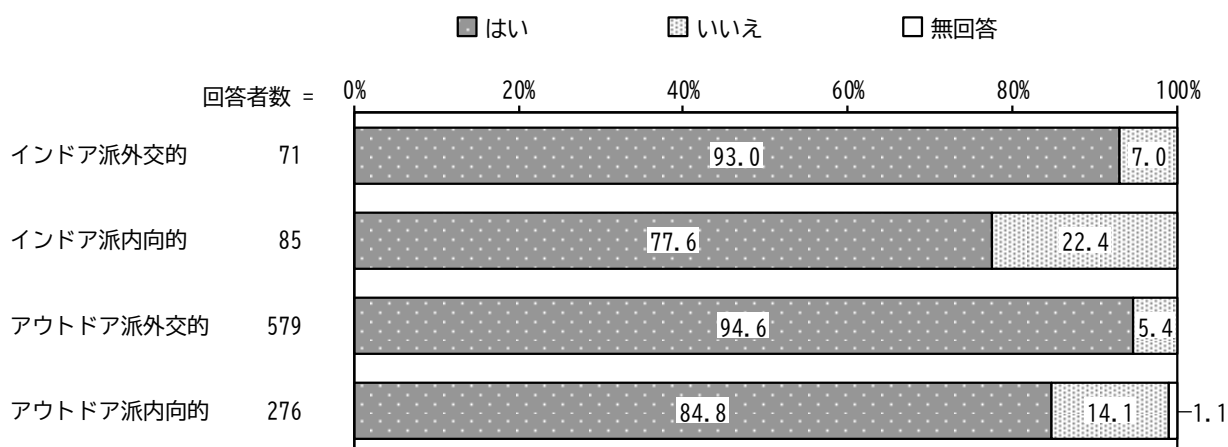
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「はい」の割合が高くなっています。



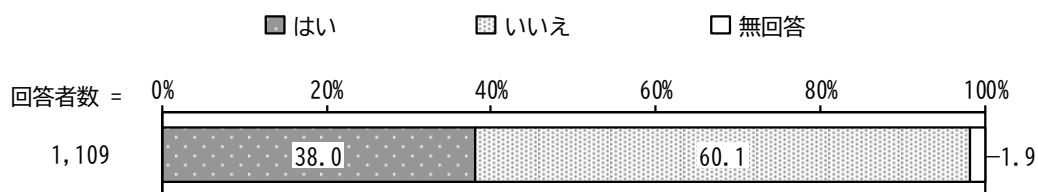
【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派 内向的で「いいえ」の割合が高くなっています。



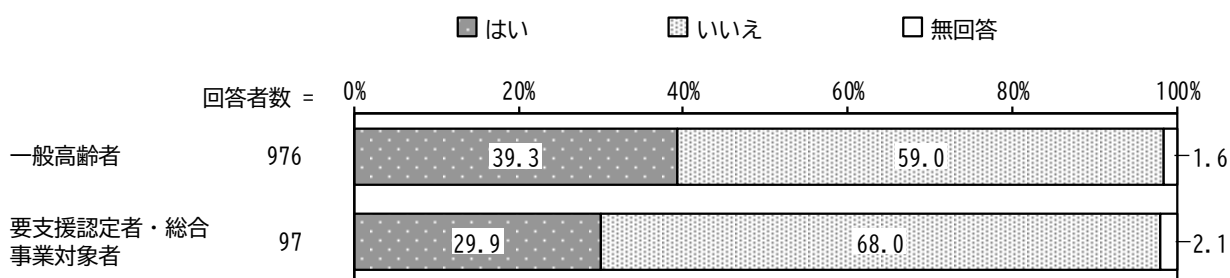
問5-13 友人の家を訪ねていますか

「はい」の割合が38.0%、「いいえ」の割合が60.1%となっています。



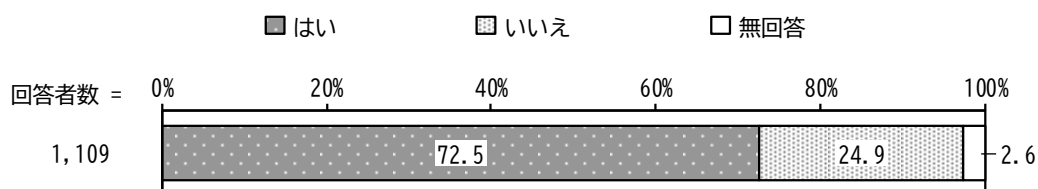
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、要支援認定者・総合事業対象者で「いいえ」の割合が高くなっています。



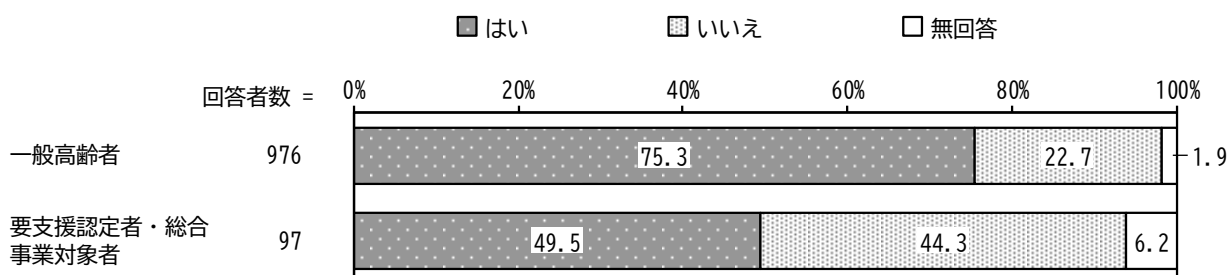
問5-14 家族や友人の相談にのっていますか

「はい」の割合が72.5%、「いいえ」の割合が24.9%となっています。



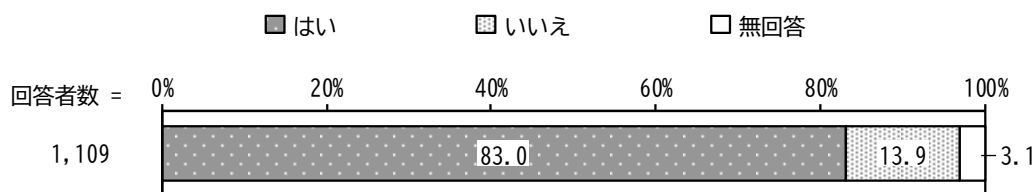
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、要支援認定者・総合事業対象者で「いいえ」の割合が高くなっています。



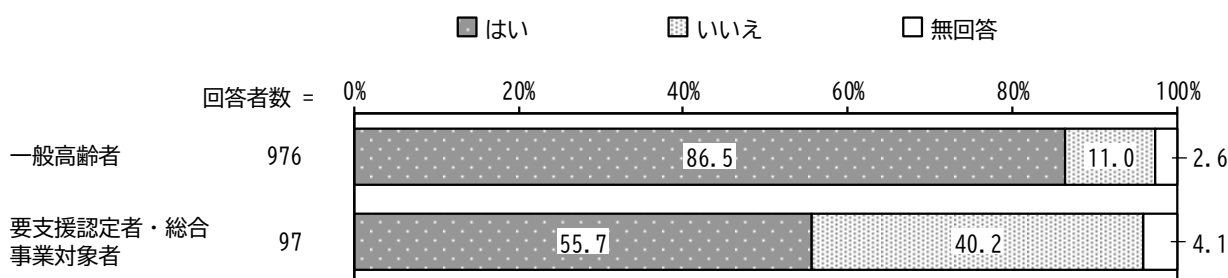
問5-15 病人を見舞うことができますか

「はい」の割合が83.0%、「いいえ」の割合が13.9%となっています。



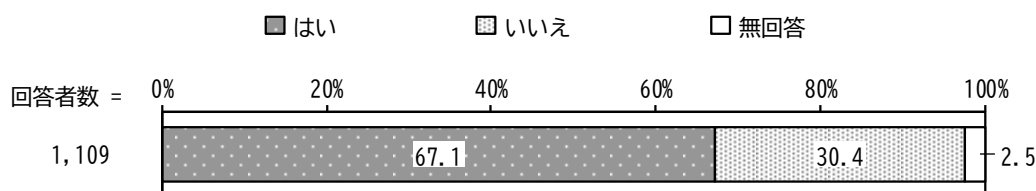
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、要支援認定者・総合事業対象者で「いいえ」の割合が高くなっています。



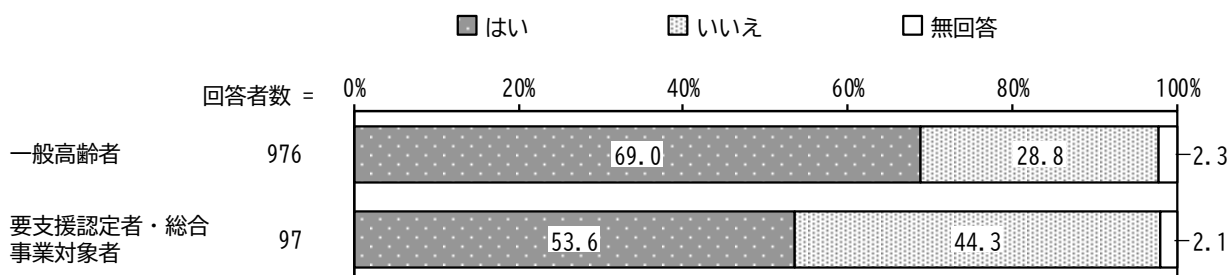
問5-16 若い人に自分から話しかけることがありますか

「はい」の割合が67.1%、「いいえ」の割合が30.4%となっています。



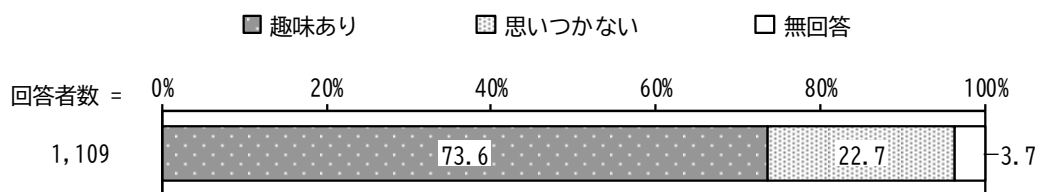
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、要支援認定者・総合事業対象者で「いいえ」の割合が高くなっています。



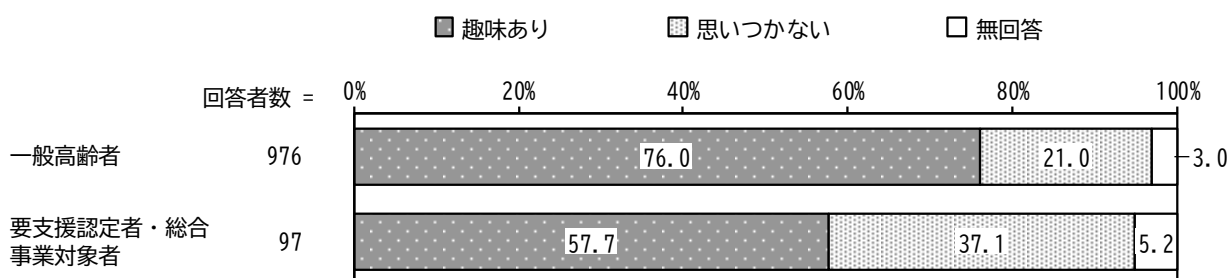
問5－17 趣味はありますか

「趣味あり」の割合が73.6%、「思いつかない」の割合が22.7%となっています。



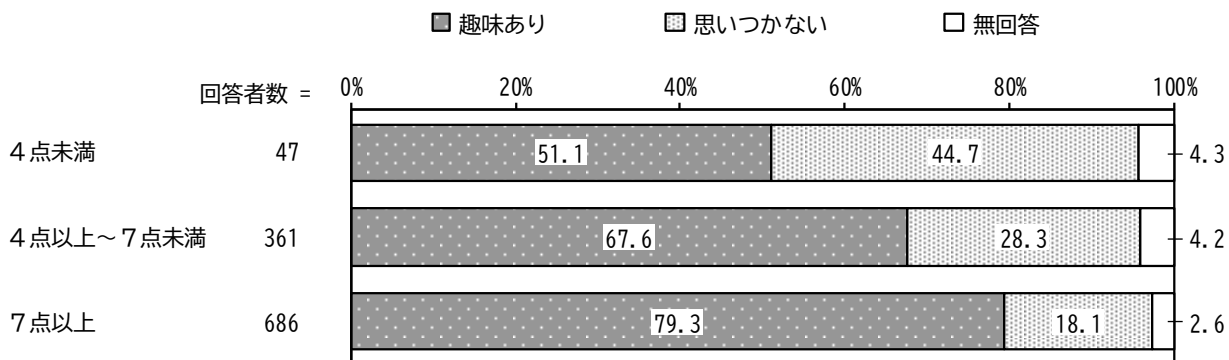
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、要支援認定者・総合事業対象者で「思いつかない」の割合が高くなっています。



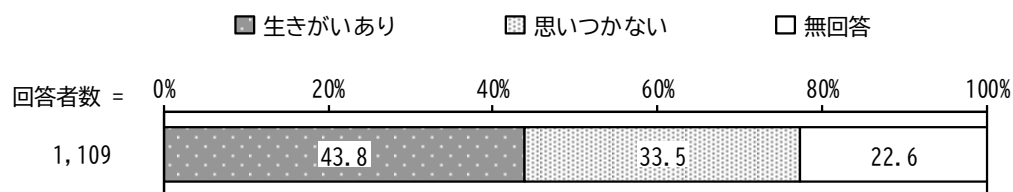
【幸福度別】

幸福度別にみると、4点未満で「思いつかない」の割合が高くなっています。



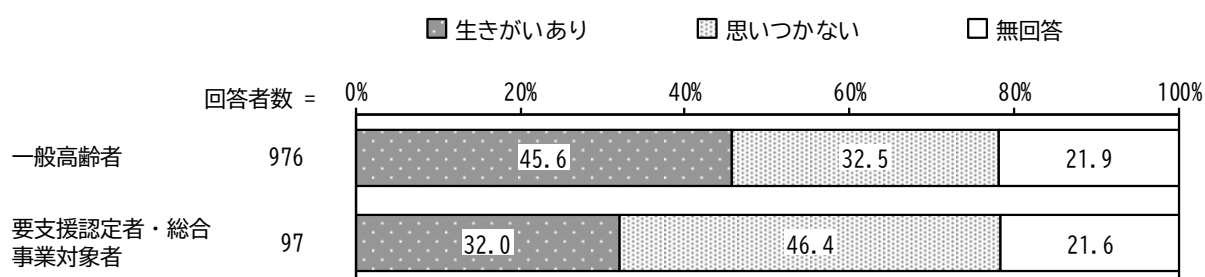
問5－18 生きがいがありますか

「生きがいあり」の割合が43.8%、「思いつかない」の割合が33.5%となっています。



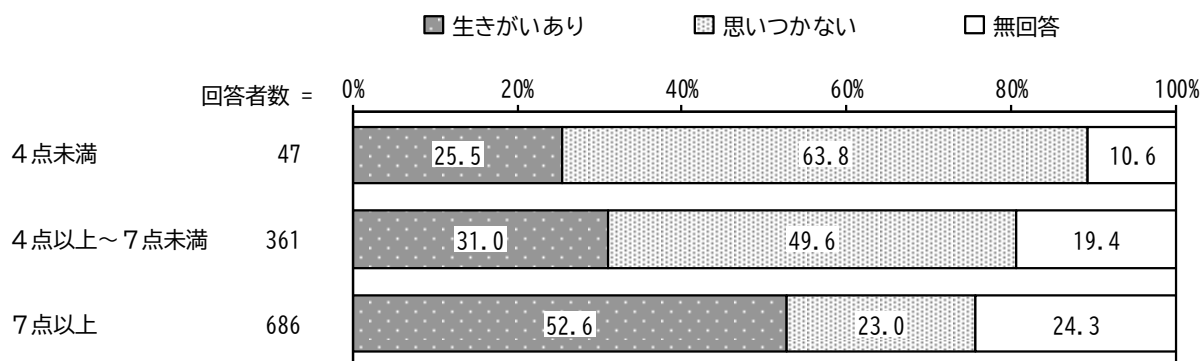
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、要支援認定者・総合事業対象者で「思いつかない」の割合が高くなっています。



【幸福度別】

幸福度別にみると、4点未満で「思いつかない」の割合が高くなっています。

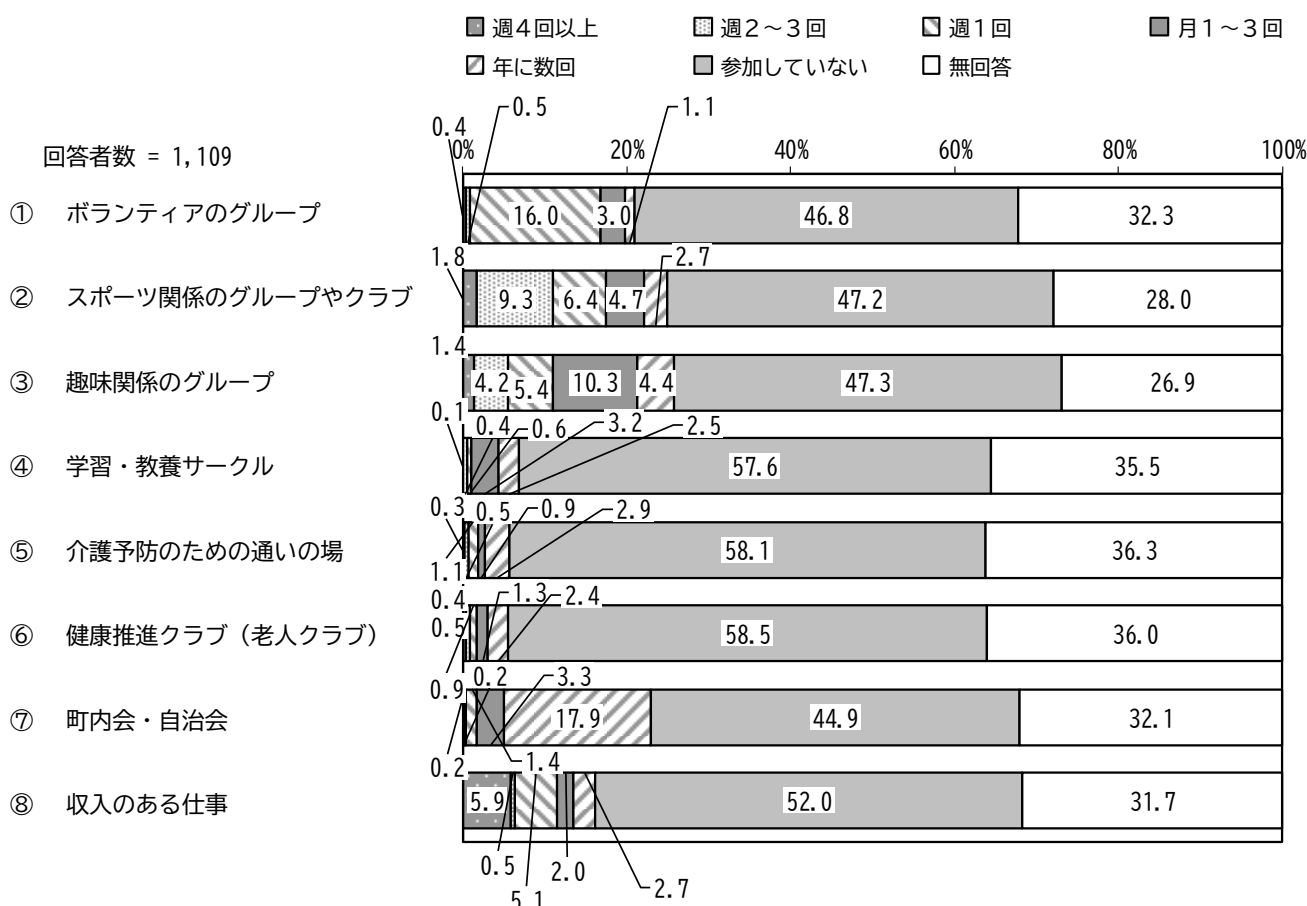


問6 地域での活動について

問6-1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※①から⑧それぞれに回答してください（それぞれに1つのみ）

『⑧ 収入のある仕事』で「週4回以上」が、『② スポーツ関係のグループやクラブ』で「週2～3回」が、『① ボランティアのグループ』で「週1回」が、『③ 趣味関係のグループ』で「月1～3回」が、『⑦ 町内会・自治会』で「年に数回」が、『⑥ 健康推進クラブ（老人クラブ）』で「参加していない」が高くなっています。

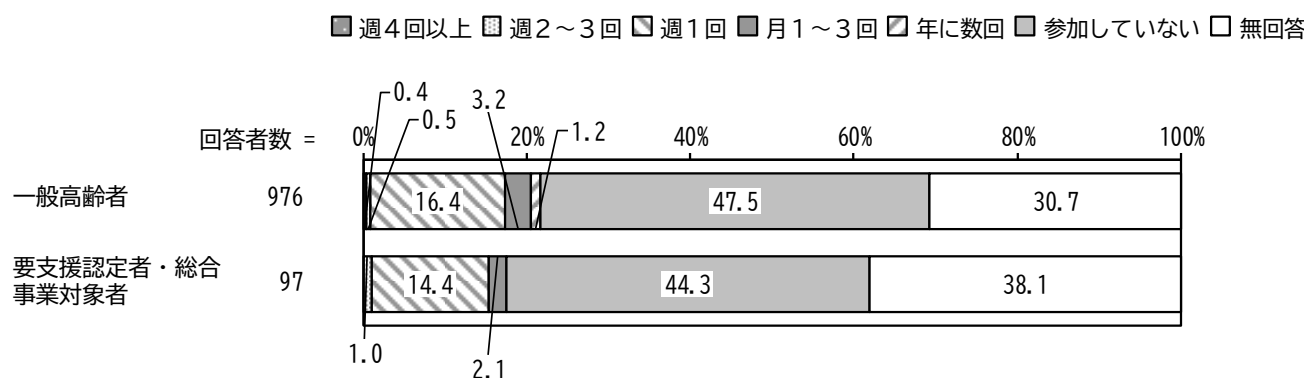


※参加していない、わからないために未記入となっている回答については無回答として集計しています。

①ボランティアのグループ

【認定別】

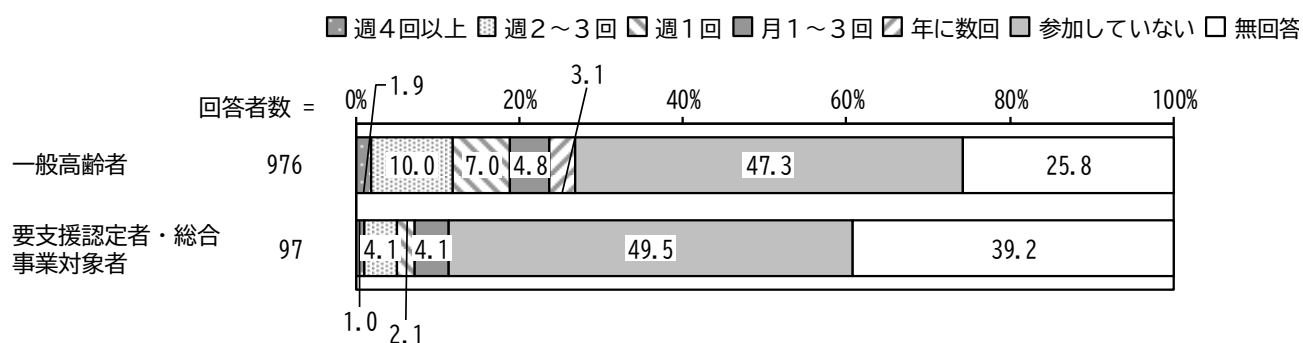
認定別にみると、大きな差はみられません。



② スポーツ関係のグループやクラブ

【認定別】

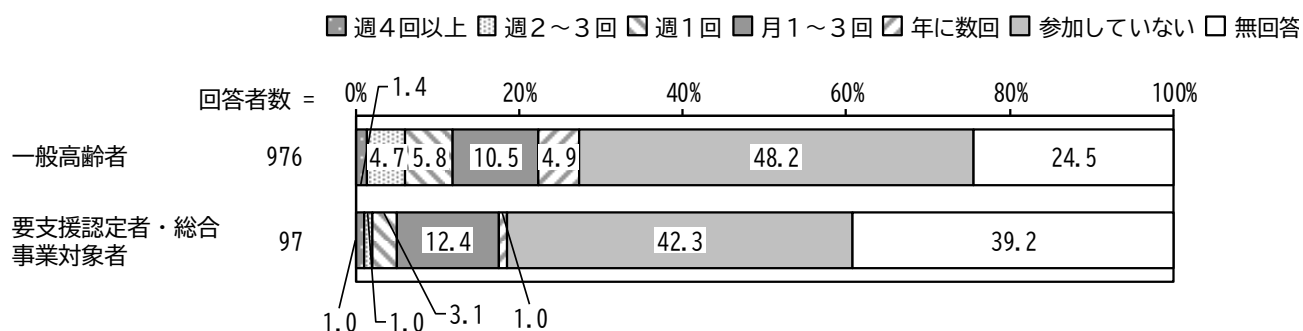
認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で“週1回以上”の割合が高くなっています。



③ 趣味関係のグループ

【認定別】

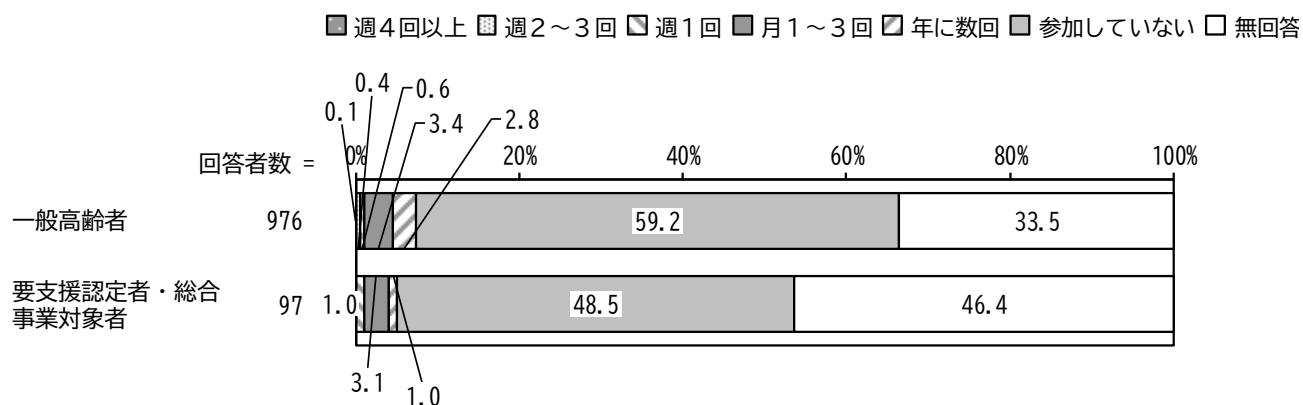
認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「参加していない」の割合が高くなっています。



④ 学習・教養サークル

【認定別】

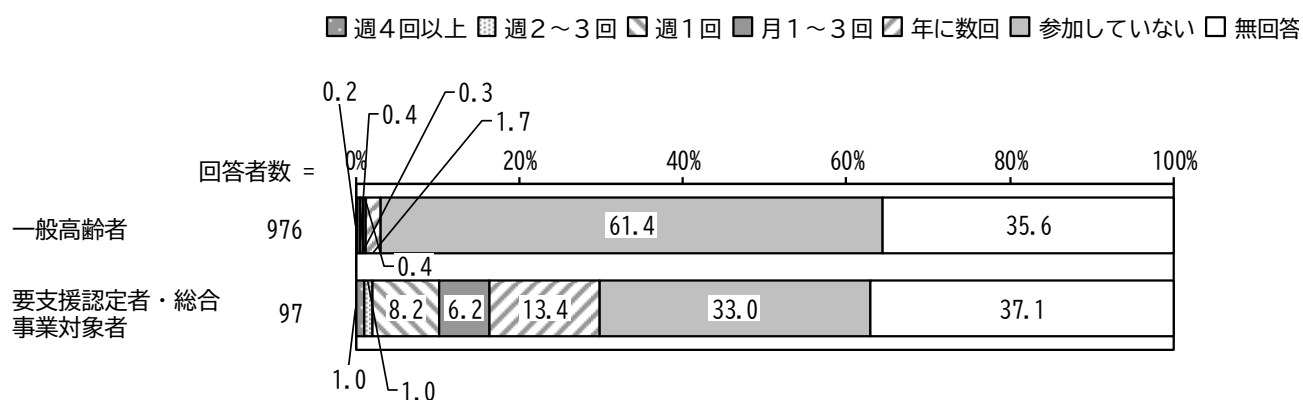
認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「参加していない」の割合が高くなっています。



⑤ 介護予防のための通いの場

【認定別】

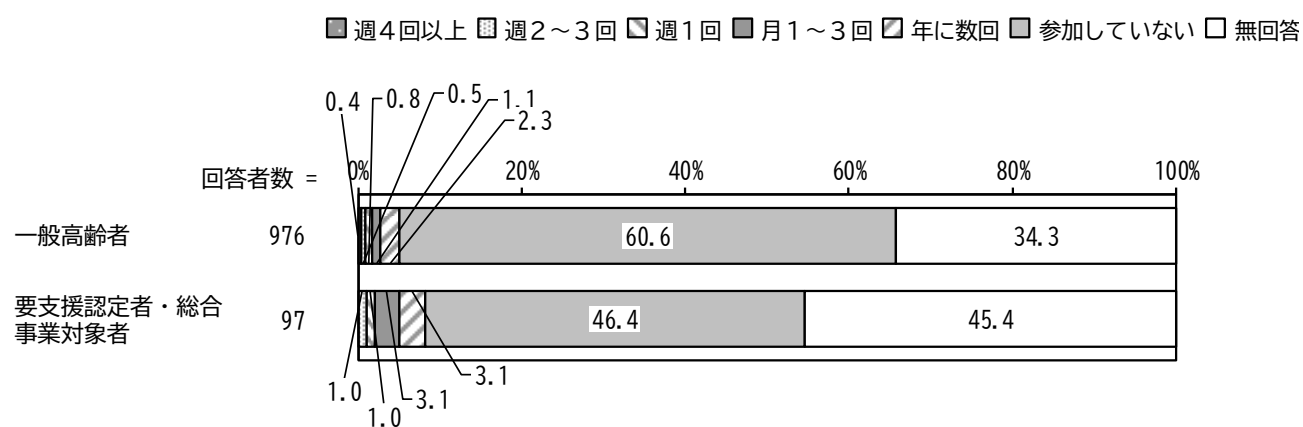
認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「参加していない」の割合が高くなっています。



⑥ 健康推進クラブ（老人クラブ）

【認定別】

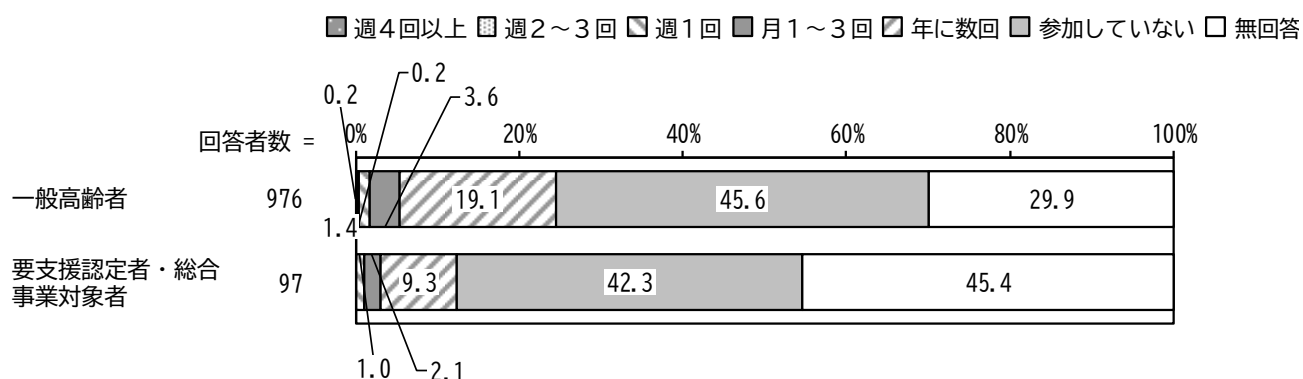
認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「参加していない」の割合が高くなっています。



⑦ 町内会・自治会

【認定別】

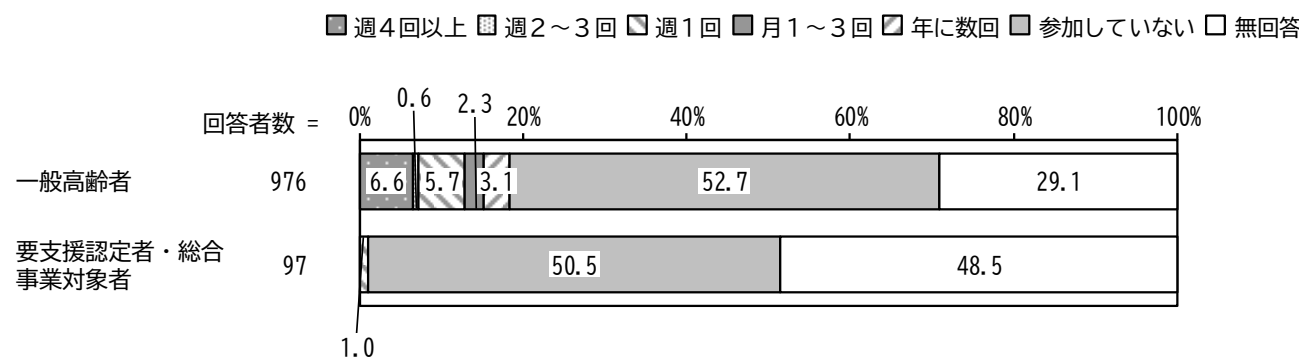
認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「年に数回」の割合が高くなっています。



⑧ 収入のある仕事

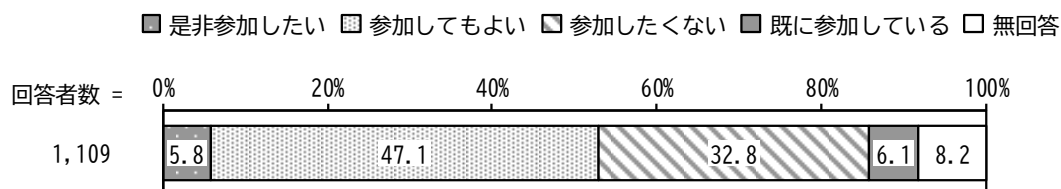
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「週4回以上」の割合が高くなっています。



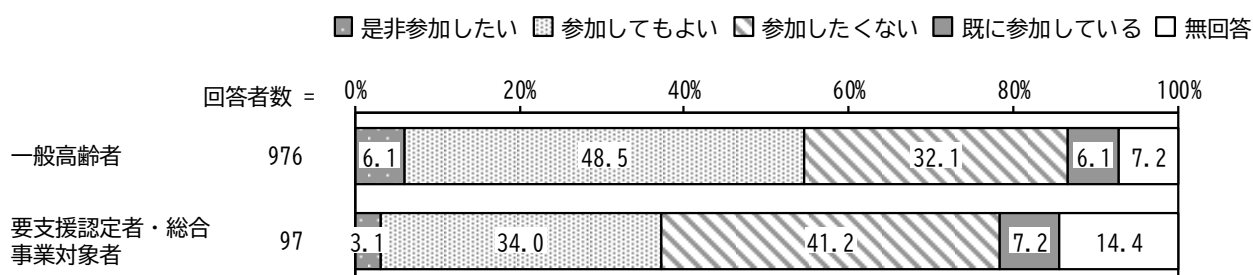
問6-2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（1つのみ）

「参加してもよい」の割合が47.1%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が32.8%となっています。



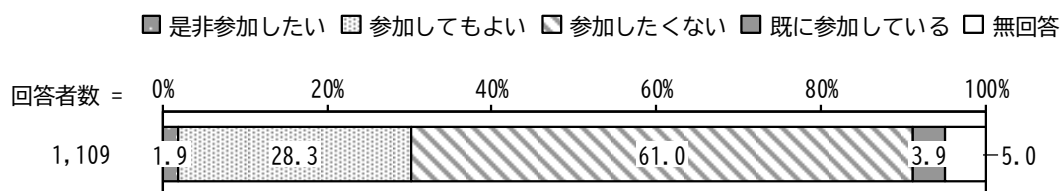
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「参加してもよい」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「参加したくない」の割合が高くなっています。



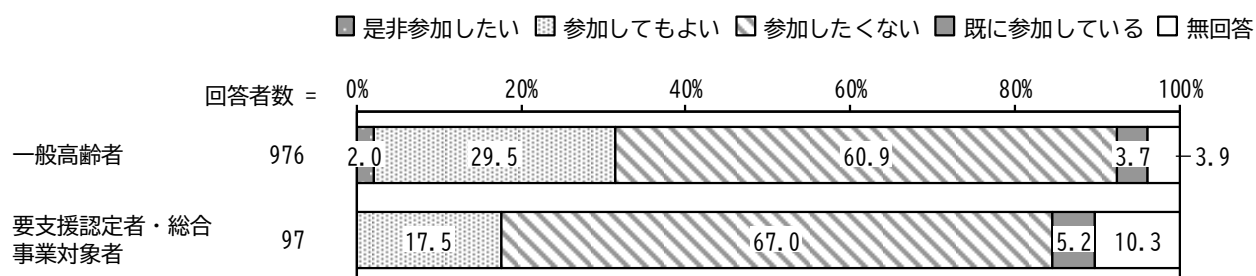
問6－3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（1つのみ）

「参加したくない」の割合が61.0%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が28.3%となっています。



【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「参加してもよい」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「参加したくない」の割合が高くなっています。

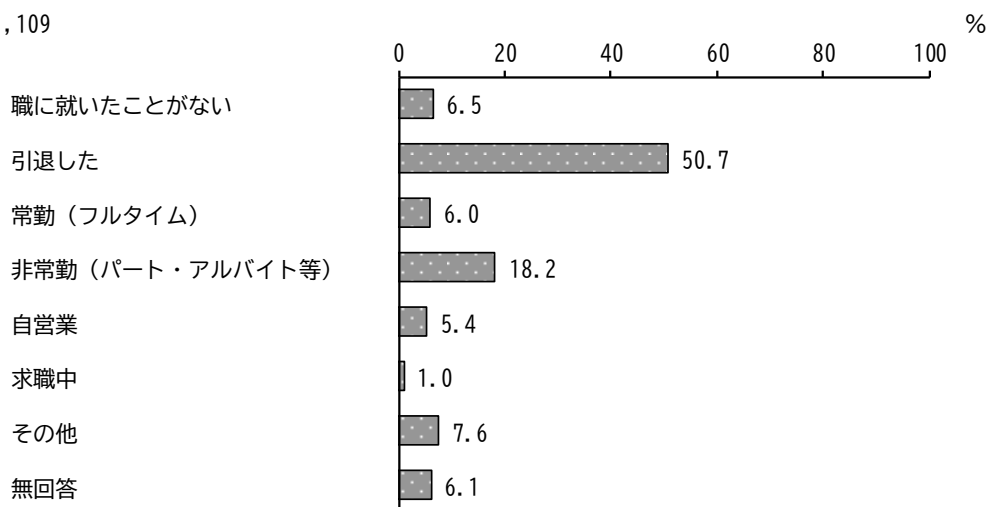


問7 就労について

問7-1 現在あなたの就労状態はどれですか（いくつでも）

「引退した」の割合が50.7%と最も高く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」の割合が18.2%となっています。

回答者数 = 1,109



【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「常勤（フルタイム）」「非常勤（パート・アルバイト等）」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「職に就いたことがない」「引退した」の割合が高くなっています。

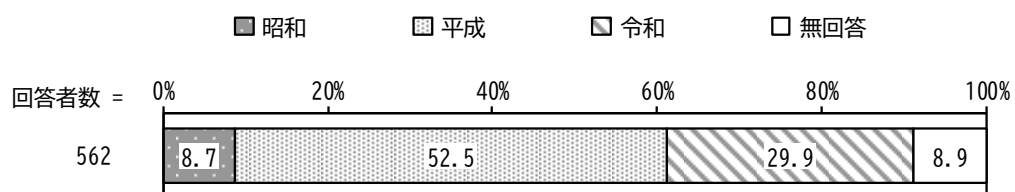
単位：%

区分	回答者数 (件)	職に就いたことがない	引退した	常勤（フルタイム）	非常勤（パート・アルバイト等）	自営業	求職中	その他	無回答
全 体	1,109	6.5	50.7	6.0	18.2	5.4	1.0	7.6	6.1
一般高齢者	976	5.7	50.6	6.7	20.0	5.5	1.1	7.2	4.9
要支援認定者・総合事業対象者	97	14.4	57.7	0.0	3.1	3.1	0.0	11.3	10.3

【問7－1で「引退した」方のみ】

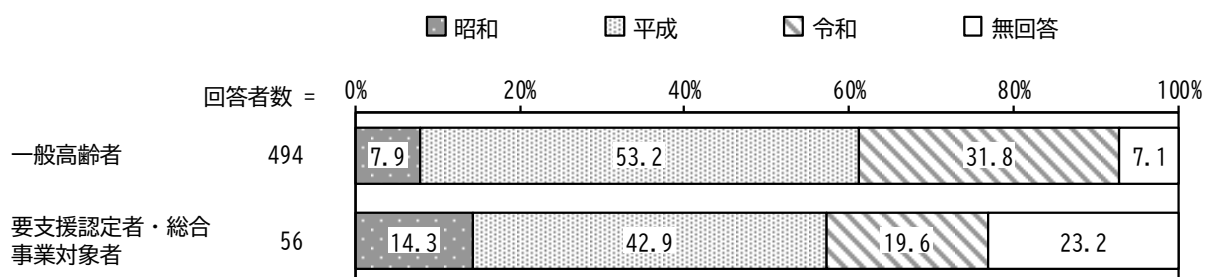
① あなたはいつ引退しましたか

「昭和」の割合が8.7%、「平成」の割合が52.5%、「令和」の割合が29.9%となっています。



【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「平成」「令和」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「昭和」の割合が高くなっています。

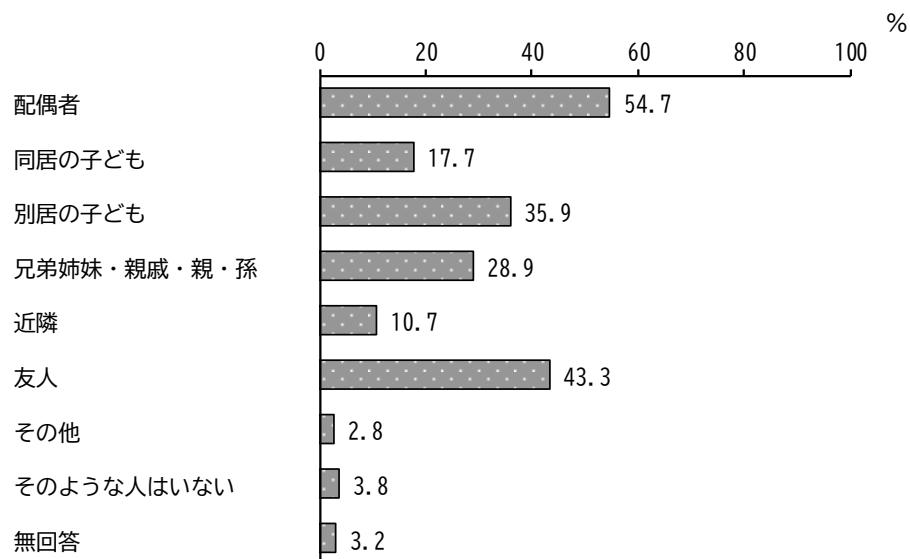


問8 たすけあいについて

問8-1 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が54.7%と最も高く、次いで「友人」の割合が43.3%、「別居の子ども」の割合が35.9%となっています。

回答者数 = 1,109



【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「配偶者」「友人」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「近隣」の割合が高くなっています。

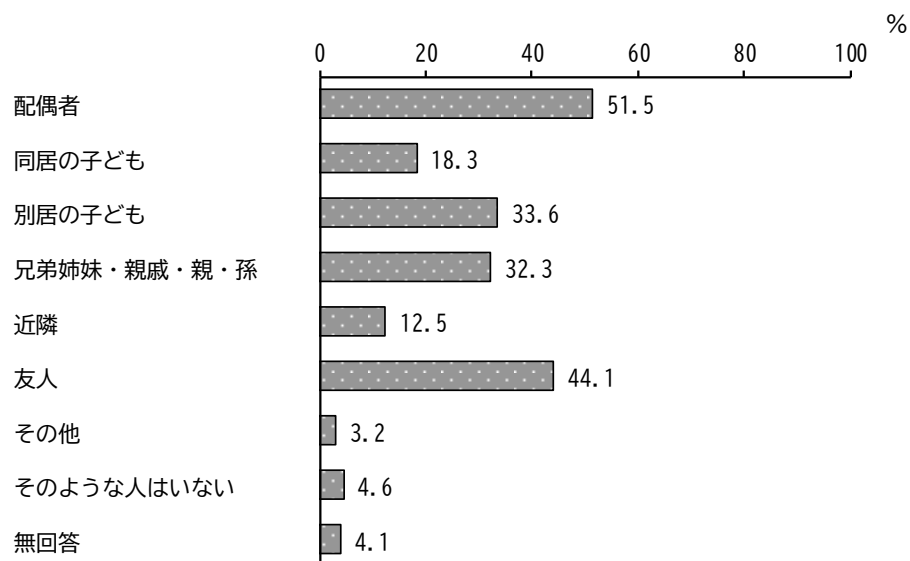
単位：%

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	1,109	54.7	17.7	35.9	28.9	10.7	43.3	2.8	3.8	3.2
一般高齢者	976	57.0	17.3	35.9	29.6	10.2	44.4	2.7	3.6	2.9
要支援認定者・総合事業対象者	97	34.0	18.6	37.1	26.8	16.5	38.1	4.1	5.2	3.1

問８－２ 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が51.5%と最も高く、次いで「友人」の割合が44.1%、「別居の子ども」の割合が33.6%となっています。

回答者数 = 1,109



【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「配偶者」「友人」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

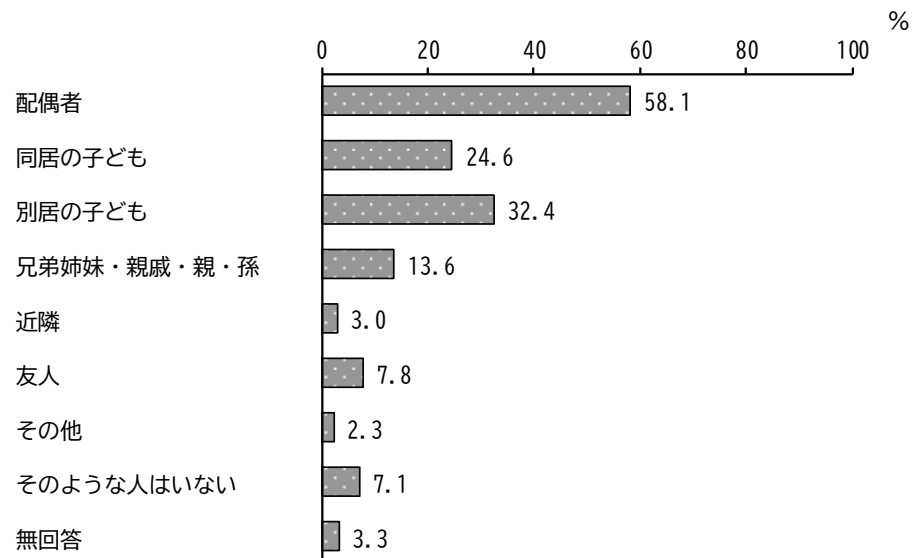
単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	1,109	51.5	18.3	33.6	32.3	12.5	44.1	3.2	4.6	4.1
一般高齢者	976	53.7	18.3	33.8	33.0	12.4	45.8	3.1	4.1	3.6
要支援認定者・総合事業対象者	97	30.9	17.5	34.0	30.9	14.4	33.0	3.1	9.3	4.1

問８－３ あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が58.1%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が32.4%、「同居の子ども」の割合が24.6%となっています。

回答者数 = 1,109



【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「配偶者」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「同居の子ども」「別居の子ども」の割合が高くなっています。

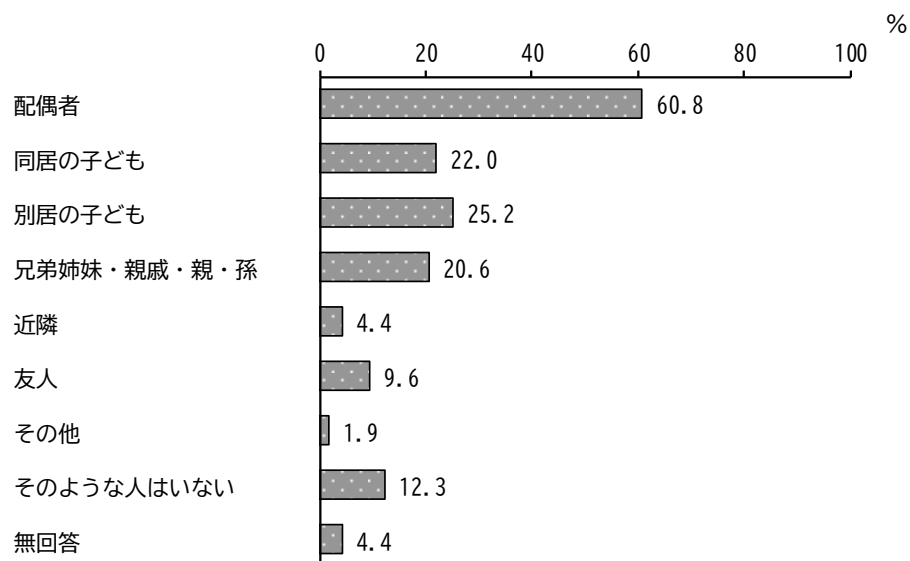
単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	1,109	58.1	24.6	32.4	13.6	3.0	7.8	2.3	7.1	3.3
一般高齢者	976	60.5	24.1	31.3	14.0	2.6	7.5	1.9	6.9	2.9
要支援認定者・総合事業対象者	97	37.1	30.9	43.3	12.4	7.2	11.3	3.1	10.3	3.1

問8－4 反対に、看病や世話をしあげる人（いくつでも）

「配偶者」の割合が60.8%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が25.2%、「同居の子ども」の割合が22.0%となっています。

回答者数 = 1,109



【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「配偶者」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

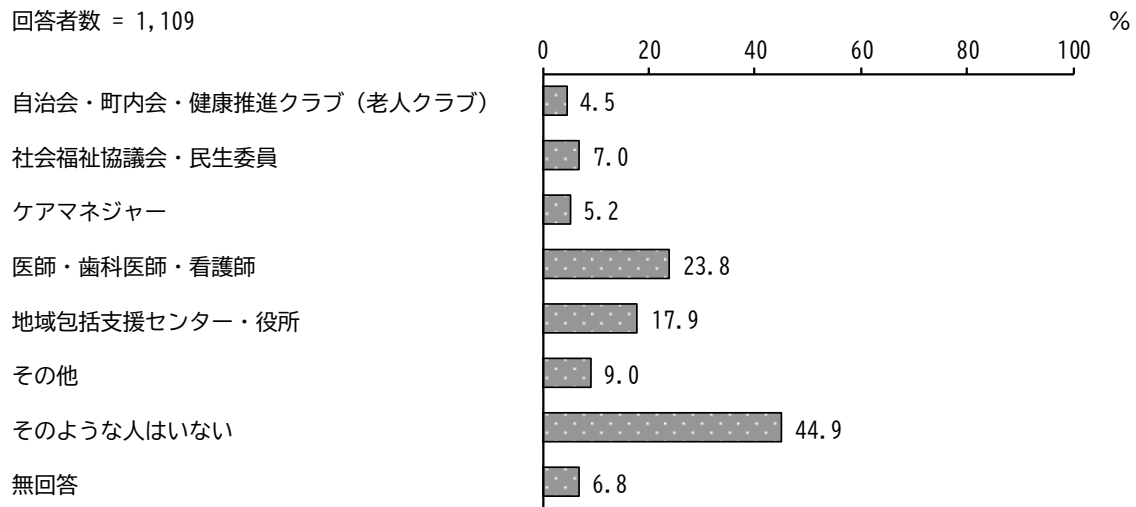
単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	1,109	60.8	22.0	25.2	20.6	4.4	9.6	1.9	12.3	4.4
一般高齢者	976	63.5	22.3	26.3	22.0	4.1	9.6	1.6	9.9	3.9
要支援認定者・総合事業対象者	97	36.1	19.6	15.5	11.3	8.2	9.3	3.1	33.0	5.2

問８－５ 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

「そのような人はいない」の割合が 44.9%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」の割合が 23.8%、「地域包括支援センター・役所」の割合が 17.9%となっています。

回答者数 = 1,109



【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

要支援認定者・総合事業対象者で「社会福祉協議会・民生委員」「ケアマネジャー」「地域包括支援センター・役所」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	自治会・町内会・健康推進クラブ（老人クラブ）	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	1,109	4.5	7.0	5.2	23.8	17.9	9.0	44.9	6.8
一般高齢者	976	4.4	6.4	2.9	24.3	15.8	9.9	46.8	6.5
要支援認定者・総合事業対象者	97	7.2	12.4	26.8	23.7	39.2	1.0	26.8	6.2

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、豊岡東圏域、金子圏域で「医師・歯科医師・看護師」、金子圏域で「地域包括支援センター・役所」、藤沢圏域で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自治会・町内会・健康推 進クラブ(老人クラブ)	社会福祉協議会・民生 委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センタ ー・役所	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	1,109	4.5	7.0	5.2	23.8	17.9	9.0	44.9	6.8
豊岡東圏域	133	3.8	6.0	9.0	30.8	16.5	7.5	41.4	7.5
豊岡西圏域	134	1.5	7.5	6.7	25.4	16.4	6.0	47.8	6.7
豊岡北圏域	117	8.5	8.5	1.7	17.9	16.2	10.3	43.6	9.4
東金子圏域	134	3.0	6.7	3.0	25.4	17.2	11.2	41.8	7.5
金子圏域	76	6.6	5.3	5.3	28.9	25.0	11.8	32.9	6.6
宮寺・二本木圏域	84	6.0	9.5	4.8	15.5	17.9	7.1	50.0	10.7
藤沢圏域	159	2.5	8.2	5.7	18.9	17.0	8.8	54.7	3.8
東藤沢圏域	96	3.1	4.2	5.2	21.9	21.9	8.3	46.9	5.2
西武圏域	158	7.0	6.3	4.4	25.9	16.5	10.1	42.4	6.3

【家族構成別】

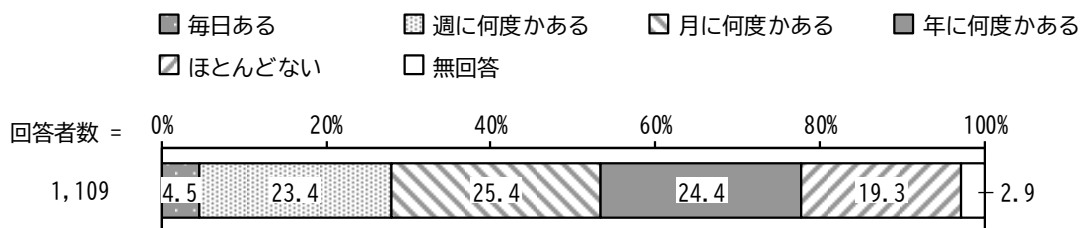
家族構成別にみると、1人暮らしで「地域包括支援センター・役所」、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）で「医師・歯科医師・看護師」、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自治会・町内会・健康推 進クラブ(老人クラブ)	社会福祉協議会・民生 委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センタ ー・役所	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	1,109	4.5	7.0	5.2	23.8	17.9	9.0	44.9	6.8
1人暮らし	213	3.8	10.3	5.2	20.2	22.1	5.2	43.2	9.4
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	478	4.2	6.5	4.6	27.4	18.2	7.9	44.8	5.2
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	40	2.5	2.5	2.5	17.5	10.0	17.5	60.0	2.5
息子・娘との2世帯	181	6.6	5.0	6.1	23.8	17.1	8.3	43.6	8.3
その他	176	4.5	5.7	6.8	20.5	14.8	15.3	45.5	6.8

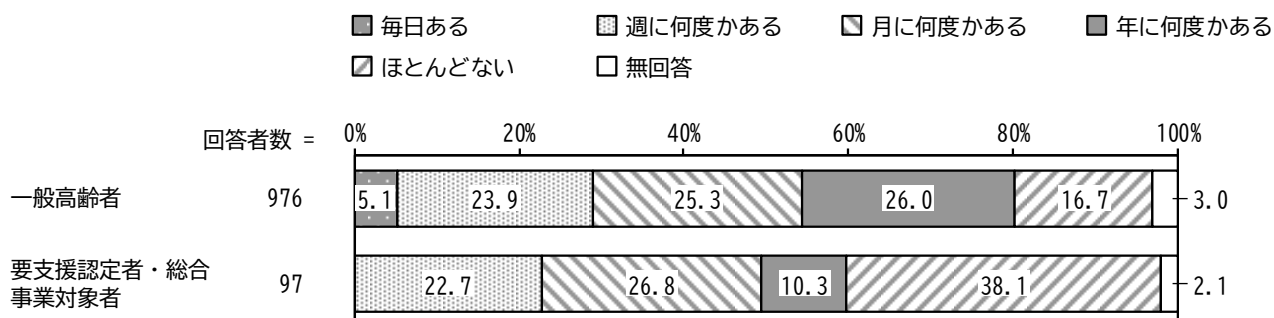
問8－6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（1つのみ）

「月に何度かある」の割合が25.4%と最も高く、次いで「年に何度かある」の割合が24.4%、「週に何度かある」の割合が23.4%となっています。



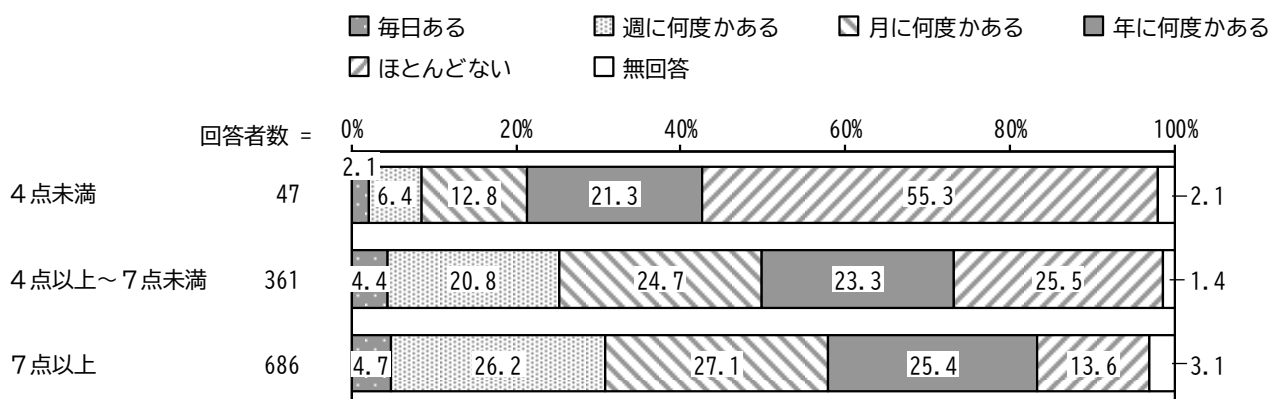
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「毎日ある」「年に何度かある」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「ほとんどない」の割合が高くなっています。



【幸福度別】

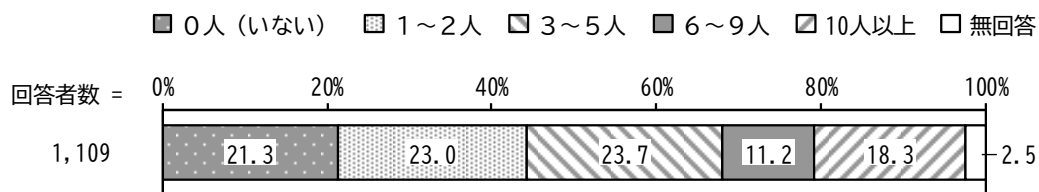
幸福度別にみると、4点未満で「ほとんどない」の割合が高く、「週に何度かある」「月に何度かある」の割合が低くなっています。



問8－7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか

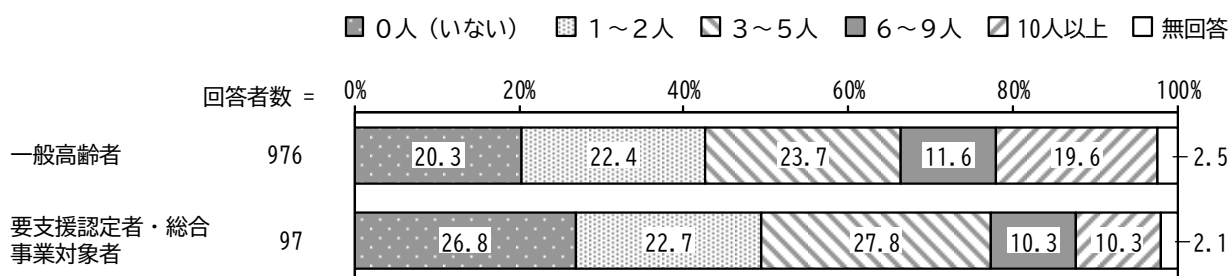
同じ人には何度会っても1人と数えることとします（1つのみ）

「3～5人」の割合が23.7%と最も高く、次いで「1～2人」の割合が23.0%、「0人（いない）」の割合が21.3%となっています。



【認定別】

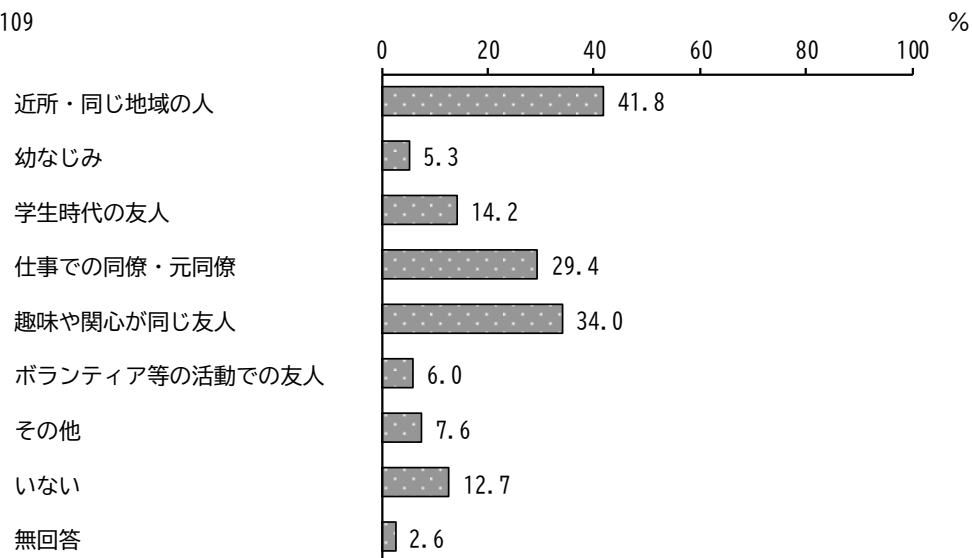
認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「10人以上」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「0人（いない）」の割合が高くなっています。



問8－8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも）

「近所・同じ地域の人」の割合が41.8%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」の割合が34.0%、「仕事での同僚・元同僚」の割合が29.4%となっています。

回答者数 = 1,109



【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「学生時代の友人」「仕事での同僚・元同僚」「趣味や関心が同じ友人」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「近所・同じ地域の人」「幼なじみ」「いない」の割合が高くなっています。

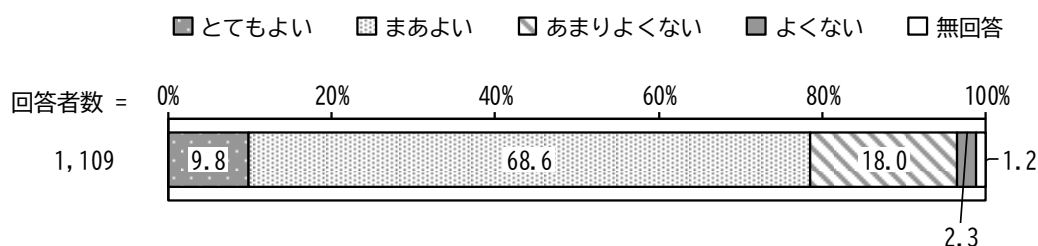
単位：%

区分	回答者数 (件)	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全 体	1,109	41.8	5.3	14.2	29.4	34.0	6.0	7.6	12.7	2.6
一般高齢者	976	41.5	4.7	15.7	31.6	35.9	6.0	7.2	11.3	2.0
要支援認定者・総合事業対象者	97	47.4	12.4	3.1	13.4	21.6	6.2	11.3	22.7	6.2

問9 健康について

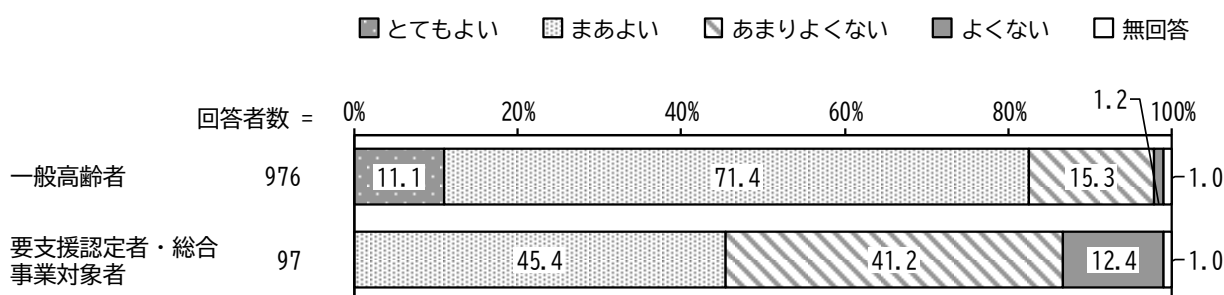
問9-1 現在のあなたの健康状態はいかがですか（1つのみ）

「まあよい」の割合が68.6%と最も高く、次いで「あまりよくない」の割合が18.0%となっています。



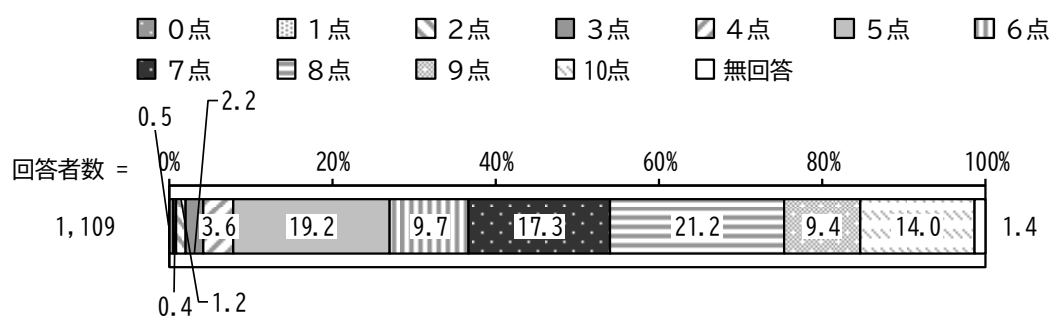
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「とてもよい」「まあよい」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「あまりよくない」「よくない」の割合が高くなっています。



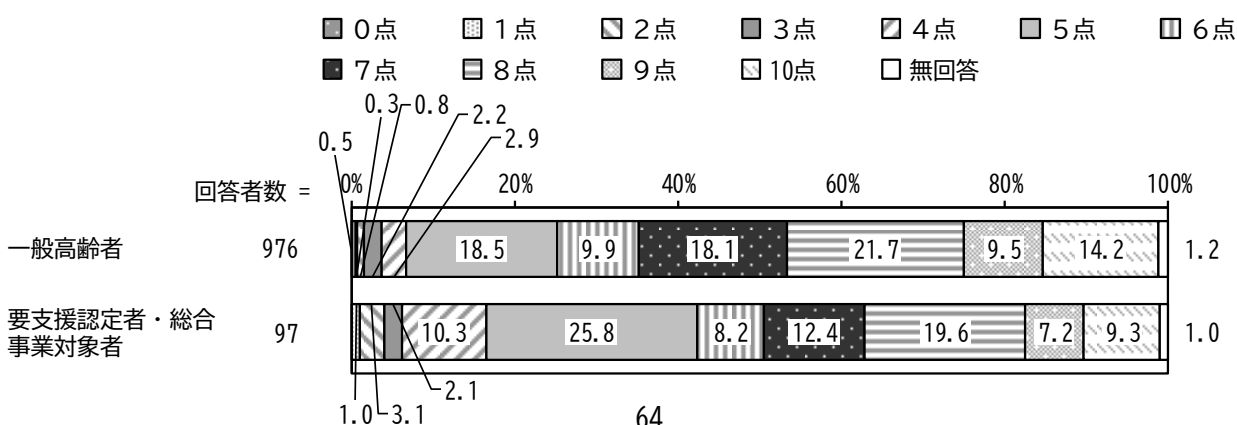
問9-2 あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

「8点」の割合が21.2%と最も高く、次いで「5点」の割合が19.2%、「7点」の割合が17.3%となっています。



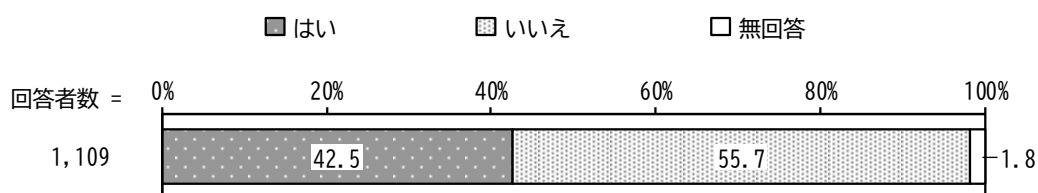
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「7点」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「4点」「5点」の割合が高くなっています。



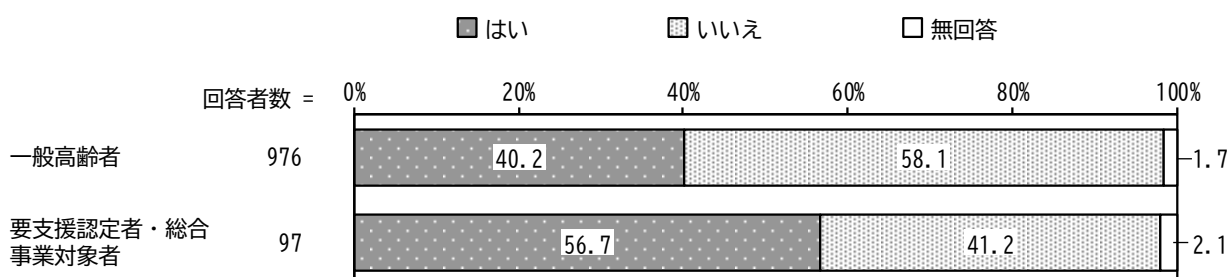
問9-3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

「はい」の割合が42.5%、「いいえ」の割合が55.7%となっています。



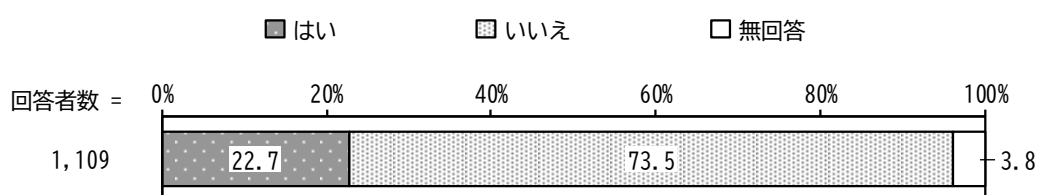
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、要支援認定者・総合事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。



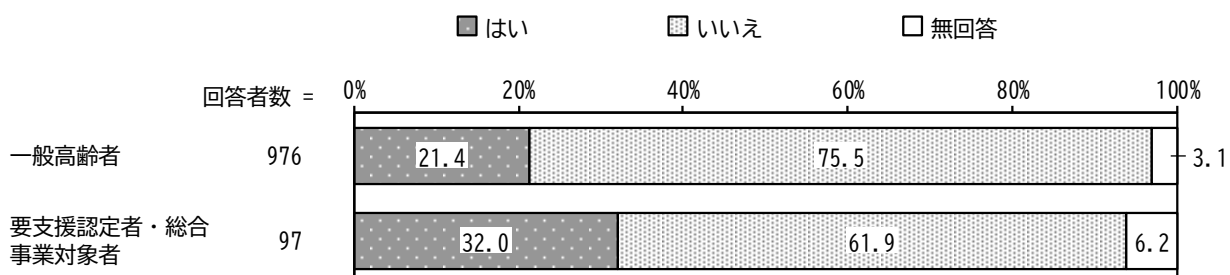
問9-4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

「はい」の割合が22.7%、「いいえ」の割合が73.5%となっています。



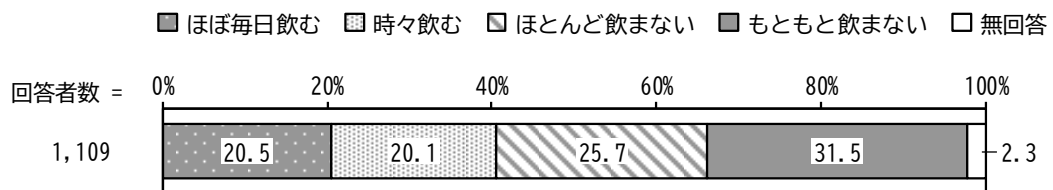
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、要支援認定者・総合事業対象者で「はい」の割合が高くなっています。



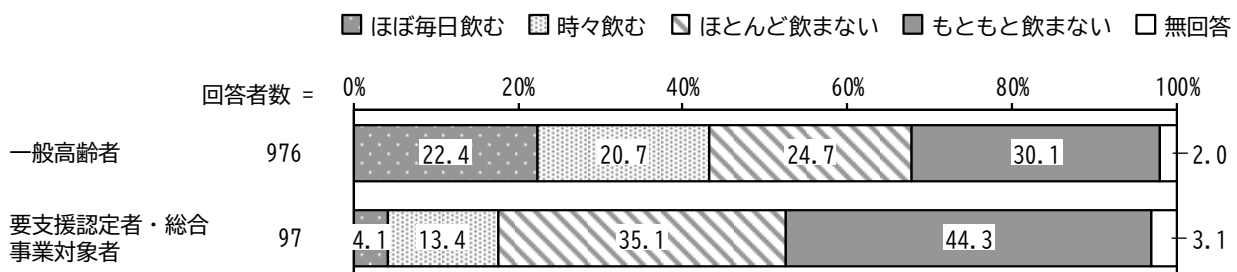
問9-5 お酒は飲みますか（1つのみ）

「もともと飲まない」の割合が 31.5%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」の割合が 25.7%、「ほぼ毎日飲む」の割合が 20.5%となっています。



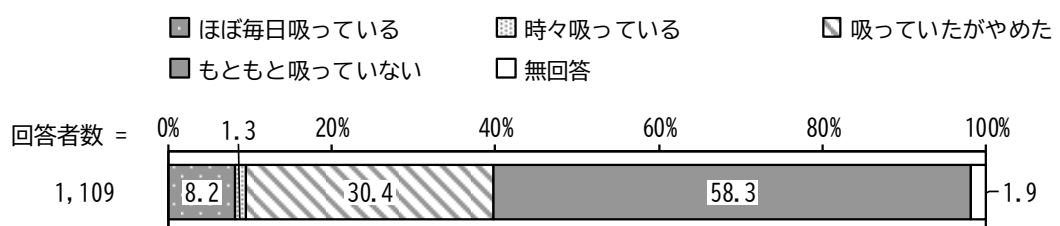
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「ほぼ毎日飲む」「時々飲む」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「ほとんど飲まない」「もともと飲まない」の割合が高くなっています。



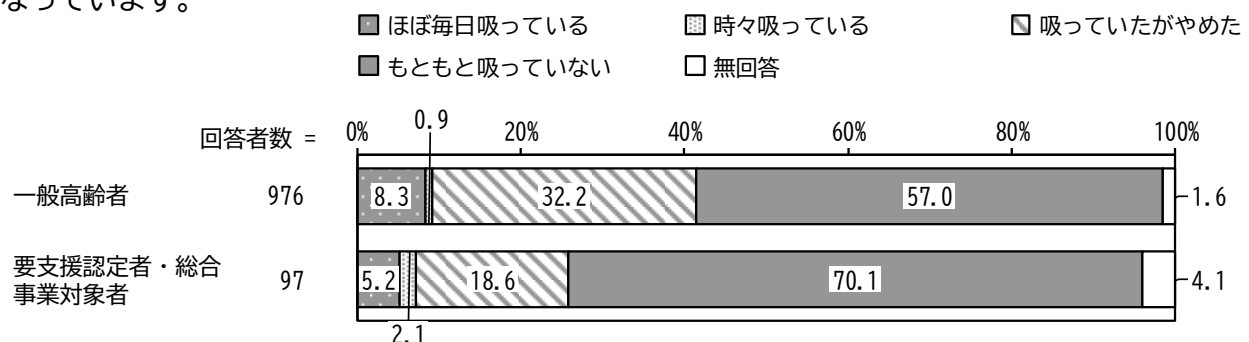
問9-6 タバコは吸っていますか（1つのみ）

「もともと吸っていない」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が 30.4%となっています。



【認定別】

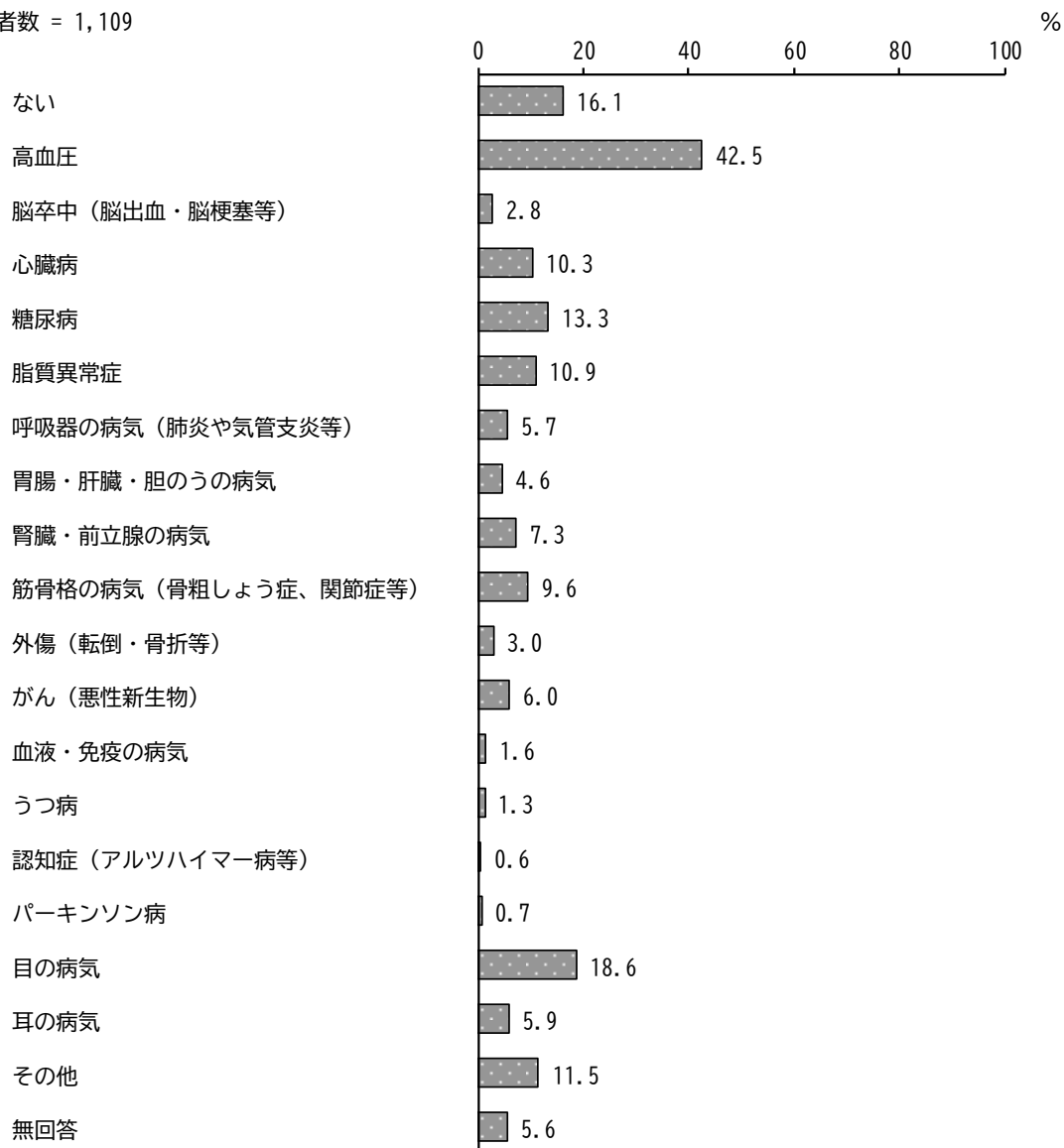
認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「吸っていたがやめた」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「もともと吸っていない」の割合が高くなっています。



問9－7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

「高血圧」の割合が42.5%と最も高く、次いで「目の病気」の割合が18.6%、「ない」の割合が16.1%となっています。

回答者数 = 1,109



【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「ない」「脂質異常症」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「心臓病」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」「外傷（転倒・骨折等）」「パーキンソン病」「目の病気」の割合が高くなっています。

単位：％

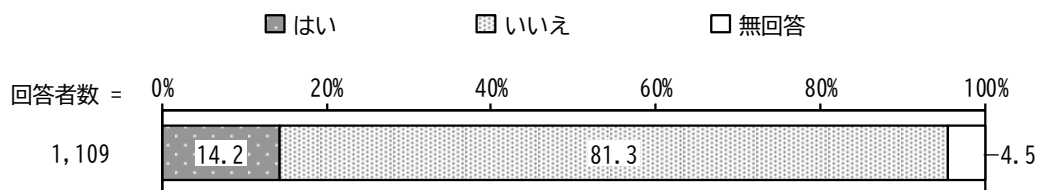
区分	回答者数 (件)	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	脂質異常症	呼吸器の病気 (肺炎や 気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの 病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、 関節症等)
全 体	1,109	16.1	42.5	2.8	10.3	13.3	10.9	5.7	4.6	7.3	9.6
一般高齢者	976	17.6	42.1	2.2	9.1	13.0	11.6	4.9	4.7	6.9	8.7
要支援認定者・総合事業対象者	97	5.2	44.3	8.2	17.5	15.5	6.2	9.3	5.2	11.3	17.5

区分	外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全 体	3.0	6.0	1.6	1.3	0.6	0.7	18.6	5.9	11.5	5.6
一般高齢者	2.3	5.8	1.6	1.0	0.2	0.2	18.2	6.0	11.5	5.4
要支援認定者・総合事業対象者	9.3	6.2	2.1	4.1	2.1	6.2	23.7	6.2	13.4	6.2

問 10 認知症にかかる相談窓口の把握について

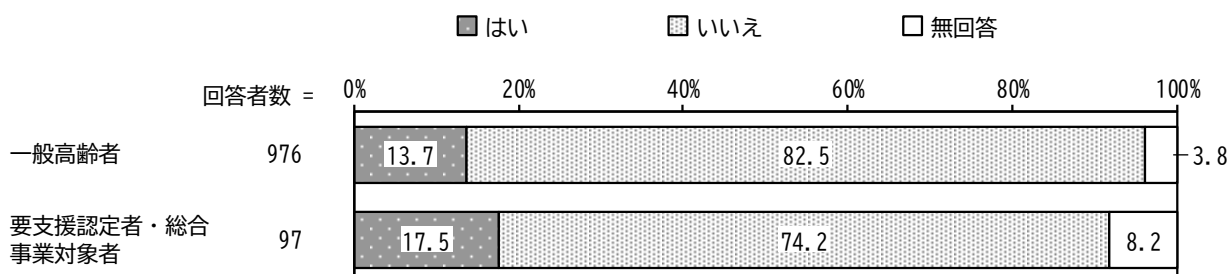
問 10－1 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか

「はい」の割合が 14.2%、「いいえ」の割合が 81.3%となっています。



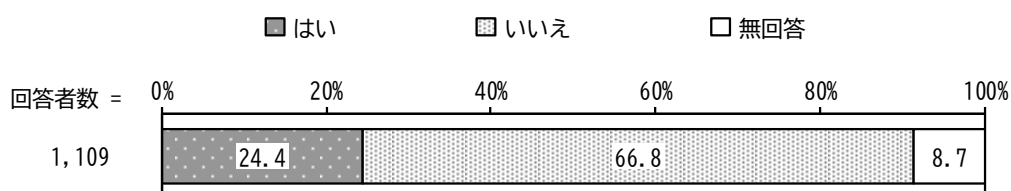
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。



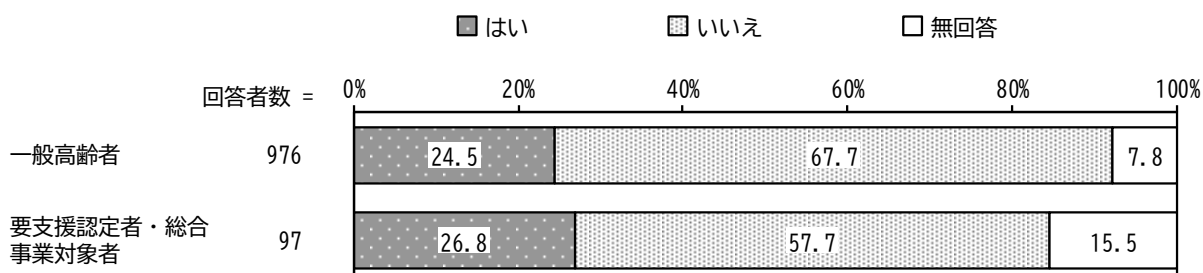
問 10－2 認知症に関する相談窓口を知っていますか

「はい」の割合が 24.4%、「いいえ」の割合が 66.8%となっています。



【認定別】

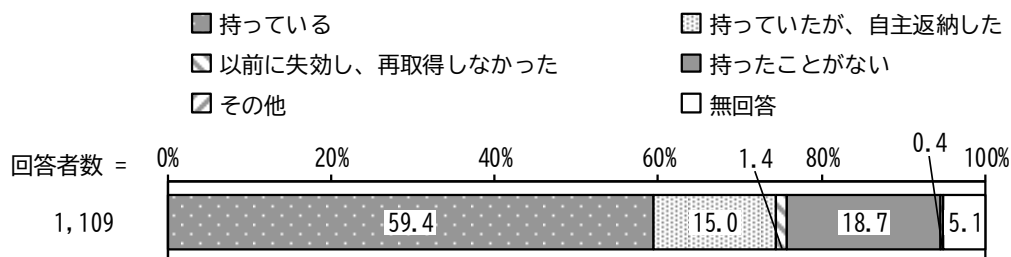
認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。



問 11 その他について

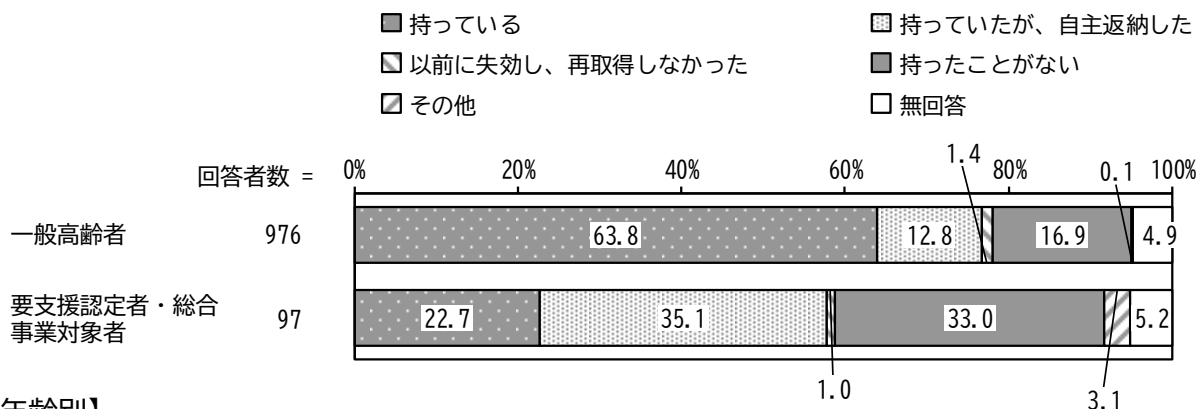
問 11－1 自動車運転免許証をお持ちですか（1つのみ）

「持っている」の割合が 59.4%と最も高く、次いで「持ったことがない」の割合が 18.7%、「持っていたが、自主返納した」の割合が 15.0%となっています。



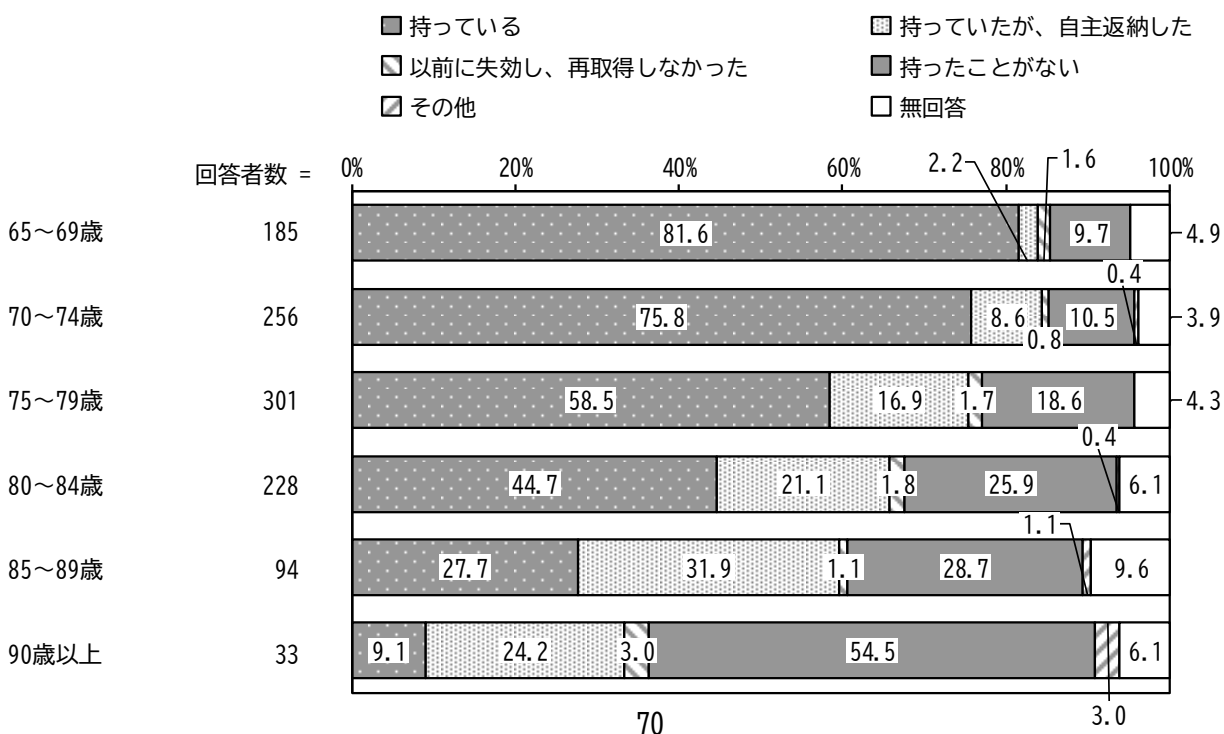
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「持っている」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「持っていたが、自主返納した」「持ったことがない」の割合が高くなっています。



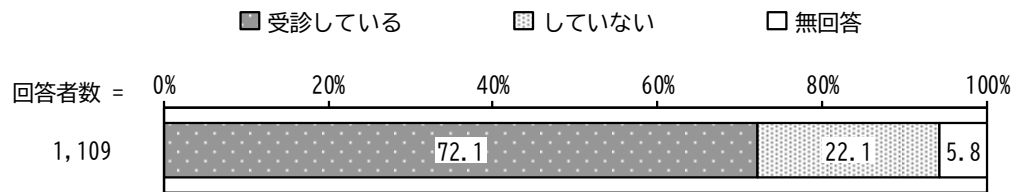
【年齢別】

年齢別にみると、65～69歳で「持っている」、85～89歳で「持っていたが、自主返納した」、90歳以上で「持ったことがない」の割合が高くなっています。



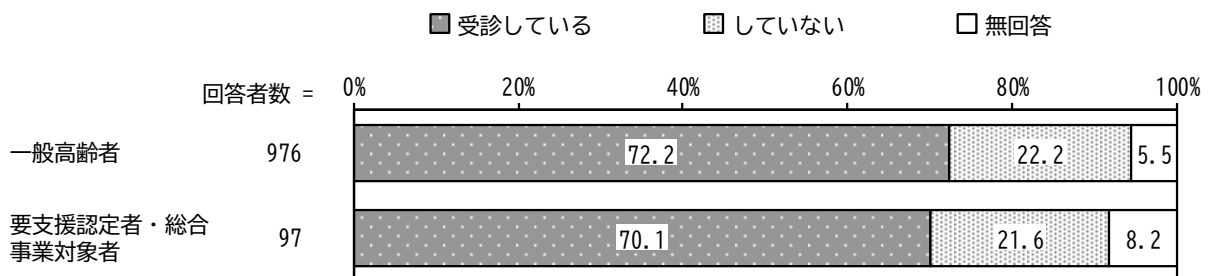
問 11－2 定期的に健康診断を受診されていますか

「受診している」の割合が 72.1%、「していない」の割合が 22.1%となっています。



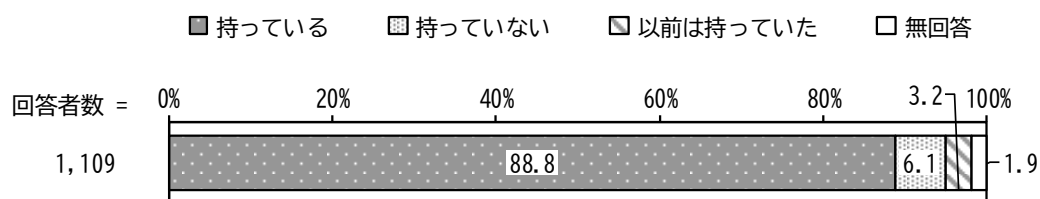
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



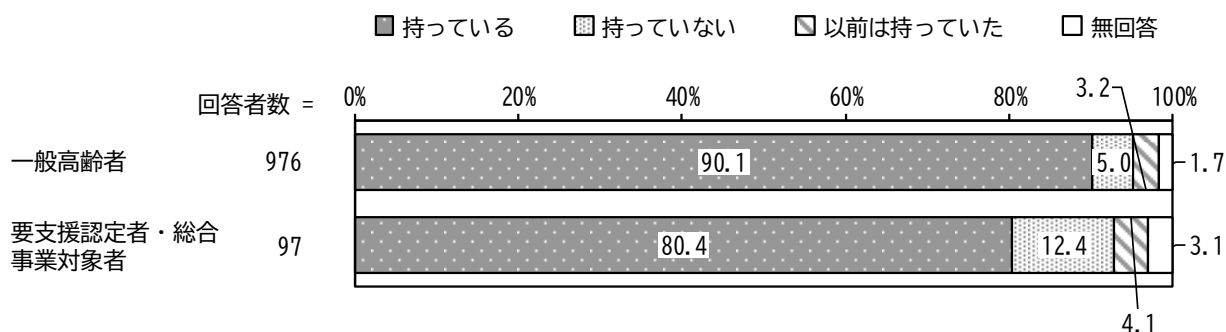
問 11－3 携帯電話（スマートフォン含む）を持っていますか（1つのみ）

「持っている」の割合が 88.8%、「持っていない」の割合が 6.1%、「以前は持っていた」の割合が 3.2%となっています。



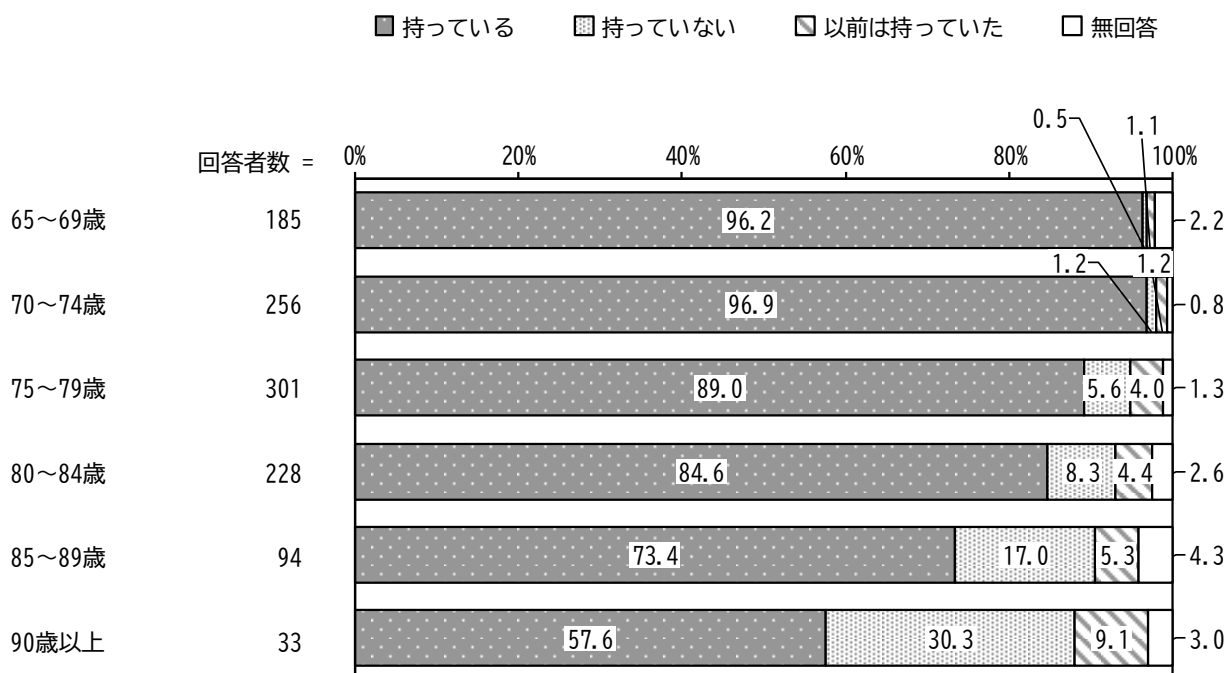
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「持っている」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「持っていない」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別にみると、65～69歳、70～74歳で「持っている」、90歳以上で「持っていない」の割合が高くなっています。

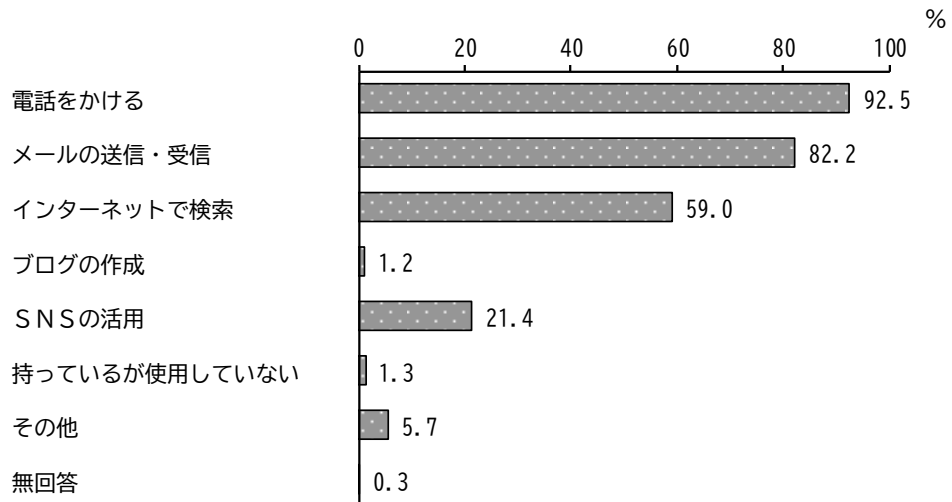


【問11-3で「持っている」の方のみ】

① あなたが携帯電話（スマートフォン含む）でしていることを教えてください
(いくつでも)

「電話をかける」の割合が92.5%と最も高く、次いで「メールの送信・受信」の割合が82.2%、「インターネットで検索」の割合が59.0%となっています。

回答者数 = 985



【認定別】

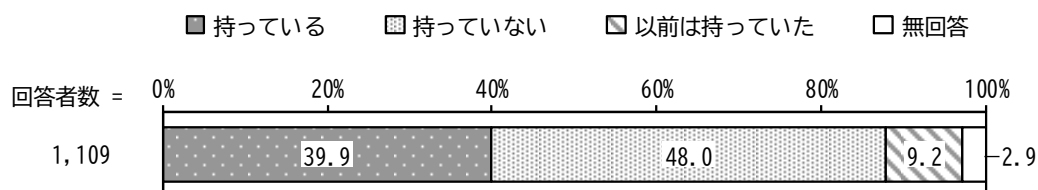
認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「メールの送信・受信」「インターネットで検索」「SNSの活用」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	電話をかける	メールの送信・受信	インターネットで検索	ブログの作成	SNSの活用	持っているが使用していない	その他	無回答
全 体	985	92.5	82.2	59.0	1.2	21.4	1.3	5.7	0.3
一般高齢者	879	92.8	84.5	61.4	1.3	22.4	1.0	5.7	0.2
要支援認定者・総合事業対象者	78	91.0	60.3	35.9	1.3	14.1	2.6	6.4	0.0

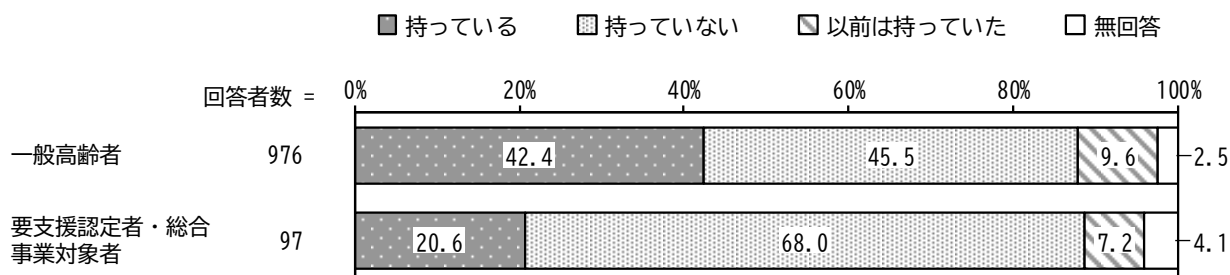
問 11－4 パソコンを持っていますか（1つのみ）

「持っている」の割合が 39.9%、「持っていない」の割合が 48.0%、「以前は持っていた」の割合が 9.2%となっています。



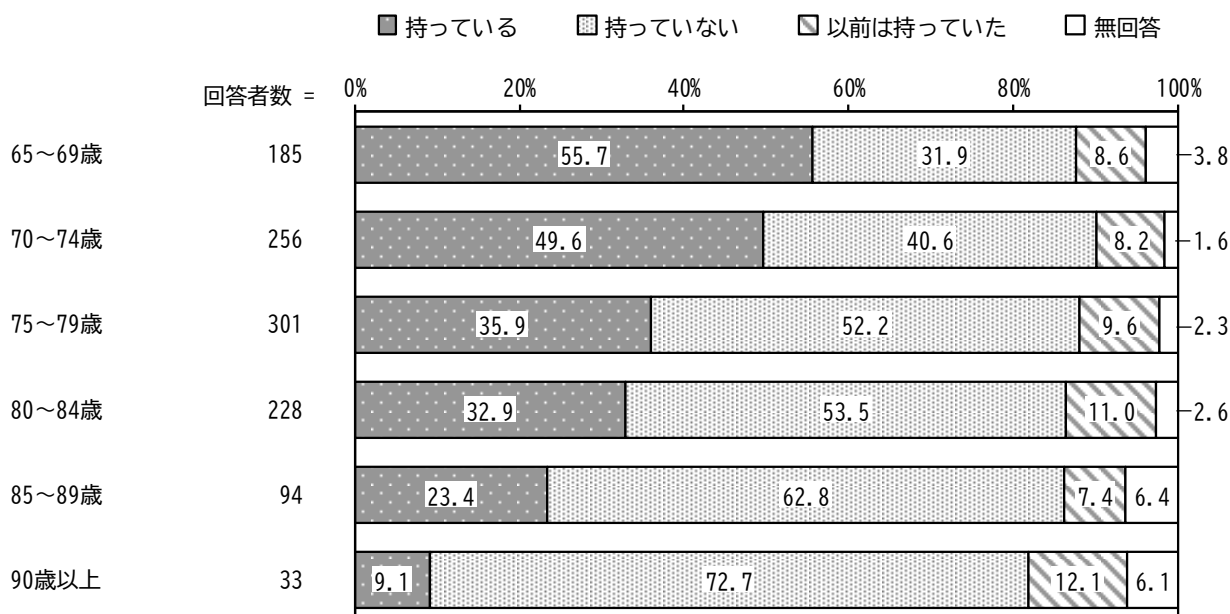
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「持っている」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「持っていない」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別にみると、65～69歳で「持っている」、90歳以上で「持っていない」の割合が高くなっています。

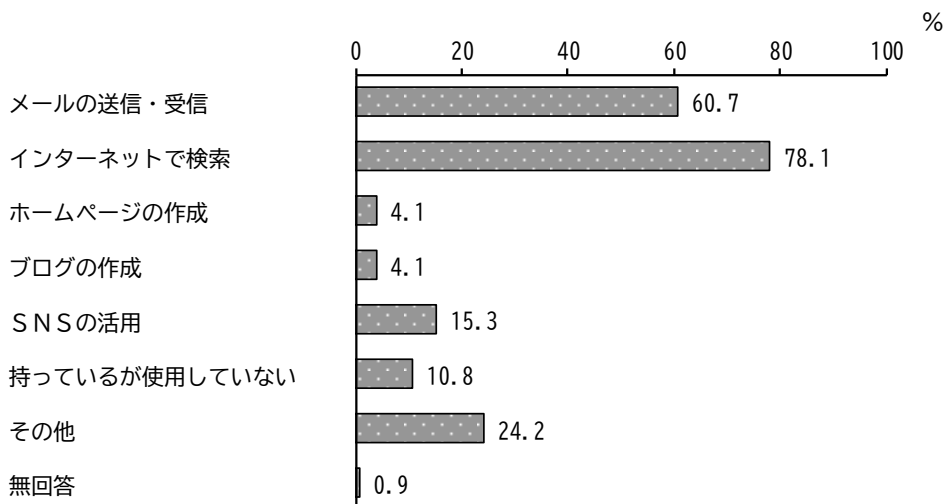


【問11-4で「持っている」の方のみ】

① あなたがパソコンでしていることを教えてください（いくつでも）

「インターネットで検索」の割合が78.1%と最も高く、次いで「メールの送信・受信」の割合が60.7%、「SNSの活用」の割合が15.3%となっています。

回答者数 = 443



【認定別】

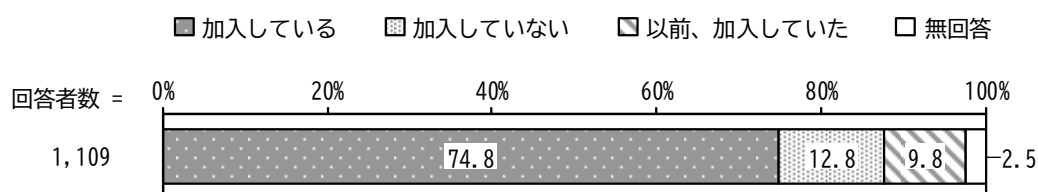
認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「メールの送信・受信」「インターネットで検索」「SNSの活用」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「ブログの作成」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	メールの送信・受信	インターネットで検索	ホームページの作成	ブログの作成	SNSの活用	持っているが使用していない	その他	無回答
全 体	443	60.7	78.1	4.1	4.1	15.3	10.8	24.2	0.9
一般高齢者	414	61.8	79.0	4.1	3.6	15.9	10.6	25.1	0.5
要支援認定者・総合事業対象者	20	45.0	65.0	5.0	15.0	10.0	15.0	10.0	5.0

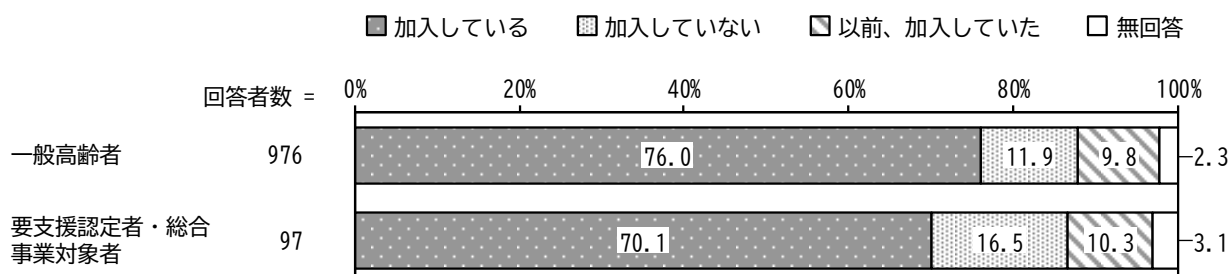
問 11－5 自治会に加入していますか（１つのみ）

「加入している」の割合が74.8%、「加入していない」の割合が12.8%、「以前、加入していた」の割合が9.8%となっています。



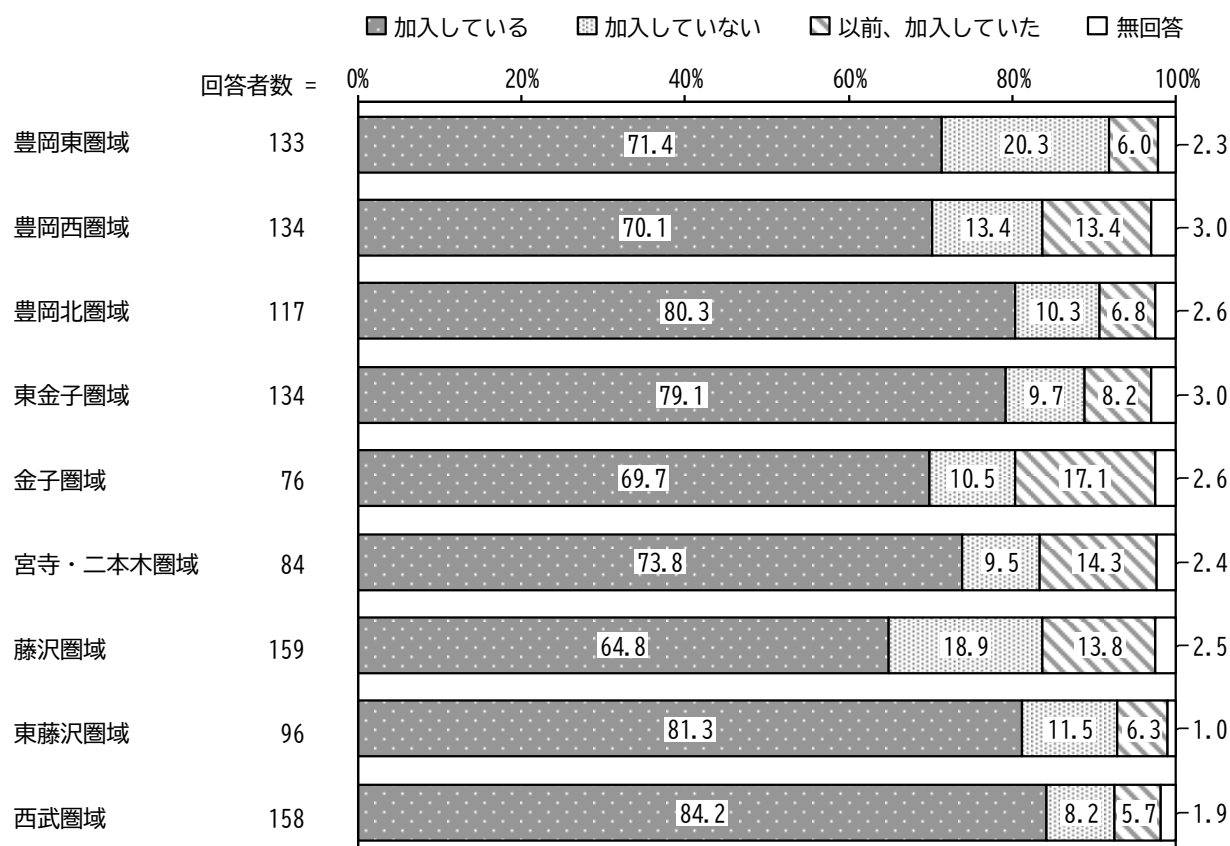
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「加入している」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別】

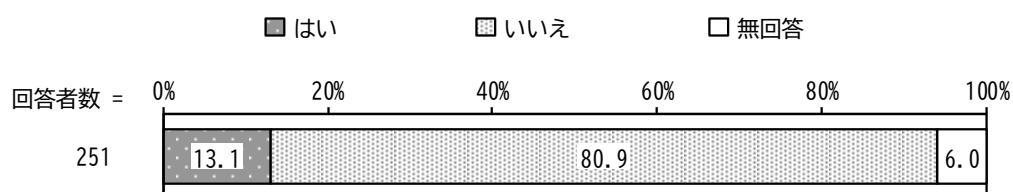
日常生活圏域別にみると、東藤沢圏域、西武圏域で「加入している」、豊岡東圏域、藤沢圏域で「加入していない」、金子圏域で「以前、加入していた」の割合が高くなっています。



【問 11－5で「加入していない」「以前、加入していた」の方のみ】

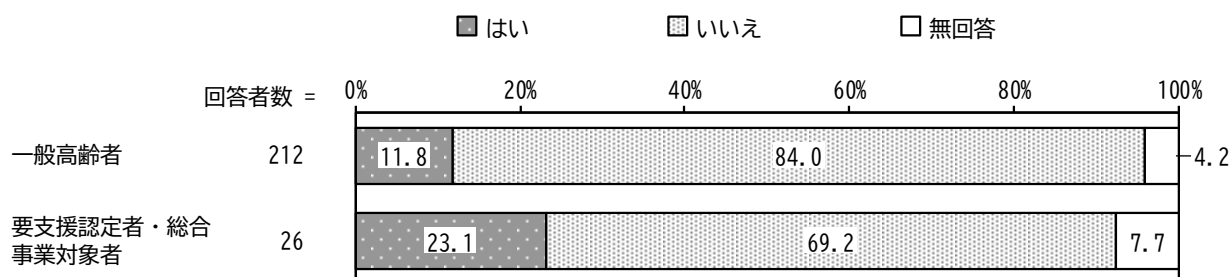
① 今後、自治会に加入したいですか

「はい」の割合が13.1%、「いいえ」の割合が80.9%となっています。



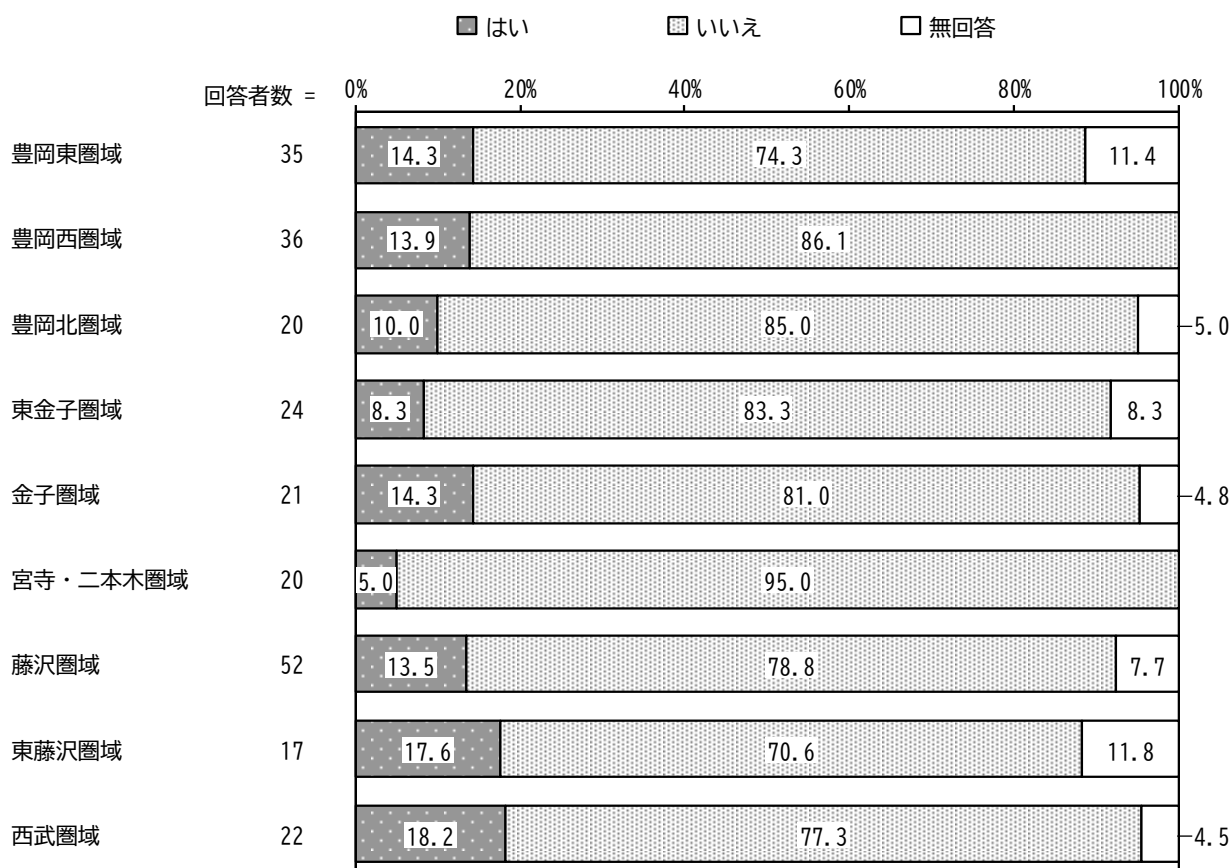
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。



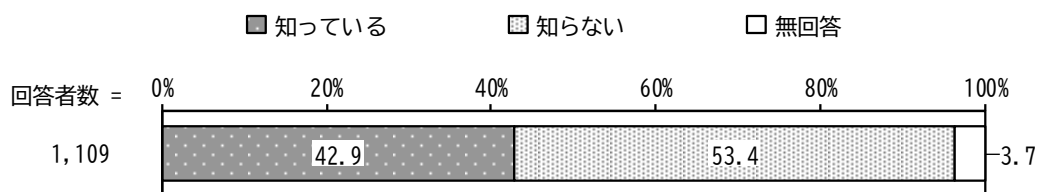
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、宮寺・二本木圏域で「いいえ」の割合が高くなっています。



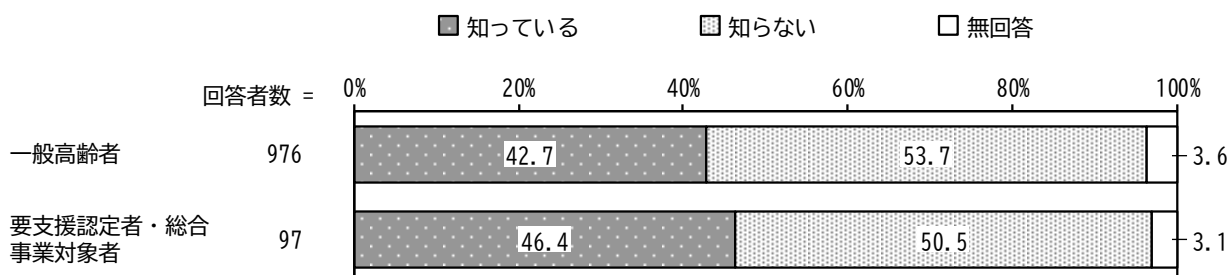
問 11－6 健康推進クラブ（老人クラブ）を知っていますか

「知っている」の割合が 42.9%、「知らない」の割合が 53.4%となっています。



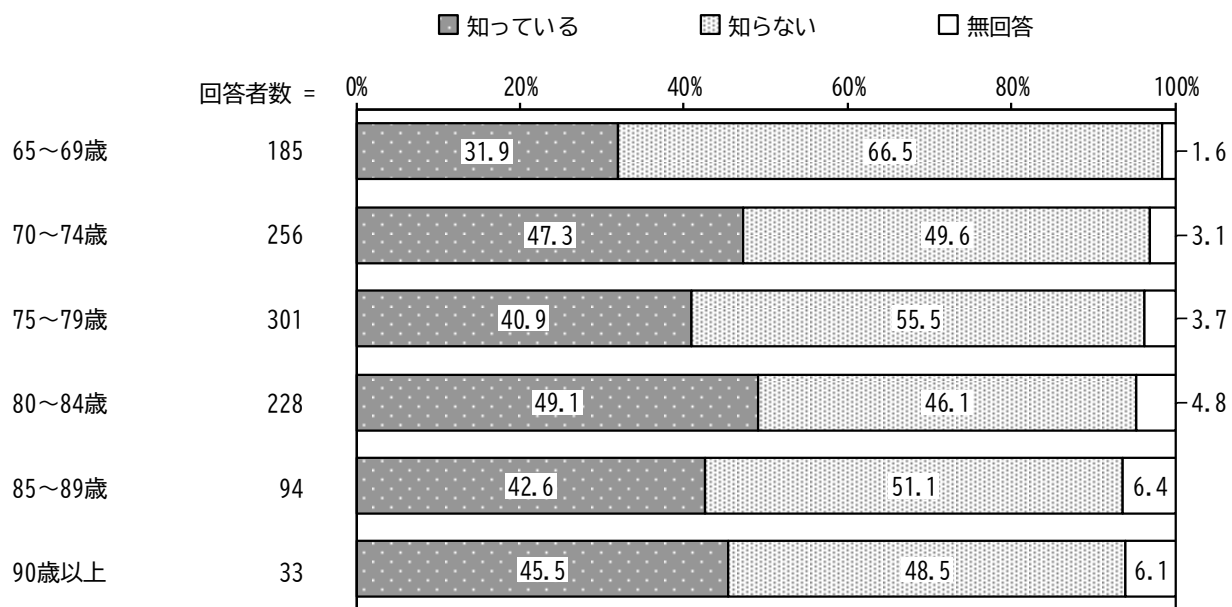
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



【年齢別】

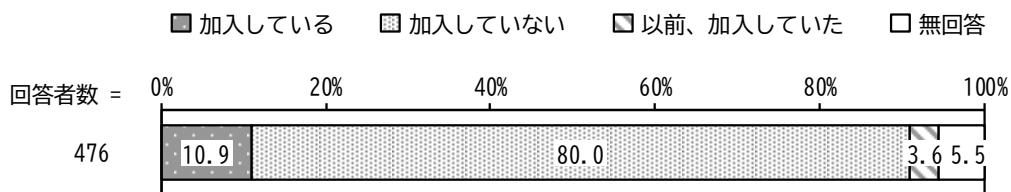
年齢別にみると、65～69歳で「知らない」の割合が高くなっています。



【問11－6で「知っている」の方のみ】

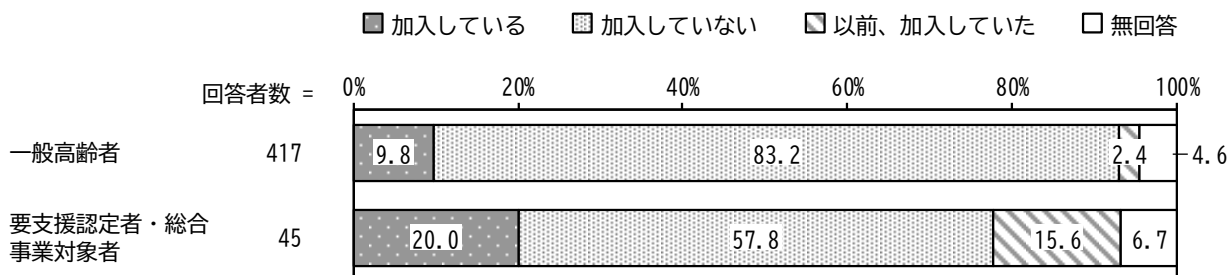
① 健康推進クラブ（老人クラブ）に加入していますか（1つのみ）

「加入している」の割合が10.9%、「加入していない」の割合が80.0%、「以前、加入していた」の割合が3.6%となっています。



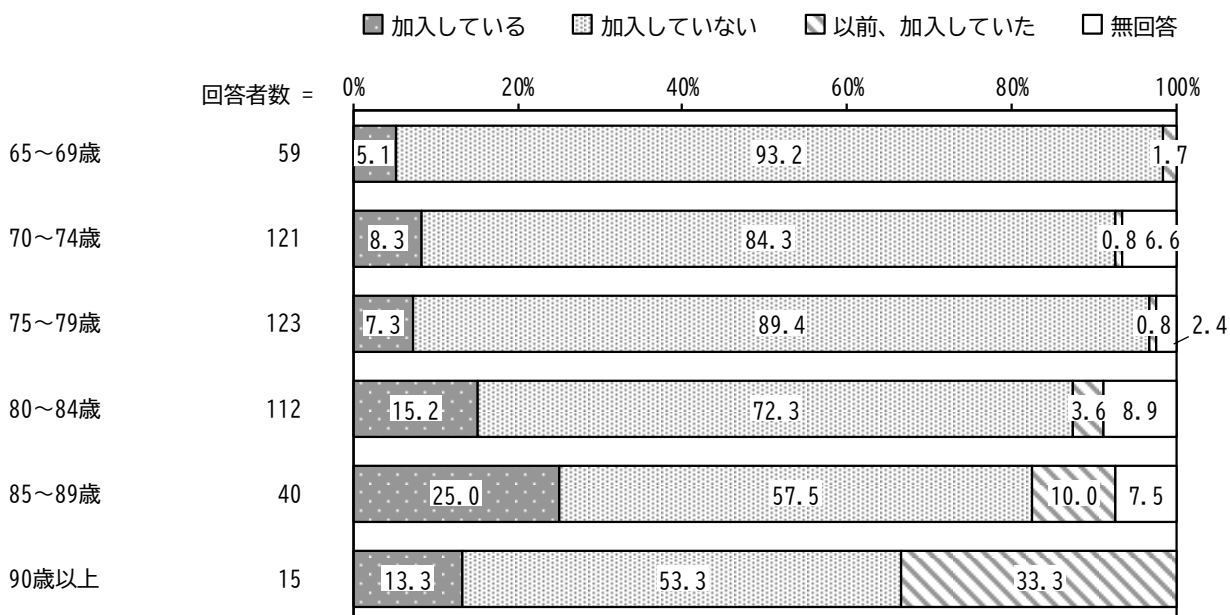
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「加入していない」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「加入している」「以前、加入していた」の割合が高くなっています。



【年齢別】

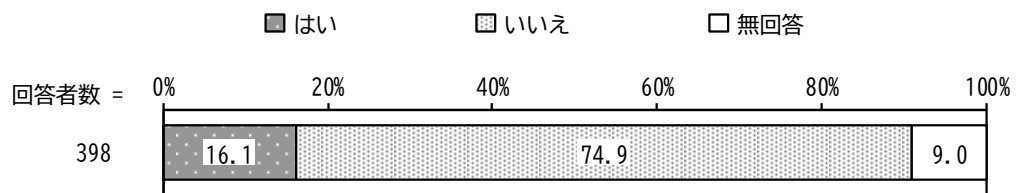
年齢別にみると、80～84歳で「加入している」、65～69歳で「加入していない」、90歳以上で「以前、加入していた」の割合が高くなっています。



【①で「加入していない」「以前、加入していた」の方のみ】

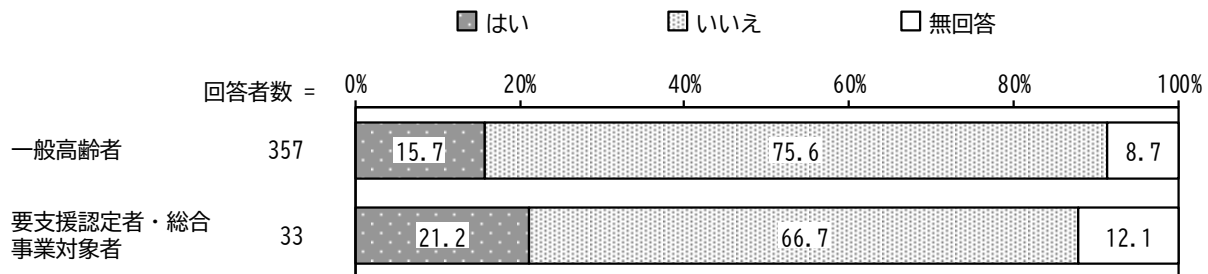
② 今後、健康推進クラブ（老人クラブ）に加入したいですか

「はい」の割合が16.1%、「いいえ」の割合が74.9%となっています。



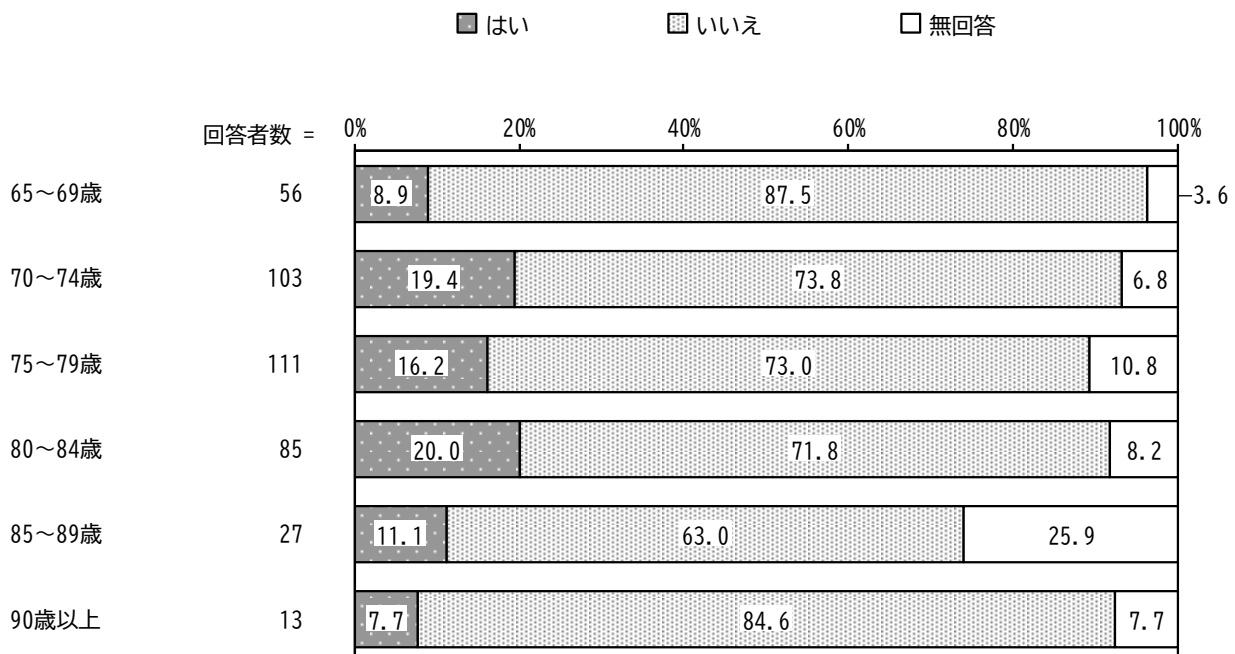
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。



【年齢別】

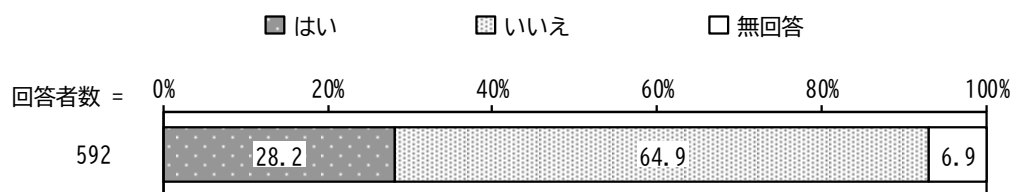
年齢別にみると、65～69歳、90歳以上で「いいえ」の割合が高くなっています。



【問 11－6 で「知らない」の方のみ】

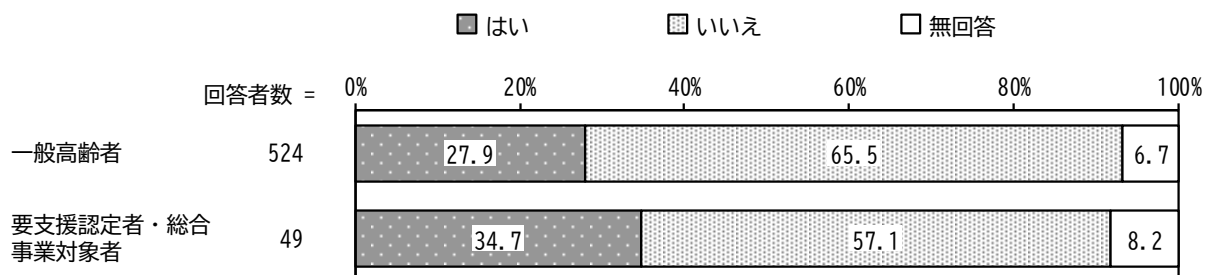
③ 健康推進クラブ（老人クラブ）の活動について知りたいですか

「はい」の割合が 28.2%、「いいえ」の割合が 64.9%となっています。



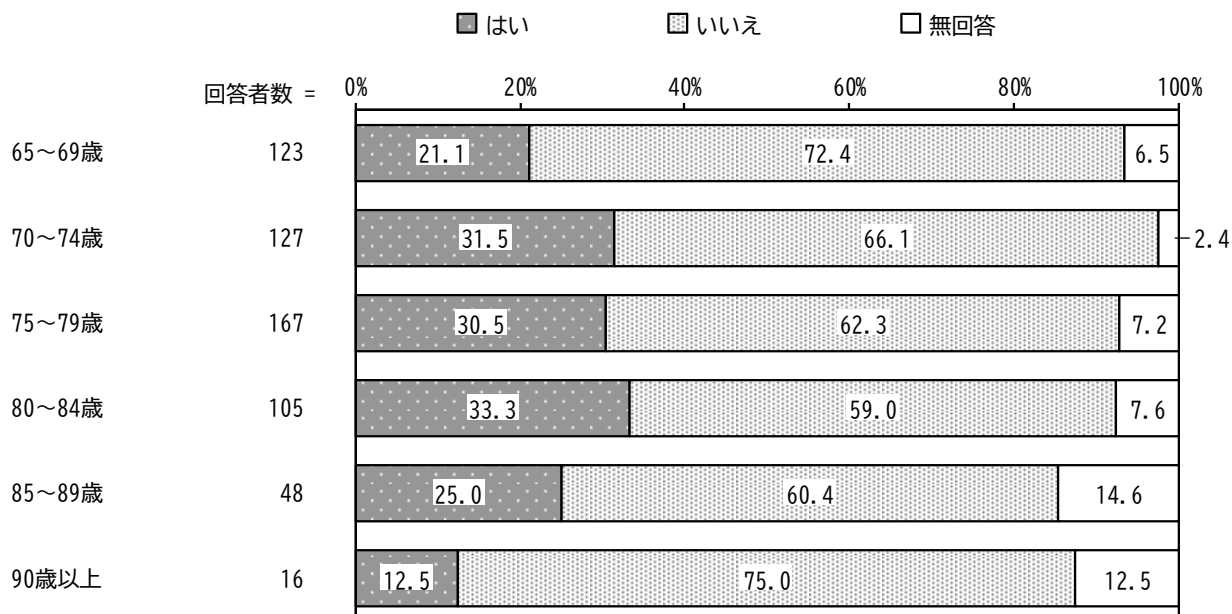
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。



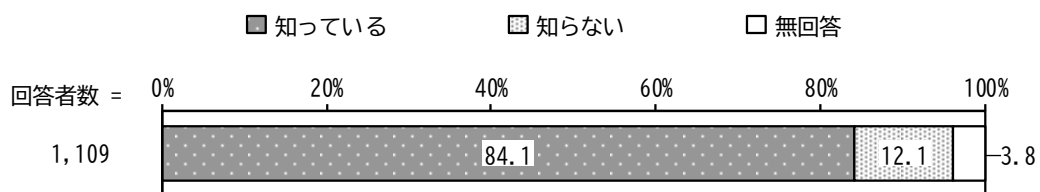
【年齢別】

年齢別にみると、65～69 歳、90 歳以上で「いいえ」の割合が高くなっています。



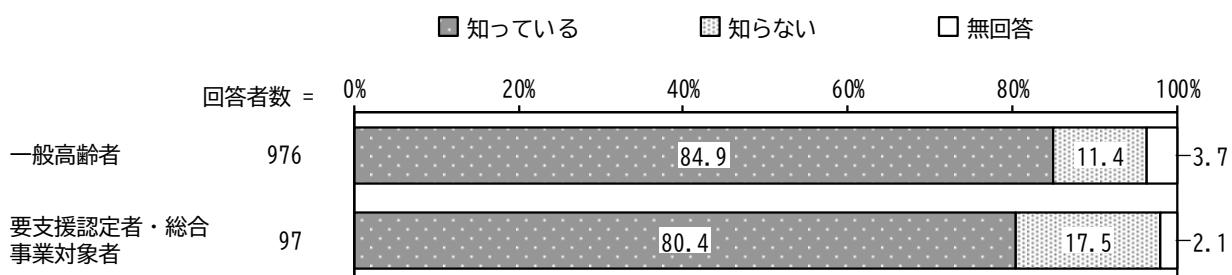
問 11－7 シルバー人材センターを知っていますか

「知っている」の割合が 84.1%、「知らない」の割合が 12.1%となっています。



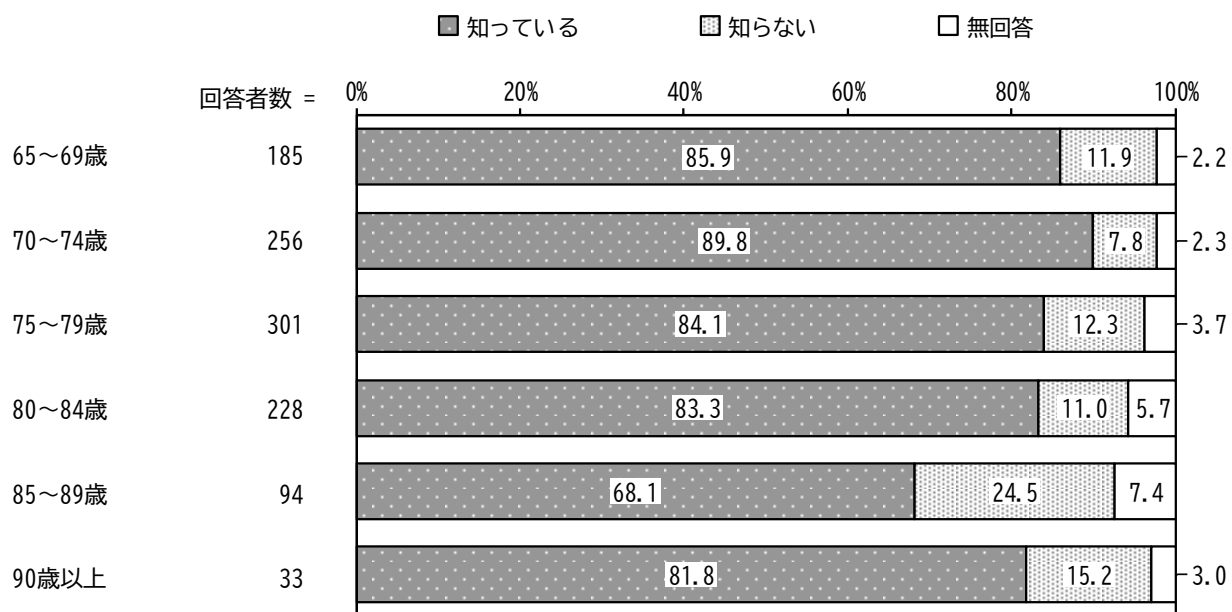
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、要支援認定者・総合事業対象者で「知らない」の割合が高くなっています。



【年齢別】

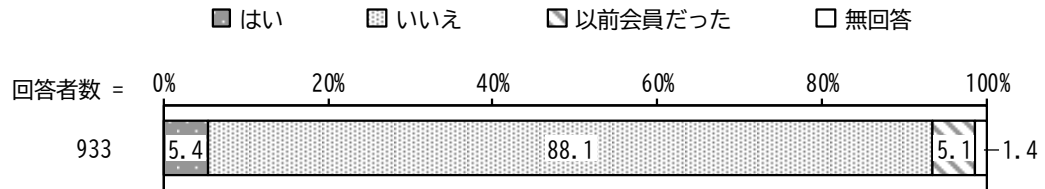
年齢別にみると、85～89歳で「知らない」の割合が高くなっています。



【問11-7で「知っている」方のみ】

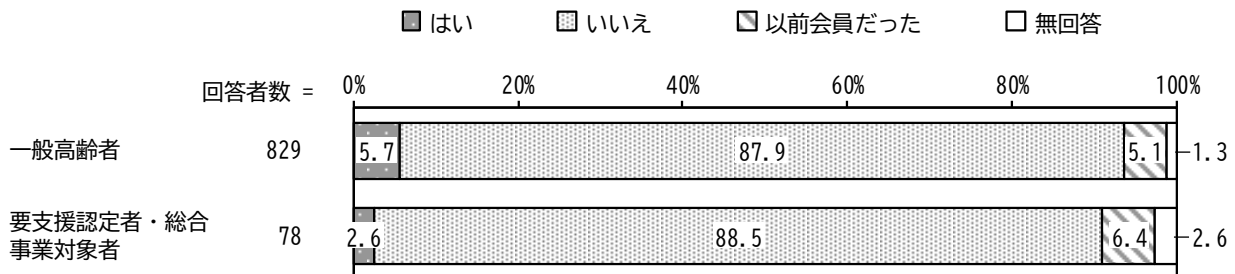
① シルバー人材センターの会員ですか

「はい」の割合が5.4%、「いいえ」の割合が88.1%、「以前会員だった」の割合が5.1%となっています。



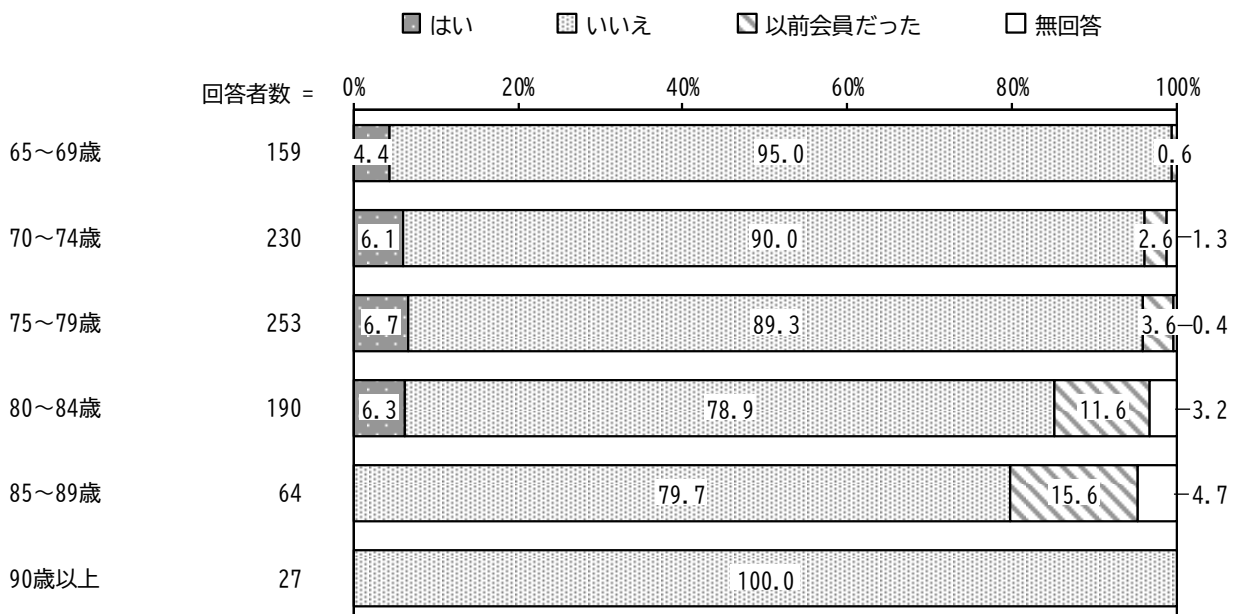
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



【年齢別】

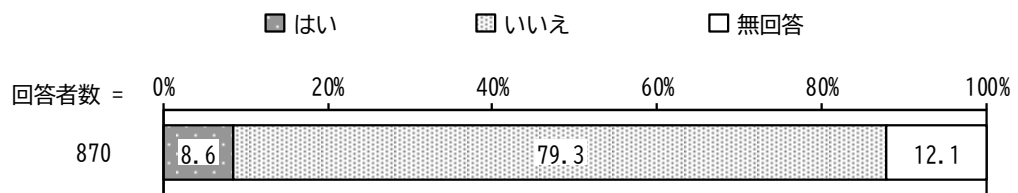
年齢別にみると、85～89歳で「以前会員だった」の割合が高くなっています。



【①で「いいえ」、「以前会員だった」方のみ】

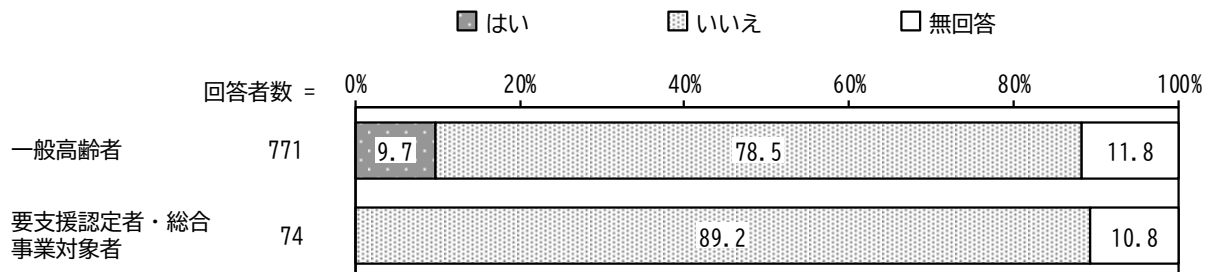
② 今後、シルバー人材センターの会員になりたいですか

「はい」の割合が8.6%、「いいえ」の割合が79.3%となっています。



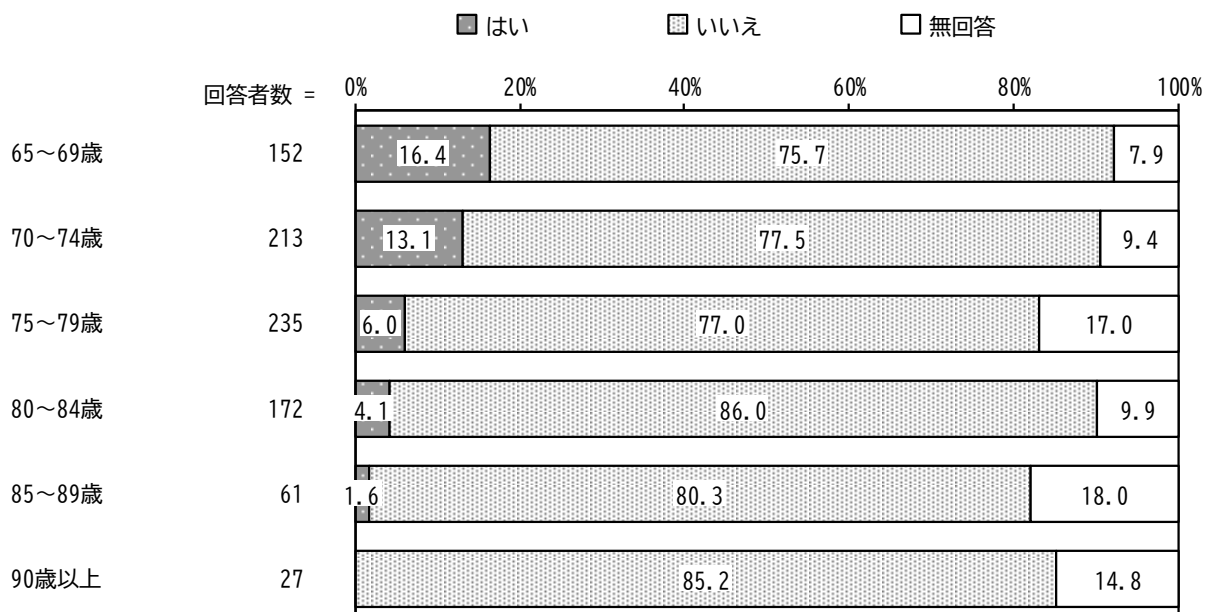
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、要支援認定者・総合事業対象者で「いいえ」の割合が高くなっています。



【年齢別】

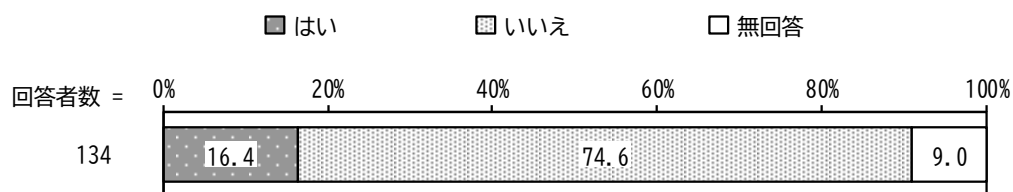
年齢別にみると、65～69歳、70～74歳で「はい」、80～84歳、90歳以上で「いいえ」の割合が高くなっています。



【問 11－7で「知らない」方のみ】

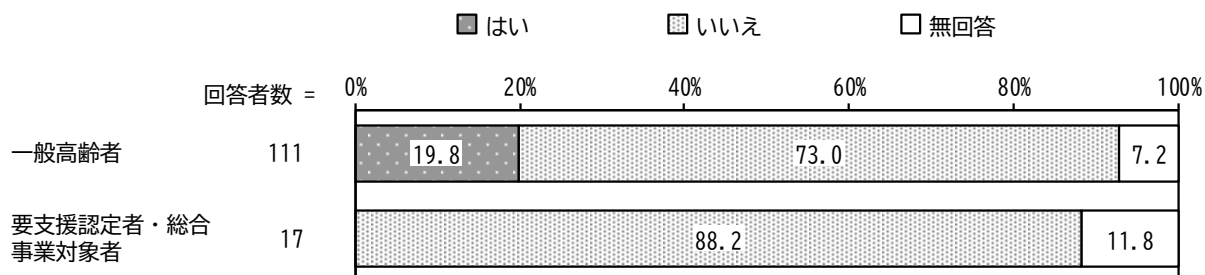
シルバー人材センターで紹介している仕事の内容や活動について知りたいですか

「はい」の割合が 16.4%、「いいえ」の割合が 74.6%となっています。



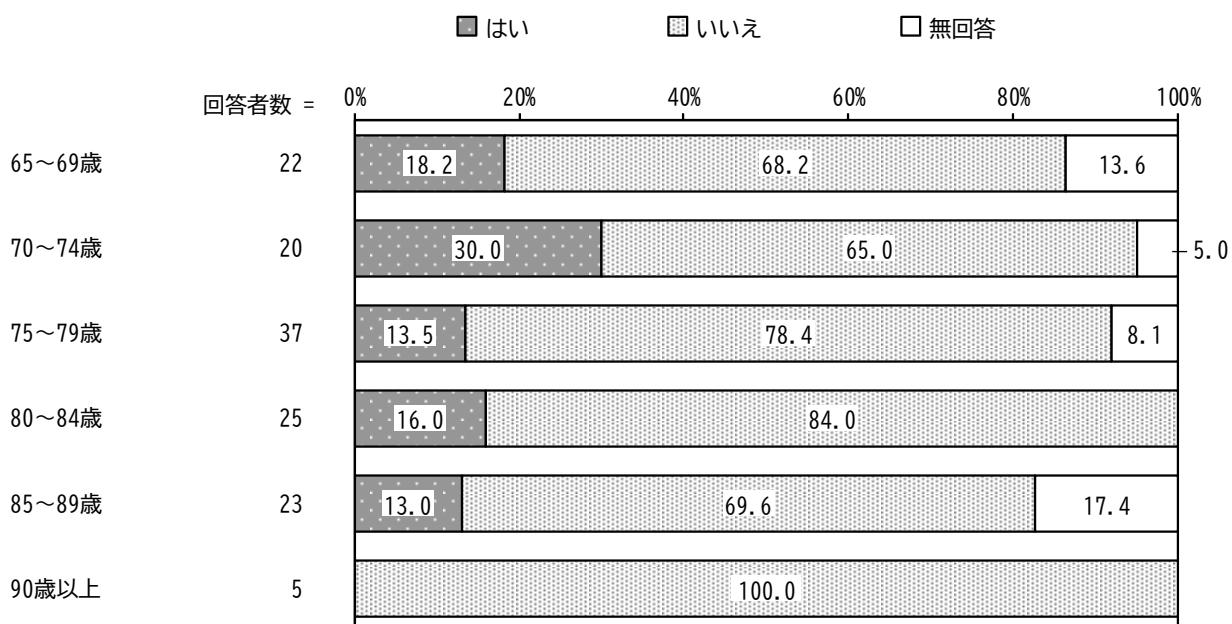
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「はい」の割合が高くなっています。



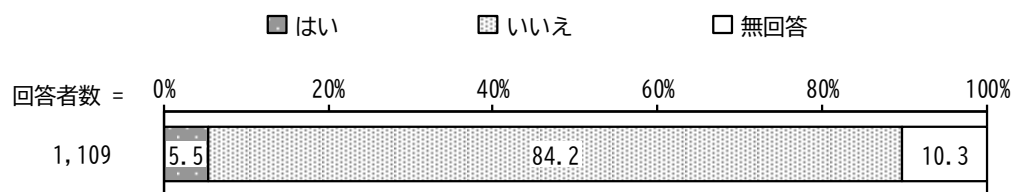
【年齢別】

年齢別にみると、70～74歳で「はい」の割合が高くなっています。



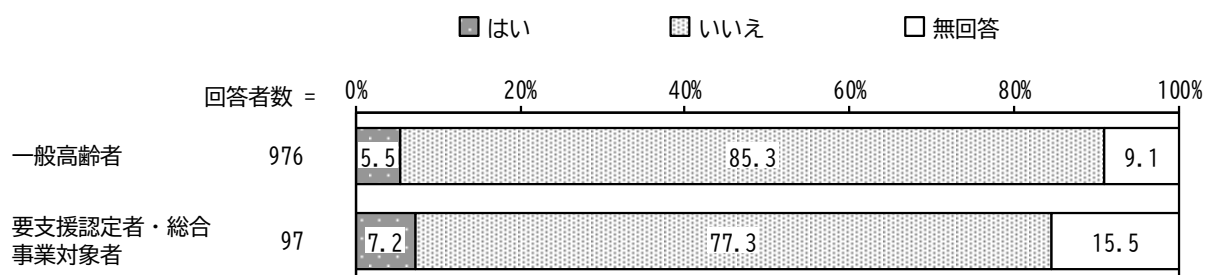
問 11－8 介護を理由に仕事を辞めたことがありますか

「はい」の割合が 5.5%、「いいえ」の割合が 84.2%となっています。



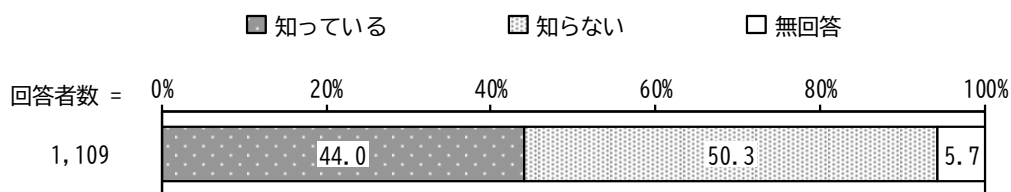
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。



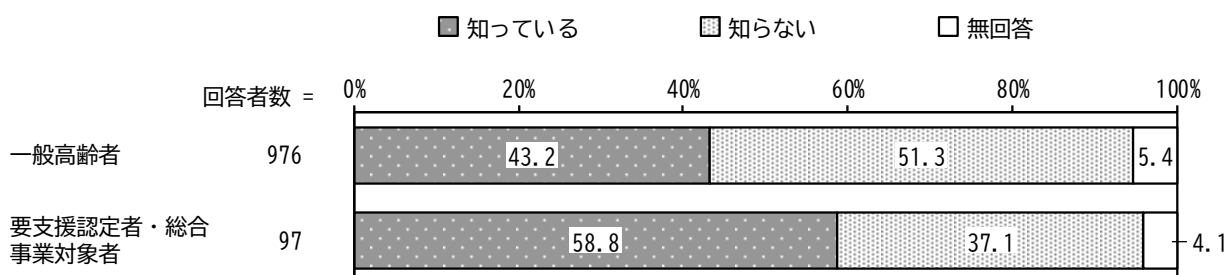
問 11－9 地域包括支援センターで認知症に関する相談ができることを知っていますか

「知っている」の割合が 44.0%、「知らない」の割合が 50.3%となっています。



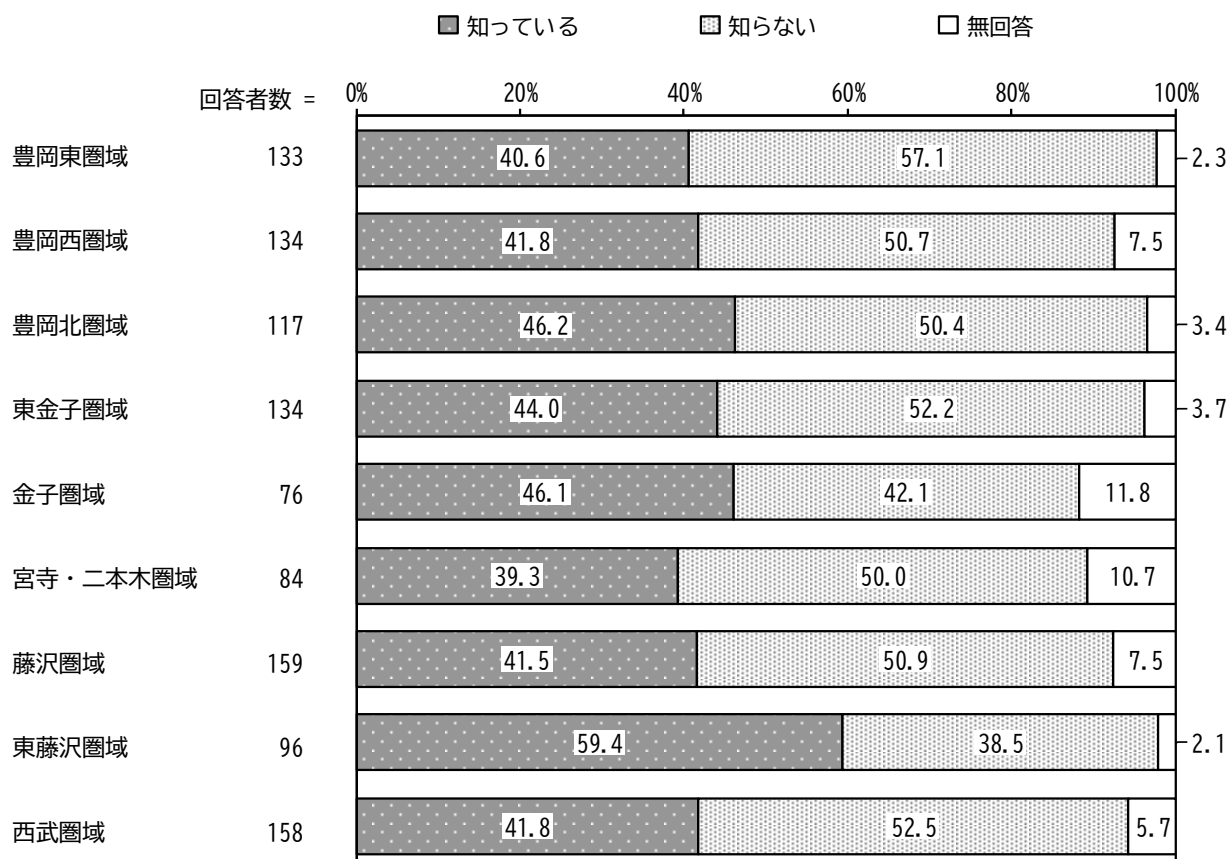
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、要支援認定者・総合事業対象者で「知っている」の割合が高くなっています。



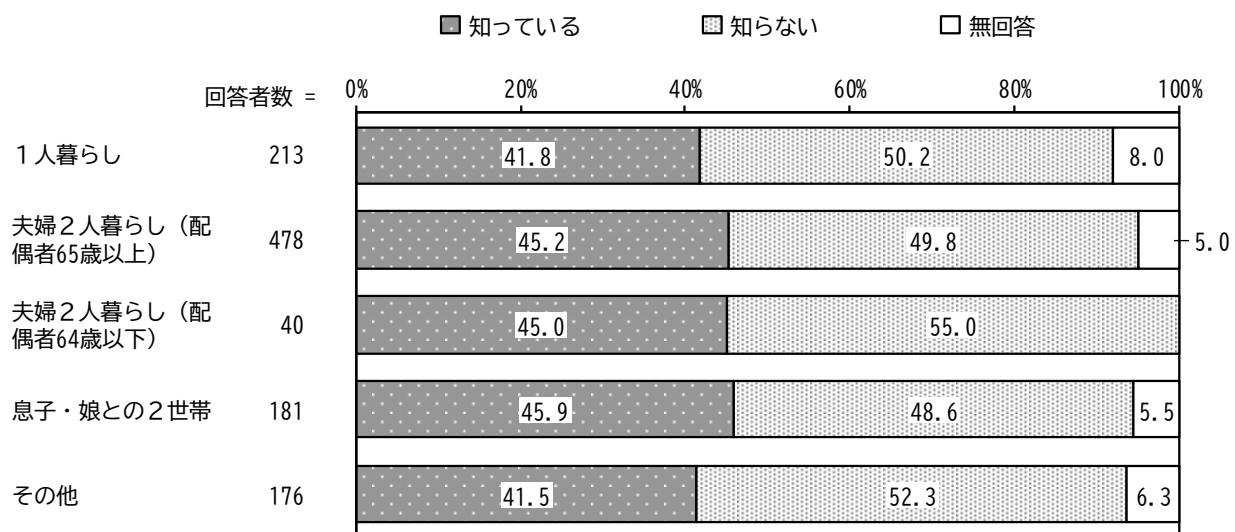
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、東藤沢圏域で「知っている」の割合が高くなっています。



【家族構成別】

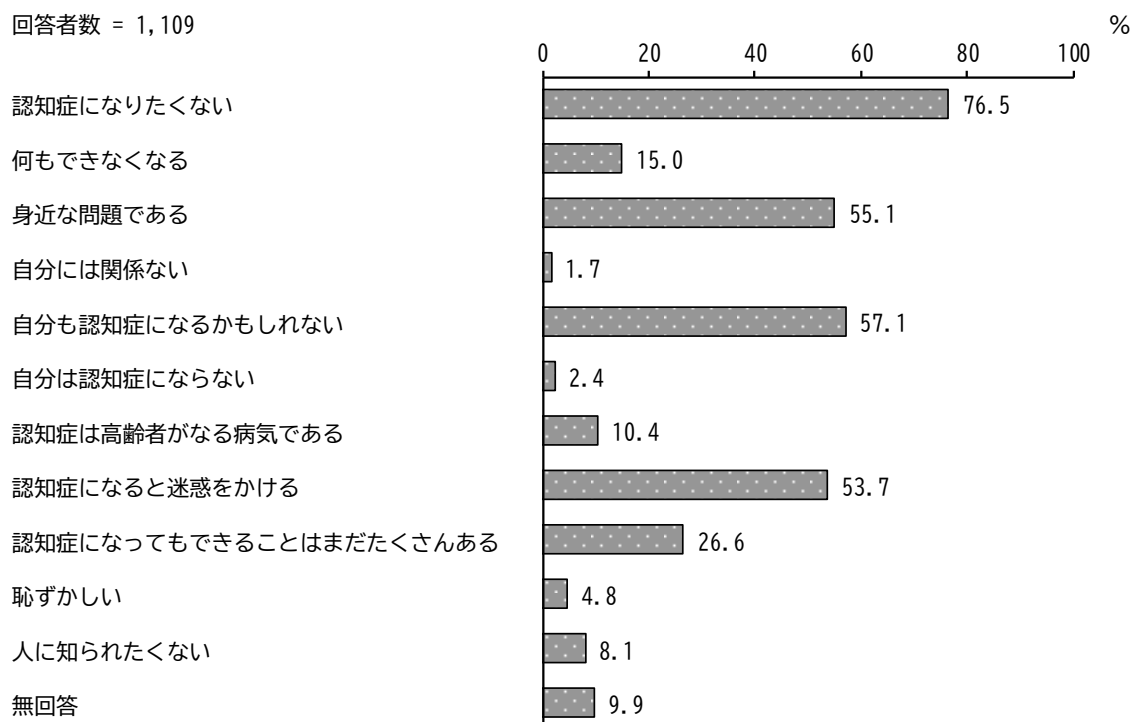
家族構成別にみると、大きな差はみられません。



問 11-10 認知症についてどんなイメージをもっていますか（いくつでも）

「認知症になりたくない」の割合が76.5%と最も高く、次いで「自分も認知症になるかもしれない」の割合が57.1%、「身近な問題である」の割合が55.1%となっています。

回答者数 = 1,109



【認定別】

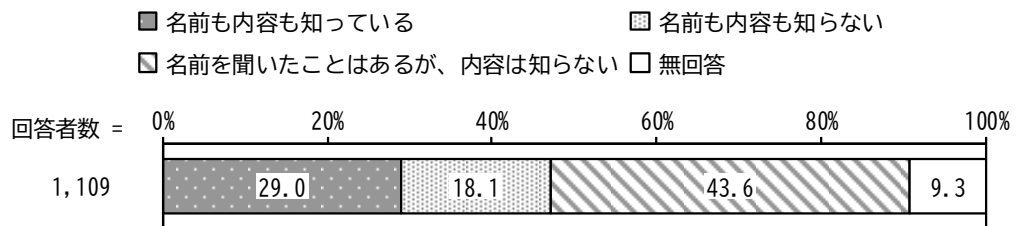
認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「自分も認知症になるかもしれない」「認知症になると迷惑をかける」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「何もできなくなる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	認知症になりたくない	何もできなくなる	身近な問題である	自分には関係ない	自分も認知症になるかもしれない	自分は認知症にならない	認知症は高齢者になる病気である	認知症になると迷惑をかける	認知症になってもできることはまだまだたくさんある	恥ずかしい	人に知られたくない	無回答
全 体	1,109	76.5	15.0	55.1	1.7	57.1	2.4	10.4	53.7	26.6	4.8	8.1	9.9
一般高齢者	976	77.2	14.4	55.7	1.8	58.4	2.5	10.3	54.6	26.9	4.7	8.0	9.7
要支援認定者・総合事業対象者	97	75.3	19.6	53.6	1.0	49.5	2.1	10.3	48.5	26.8	6.2	10.3	7.2

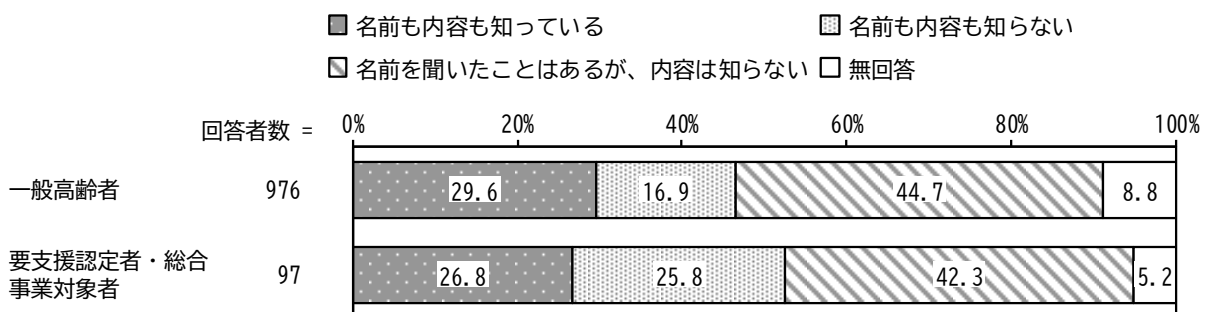
問 11-11 成年後見制度について知っていますか（1つのみ）

「名前も内容も知っている」の割合が29.0%、「名前も内容も知らない」の割合が18.1%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」の割合が43.6%となっています。



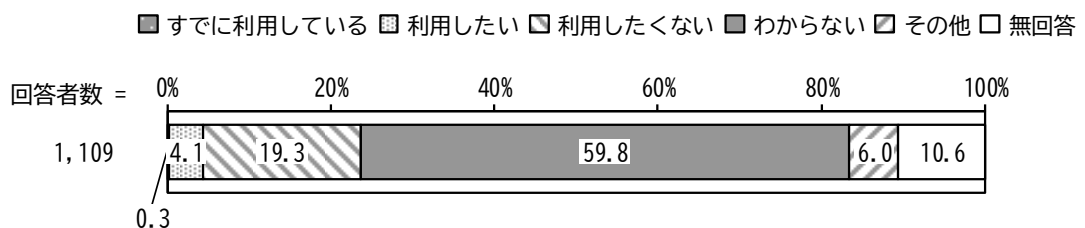
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、要支援認定者・総合事業対象者で「名前も内容も知らない」の割合が高くなっています。



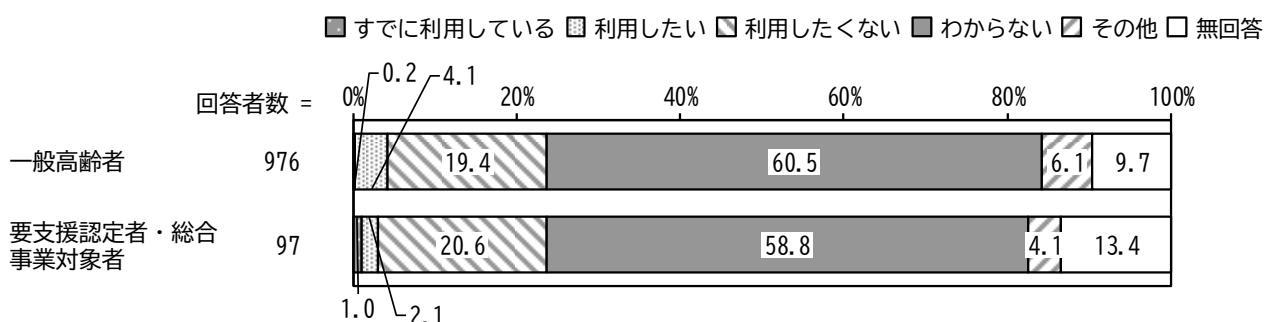
問 11-12 成年後見制度の利用希望について（1つのみ）

「すでに利用している」の割合が0.3%、「利用したい」の割合が4.1%、「利用したくない」の割合が19.3%となっています。



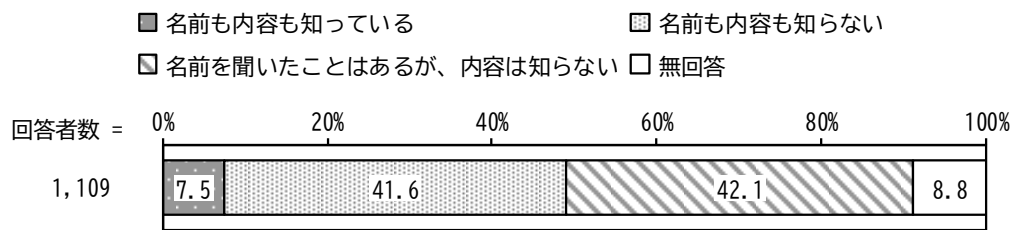
【認定別】

認定別にみると、大きな差はみられません。



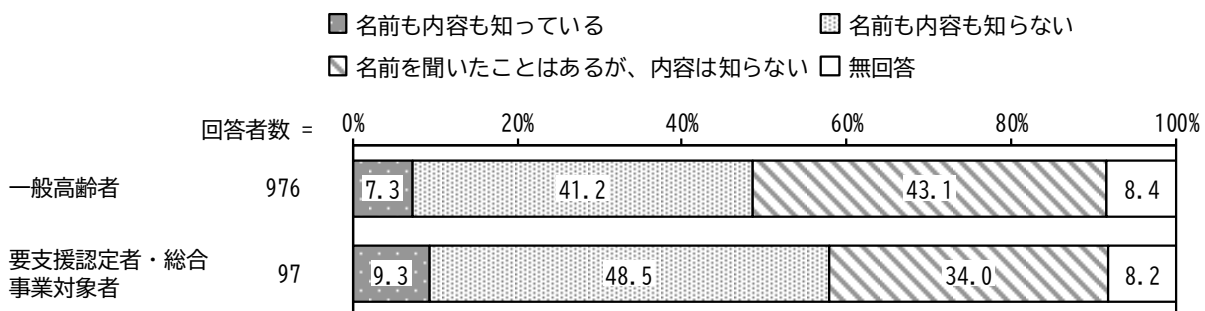
問 11-13 日常生活自立支援事業について知っていますか（1つのみ）

「名前も内容も知っている」の割合が7.5%、「名前も内容も知らない」の割合が41.6%、「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」の割合が42.1%となっています。



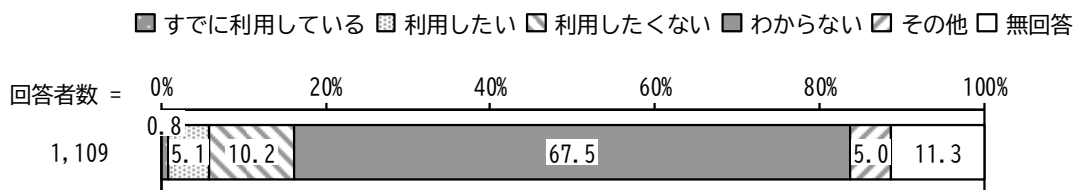
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「名前を聞いたことはあるが、内容は知らない」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「名前も内容も知らない」の割合が高くなっています。



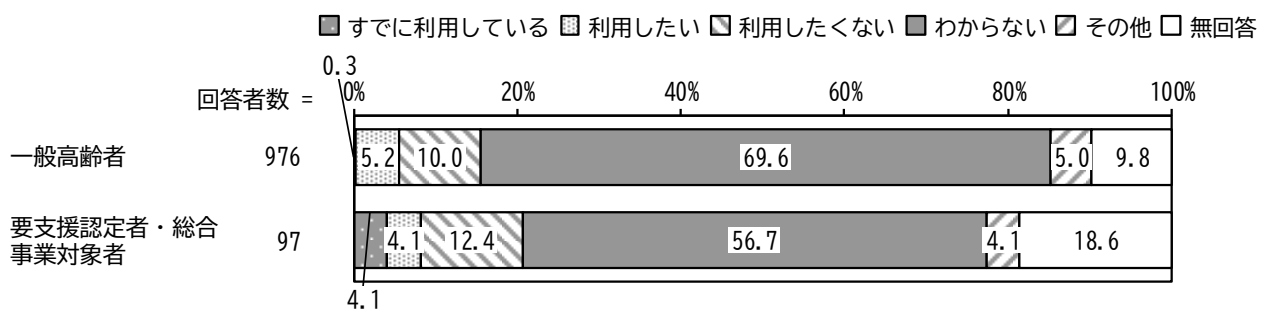
問 11-14 日常生活自立支援事業の利用希望について（1つのみ）

「すでに利用している」の割合が0.8%、「利用したい」の割合が5.1%、「利用したくない」の割合が10.2%となっています。



【認定別】

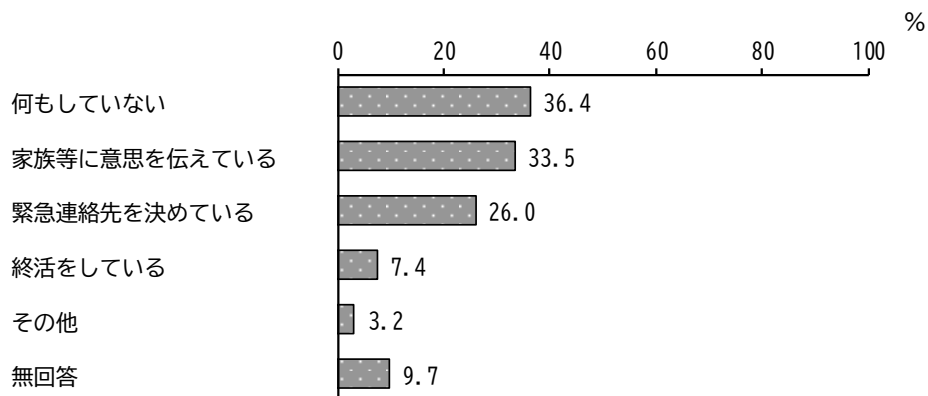
認定別にみると一般高齢者で「わからない」の割合が高くなっています。



問 11－15 もしもの時（急に倒れた時等）の備えを何かしていますか（いくつでも）

「何もしていない」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「家族等に意思を伝えている」の割合が 33.5%、「緊急連絡先を決めている」の割合が 26.0%となっています。

回答者数 = 1,109



【認定別】

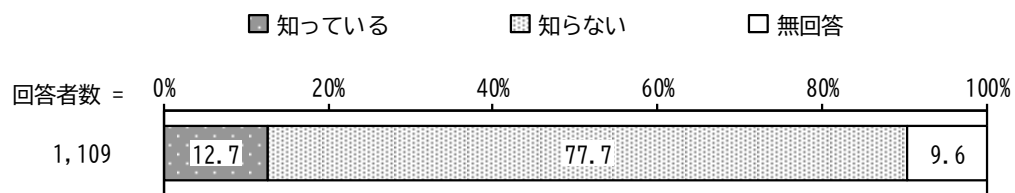
認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「何もしていない」の割合が高く、要支援認定者・総合事業対象者で「家族等に意思を伝えている」「緊急連絡先を決めている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	何も してい ない	家族等 に意思 を伝 えている	緊急 連絡 先を決 めている	終活 をして いる	その 他	無回 答
全 体	1,109	36.4	33.5	26.0	7.4	3.2	9.7
一般高齢者	976	37.6	32.8	25.1	7.2	3.4	9.2
要支援認定者・総合事業対象者	97	24.7	41.2	34.0	10.3	3.1	11.3

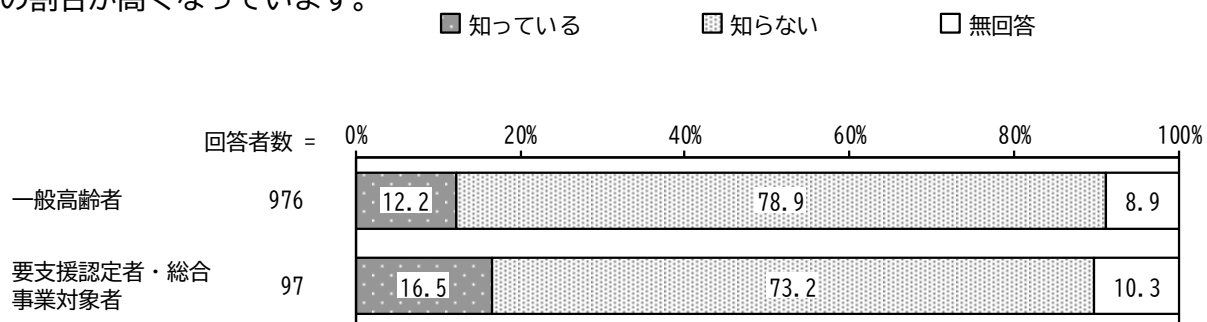
問 11-16 人生会議（ACP アドバンスケアプランニング）を知っていますか

「知っている」の割合が 12.7%、「知らない」の割合が 77.7%となっています。



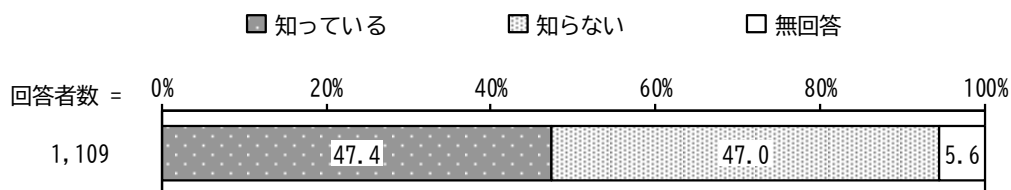
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「知らない」の割合が高くなっています。



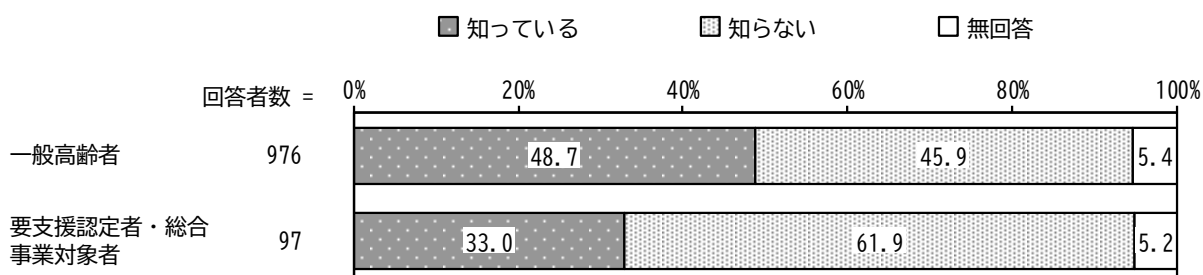
問 11-17 eスポーツを知っていますか

「知っている」の割合が47.4%、「知らない」の割合が47.0%となっています。



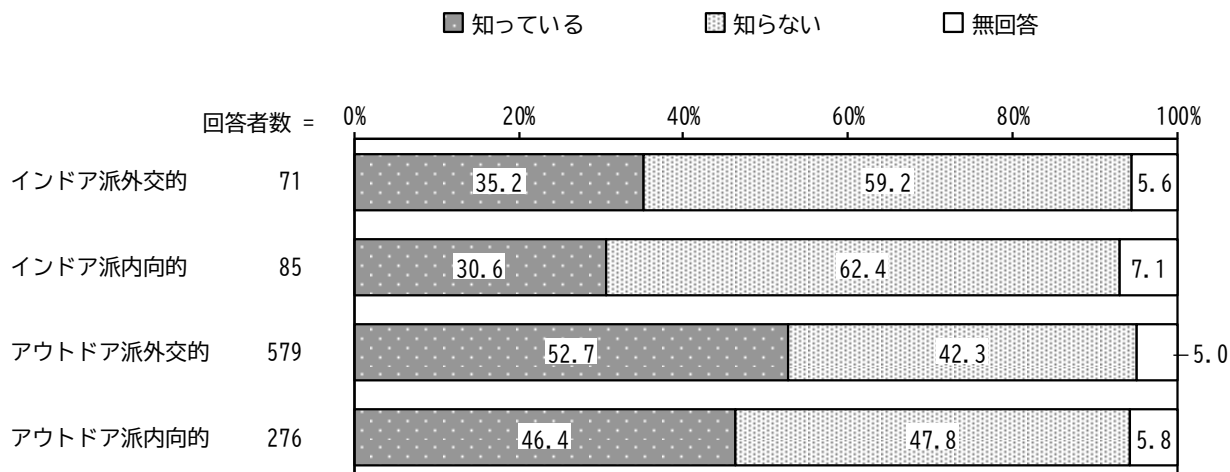
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、要支援認定者・総合事業対象者で「知らない」の割合が高くなっています。



【高齢者の外出タイプ別】

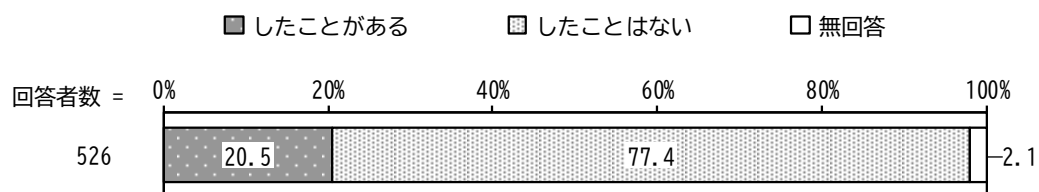
高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「知らない」の割合が高くなっています。



【問11-17で「知っている」の方のみ】

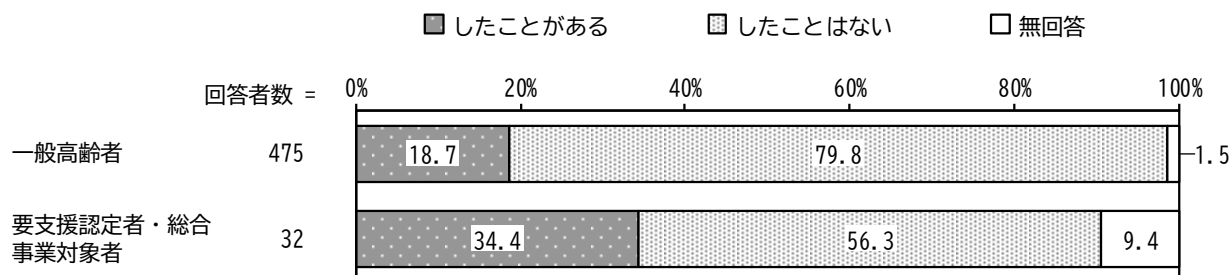
① eスポーツをしたことがありますか

「したことがある」の割合が20.5%、「したことはない」の割合が77.4%となっています。



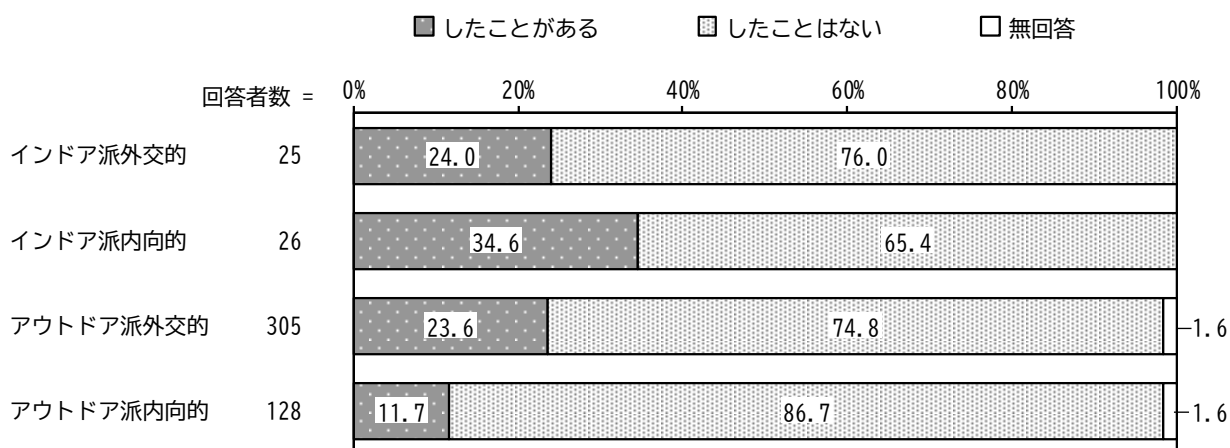
【認定別】

認定別にみると、一般高齢者と要支援認定者・総合事業対象者を比較して、一般高齢者で「したことはない」の割合が高くなっています。



【高齢者の外出タイプ別】

高齢者の外出タイプ別にみると、インドア派内向的で「したことがある」の割合が高くなっています。



2 生活機能評価等に関する分析

1 機能別リスク該当者割合の分析

(1) 運動器の機能低下

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

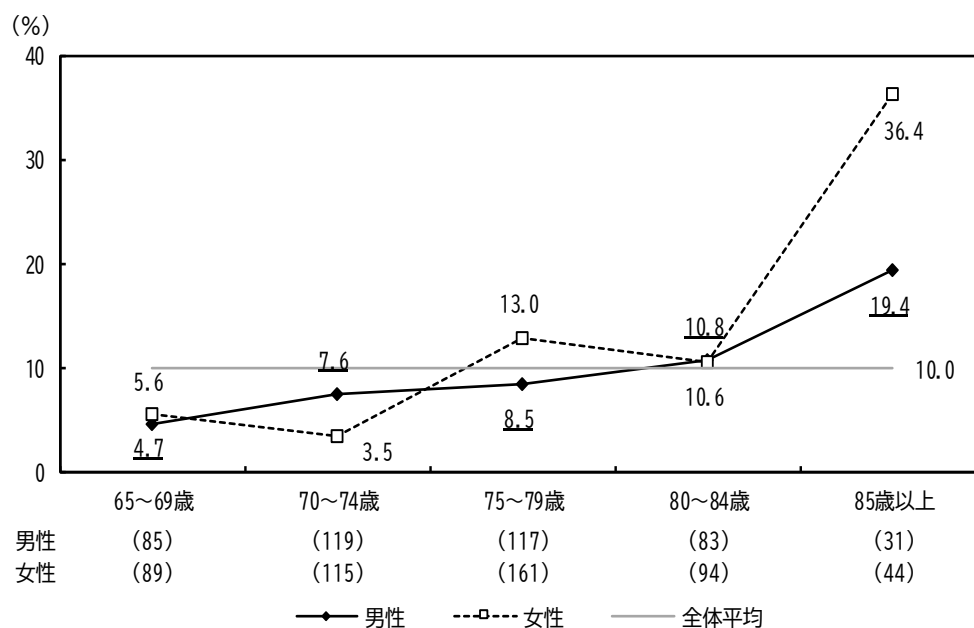
問番号	設問	該当する選択肢
問3	からだを動かすことについて 問3-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇り降りできますか	3. できない
問3-2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問3-3	15分位続けて歩いていますか	3. できない
問3-4	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 1度ある 2. 2～4度ある 3. 何度もある
問3-5	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく運動器の評価結果をみると、全体平均で 10.0%が運動器の機能低下該当者となっています。

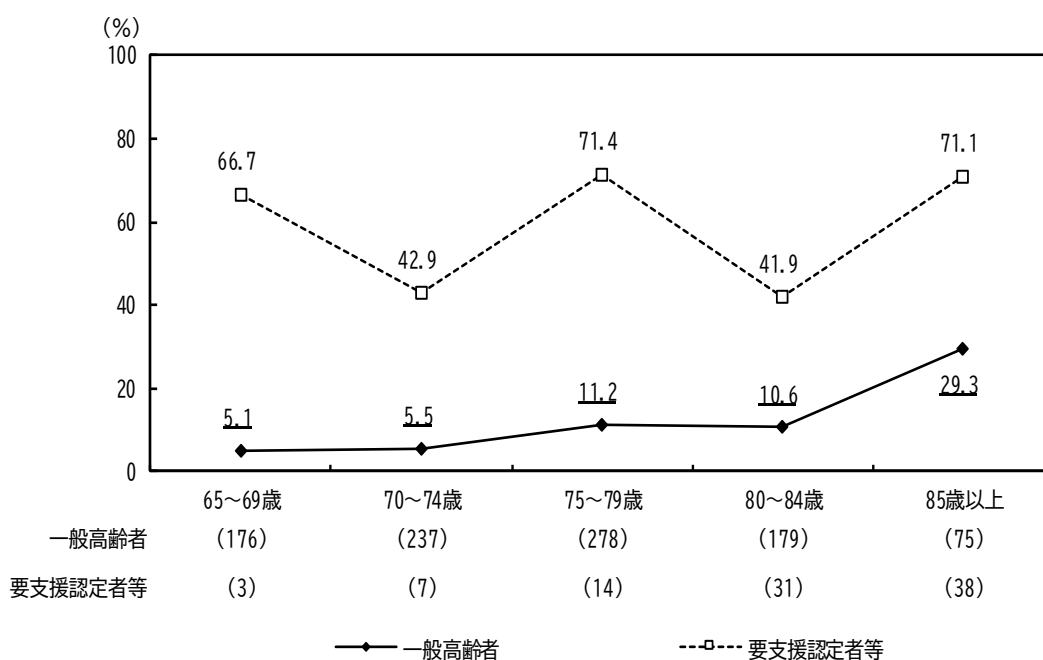
性別・年齢階級別にみると、女性では、65～69歳、75～79歳、85歳以上で男性に比べ該当者割合が高く、85歳以上で 36.4%と 80～84歳に比べ 25.8ポイント高くなっています。一方、男性では、85歳以上で 19.4%と 80～84歳に比べ 8.6ポイント高くなっています。

【性別・年齢階級別】



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等ではすべての年代の割合が高くなっています。要支援認定者等でみると、75～79歳で71.4%と最も高くなっています。

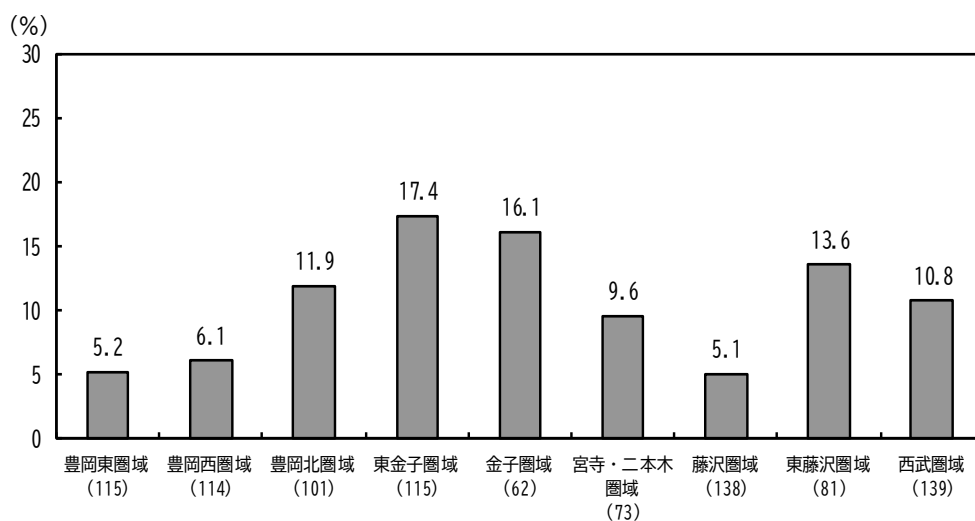
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、豊岡北圏域、東金子圏域、金子圏域、東藤沢圏域、西武圏域で該当者割合が全体平均の10.0%を超えています。

また、最も高い圏域は東金子圏域で17.4%、最も低い圏域は藤沢圏域で5.1%となっており、12.3ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

(2) 閉じこもり傾向

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

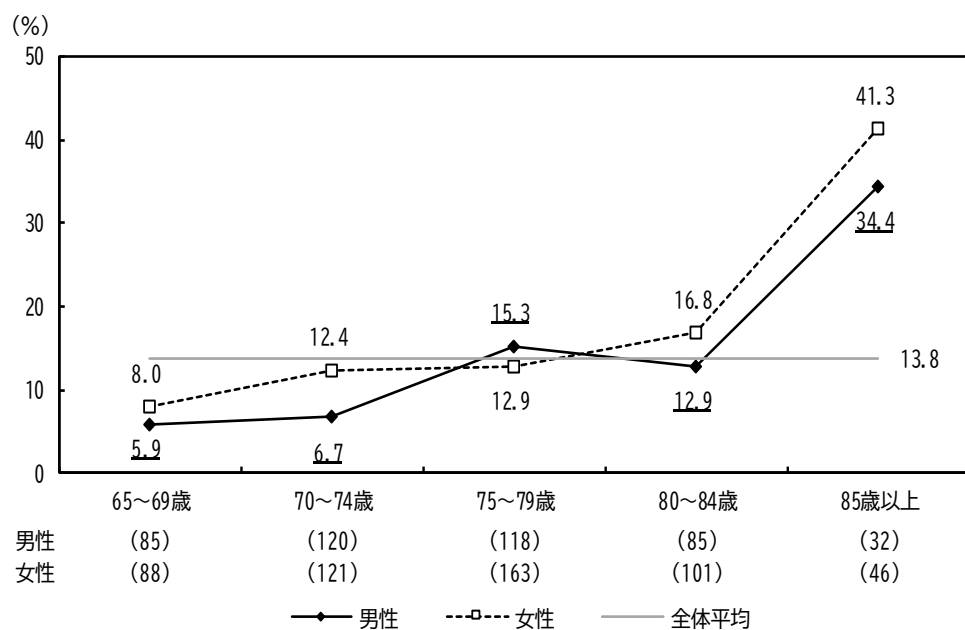
問番号	設問	該当する選択肢
問3-6	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく閉じこもりの評価結果をみると、全体平均で 13.8%が閉じこもりのリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、75～79 歳以外の年代で男性に比べ該当者割合が高く、85 歳以上で 41.3%と 80～84 歳に比べ 24.5 ポイント高くなっています。一方、男性では、85 歳以上で 34.4%と 80～84 歳に比べ 21.5 ポイント高くなっています。

【性別・年齢階級別】

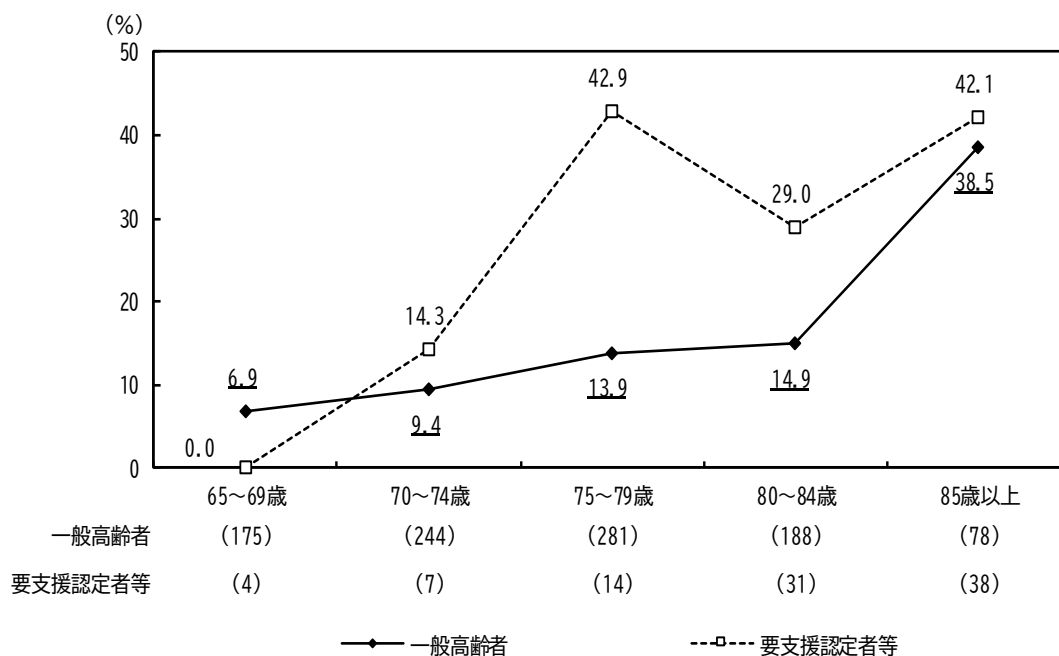


※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等では65～69歳以外の年代の割合が高くなっています。要支援認定者等でみると、75～79歳で42.9%と最も高くなっています。また、一般高齢者では、年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。

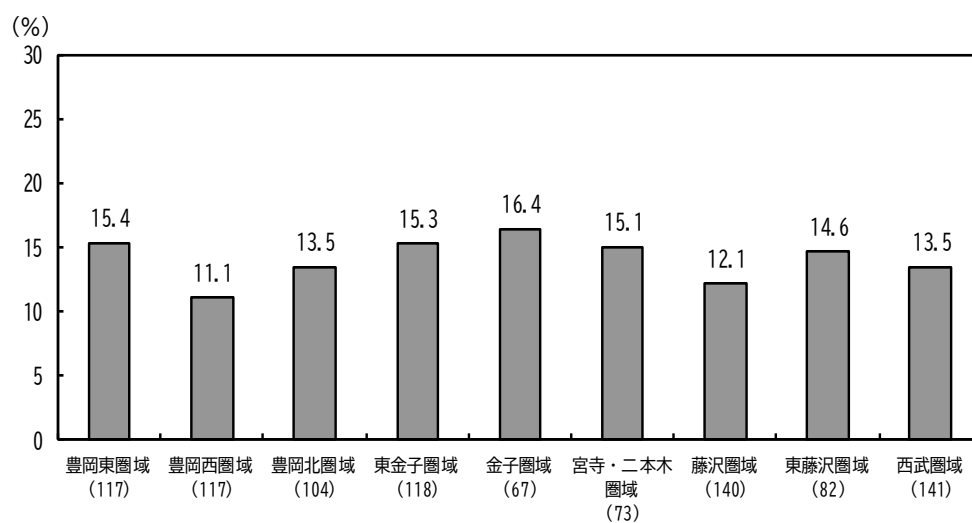
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、豊岡東圏域、東金子圏域、金子圏域、宮寺・二本木圏域、東藤沢圏域で該当者割合が全体平均の13.8%を超えています。

また、最も高い圏域は金子圏域で16.4%、最も低い圏域は豊岡西圏域で11.1%となっており、5.3ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

(3) 転倒リスク

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

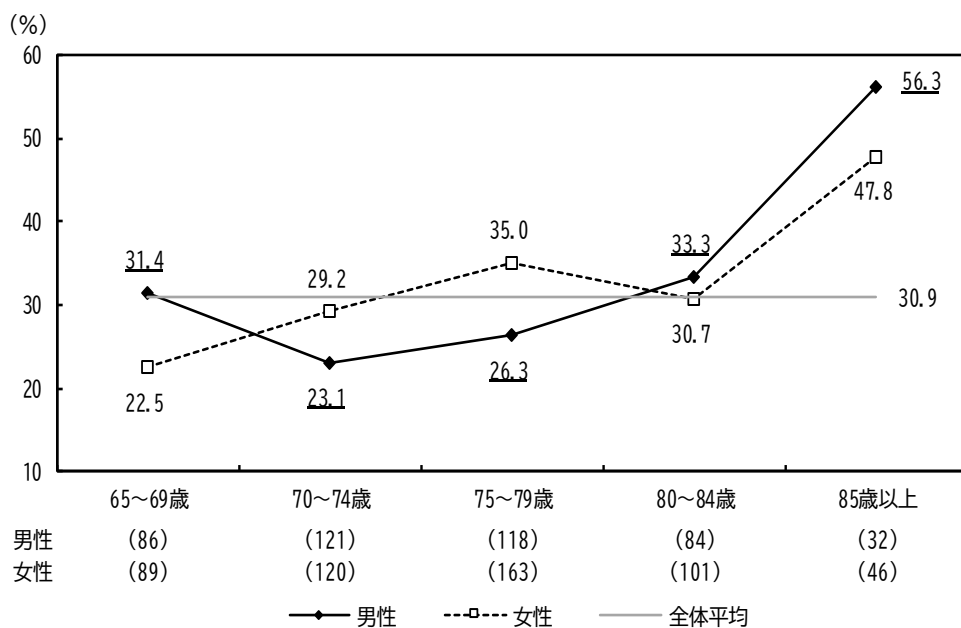
問番号	設問	該当する選択肢
問3-4	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 1度ある 2. 2～4度ある 3. 何度もある

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく転倒の評価結果をみると、全体平均で 30.9%が転倒リスクの該当者となっています。

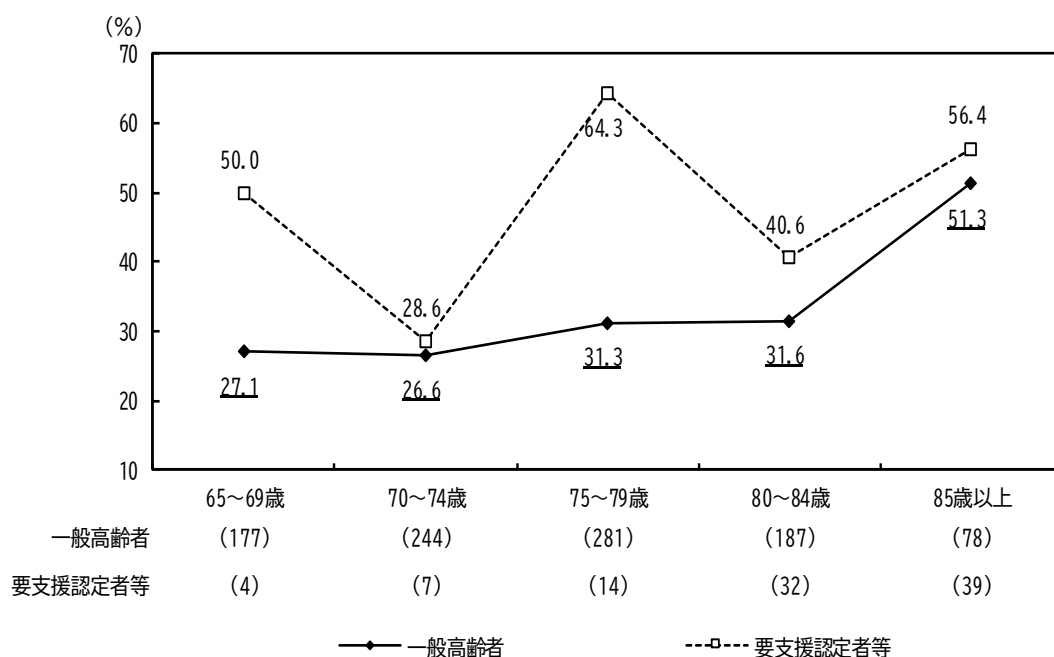
性別・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上で 47.8%と 80～84歳に比べ 17.1ポイント高くなっています。一方、男性では、65～69歳、80～84歳、85歳以上で女性に比べ該当者割合が高く、85歳以上で 56.3%と 80～84歳に比べ 23.0ポイント高くなっています。

【性別・年齢階級別】



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等ではすべての年代の割合が高くなっています。要支援認定者等でみると、75～79歳で64.3%と最も高くなっています。

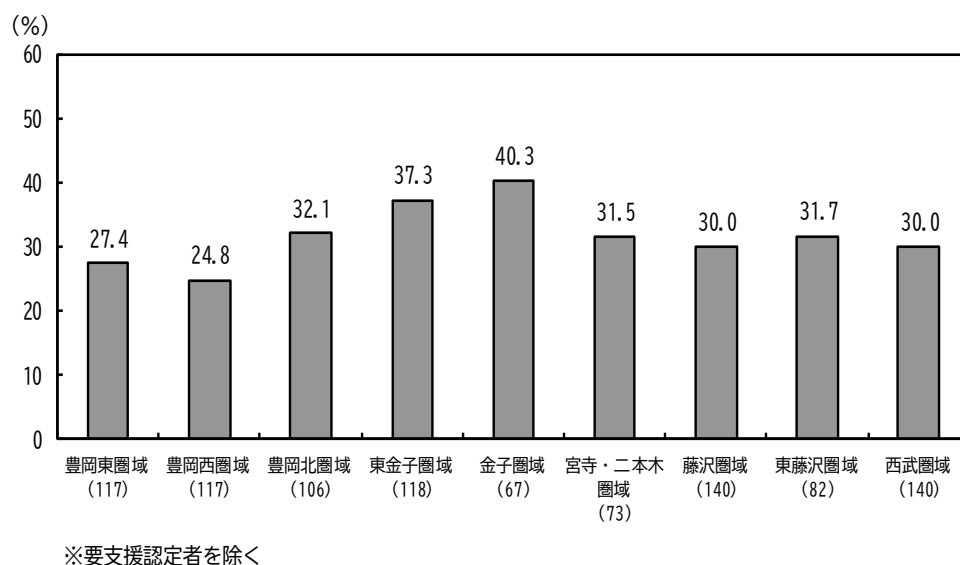
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、豊岡北圏域、東金子圏域、金子圏域、宮寺・二本木圏域、東藤沢圏域で該当者割合が全体平均の30.9%を超えています。

また、最も高い圏域は金子圏域で40.3%、最も低い圏域は豊岡西圏域で24.8%となっており、15.5ポイントの差となっています。

【圏域別】



(4) 低栄養の傾向

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のすべてに該当する人を栄養のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

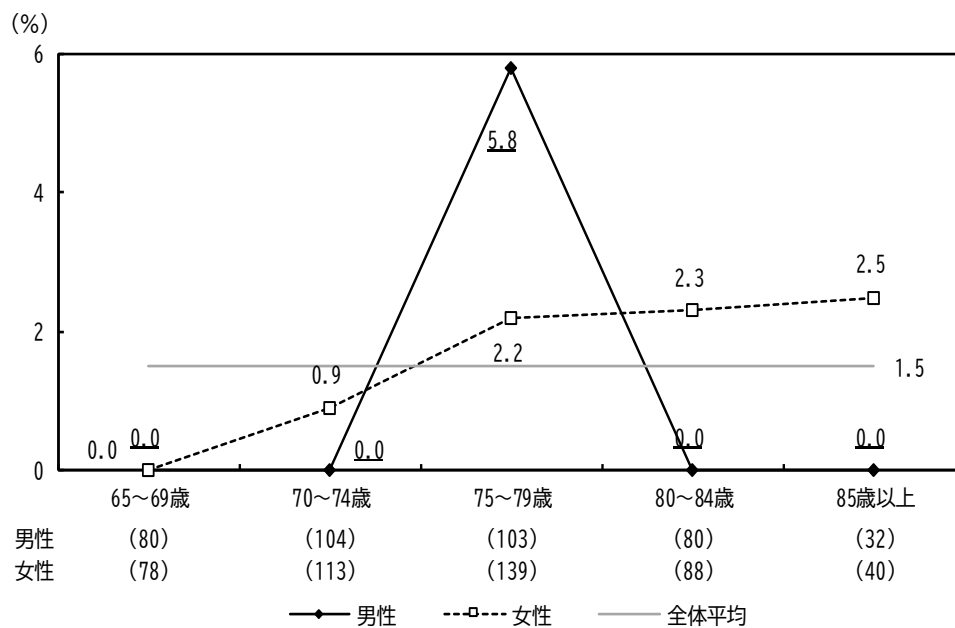
問番号	設問	該当する選択肢
問4(1)	身長・体重	BMI 18.5未満
問4-8	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく栄養の評価結果をみると、全体平均で1.5%が低栄養リスクの該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、70～74歳、80～84歳、85歳以上で男性に比べ該当者割合が高く、75～79歳で2.2%と70～74歳に比べ1.3ポイント高くなっています。一方、男性では、75～79歳で5.8%と70～74歳に比べ5.8ポイント高くなっています。

【性別・年齢階級別】

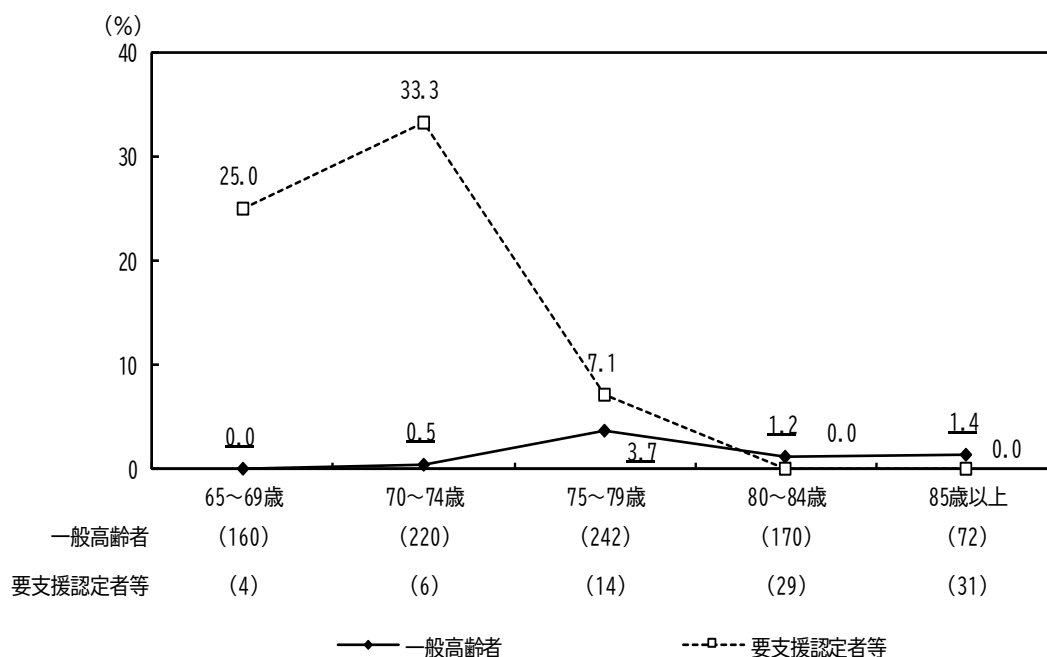


※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、要支援認定者等では、70～74歳で33.3%と最も高くなっています。

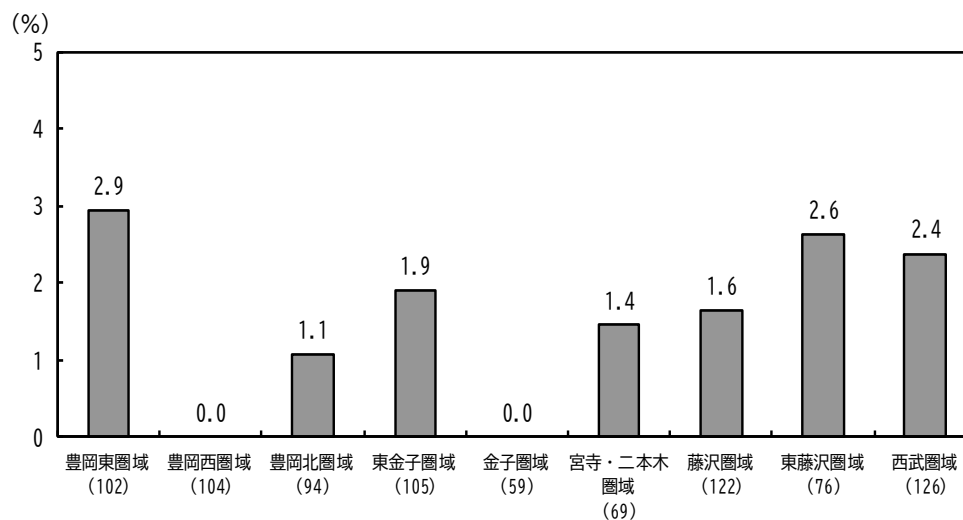
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、豊岡東圏域、東金子圏域、藤沢圏域、東藤沢圏域、西武圏域で該当者割合が全体平均の1.5%を超えています。

また、最も高い圏域は豊岡東圏域で2.9%、最も低い圏域は豊岡西圏域、金子圏域で0.0%となっており、2.9ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

(5) 口腔機能の低下

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

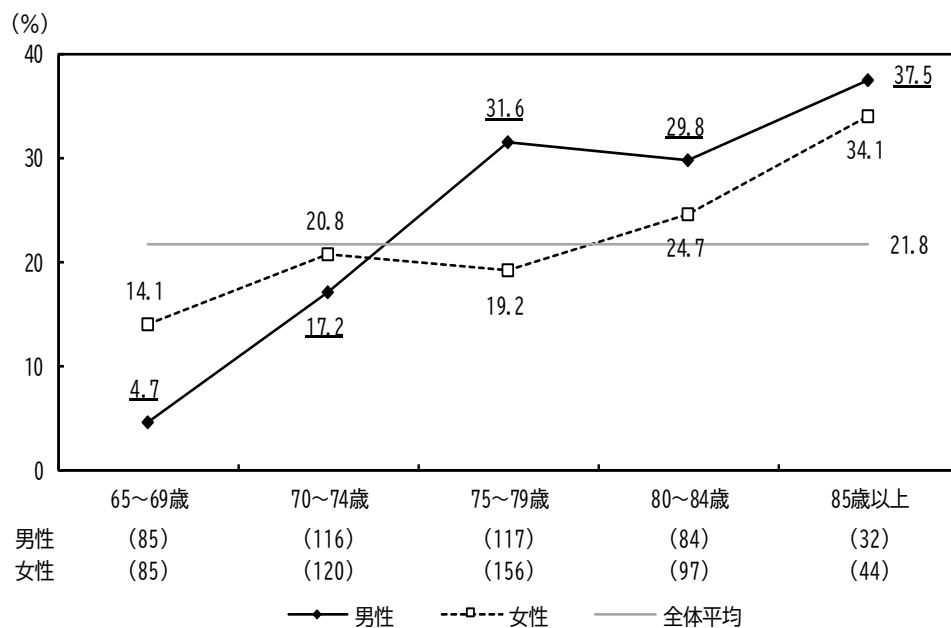
問番号	設問	該当する選択肢
問4-2	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
問4-3	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
問4-4	口の渇きが気になりますか	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく口腔の評価結果をみると、全体平均で 21.8%が口腔機能低下のリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上で 34.1%と 80～84 歳に比べ 9.4 ポイント高くなっています。一方、男性では、75～79 歳、80～84 歳、85 歳以上で女性に比べ該当者割合が高く、75～79 歳で 31.6%と 70～74 歳に比べ 14.4 ポイント高くなっています。

【性別・年齢階級別】

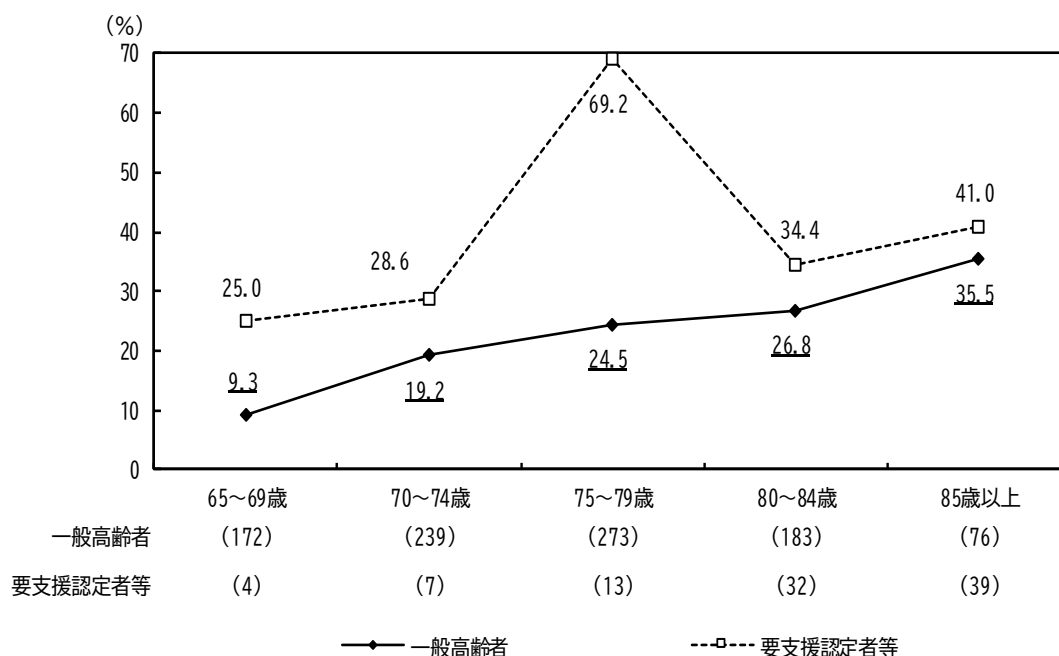


※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等ではすべての年代の割合が高くなっています。要支援認定者等でみると、75～79歳で69.2%と最も高くなっています。また、一般高齢者では、年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。

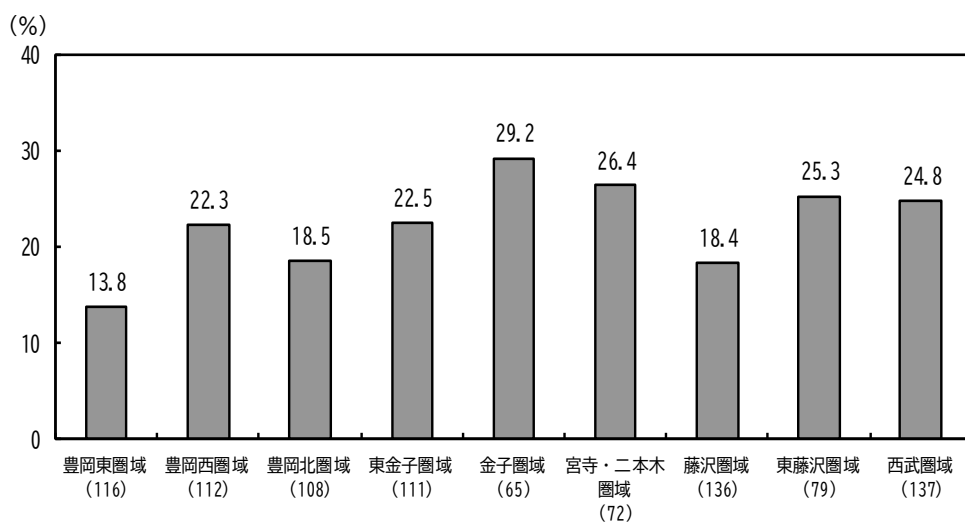
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、豊岡西圏域、東金子圏域、金子圏域、宮寺・二本木圏域、東藤沢圏域、西武圏域で該当者割合が全体平均の21.8%を超えています。

また、最も高い圏域は金子圏域で29.2%、最も低い圏域は豊岡東圏域で13.8%となっており、15.4ポイントの差となっています。

【圏域別】



(6) 認知機能

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

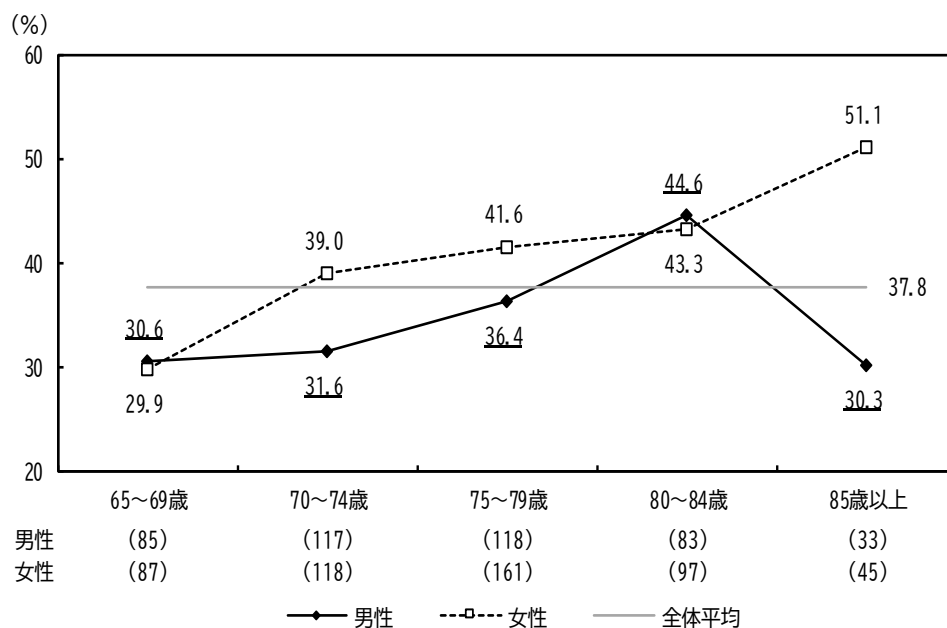
問番号	設問	該当する選択肢
問5	毎日の生活について 問5-1 物忘れが多いと感じますか	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく認知の評価結果をみると、全体平均で 37.8%が該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、70～74 歳、75～79 歳、85 歳以上で男性に比べ該当者割合が高く、70～74 歳で 39.0%と 65～69 歳に比べ 9.1 ポイント高くなっています。一方、男性では、80～84 歳で 44.6%と 75～79 歳に比べ 8.2 ポイント高くなっています。

【性別・年齢階級別】

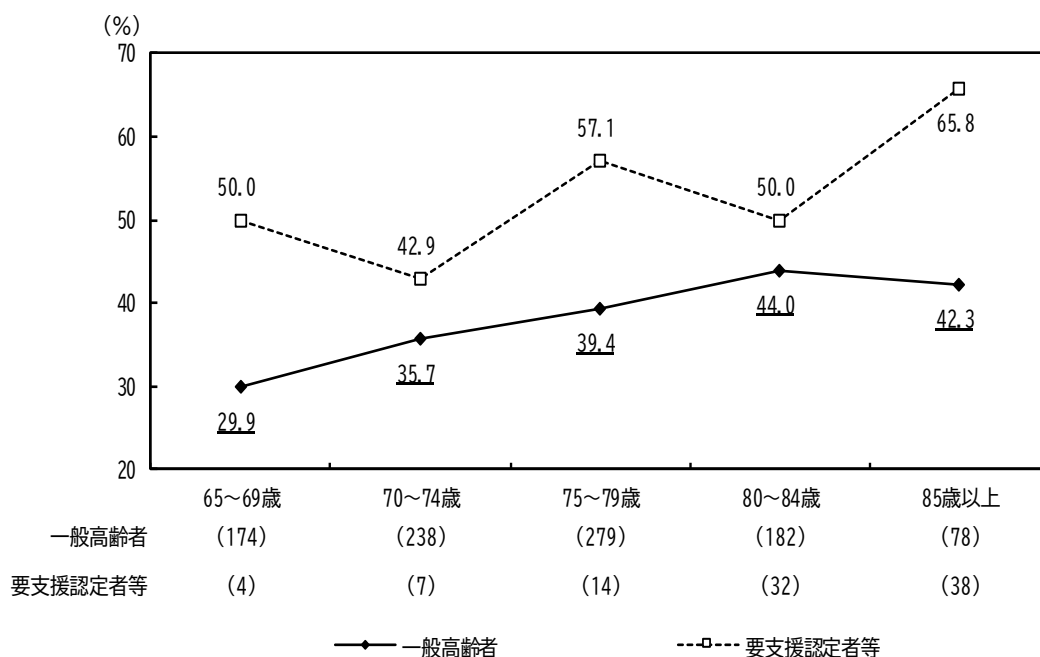


※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等ではすべての年代の割合が高くなっています。要支援認定者等でみると、85歳以上で65.8%と最も高くなっています。

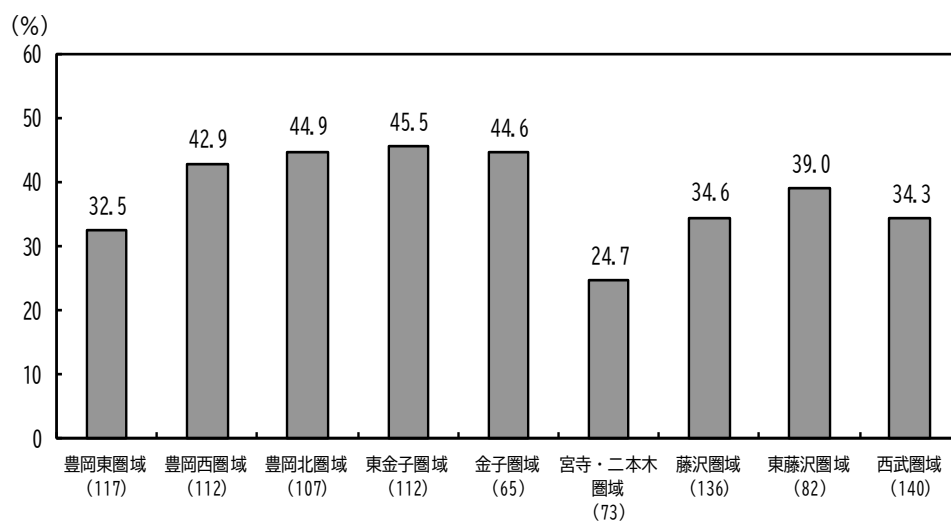
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、豊岡西圏域、豊岡北圏域、東金子圏域、金子圏域、東藤沢圏域で該当者割合が全体平均の37.8%を超えています。

また、最も高い圏域は東金子圏域で45.5%、最も低い圏域は宮寺・二本木圏域で24.7%となっており、20.8ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

(7) うつ傾向

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

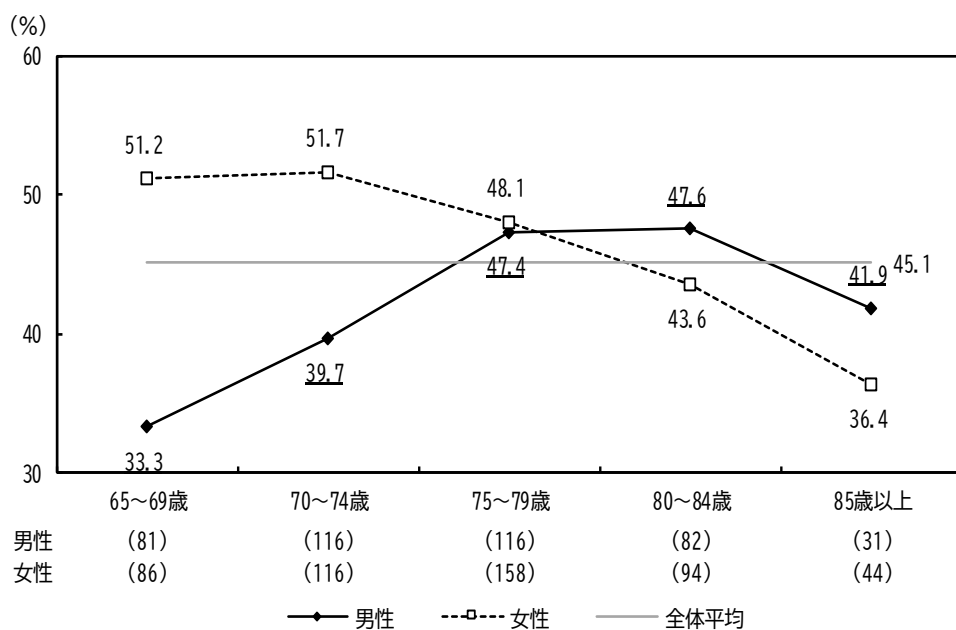
問番号	設問	該当する選択肢
問9-3	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい
問9-4	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づきうつの評価結果をみると、全体平均で45.1%が該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、65～69歳、70～74歳、75～79歳で男性に比べ該当者割合が高く、70～74歳で51.7%と65～69歳に比べ0.5ポイント高くなっています。一方、男性では、75～79歳で47.4%と65～69歳に比べ0.5ポイント高くなっています。一方、男性では、75～79歳で47.4%と70～74歳に比べ7.7ポイント高くなっています。

【性別・年齢階級別】

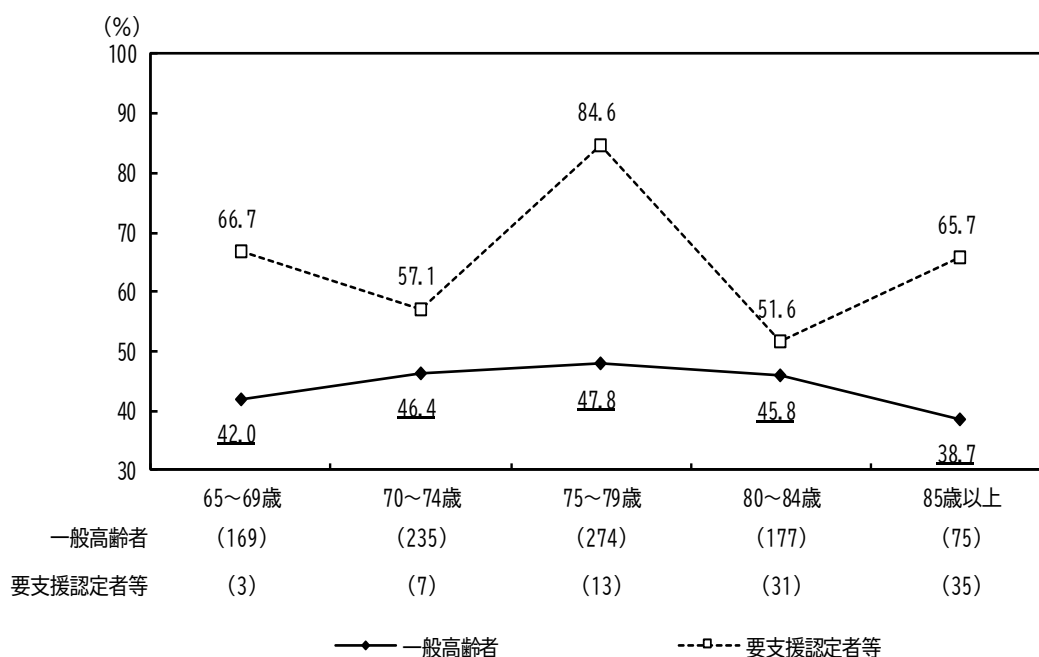


※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等ではすべての年代の割合が高くなっています。要支援認定者等でみると、75～79歳で84.6%と最も高くなっています。

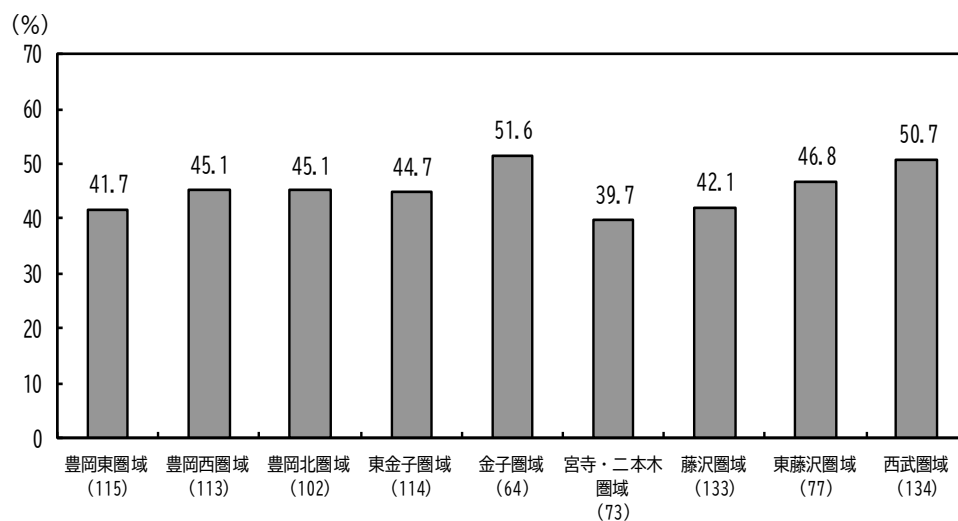
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、金子圏域、東藤沢圏域、西武圏域で該当者割合が全体平均の45.1%を超えています。

また、最も高い圏域は金子圏域で51.6%、最も低い圏域は宮寺・二本木圏域で39.7%となっており、11.9ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

(8) IADL（手段的自立度）

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度（IADL※）に関する設問が5問あり、「手段的自立度（IADL）」として尺度化されています。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。

また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示しています。

※IADL・・・手段的日常生活動作のことで日常生活における応用的な動作ができるだけでなく、動作に伴う正しい判断・意思決定ができるかどうかの指標。

【判定設問】

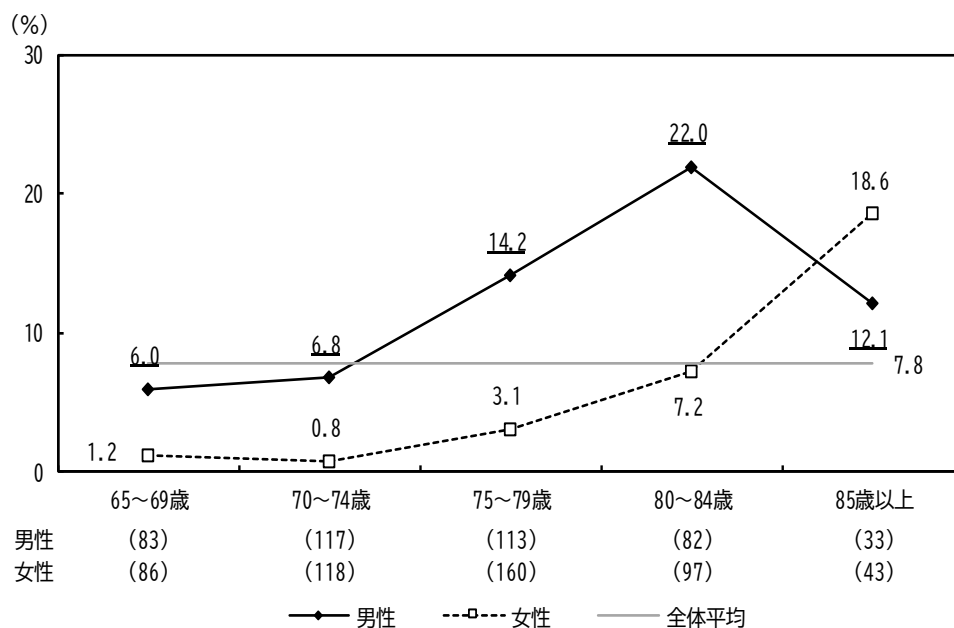
問番号	設問	該当する選択肢
問5-4	バスや電車を使って1人で外出していますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問5-5	自分で食品・日用品の買い物をしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問5-6	自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問5-7	自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問5-8	自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点

【リスク該当状況】

全体平均では7.8%が手段的自立度の低下者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上で18.6%と80～84歳に比べ11.4ポイント高くなっています。一方、男性では、以外の年代で女性に比べ該当者割合が高く、80～84歳で22.0%と75～79歳に比べ7.8ポイント高くなっています。

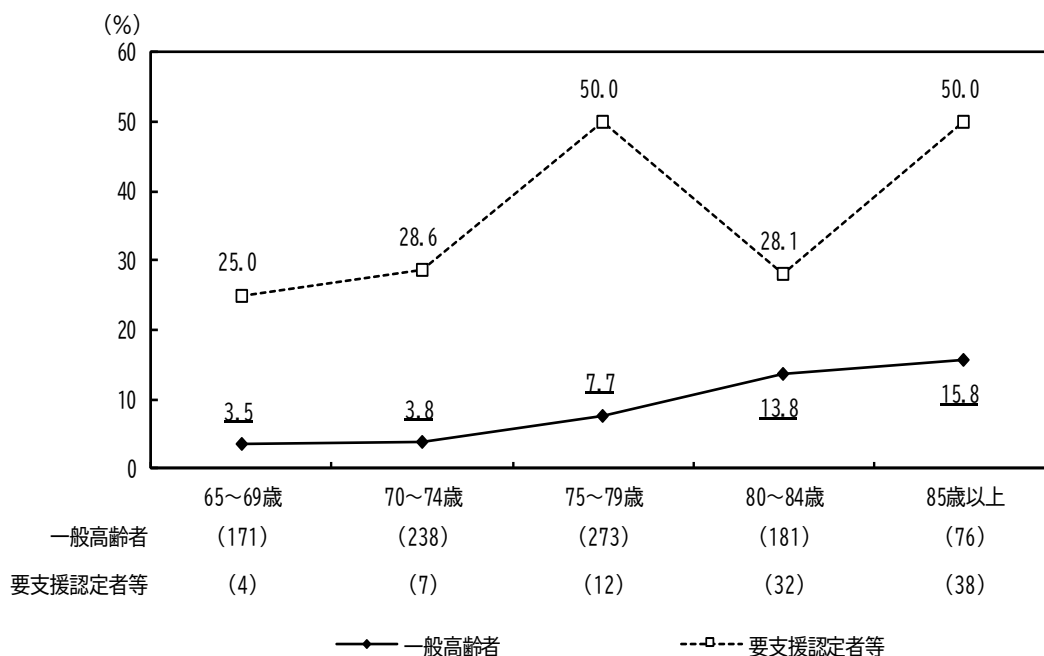
【性別・年齢階級別】



※要支援認定者を除く

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等ではすべての年代の割合が高くなっています。要支援認定者等でみると、75～79歳で50.0%と最も高くなっています。また、一般高齢者では、年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。

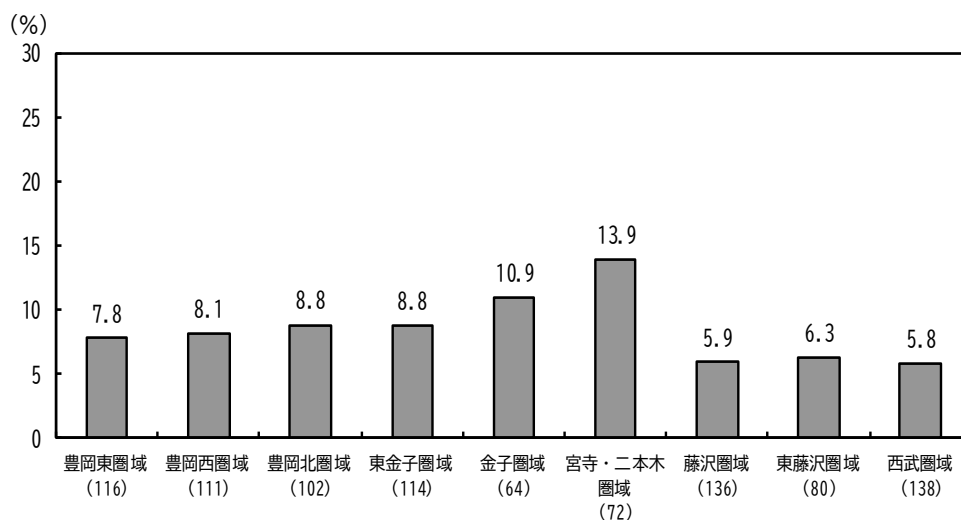
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、豊岡西圏域、豊岡北圏域、東金子圏域、金子圏域、宮寺・二本木圏域で該当者割合が全体平均の7.8%を超えています。

また、最も高い圏域は宮寺・二本木圏域で13.9%、最も低い圏域は西武圏域で5.8%となっており、8.1ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

(9) 知的能動性

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問あり、「知的能動性」として尺度化されています。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を知的能動性の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

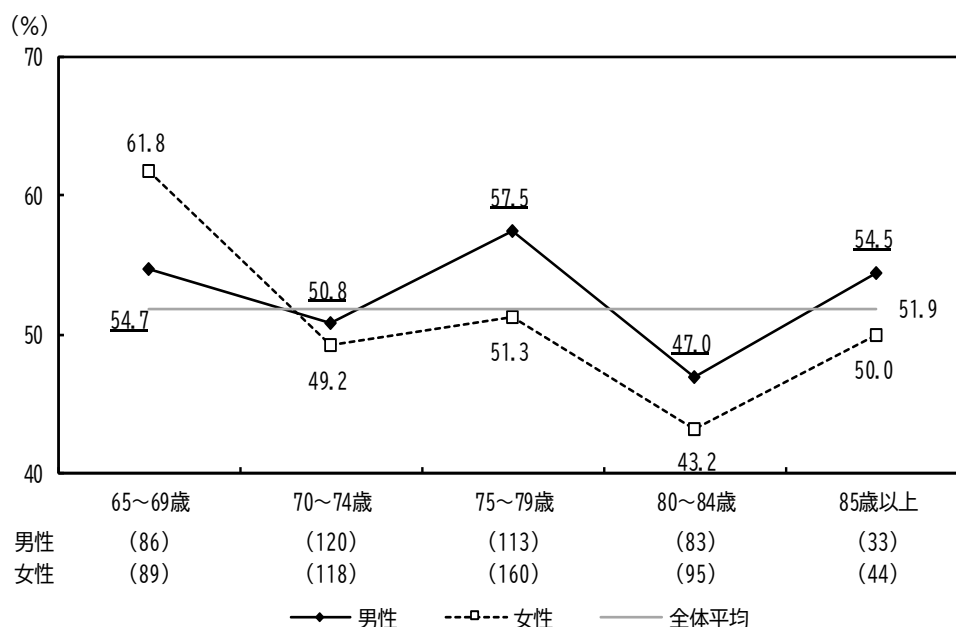
問番号	設問	該当する選択肢
問5-9	年金などの書類	1. はい：1点
問5-10	新聞を読んでいますか	1. はい：1点
問5-11	本や雑誌を読んでいますか	1. はい：1点
問5-12	健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい：1点

【リスク該当状況】

知的能動性の低下者は、全体平均では51.9%となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上で50.0%と80～84歳に比べ6.8ポイント高くなっています。一方、男性では、以外の年代で女性に比べ該当者割合が高く、85歳以上で54.5%と80～84歳に比べ7.5ポイント高くなっています。

【性別・年齢階級別】

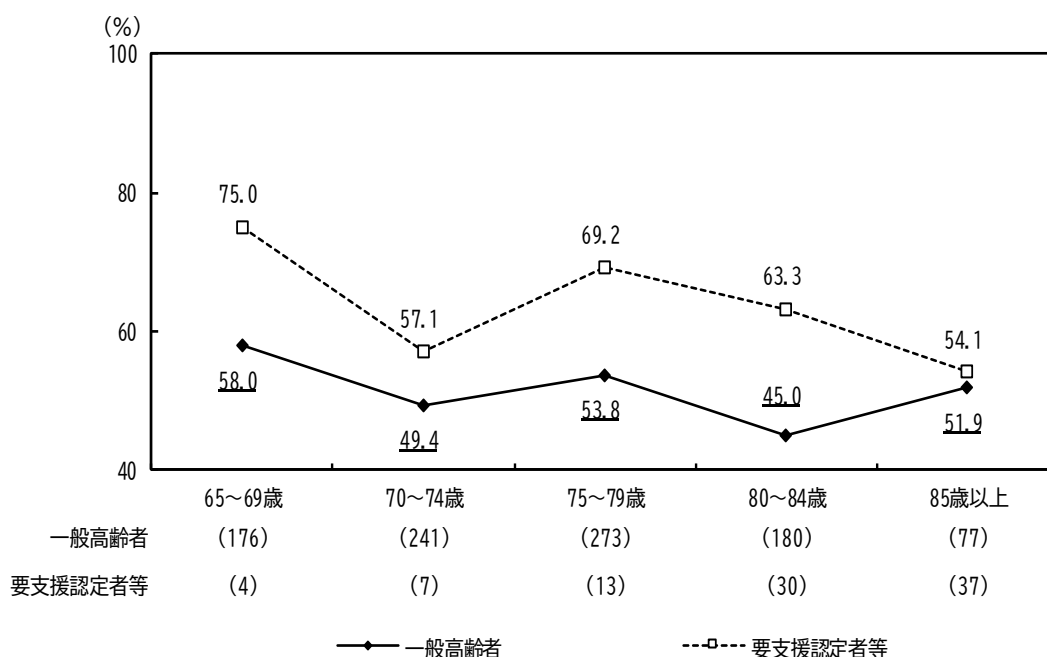


※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等ではすべての年代の割合が高くなっています。要支援認定者等でみると、65～69歳で75.0%と最も高くなっています。

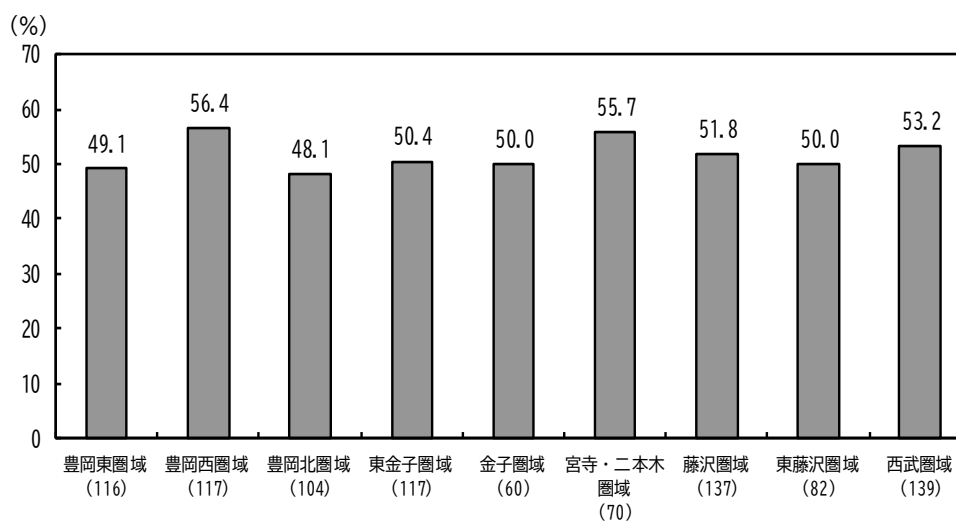
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、豊岡西圏域、宮寺・二本木圏域、西武圏域で該当者割合が全体平均の 51.9%を超えています。

また、最も高い圏域は豊岡西圏域で 56.4%、最も低い圏域は豊岡北圏域で 48.1%となっており、8.3ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

(10) 社会的役割

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問あり、「社会的役割」として尺度化されています。

評価は、知的能動性と同様に4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を社会的役割の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

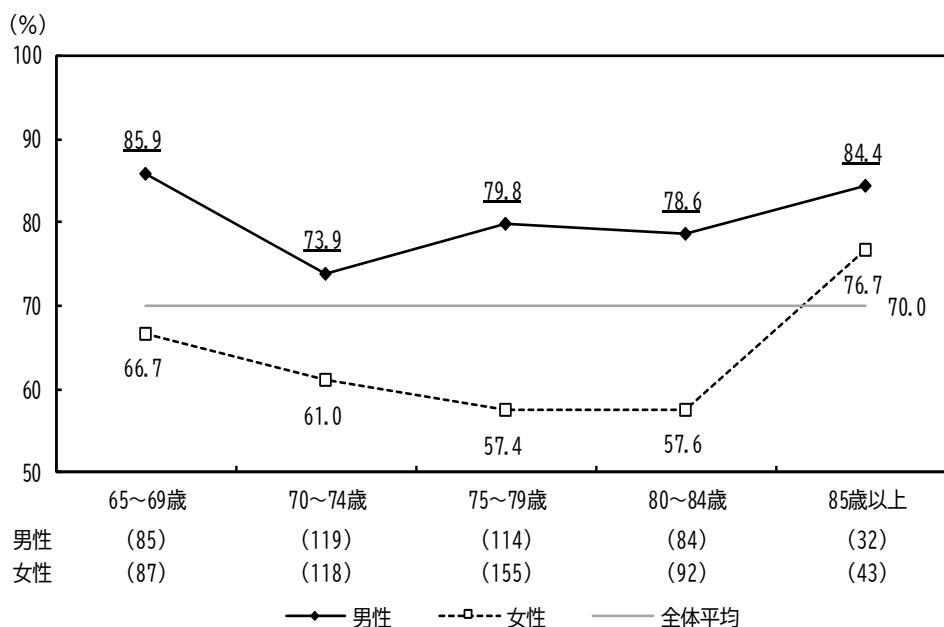
問番号	設問	該当する選択肢
問5-13	友人の家を訪ねていますか	1. はい：1点
問5-14	家族や友人の相談にのっていますか	1. はい：1点
問5-15	病人を見舞うことができますか	1. はい：1点
問5-16	若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい：1点

【リスク該当状況】

社会的役割の低下者は、全体平均では70.0%となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上で76.7%と80～84歳に比べ19.1ポイント高くなっています。一方、男性では、すべての年代で女性に比べ該当者割合が高く、75～79歳で79.8%と70～74歳に比べ5.9ポイント高くなっています。

【性別・年齢階級別】

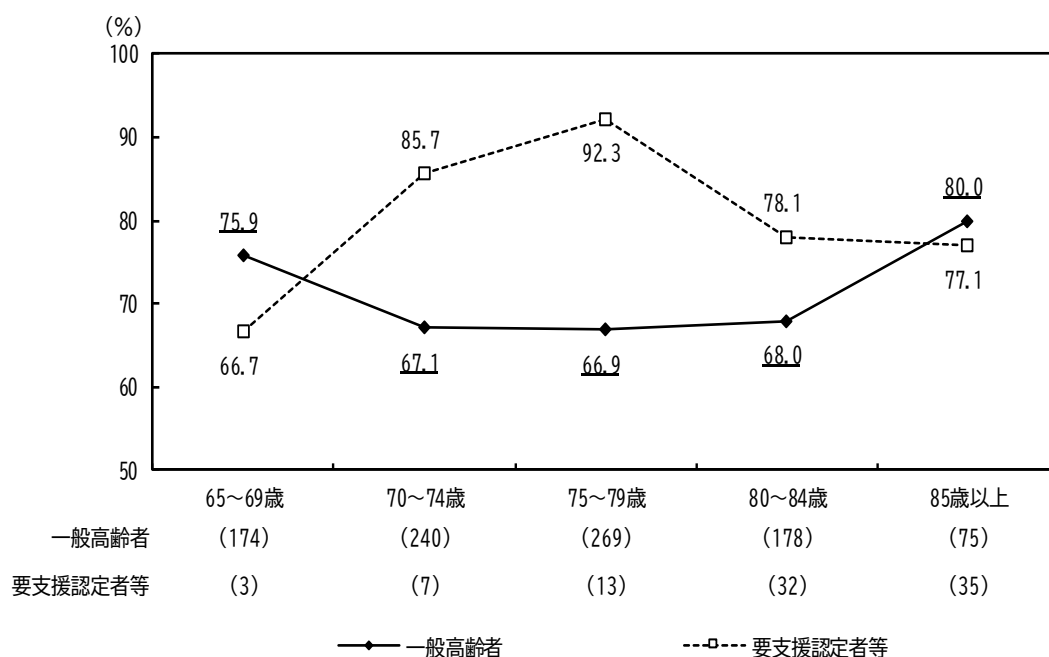


※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、要支援認定者等では、75～79 歳で 92.3%と最も高くなっています。

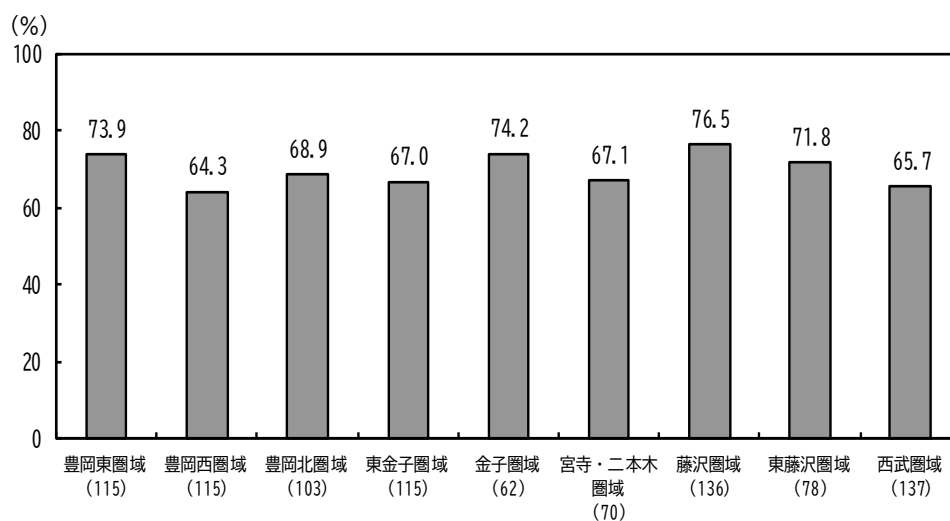
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、豊岡東圏域、金子圏域、藤沢圏域、東藤沢圏域で該当者割合が全体平均の 70.0%を超えています。

また、最も高い圏域は藤沢圏域で 76.5%、最も低い圏域は豊岡西圏域で 64.3%となっており、12.2ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

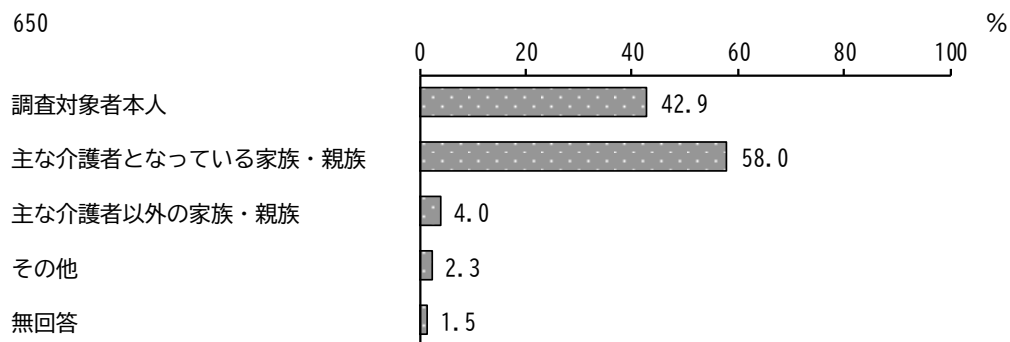
3 在宅介護実態調査

A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（いくつでも）

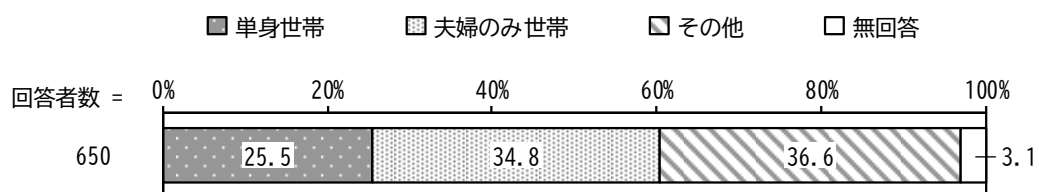
「調査対象者本人」の割合が42.9%、「主な介護者となっている家族・親族」の割合が58.0%、「主な介護者以外の家族・親族」の割合が4.0%となっています。

回答者数 = 650



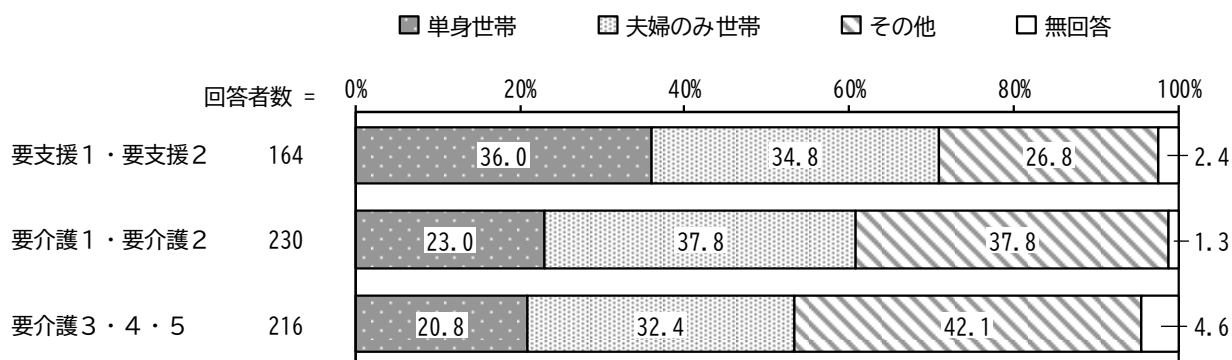
問2 世帯類型について、ご回答ください（1つのみ）

「単身世帯」の割合が25.5%、「夫婦のみ世帯」の割合が34.8%となっています。



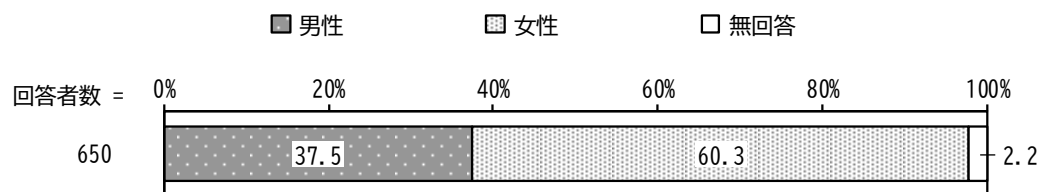
【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援1・要支援2で「単身世帯」の割合が高くなっています。



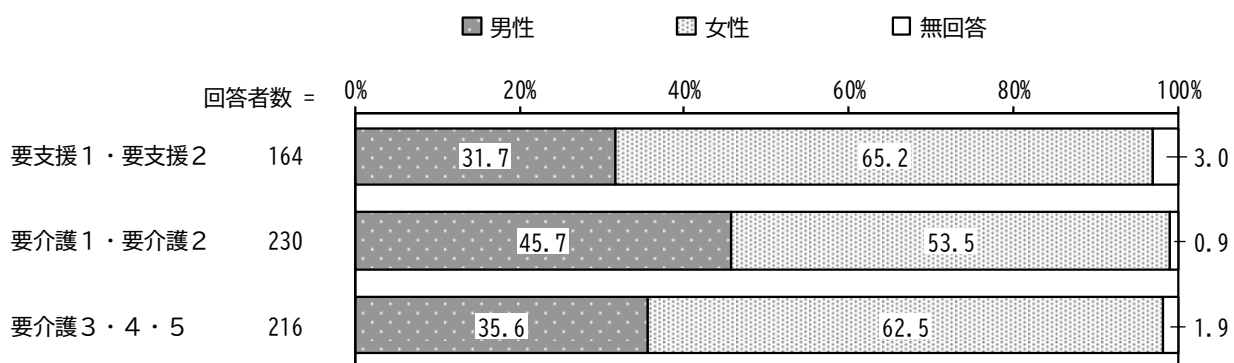
問3 ご本人の性別について、ご回答ください（1つのみ）

「男性」の割合が 37.5%、「女性」の割合が 60.3%となっています。



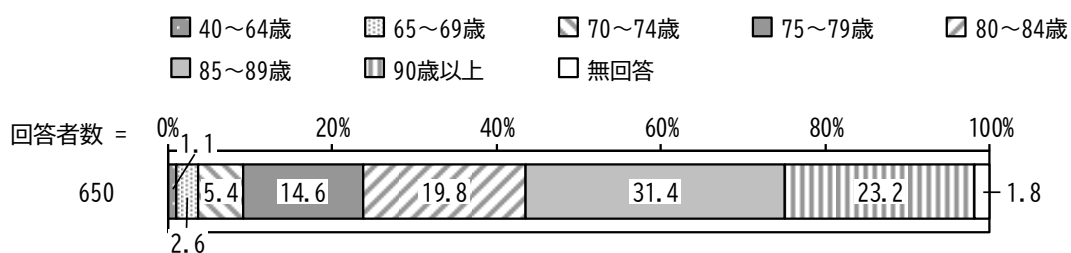
【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護1・要介護2で「男性」の割合が高くなっています。



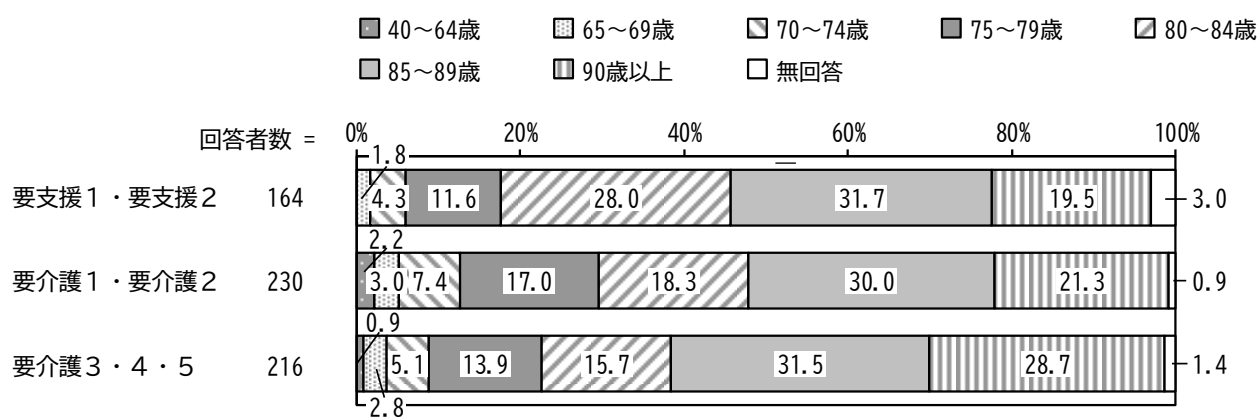
問4 ご本人の年齢について、ご回答ください（1つのみ）

「85～89歳」の割合が31.4%と最も高く、次いで「90歳以上」の割合が23.2%、「80～84歳」の割合が19.8%となっています。



【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援1・要支援2で「80～84歳」、要介護3・4・5で「90歳以上」の割合が高くなっています。

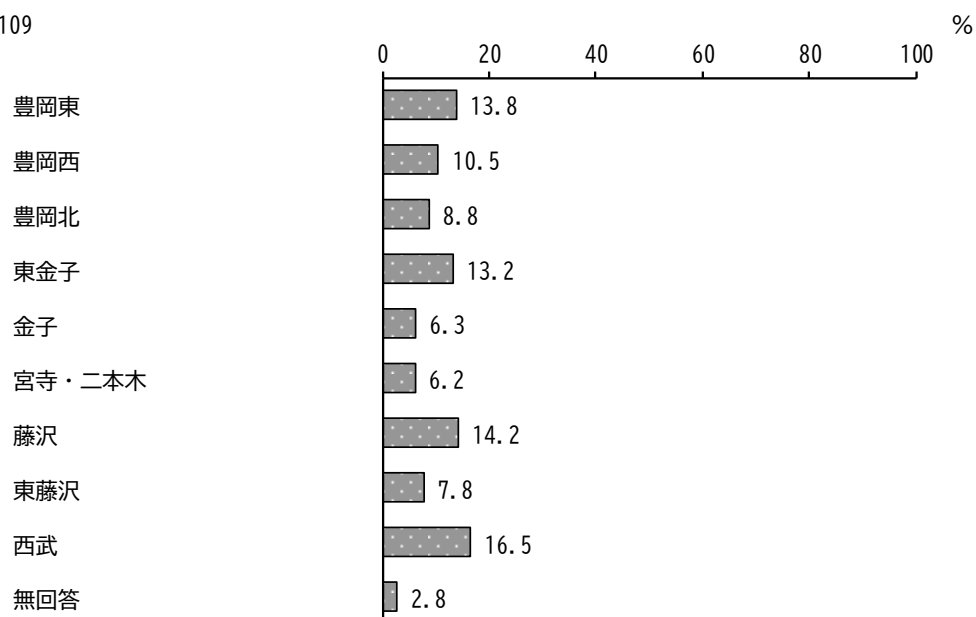


問5 ご本人のお住まいの地区について、ご回答ください（1つのみ）

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、「西武」の割合が16.5%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,109



【要支援・要介護度別】

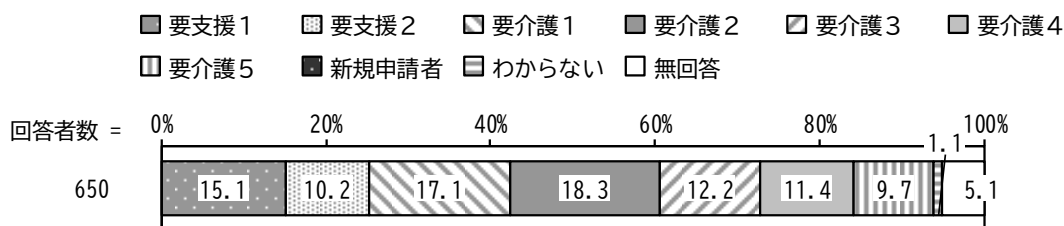
要支援・要介護度別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	豊岡東圏域	豊岡西圏域	豊岡北圏域	東金子圏域	金子圏域	宮寺・二本木圏域	藤沢圏域	東藤沢圏域	西武圏域	無回答
全 体	650	13.8	10.5	8.8	13.2	6.3	6.2	14.2	7.8	16.5	2.8
要支援1・要支援2	164	18.3	11.0	6.7	11.6	5.5	4.3	12.2	7.9	20.1	2.4
要介護1・要介護2	230	13.0	10.4	9.1	15.2	4.8	6.5	13.0	8.7	16.1	3.0
要介護3・4・5	216	13.0	10.2	9.3	11.6	8.3	7.9	16.7	6.5	14.4	2.3

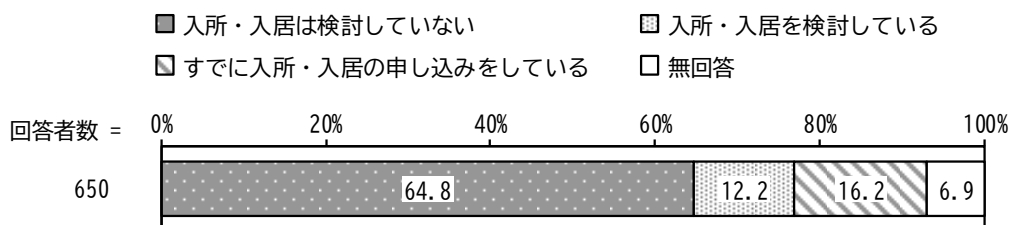
問6 ご本人の要介護度について、ご回答ください（1つのみ）

「要介護2」の割合が18.3%と最も高く、次いで「要介護1」の割合が17.1%、「要支援1」の割合が15.1%となっています。



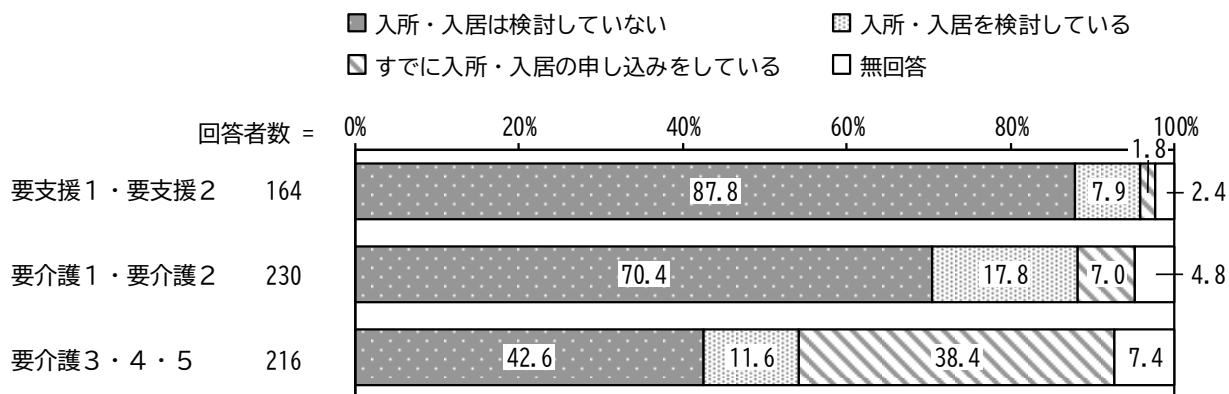
問7 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つのみ）

「入所・入居は検討していない」の割合が64.8%、「入所・入居を検討している」の割合が12.2%、「すでに入所・入居の申し込みをしている」の割合が16.2%となっています。



【要支援・要介護度別】

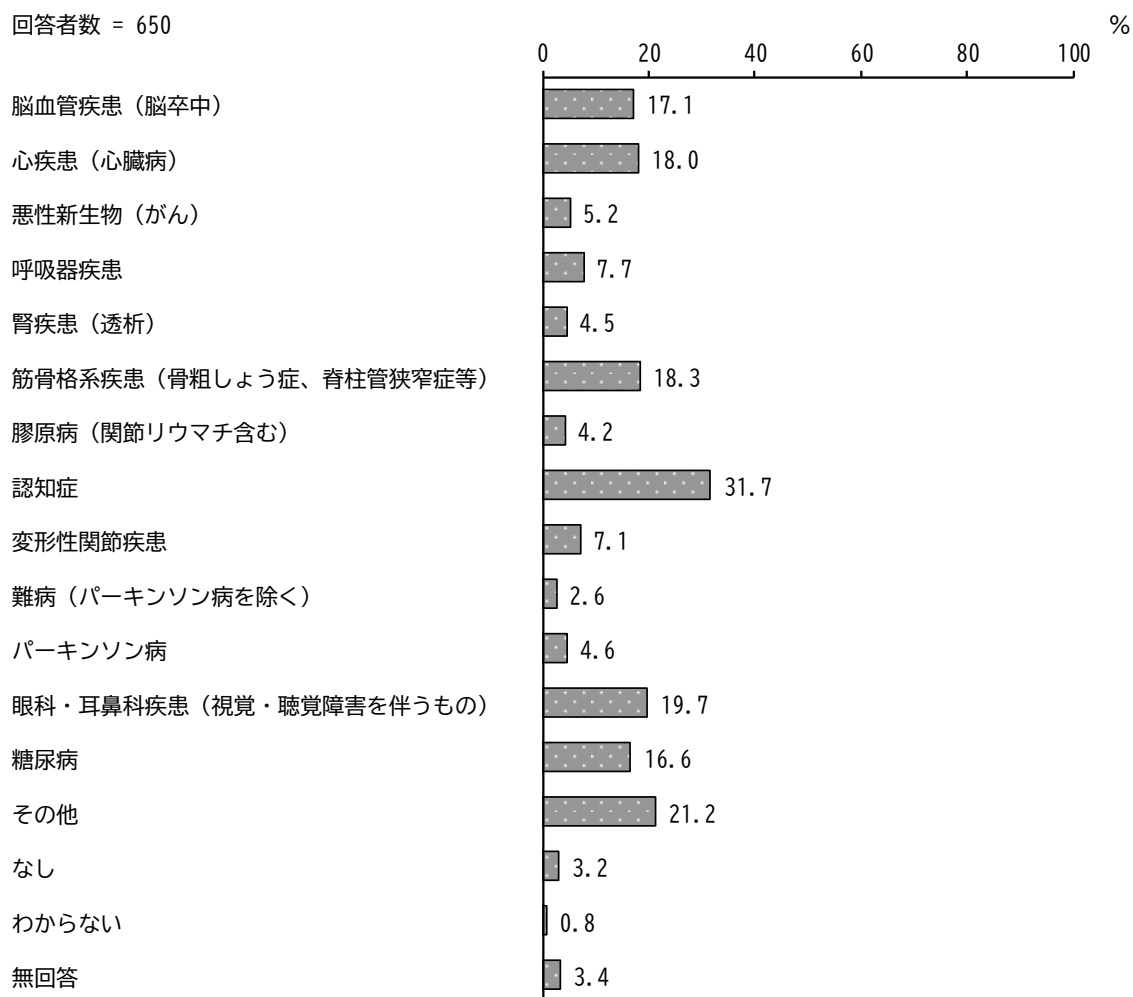
要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援1・要支援2で「入所・入居は検討していない」、要介護3・4・5で「すでに入所・入居の申し込みをしている」の割合が高くなっています。



問8 ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（いくつでも）

「認知症」の割合が 31.7%と最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が 19.7%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が 18.3%となっています。

回答者数 = 650



【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援１・要支援２で「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」、要介護３・４・５で「認知症」の割合が高くなっています。

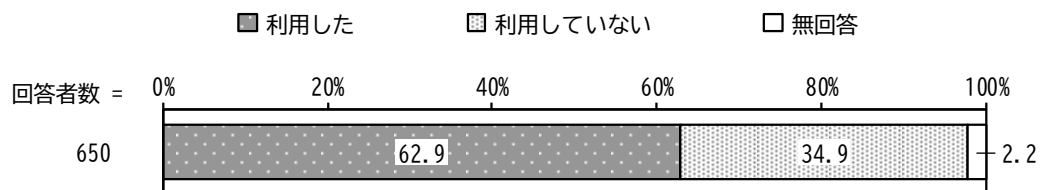
単位：％

区分	回答者数 (件)	脳血管疾患 (脳卒中)	心疾患 (心臓病)	悪性新生物 (がん)	呼吸器疾患	腎疾患 (透析)	筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、 脊柱管狭窄症等)	膠原病 (関節リウマチ含む)	認知症
全 体	650	17.1	18.0	5.2	7.7	4.5	18.3	4.2	31.7
要支援１・要支援２	164	9.8	19.5	6.7	9.1	4.3	30.5	4.9	9.8
要介護１・要介護２	230	20.4	20.4	5.7	8.7	4.3	16.5	5.7	34.3
要介護３・４・５	216	20.4	15.3	4.2	6.0	4.6	13.0	2.8	49.1

区分	変形性関節疾患	難病 (パーキンソン病を除く)	パーキンソン病	眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)	糖尿病	その他	なし	わからない	無回答
全 体	7.1	2.6	4.6	19.7	16.6	21.2	3.2	0.8	3.4
要支援１・要支援２	11.0	1.8	2.4	25.6	17.7	26.2	6.1	1.2	3.0
要介護１・要介護２	7.4	1.7	5.2	22.6	17.4	19.1	3.0	0.9	0.9
要介護３・４・５	3.7	3.7	6.0	13.9	13.4	20.8	0.9	0.5	2.8

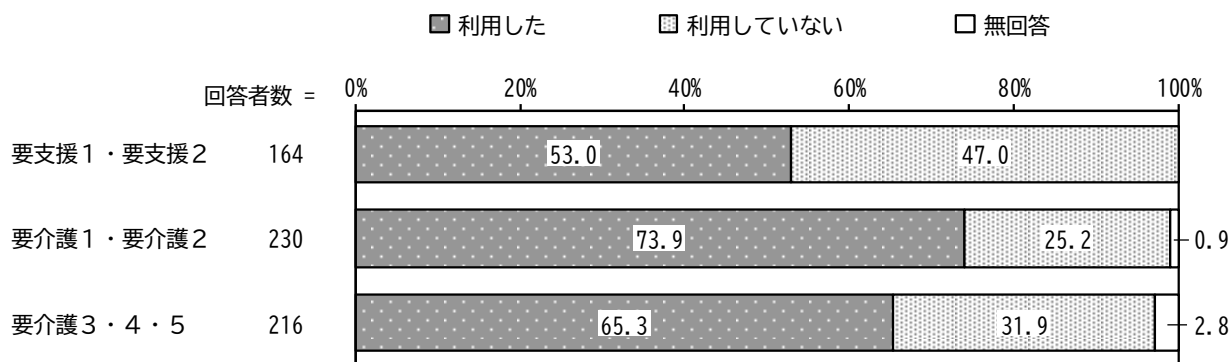
問9 令和7年12月に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか（1つのみ）

「利用した」の割合が62.9%、「利用していない」の割合が34.9%となっています。



【要支援・要介護度別】

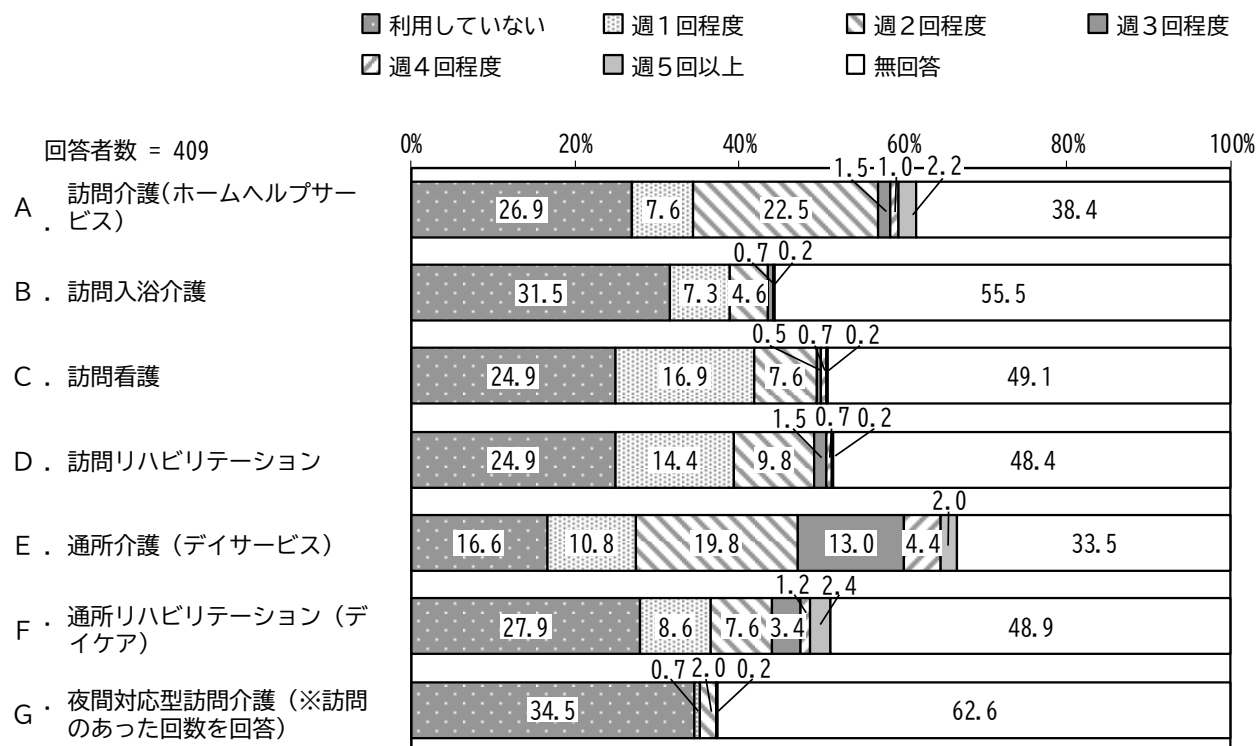
要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護1・要介護2で「利用していない」の割合が低くなっています。



【問9で「利用した」の方のみ】

問10 以下の介護保険サービスについて、令和7年12月の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください。（それぞれ1つのみ）

『G. 夜間対応型訪問介護（※訪問のあった回数を回答）』で「利用していない」が、『C. 訪問看護』で「週1回程度」が、『A. 訪問介護（ホームヘルプサービス）』で「週2回程度」が、『E. 通所介護（デイサービス）』で「週3回程度」「週4回程度」が、『F. 通所リハビリテーション（デイケア）』で「週5回以上」が高くなっています。



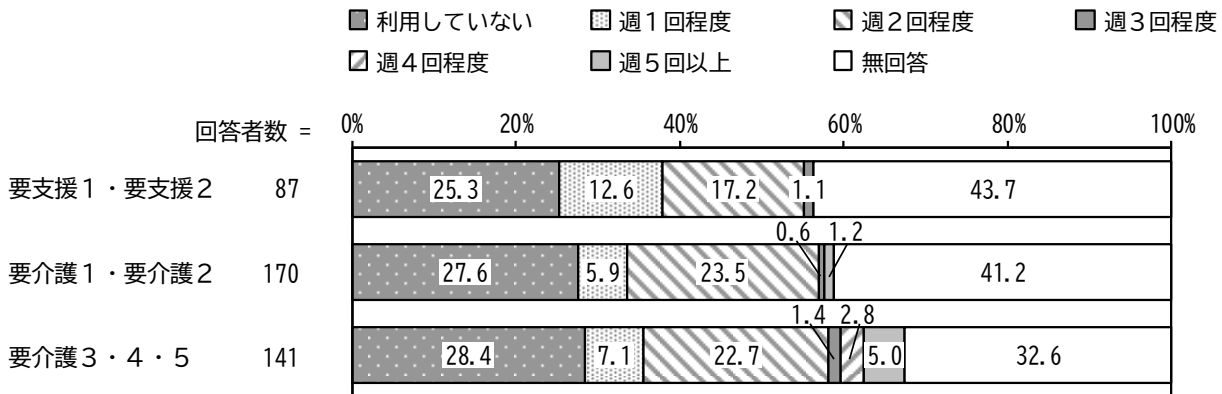
※利用していない、分からないために未記入となっている回答については無回答として集計しています。

1 週間あたりの利用回数（それぞれ1つのみ）

A. 訪問介護(ホームヘルプサービス)

【要支援・要介護度別】

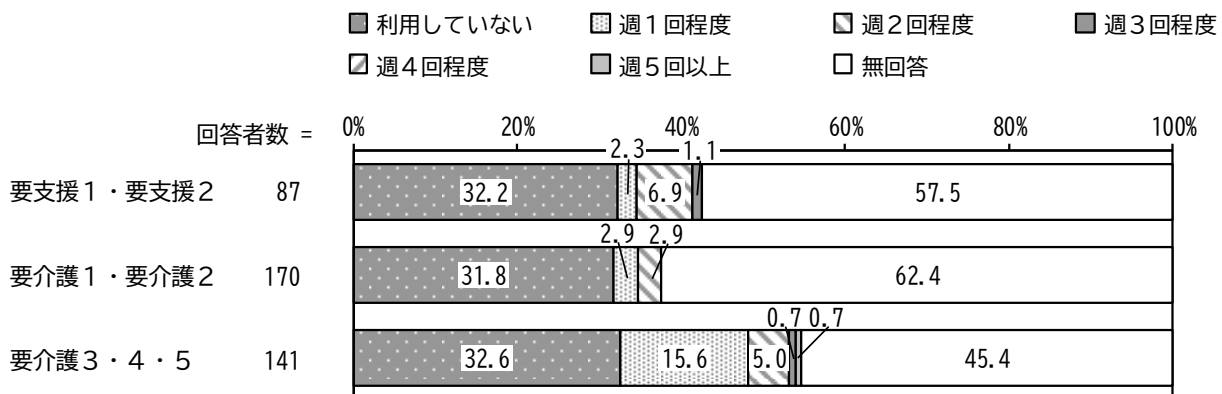
要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援1・要支援2で「週1回程度」の割合が高く、「週2回程度」の割合が低くなっています。



B. 訪問入浴介護

【要支援・要介護度別】

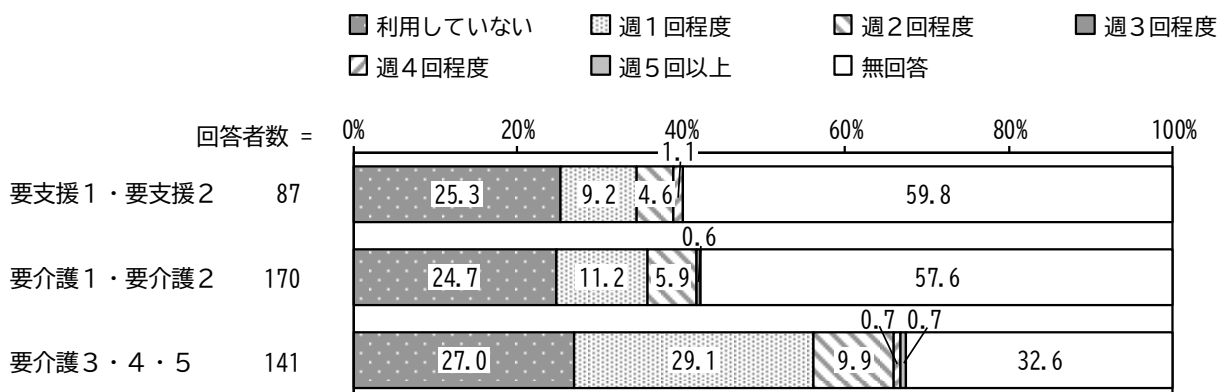
要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護3・4・5で「週1回程度」の割合が高くなっています。



C. 訪問看護

【要支援・要介護度別】

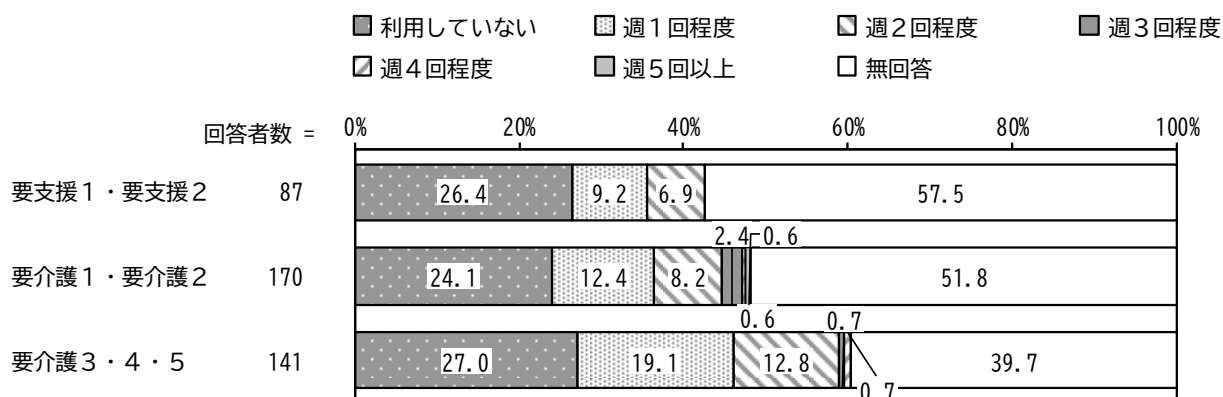
要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護3・4・5で「週1回程度」の割合が高くなっています。



D. 訪問リハビリテーション

【要支援・要介護度別】

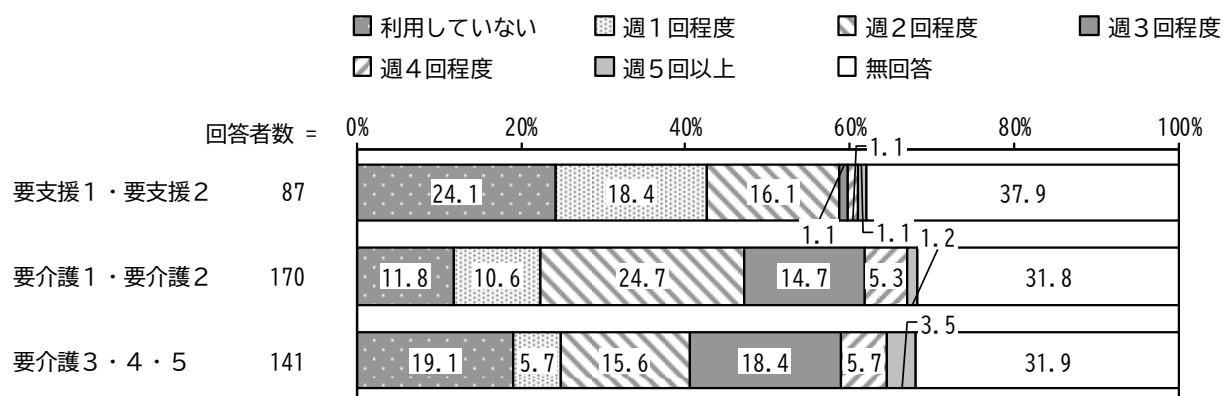
要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援１・要支援２で「週１回程度」の割合が低くなっています。



E. 通所介護（デイサービス）

【要支援・要介護度別】

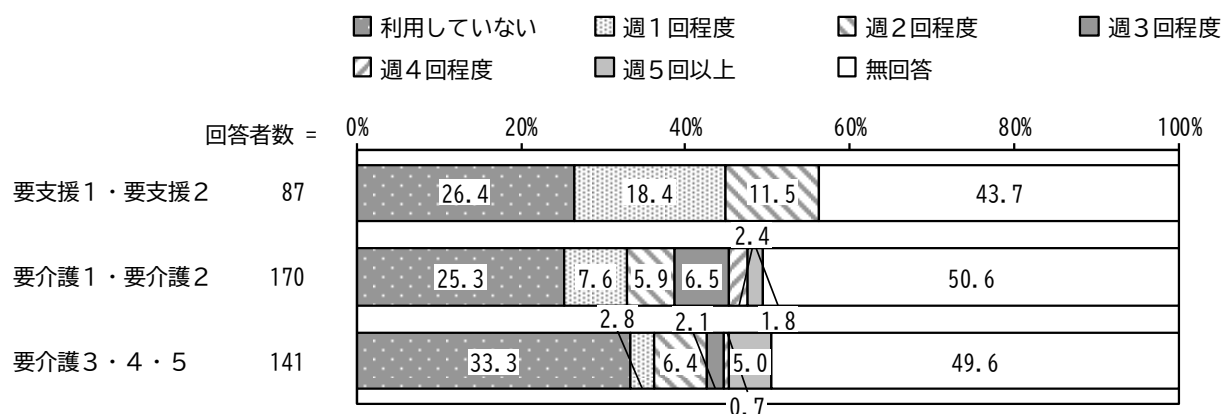
要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援１・要支援２で「週１回程度」、要介護３・４・５で「週３回程度」の割合が高くなっています。



F. 通所リハビリテーション（デイケア）

【要支援・要介護度別】

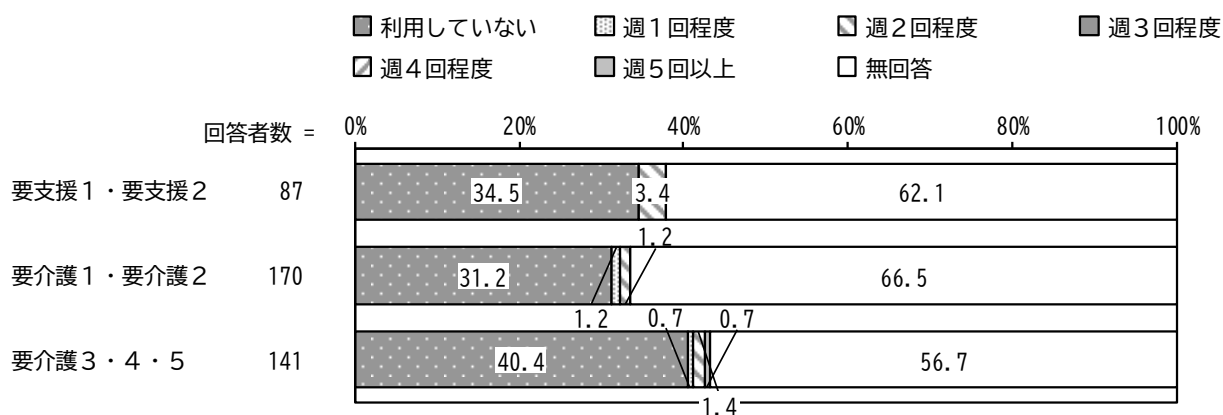
要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援１・要支援２で「週１回程度」の割合が高くなっています。



G. 夜間対応型訪問介護（※訪問のあった回数を回答）

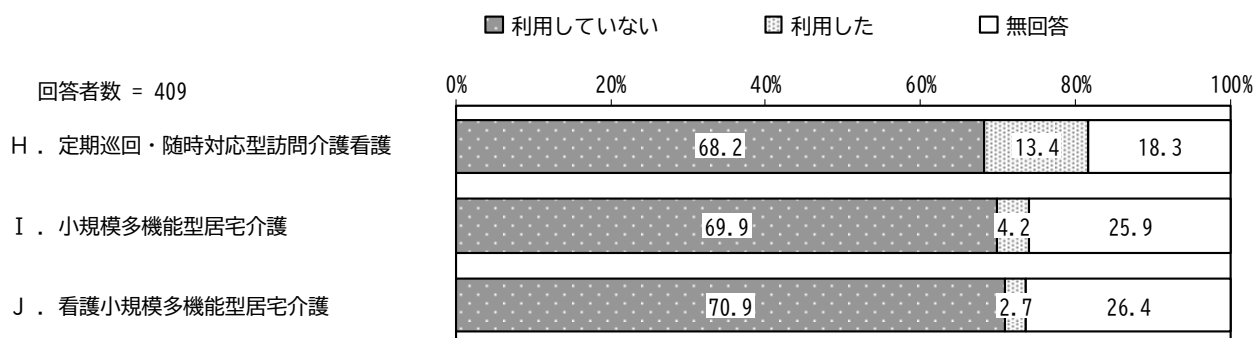
【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護3・4・5で「利用していない」の割合が高くなっています。



利用の有無（1つのみ）

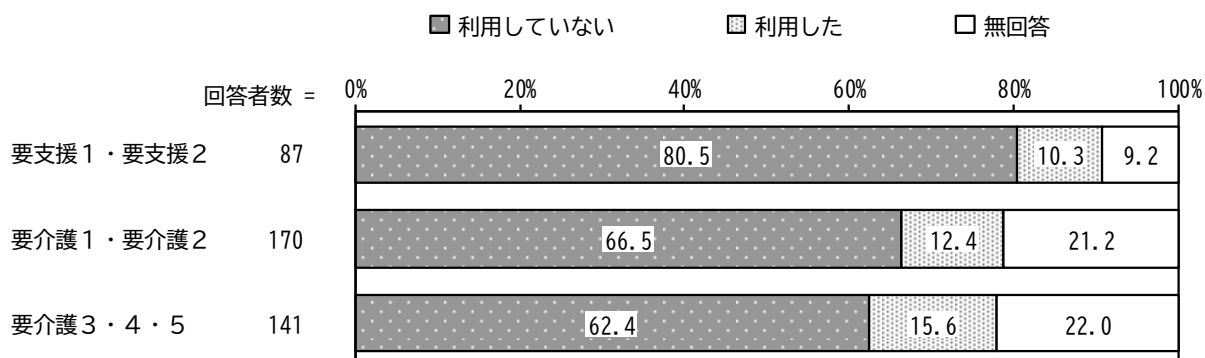
『J. 看護小規模多機能型居宅介護』で「利用していない」が、『H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護』で「利用した」が高くなっています。



H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

【要支援・要介護度別】

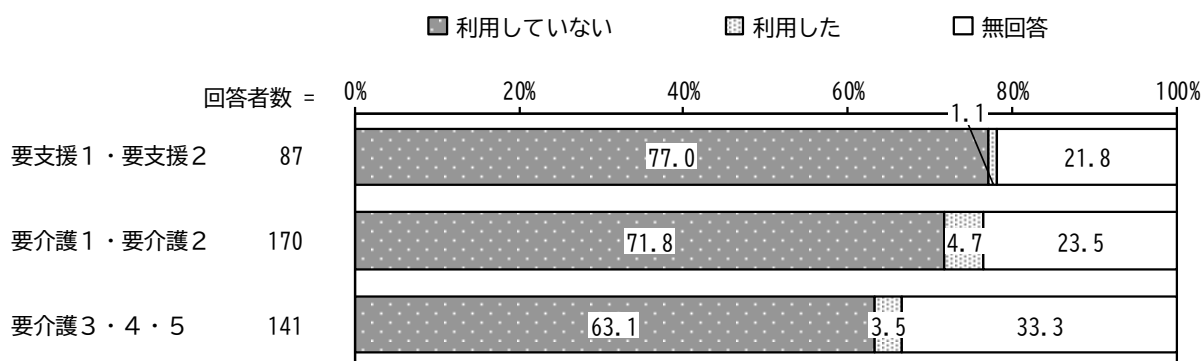
要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援1・要支援2で「利用していない」の割合が高くなっています。



I. 小規模多機能型居宅介護

【要支援・要介護度別】

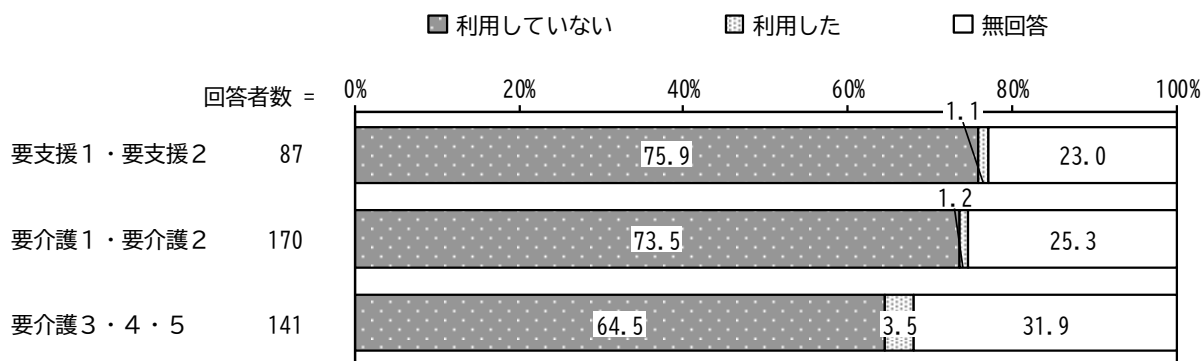
要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援１・要支援２で「利用していない」の割合が高くなっています。



J. 看護小規模多機能型居宅介護

【要支援・要介護度別】

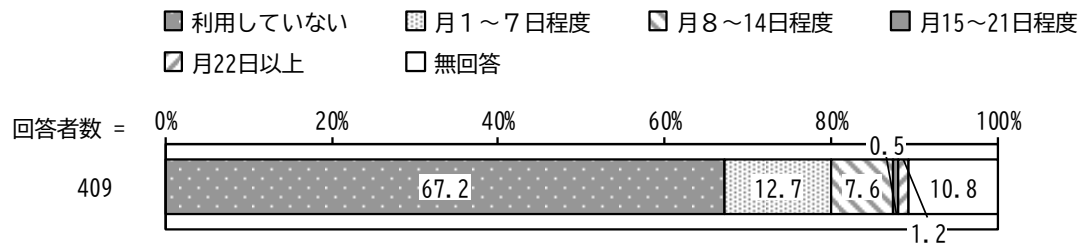
要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援１・要支援２で「利用していない」の割合が高くなっています。



1 か月あたりの利用日数（1 つのみ）

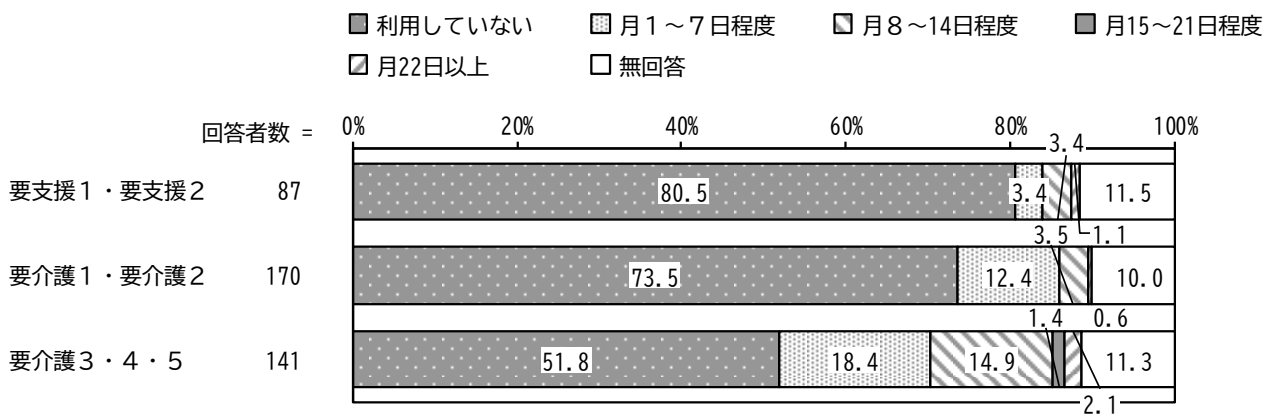
K. ショートステイ

「利用していない」の割合が 67.2%と最も高く、次いで「月 1 ～ 7 日程度」の割合が 12.7%となっています。



【要支援・要介護度別】

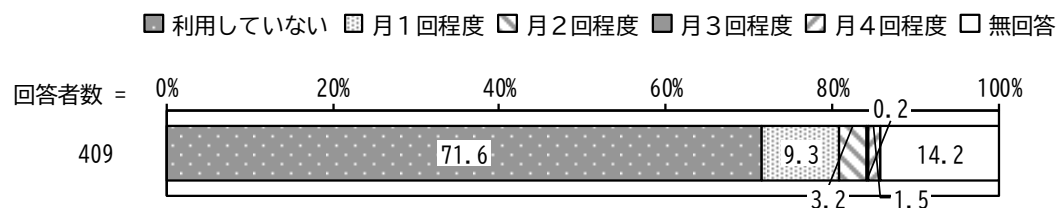
要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護 3・4・5 で「月 1 ～ 7 日程度」「月 8 ～ 14 日程度」の割合が高くなっています。



1 か月あたりの利用回数（1 つのみ）

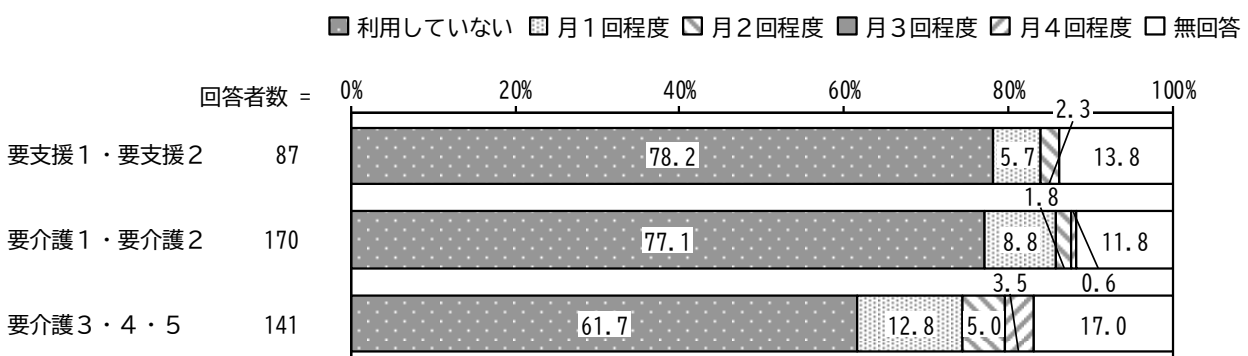
L. 居宅療養管理指導

「利用していない」の割合が 71.6%と最も高くなっています。



【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援 1・要支援 2、要介護 1・要介護 2 で「利用していない」の割合が高くなっています。

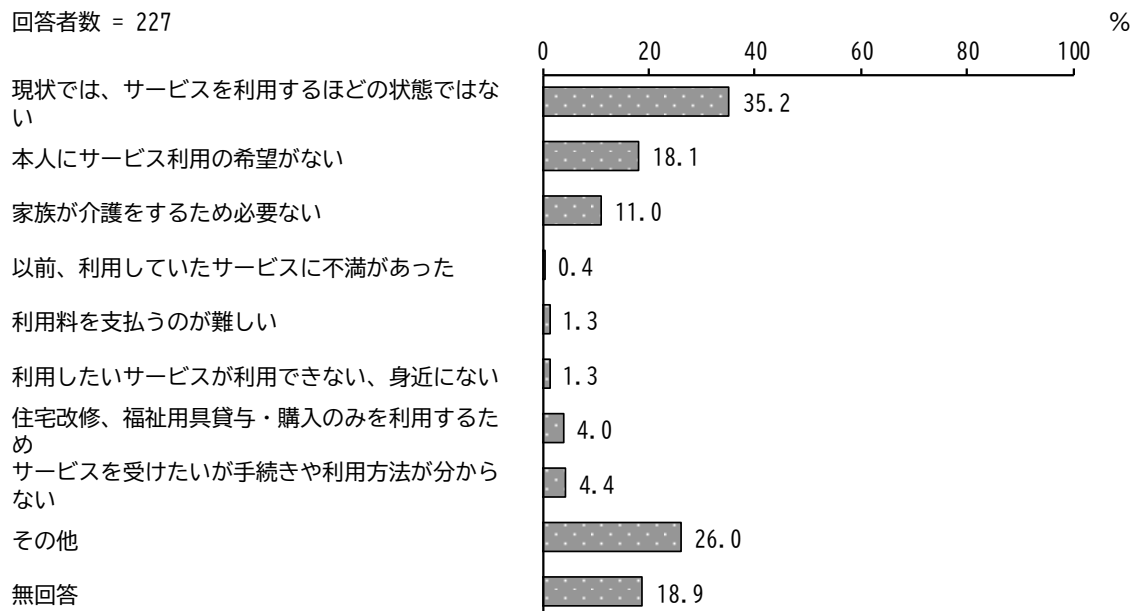


【問9で「利用していない」の方のみ】

問 11 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（いくつでも）

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が 35.2%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」の割合が 18.1%、「家族が介護をするため必要ない」の割合が 11.0%となっています。

回答者数 = 227



【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援1・要支援2で「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」「本人にサービス利用の希望がない」、要介護1・要介護2で「家族が介護をするため必要ない」、要介護3・4・5で「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」の割合が高くなっています。

単位：%

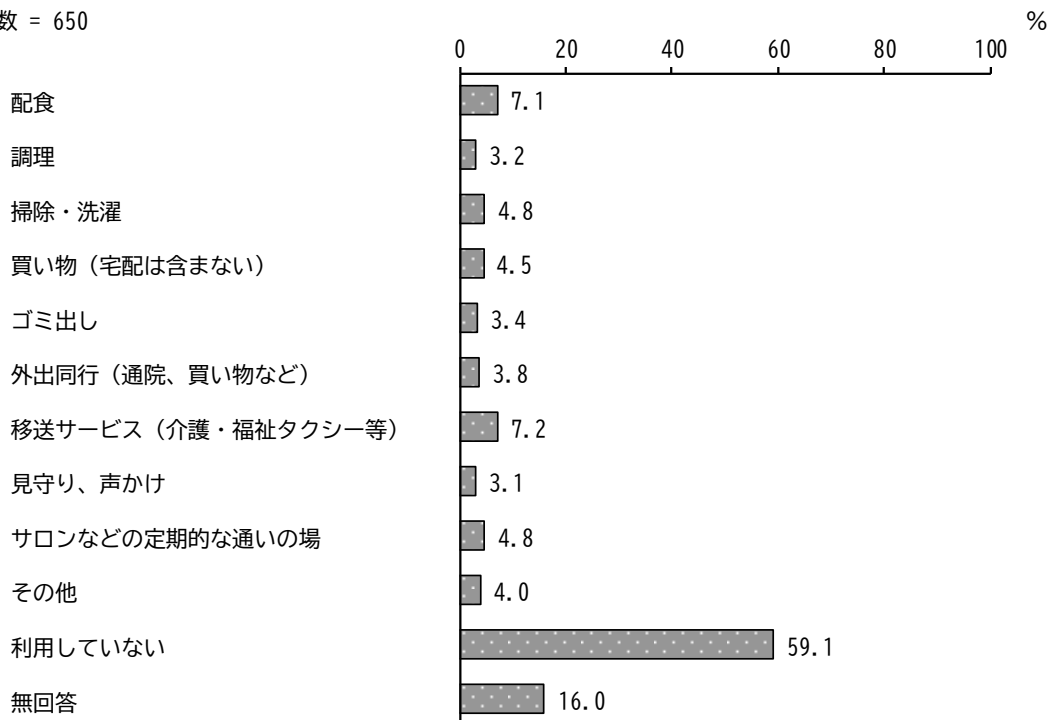
区分	回答者数(件)	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答
全 体	227	35.2	18.1	11.0	0.4	1.3	1.3	4.0	4.4	26.0	18.9
要支援１・要支援２	77	61.0	27.3	9.1	0.0	0.0	2.6	6.5	2.6	7.8	16.9
要介護１・要介護２	58	34.5	22.4	24.1	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	15.5	20.7
要介護３・４・５	69	8.7	5.8	2.9	0.0	0.0	0.0	2.9	10.1	59.4	14.5

問12 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（いくつでも）

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が7.2%と最も高く、次いで「配食」の割合が7.1%となっています。

回答者数 = 650



【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、要支援（要支援1・要支援2）と比較して、要介護（要介護1・要介護2および要介護3・4・5）で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が高くなっています。

単位：%

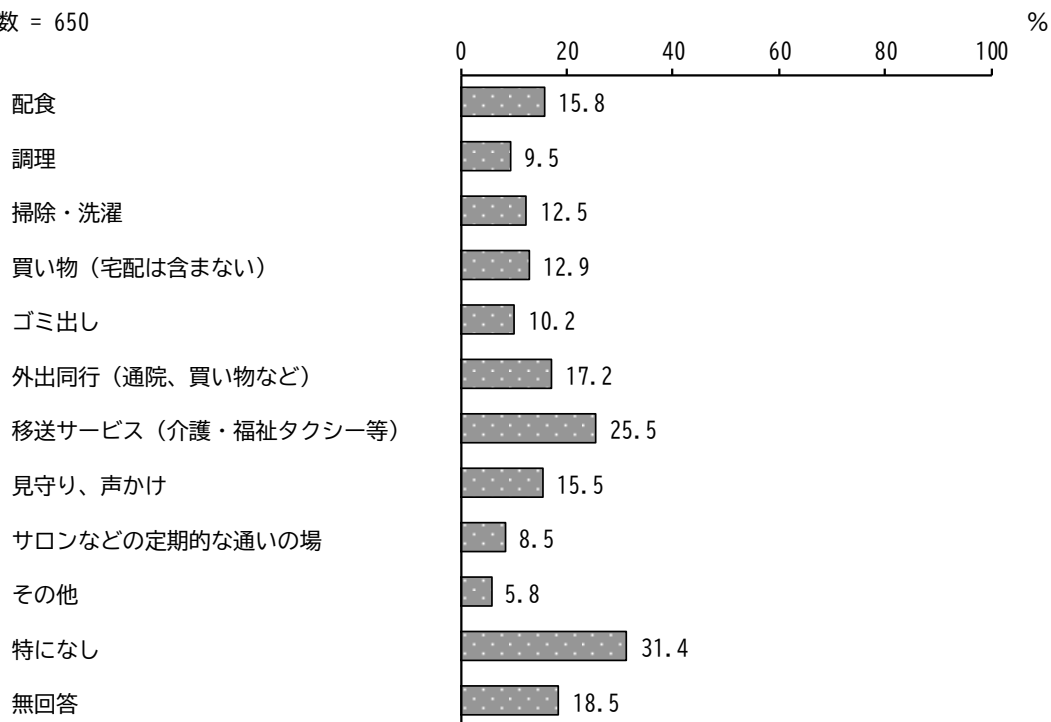
区分	回答者数（件）	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
全 体	650	7.1	3.2	4.8	4.5	3.4	3.8	7.2	3.1	4.8	4.0	59.1	16.0
要支援1・要支援2	164	7.3	4.3	5.5	3.7	1.8	2.4	0.6	6.7	6.1	4.9	57.3	15.9
要介護1・要介護2	230	9.1	2.6	6.5	5.7	4.3	5.7	10.0	2.6	4.8	2.2	60.0	13.5
要介護3・4・5	216	5.6	1.9	2.3	2.3	3.7	2.8	9.3	1.4	3.2	4.2	62.5	17.1

問 13 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（いくつでも）

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が 25.5%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」の割合が 17.2%、「配食」の割合が 15.8%となっています。

回答者数 = 650



【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護１・要介護２で「配食」「外出同行（通院、買い物など）」、要支援１・要支援２で「掃除・洗濯」「ゴミ出し」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、要介護３・４・５で「特になし」の割合が高くなっています。の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全 体	650	15.8	9.5	12.5	12.9	10.2	17.2	25.5	15.5	8.5	5.8	31.4	18.5
要支援１・要支援２	164	18.9	12.2	19.5	17.1	16.5	20.1	32.3	18.3	11.0	4.9	25.0	12.2
要介護１・要介護２	230	21.3	9.6	13.0	15.2	10.0	22.2	29.1	17.4	8.7	5.7	28.3	17.0
要介護３・４・５	216	10.2	8.8	8.8	7.9	7.4	12.0	19.0	13.4	6.0	6.5	39.4	20.8

【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、東金子圏域、宮寺・二本木圏域で「配食」、宮寺・二本木圏域で「調理」「掃除・洗濯」、豊岡北圏域で「買い物（宅配は含まない）」「見守り、声かけ」、西武圏域で「外出同行（通院、買い物など）」、豊岡北圏域、西武圏域で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、金子圏域で「サロンなどの定期的な通いの場」の割合が高くなっています。

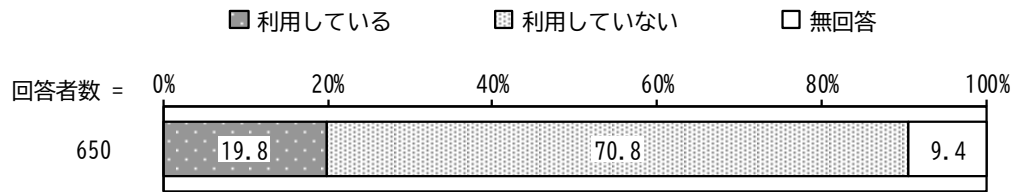
単位：％

区分	回答者数 (件)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、買い物など)	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全 体	650	15.8	9.5	12.5	12.9	10.2	17.2	25.5	15.5	8.5	5.8	31.4	18.5
豊岡東圏域	90	13.3	8.9	14.4	11.1	10.0	15.6	24.4	13.3	13.3	1.1	28.9	15.6
豊岡西圏域	68	13.2	8.8	13.2	8.8	7.4	11.8	19.1	14.7	4.4	10.3	35.3	16.2
豊岡北圏域	57	17.5	10.5	7.0	24.6	14.0	22.8	31.6	22.8	10.5	5.3	17.5	21.1
東金子圏域	86	22.1	11.6	15.1	17.4	14.0	16.3	24.4	15.1	8.1	10.5	32.6	19.8
金子圏域	41	9.8	2.4	7.3	7.3	7.3	14.6	22.0	19.5	14.6	9.8	39.0	17.1
宮寺・二本木圏域	40	25.0	17.5	17.5	12.5	10.0	15.0	20.0	15.0	2.5	5.0	37.5	15.0
藤沢圏域	92	12.0	3.3	7.6	6.5	6.5	12.0	27.2	16.3	4.3	6.5	39.1	16.3
東藤沢圏域	51	15.7	7.8	13.7	17.6	11.8	17.6	25.5	9.8	11.8	0.0	27.5	25.5
西武圏域	107	17.8	14.0	15.0	15.0	12.1	27.1	30.8	15.0	8.4	5.6	28.0	17.8

問 14 ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか（1つのみ）

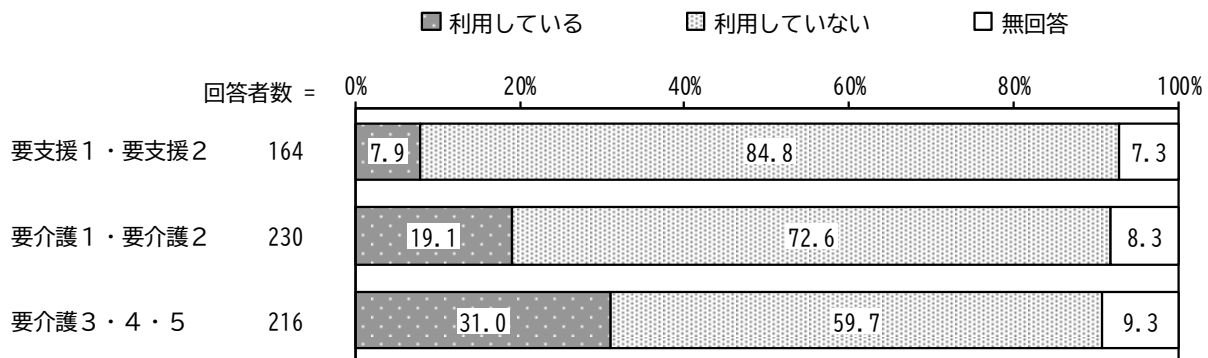
※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

「利用している」の割合が19.8%、「利用していない」の割合が70.8%となっています。



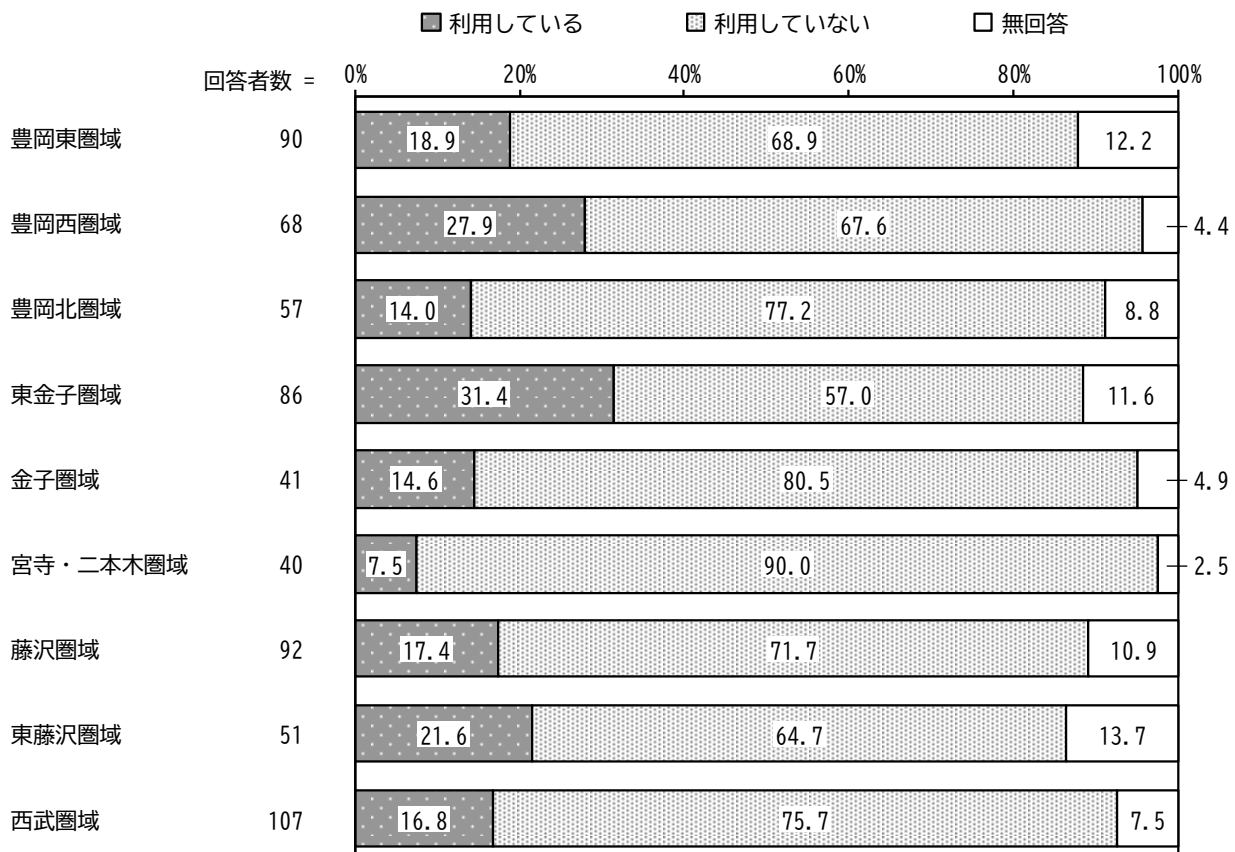
【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護3・4・5で「利用している」、要支援1・要支援2で「利用していない」の割合が高くなっています。



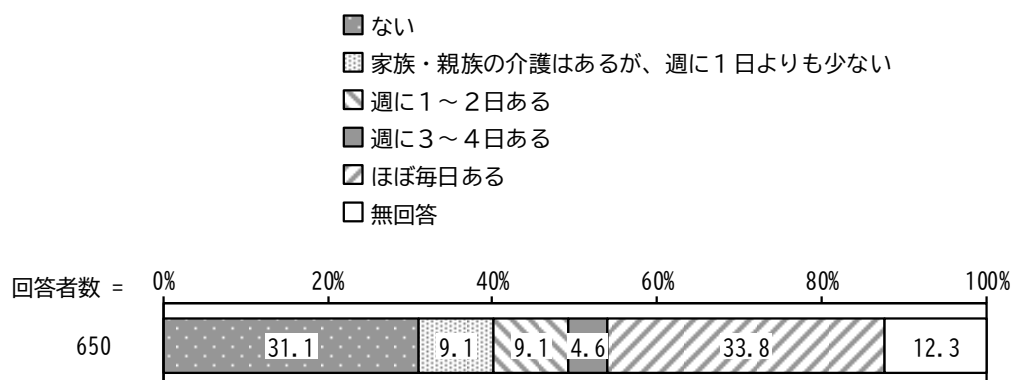
【日常生活圏域別】

日常生活圏域別にみると、他に比べ、東金子圏域で「利用している」、宮寺・二本木圏域で「利用していない」の割合が高くなっています。



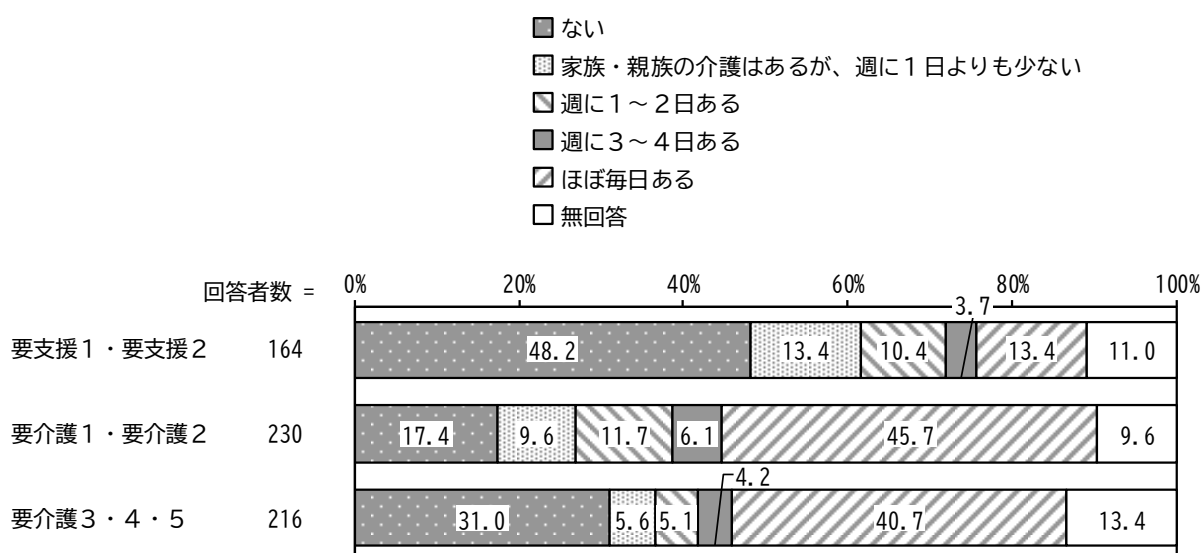
問 15 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つのみ）

「ほぼ毎日ある」の割合が 33.8%と最も高くなっています。



【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護1・要介護2で「ほぼ毎日ある」の割合が高くなっています。



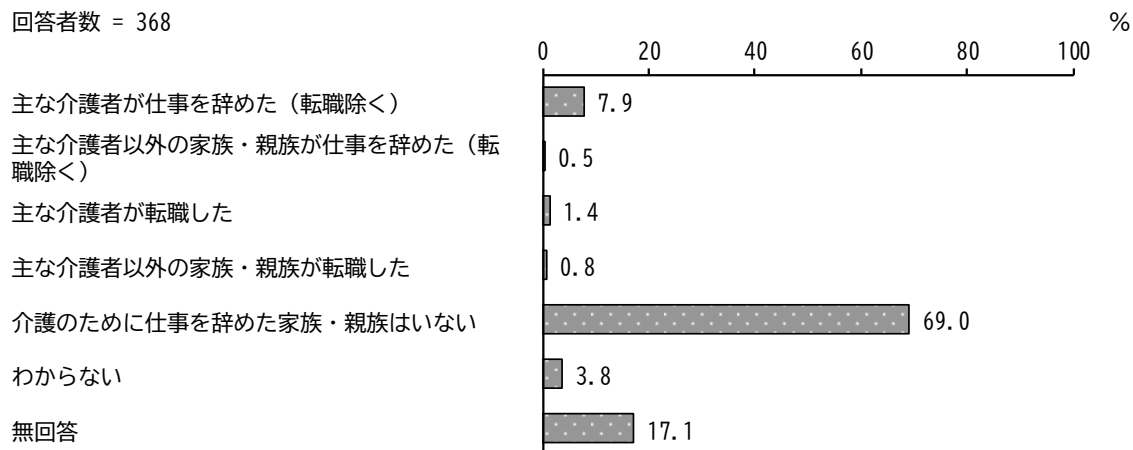
B票 主な介護者の方について、お伺いします

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（いくつでも）

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が69.0%と最も高くなっています。

回答者数 = 368



【要支援・要介護度別】

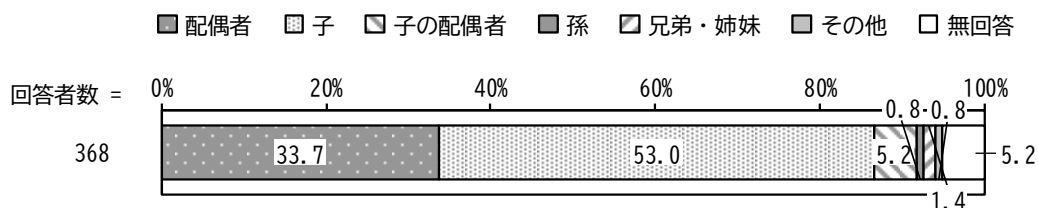
要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護1・要介護2で「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
全 体	368	7.9	0.5	1.4	0.8	69.0	3.8	17.1
要支援1・要支援2	67	6.0	1.5	0.0	0.0	62.7	1.5	28.4
要介護1・要介護2	168	8.9	0.0	1.8	1.8	76.2	1.8	10.1
要介護3・4・5	120	7.5	0.8	1.7	0.0	65.0	6.7	19.2

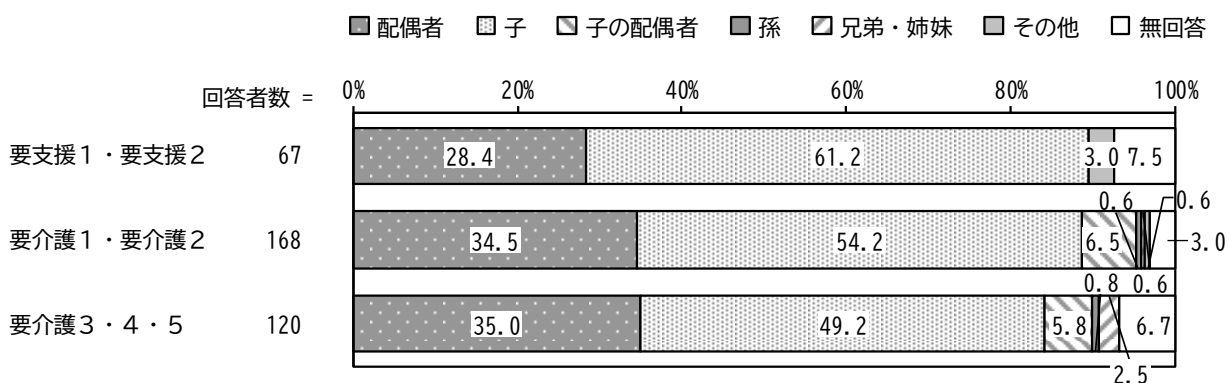
問2 主な介護者の方は、どなたですか（1つのみ）

「子」の割合が53.0%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が33.7%となっています。



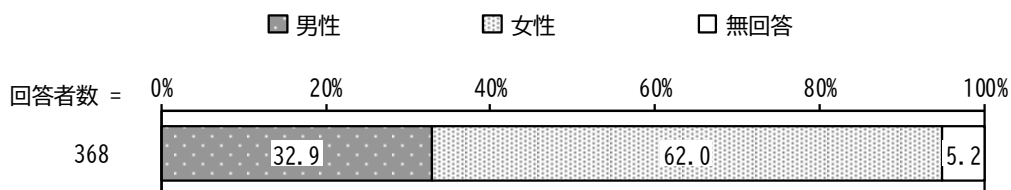
【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援1・要支援2で「子」の割合が高く、「配偶者」の割合が低くなっています。



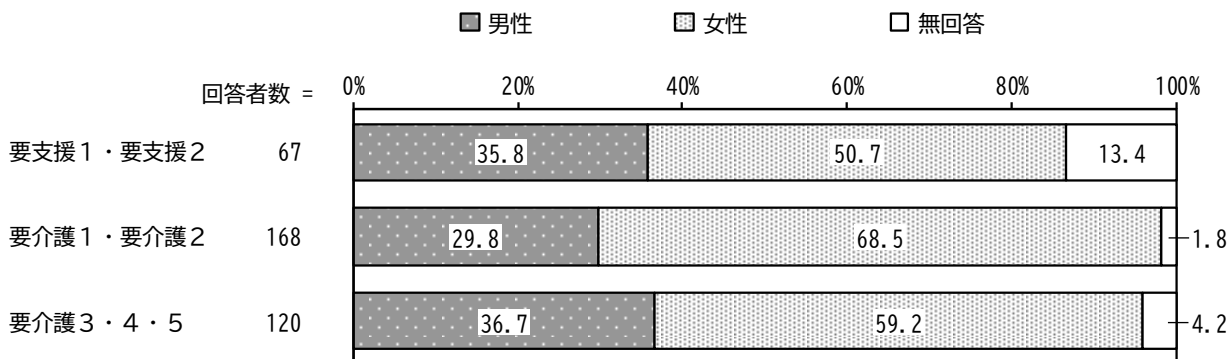
問3 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つのみ）

「男性」の割合が32.9%、「女性」の割合が62.0%となっています。



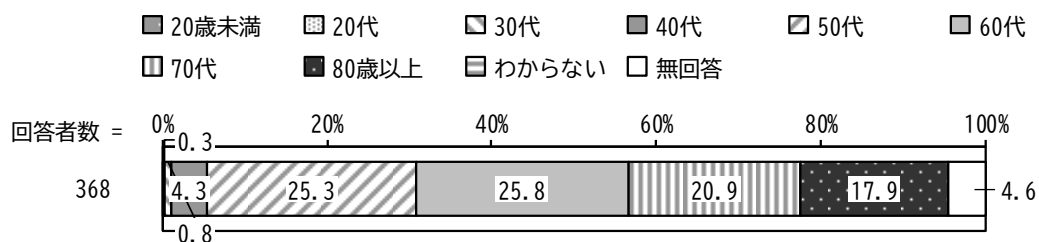
【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援1・要支援2で「女性」の割合が低くなっています。



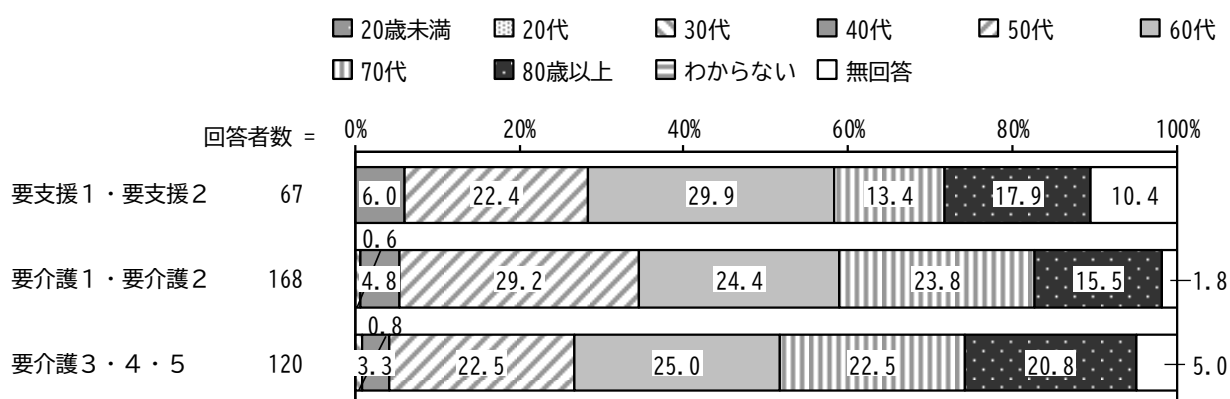
問4 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つのみ）

「60代」の割合が25.8%と最も高く、次いで「50代」の割合が25.3%、「70代」の割合が20.9%となっています。



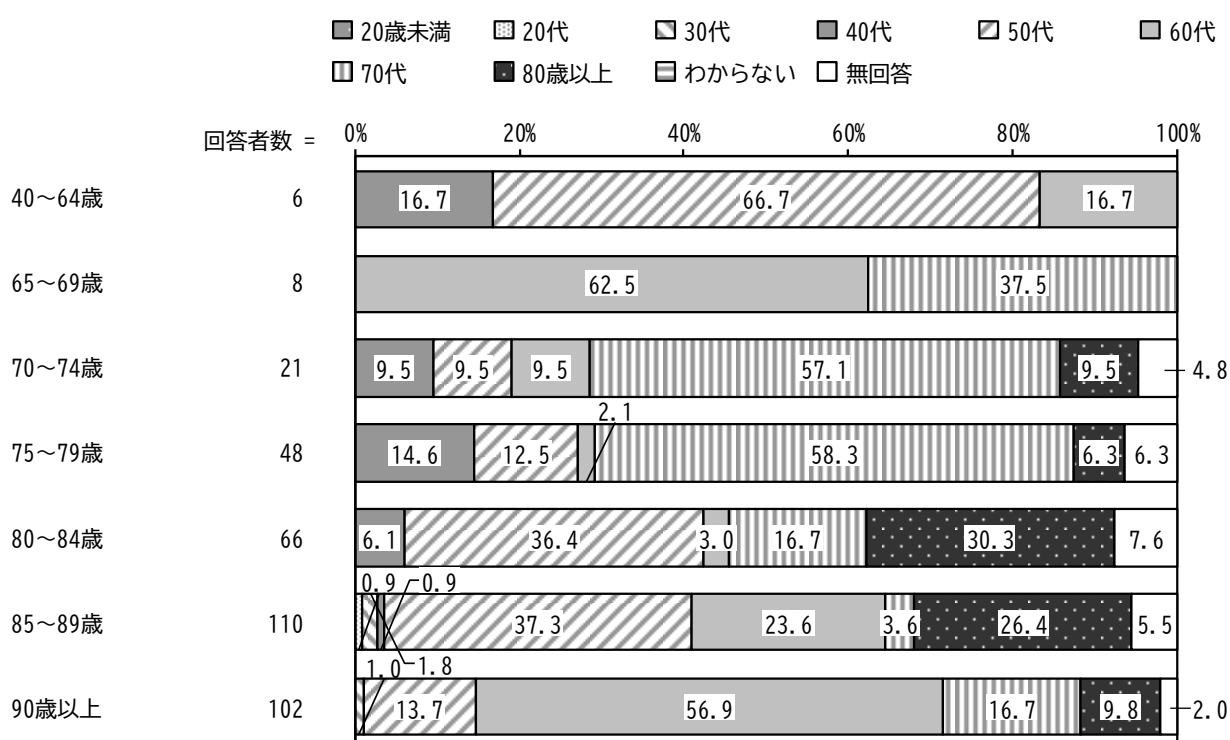
【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要支援1・要支援2で「70代」の割合が低くなっています。



【年齢別】 ※回答者数が1桁であるため40～64歳・65～69歳については言及していません。

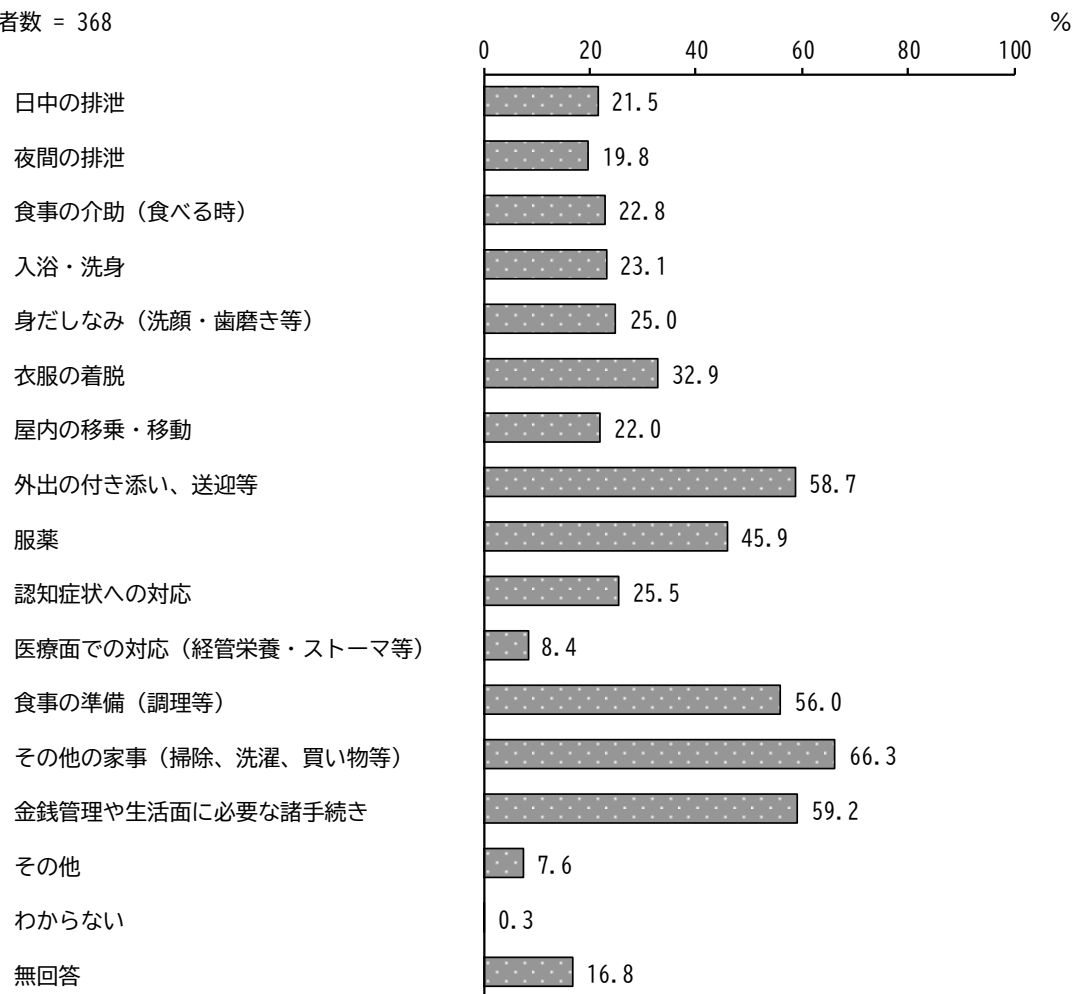
年齢別にみると、他に比べ、80～89歳で「50代」、90歳以上で「60代」、70～79歳で「70代」の割合が高くなっています。



問5 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（いくつでも）

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が 66.3%と最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が 59.2%、「外出の付き添い、送迎等」の割合が 58.7%となっています。

回答者数 = 368



【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護3・4・5で「日中の排泄」「夜間の排泄」「食事の介助（食べる時）」「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」「衣服の着脱」「屋内の移乗・移動」「服薬」「食事の準備（調理等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が高くなっています。

単位：％

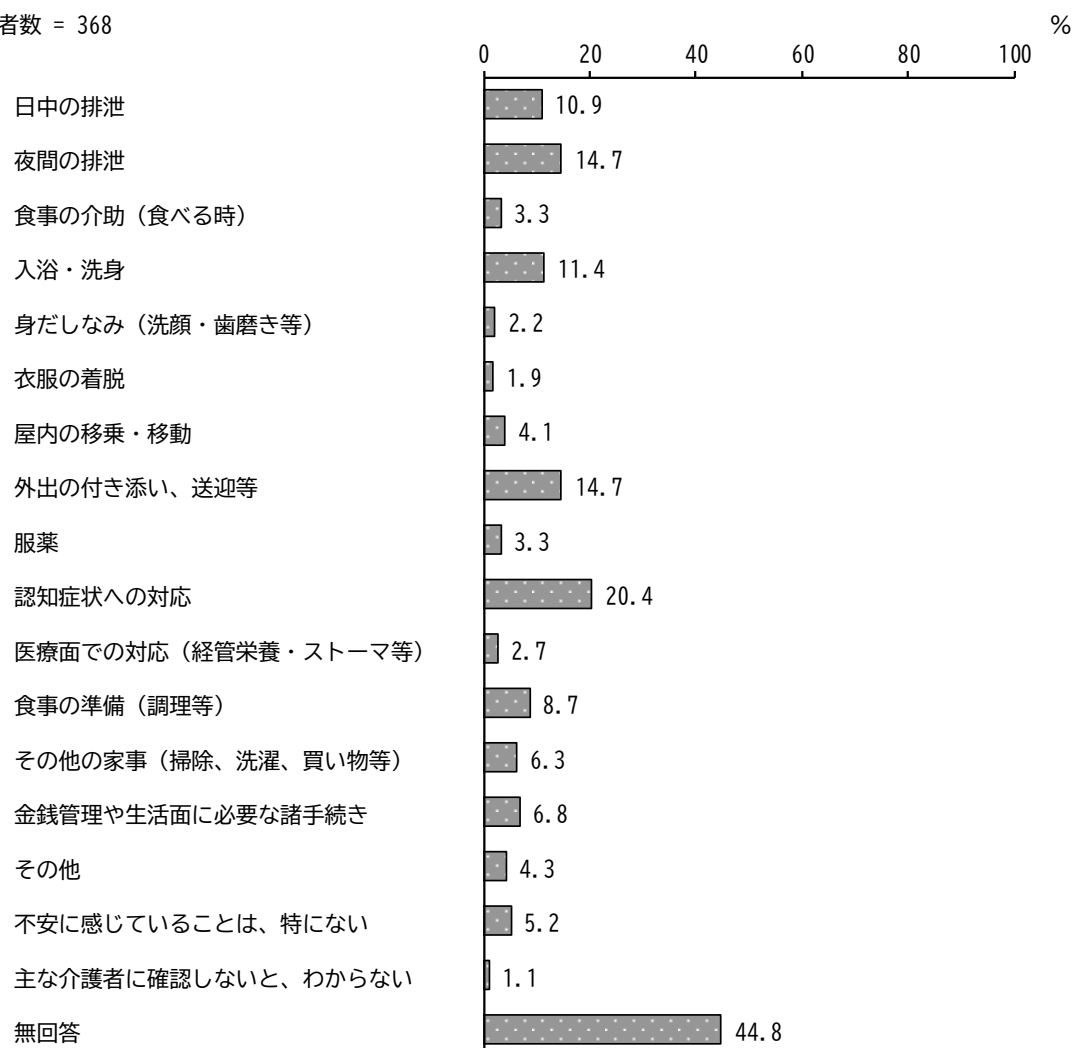
区分	回答者数（件）	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等
全 体	368	21.5	19.8	22.8	23.1	25.0	32.9	22.0	58.7
要支援1・要支援2	67	1.5	1.5	4.5	6.0	3.0	7.5	4.5	53.7
要介護1・要介護2	168	10.1	10.7	14.3	28.0	17.3	28.6	15.5	64.9
要介護3・4・5	120	49.2	43.3	44.2	25.0	49.2	54.2	41.7	53.3

区分	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養・ストーマ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
全 体	45.9	25.5	8.4	56.0	66.3	59.2	7.6	0.3	16.8
要支援1・要支援2	14.9	9.0	3.0	14.9	47.8	32.8	9.0	0.0	29.9
要介護1・要介護2	47.6	26.2	6.0	64.9	71.4	61.3	6.0	0.0	13.1
要介護3・4・5	62.5	34.2	15.8	69.2	73.3	74.2	10.0	0.0	13.3

問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで）

「認知症状への対応」の割合が 20.4%と最も高く、次いで「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」の割合が 14.7%となっています。

回答者数 = 368



【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護3・4・5で「日中の排泄」、要支援1・要支援2で「外出の付き添い、送迎等」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
全 体	368	10.9	14.7	3.3	11.4	2.2	1.9	4.1	14.7	3.3
要支援1・要支援2	67	7.5	9.0	3.0	9.0	1.5	0.0	1.5	22.4	1.5
要介護1・要介護2	168	8.9	14.9	2.4	14.3	1.8	3.0	2.4	18.5	4.8
要介護3・4・5	120	16.7	18.3	5.0	7.5	3.3	0.8	8.3	5.0	1.7

区分	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養・ストーマ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない	主な介護者に確認しない、わからない	無回答
全 体	20.4	2.7	8.7	6.3	6.8	4.3	5.2	1.1	44.8
要支援1・要支援2	13.4	1.5	9.0	9.0	7.5	3.0	3.0	4.5	50.7
要介護1・要介護2	20.2	2.4	12.5	7.7	6.5	2.4	4.8	0.0	44.6
要介護3・4・5	24.2	4.2	2.5	2.5	7.5	8.3	5.8	0.0	42.5

【介助者の就労状況別】

介助者の就労状況別にみると、他に比べ、パートタイムで働いているで「服薬」の割合が高くなっています。

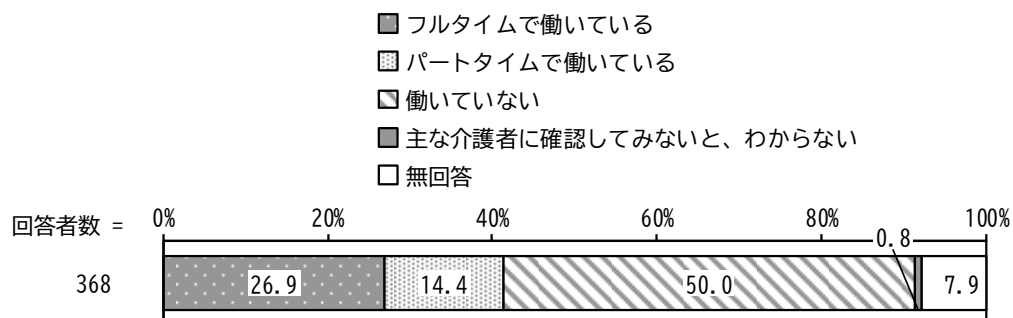
単位：％

区分	回答者数（件）	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
全 体	368	10.9	14.7	3.3	11.4	2.2	1.9	4.1	14.7	3.3
フルタイムで働いている	99	11.1	19.2	2.0	9.1	3.0	2.0	5.1	13.1	2.0
パートタイムで働いている	53	9.4	15.1	3.8	13.2	1.9	1.9	1.9	17.0	9.4
働いていない	184	12.0	14.1	3.3	13.0	2.2	2.2	4.9	15.2	2.7
主な介護者に確認してみないと、わからない	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養・ストーマ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない	主な介護者に確認しない、わからない	無回答
全 体	20.4	2.7	8.7	6.3	6.8	4.3	5.2	1.1	44.8
フルタイムで働いている	20.2	4.0	8.1	9.1	7.1	5.1	3.0	0.0	44.4
パートタイムで働いている	22.6	3.8	5.7	5.7	9.4	3.8	5.7	1.9	43.4
働いていない	21.7	1.6	10.9	5.4	6.0	3.8	4.9	1.1	44.0
主な介護者に確認してみないと、わからない	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3

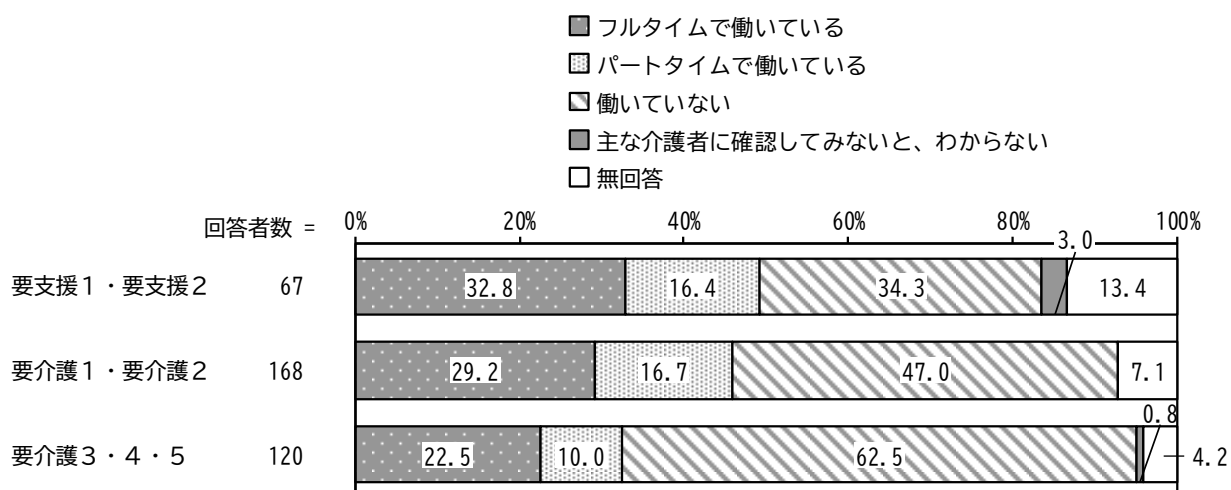
問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つのみ）

「働いていない」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」の割合が 26.9%、「パートタイムで働いている」の割合が 14.4%となっています。



【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護3・4・5で「働いていない」の割合が高くなっています。

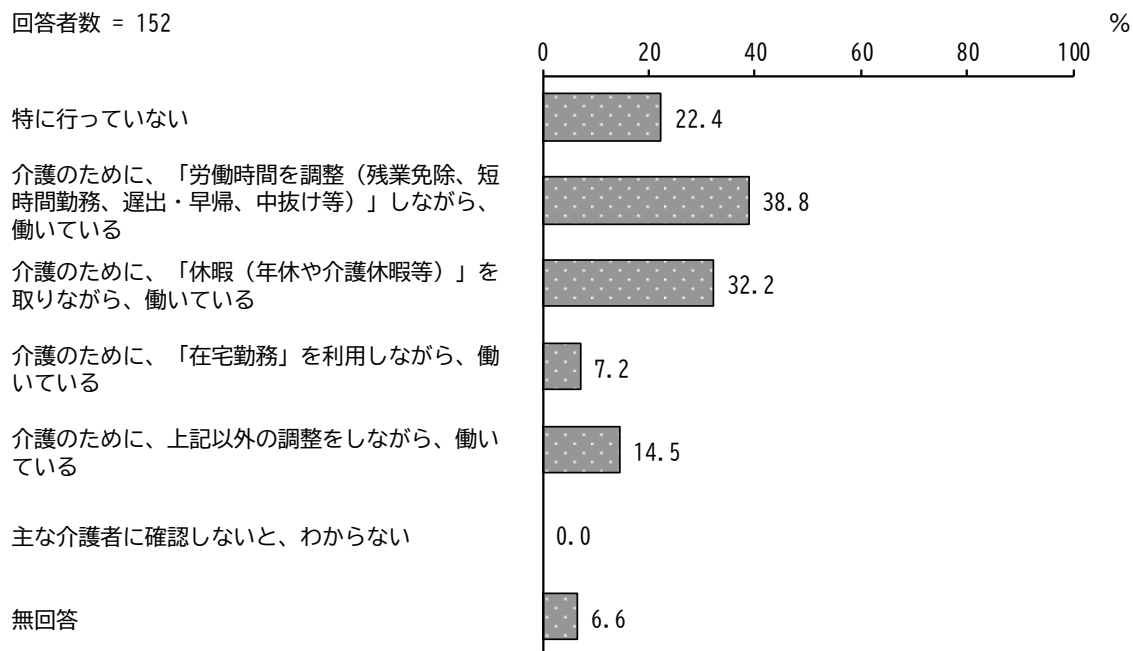


【問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」の方のみ】

問8 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（いくつでも）

「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰、中抜け等）」しながら、働いている」の割合が 38.8%と最も高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」の割合が 32.2%、「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」の割合が 14.5%となっています。

回答者数 = 152



【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護3・4・5で「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰、中抜け等）」しながら、働いている」「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰、中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体	152	22.4	38.8	32.2	7.2	14.5	0.0	6.6
要支援1・要支援2	33	33.3	21.2	30.3	3.0	15.2	0.0	6.1
要介護1・要介護2	77	20.8	42.9	29.9	10.4	14.3	0.0	5.2
要介護3・4・5	39	15.4	48.7	41.0	5.1	15.4	0.0	5.1

【介助者の就労継続状況別】

介助者の就労継続状況別にみると、他に比べ、続けていくのは、やや難しいで「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」の割合が高くなっています。

単位：％

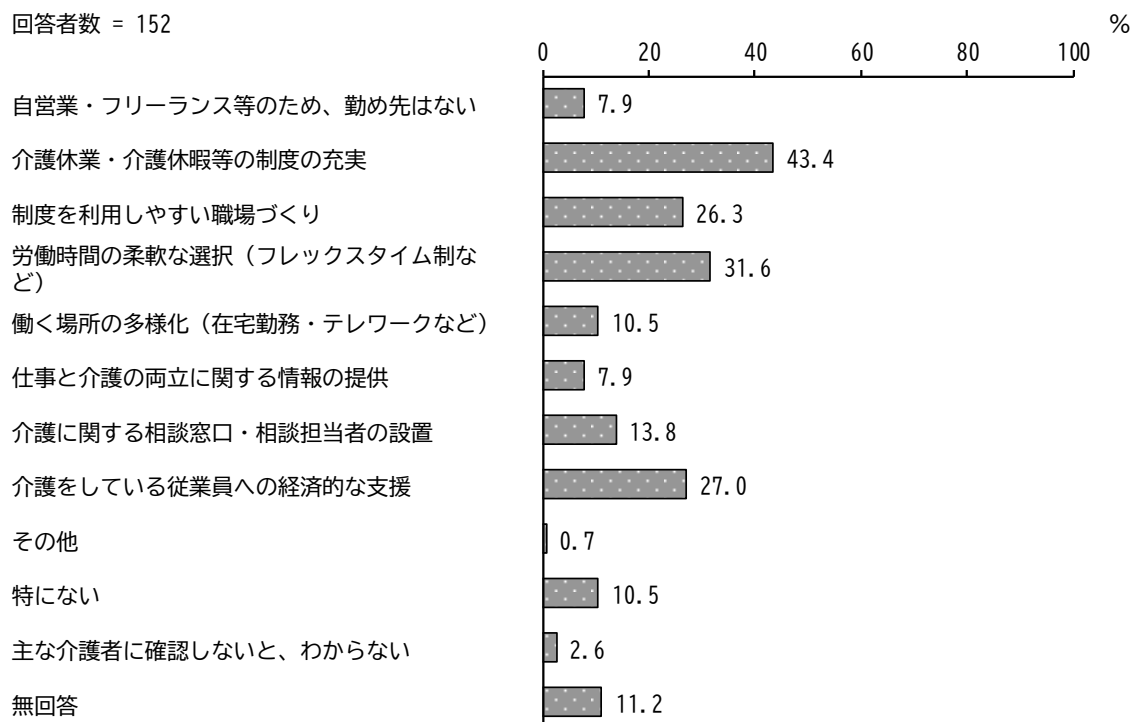
区分	回答者数（件）	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰、中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体	152	22.4	38.8	32.2	7.2	14.5	0.0	6.6
問題なく、続けていける	12	50.0	25.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
問題はあがるが、何とか続けていける	99	15.2	48.5	36.4	7.1	15.2	0.0	2.0
続けていくのは、やや難しい	14	21.4	35.7	28.6	28.6	28.6	0.0	7.1
続けていくのは、かなり難しい	5	40.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
主な介護者に確認しないと、わからない	5	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0

【問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」の方のみ】

問9 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで）

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が 43.4%と最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」の割合が 31.6%、「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合が 27.0%となっています。

回答者数 = 152



【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護3・4・5で「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」「仕事と介護の両立に関する情報の提供」、要支援1・要支援2で「介護に関する相談窓口・相談担当者の設置」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体	152	7.9	43.4	26.3	31.6	10.5	7.9	13.8	27.0	0.7	10.5	2.6	11.2
要支援1・要支援2	33	9.1	42.4	12.1	15.2	6.1	6.1	21.2	15.2	0.0	12.1	6.1	18.2
要介護1・要介護2	77	7.8	42.9	27.3	36.4	13.0	5.2	13.0	31.2	1.3	10.4	1.3	7.8
要介護3・4・5	39	7.7	48.7	38.5	38.5	10.3	15.4	10.3	30.8	0.0	10.3	2.6	5.1

【介助者の就労状況別】

介助者の就労状況別にみると、他に比べ、フルタイムで働いているで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」「働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）」の割合が高く、パートタイムで働いているで「仕事と介護の両立に関する情報の提供」「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体	152	7.9	43.4	26.3	31.6	10.5	7.9	13.8	27.0	0.7	10.5	2.6	11.2
フルタイムで働いている	99	8.1	52.5	30.3	32.3	13.1	6.1	14.1	21.2	1.0	5.1	2.0	12.1
パートタイムで働いている	53	7.5	26.4	18.9	30.2	5.7	11.3	13.2	37.7	0.0	20.8	3.8	9.4
働いていない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
主な介護者に確認してみないと、わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【介助者の就労継続状況別】

介助者の就労継続状況別にみると、他に比べ、問題はあがあるが、何とか続けていけるで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「介護をしている従業員への経済的な支援」、続けていくのは、やや難しいで「制度を利用しやすい職場づくり」の割合が高くなっています。

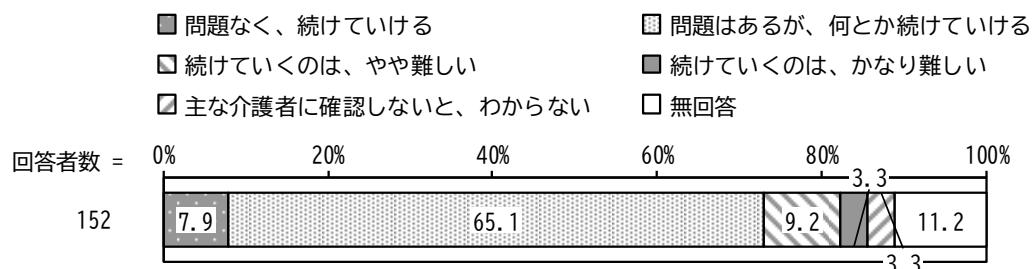
単位：％

区分	回答者数（件）	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	その他	特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体	152	7.9	43.4	26.3	31.6	10.5	7.9	13.8	27.0	0.7	10.5	2.6	11.2
問題なく、続けていける	12	25.0	33.3	16.7	16.7	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	16.7	0.0	16.7
問題はあがあるが、何とか続けていける	99	6.1	48.5	29.3	36.4	13.1	11.1	17.2	33.3	1.0	11.1	0.0	3.0
続けていくのは、やや難しい	14	7.1	42.9	42.9	35.7	14.3	0.0	14.3	28.6	0.0	21.4	14.3	0.0
続けていくのは、かなり難しい	5	0.0	80.0	40.0	60.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
主な介護者に確認してみないと、わからない	5	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	20.0

【問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」の方のみ】

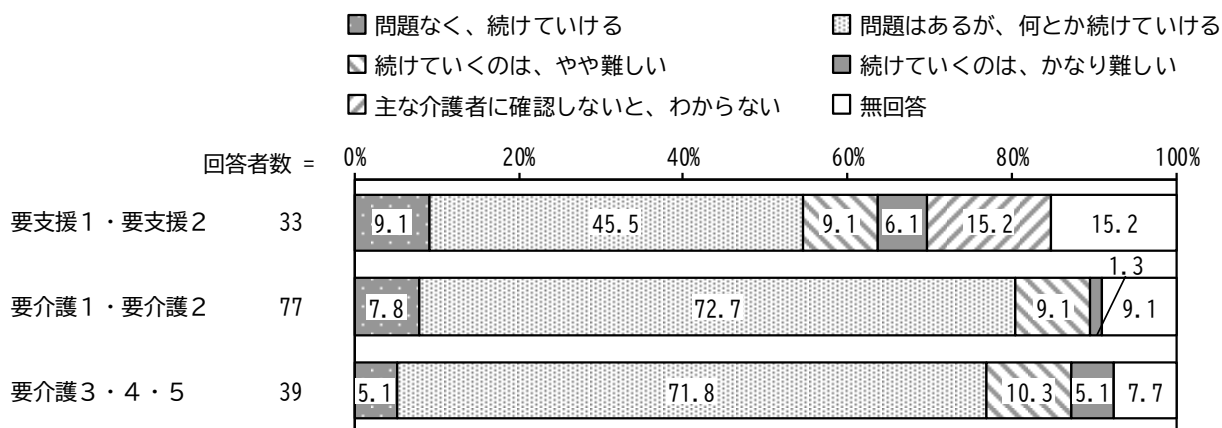
問10 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つのみ）

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が65.1%と最も高くなっています。



【要支援・要介護度別】

要支援・要介護度別にみると、他に比べ、要介護1・要介護2、要介護3・4・5で「問題はあるが、何とか続けていける」、要支援1・要支援2で「主な介護者に確認しないと、わからない」の割合が高くなっています。



IV 資料

1 介護予防・日常生活圏域二一ス調査票

個人情報保護の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

◆この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、第11次入間市高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、入間市で適切に管理いたします。

◆ただし、介護保険事業計画策定時および効果評価時、本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

1. あて名のご本人が記入

2. ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄 _____）

3. その他（ _____ ）

左にある番書は、市役所の中でのみ、介護保険の認定・利用状況とデータを連携させるためのものです。

10001

介護予防・日常生活圏域二一ス調査
ご協力をお願い

はじめに

皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
日頃から、入間市の高齢者保健福祉施策及び介護保険事業の実施、運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、市では現在の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を見直し、令和9年度からの新たな計画を策定するにあたり、65歳以上の方を対象にアンケート調査を実施いたします。
このアンケートで、高齢者の方の日常生活・健康管理・介護に関することなどをお聞かせいただき、その結果を次期計画や介護保険事業運営のために活かしてまいりたいと考えております。
趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和8年1月

入間市長 杉 島 理一郎

記入に際してのお願い

1. この調査の対象者は、令和7年12月1日現在、65歳以上の方から、1,500名を無作為に抽出しています。

2. ご回答にあたっては、あて名のご本人についてお答えいただけますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、一緒にご回答いただいても構いません。

3. ご回答にあたっては、質問をよくお読みいただき、該当する番号に○をつけてください。また、数字を記入する欄は右詰め（例 0 6 2 kg）でご記入ください。

4. この調査についてのお問合せは下記までお願いいたします。

調査票記入後は、3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、
令和8年2月2日（月）までに投函（切手不要）してください。

【問い合わせ先】入間市役所 福祉部 高齢者支援課
〒358-8511 入間市豊岡一丁目16番1号
TEL：04-2964-1111（内線1371・1372）
FAX：04-2966-5517

149

質問の該当する答えの番号に○をつけ、数字記入欄は数字を記入してください。

問 1		あて名のご本人について	
Q 1. あなたの性別を教えてください (1つのみ)			
1. 男性	2. 女性	3. どちらでもない	
Q 2. あなたの年齢を教えてください (1つのみ)			
1. 65～69 歳	2. 70～74 歳	3. 75～79 歳	4. 80～84 歳
5. 85～89 歳	6. 90 歳以上		
Q 3. あなたがお住まいの地区を教えてください (1つのみ)			
豊岡東	1. 豊岡 4. 大字黒須	2. 東町 (東町 6 丁目 2・3 番除く)	3. 向陽台
豊岡西	5. 扇町屋	6. 扇台	7. 久保稲荷 8. 善蔵新田
豊岡北	9. 黒須 13. 鍵山	10. 河原町 14. 高倉	11. 春日町 12. 宮前町
東金子	15. 牛沢町 19. 新久	16. 小谷田 20. 狭山ケ原	17. 上小谷田 21. 狭山台 4 丁目 18. 森坂
金子	22. 木蓮寺 26. 西三ツ木 30. 花ノ木	23. 南峯 27. 三ツ木台 31. 中神	24. 寺竹 28. 上谷ケ貫 32. 根岸 25. 金子中央 29. 下谷ケ貫 33. 狭山台 3 丁目
宮寺・二本木	34. 宮寺 38. 大字狭山台	35. 二本木 39. 狭山台 1 丁目	36. 高根 40. 狭山台 2 丁目 37. 駒形宮土山
藤沢	41. 上藤沢	42. 下藤沢	43. 東町 6 丁目 2・3 番
東藤沢	44. 東藤沢		
西武	45. 仏子	46. 野田	47. 新光
Q 4. あなたの要介護認定等を教えてください (1つのみ)			
1. 要支援 1	2. 要支援 2		
3. 総合事業対象者	4. 受けていない		

問 2		あなたのご家族や生活状況について	
Q 1. 家族構成を教えてください (1つのみ)			
1. 1人暮らし	2. 夫婦 2人暮らし (配偶者 65 歳以上)		
3. 夫婦 2人暮らし (配偶者 64 歳以下)	4. 息子・娘との 2 世帯		
5. その他			
Q 2. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (1つのみ)			
1. 介護・介助は必要ない			
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない			
3. 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)			
【Q 2 において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】			
①. 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも)			
1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	2. 心臓病		
3. がん (悪性新生物)	4. 呼吸器の病気 (肺炎腫・肺炎等)		
5. 関節の病気 (リウマチ等)	6. 認知症 (アルツハイマー病等)		
7. パーキンソン病	8. 糖尿病		
9. 腎疾患 (透析)	10. 視覚・聴覚障害		
11. 骨折・転倒	12. 脊椎損傷		
13. 高齢による衰弱	14. その他 ()		
15. 不明			
【Q 2 において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】			
②.主にどなたの介護・介助を受けていますか (いくつでも)			
1. 配偶者 (夫・妻)	2. 息子	3. 娘	
4. 子の配偶者	5. 孫	6. 兄弟・姉妹	
7. 介護サービスのヘルパー	8. その他 ()		

Q 3. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (1つのみ)		
1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふつう
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	
Q 4. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (1つのみ)		
1. 持家 (一戸建て)	2. 持家 (集合住宅)	
3. 公営賃貸住宅	4. 民間賃貸住宅 (一戸建て)	
5. 民間賃貸住宅 (集合住宅)	6. 借家	
7. その他		

問 3 からだを動かすことについて			
Q 1. 階段を手すりや壁をつたわらずに昇り降りできますか (1つのみ)			
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	
Q 2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (1つのみ)			
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	
Q 3. 15分位続けて歩いていますか (1つのみ)			
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	
Q 4. 過去1年間に転んだ経験がありますか (1つのみ)			
1. 1度ある	2. 2～4度ある	3. 何度もある	4. ない
Q 5. 転倒に対する不安は大いいですか (1つのみ)			
1. とても不安である	2. やや不安である	3. あまり不安でない	4. 不安でない
Q 6. 週に1回以上は外出していますか (1つのみ)			
1. ほとんど外出しない	2. 週1回	3. 週2～4回	4. 週5回以上
Q 7. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (1つのみ)			
1. とても減っている	2. 減っている	3. あまり減っていない	4. 減っていない
Q 8. 外出を控えていますか			
1. はい	2. いいえ		

【Q 8で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ]		
①. 外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)		
1. 病気	2. 障害 (脳卒中の後遺症など)	
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配 (失禁など)	
5. 耳の障害 (聞こえの問題など)	6. 目の障害	
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない	
9. 交通手段がない	10. その他 ()	
Q 9. 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)		
1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク
4. 自動車 (自分で運転)	5. 自動車 (人に乗せてもらう)	6. 電車
7. 路線バス	8. 病院や施設のバス	9. 車いす
10. 電動車いす (電動カート)	11. 歩行器・シルバーカー	12. タクシー
13. ていーろーど・ていーワゴン	14. その他 ()	

問 4 食べることについて	
Q 1. 身長・体重	
身長	体重
<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> cm	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg
Q 2. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	
1. はい	2. いいえ
Q 3. お茶や汁物等でむせることがありますか	
1. はい	2. いいえ
Q 4. 口の渇きが気になりますか	
1. はい	2. いいえ
Q 5. 嚥磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか	
1. はい	2. いいえ

Q 6. 噛み合わせは良いですか	
1. はい	2. いいえ
Q 7. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です) (1つのみ)	
1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用	2. 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用	4. 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし
【Q 7 で「1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】	
①. 毎日入れ歯の手入れをしていますか	
1. はい	2. いいえ
Q 8. 6 か月間で 2 ～ 3 kg 以上の体重減少がありましたか	
1. はい	2. いいえ
Q 9. どなたかと食事をともにする機会はありますか (1つのみ)	
1. 毎日ある	2. 週に何度かある
3. 月に何度かある	4. 年に何度かある
5. ほとんどない	

問 5 毎日の生活について	
Q 1. 物忘れが多いと感じますか	
1. はい	2. いいえ
Q 2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	
1. はい	2. いいえ
Q 3. 今日が何月何日かわからなときがありますか	
1. はい	2. いいえ
Q 4. バスや電車を使って 1 人で外出していますか (自家用車でも可) (1つのみ)	
1. できるし、している	2. できるけどしていない
3. できない	
Q 5. 自分で食品・日用品の買い物をしていますか (1つのみ)	
1. できるし、している	2. できるけどしていない
3. できない	

Q 6. 自分で食事の用意をしていますか (1つのみ)	
1. できるし、している	2. できるけどしていない
3. できない	
Q 7. 自分で請求書の支払いをしていますか (1つのみ)	
1. できるし、している	2. できるけどしていない
3. できない	
Q 8. 自分で預貯金の出し入れをしていますか (1つのみ)	
1. できるし、している	2. できるけどしていない
3. できない	
Q 9. 年金などの書類 (役所や病院などに出す書類) が書けますか	
1. はい	2. いいえ
Q 10. 新聞を読んでいますか	
1. はい	2. いいえ
Q 11. 本や雑誌を読んでいますか	
1. はい	2. いいえ
Q 12. 健康についての記事や番組に関心がありますか	
1. はい	2. いいえ
Q 13. 友人の家を訪ねていますか	
1. はい	2. いいえ
Q 14. 家族や友人の相談にのっていますか	
1. はい	2. いいえ
Q 15. 病人を見舞うことができますか	
1. はい	2. いいえ
Q 16. 若い人に自分から話しかけることができますか	
1. はい	2. いいえ
Q 17. 趣味はありますか	
1. 趣味あり	2. 思いつかない

→ ()

Q18. 生きがいがありますか

1. 生きがいあり → ()

2. 思いつかない

問6 地域での活動について

Q1. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
※①から⑧それぞれに回答してください（それぞれに1つのみ）

	1 週4回 以上	2 週2 週 ～3回	3 週1回 ～3回	4 月1 ～3回	5 年に 数回	6 参加して いない
(※回答例) ●●●のグループ			○			
① ボランティアのグループ						
② スポーツ関係のグループや クラブ						
③ 趣味関係のグループ						
④ 学習・教養サークル						
⑤ 介護予防のための通いの場						
⑥ 健康推進クラブ（老人クラ ブ）						
⑦ 町内会・自治会						
⑧ 収入のある仕事						

Q2. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（1つのみ）

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

Q3. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（1つのみ）

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問7 就労について

Q1. 現在あなたの就労状態はどれですか（いくつでも）

1. 職に就いたことがない 2. 引退した 3. 常勤（7時～18時）

4. 非常勤（パート・アルバイト等） 5. 自営業 6. 求職中

7. その他

【Q1で「2.引退した」方のみ】

① あなたはいいつ引退しましたか

1. 昭和 □ □ 年 2. 平成 □ □ 年 3. 令和 □ □ 年

問8 たすけあいについて
あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいます

Q1. あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども

4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人

7. その他 () 8. そのような人はいない

Q2. 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども

4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人

7. その他 () 8. そのような人はいない

Q3. あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども

4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人

7. その他 () 8. そのような人はいない

Q4. 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども

4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人

7. その他 () 8. そのような人はいない

Q 5. 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください (いくつでも)			
1. 自治会・町内会・健康推進クラブ (老人クラブ)	2. 社会福祉協議会・民生委員		
3. ケアマネジャー	4. 医師・歯科医師・看護師		
5. 地域包括支援センター・役所	6. その他		
7. そのような人はいない			
Q 6. 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (1つのみ)			
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある	
4. 年に何度かある	5. ほとんどない		
Q 7. この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか 同じ人には何度会っても1人と数えることとします (1つのみ)			
1. 0人 (いない)	2. 1～2人	3. 3～5人	
4. 6～9人	5. 10人以上		
Q 8. よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (いくつでも)			
1. 近所・同じ地域の人	2. 幼なじみ		
3. 学生時代の友人	4. 仕事での同僚・元同僚		
5. 趣味や関心が同じ友人	6. ボランティア等の活動での友人		
7. その他	8. いらない		

問9 健康について			
Q 1. 現在のあなたの健康状態はいかがですか (1つのみ)			
1. とてもよい	2. まあよい	3. あまりよくない	4. よくない
Q 2. あなたは、現在のどの程度幸せですか (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)			
とても不幸 0点	1点	2点	3点
	4点	5点	6点
	7点	8点	9点
	10点	とても幸せ	
Q 3. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか			
1. はい	2. いいえ		

Q 4. この1か月間、どうしても物事にに対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか			
1. はい	2. いいえ		
Q 5. お酒は飲みますか (1つのみ)			
1. ほぼ毎日飲む	2. 時々飲む	3. ほとんど飲まない	
4. もともと飲まない			
Q 6. タバコは吸っていますか (1つのみ)			
1. ほぼ毎日吸っている	2. 時々吸っている	3. 吸っていたがやめた	
4. もともと吸っていない			
Q 7. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)			
1. ない	2. 高血圧		
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	4. 心臓病		
5. 糖尿病	6. 脂質異常症		
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気		
9. 腎臓・前立腺の病気	10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)		
11. 外傷 (転倒・骨折等)	12. がん (悪性新生物)		
13. 血液・免疫の病気	14. うつ病		
15. 認知症 (アルツハイマー病等)	16. パーキンソン病		
17. 目の病気	18. 耳の病気		
19. その他 ()			

問10 認知症にかかる相談窓口の把握について	
Q 1. 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか	
1. はい	2. いいえ
Q 2. 認知症に関する相談窓口を知っていますか	
1. はい	2. いいえ

問 1 1 その他について	
Q 1. 自動車運転免許証をお持ちですか（1つのみ）	
1. 持っている	2. 持っていたが、自主返納した
3. 以前に失効し、再取得しなかった	4. 持ったことがない
5. その他（ ）	
Q 2. 定期的に健康診断を受診されていますか	
1. 受診している	2. していない
Q 3. 携帯電話（スマートフォン含む）を持っていますか（1つのみ）	
1. 持っている	2. 持っていない 3. 以前は持っていた
【Q 3で「1. 持っている」の方のみ】	
①. あなたが携帯電話（スマートフォン含む）でしていることを教えてください（いくつでも）	
1. 電話をかける	2. メールの送信・受信
3. インターネットで検索	4. プログの作成
5. SNSの活用	6. 持っているが使用していない
7. その他（ ）	
Q 4. パソコンを持っていますか（1つのみ）	
1. 持っている	2. 持っていない 3. 以前は持っていた
【Q 4で「1. 持っている」の方のみ】	
①. あなたがパソコンでしていることを教えてください（いくつでも）	
1. メールの送信・受信	2. インターネットで検索
3. ホームページの作成	4. プログの作成
5. SNSの活用	6. 持っているが使用していない
7. その他（ ）	
Q 5. 自治会に加入していますか（1つのみ）	
1. 加入している	2. 加入していない 3. 以前、加入していた
【Q 5で「2. 加入していない」「3. 以前、加入していた」の方のみ】	
①. 今後、自治会に加入したいですか	
1. はい	2. いいえ

Q 6. 健康推進クラブ（老人クラブ）を知っていますか	
1. 知っている	2. 知らない
【Q 6で「1. 知っている」の方のみ】	
①. 健康推進クラブ（老人クラブ）に加入していますか（1つのみ）	
1. 加入している	2. 加入していない 3. 以前、加入していた
【①で「2. 加入していない」「3. 以前、加入していた」の方のみ】	
②. 今後、健康推進クラブ（老人クラブ）に加入したいですか	
1. はい	2. いいえ
【Q 6で「2. 知らない」の方のみ】	
③. 健康推進クラブ（老人クラブ）の活動について知りたいですか	
1. はい	2. いいえ
Q 7. シルバー人材センターを知っていますか	
1. 知っている	2. 知らない
【Q 7で「1. 知っている」の方のみ】	
①. シルバー人材センターの会員ですか	
1. はい	2. いいえ 3. 以前会員だった
【①で「2. いいえ」「3. 以前会員だった」の方のみ】	
②. 今後、シルバー人材センターの会員になりたいですか	
1. はい	2. いいえ
【Q 7で「2. 知らない」の方のみ】	
シルバー人材センターで紹介している仕事の内容や活動について知りたいですか	
1. はい	2. いいえ
Q 8. 介護を理由に仕事を辞めたことがありますか	
1. はい	2. いいえ
Q 9. 地域包括支援センターで認知症に関する相談ができることを知っていますか	
※地域包括支援センターは、市町村が運営している総合相談機関です。入間市では、日常生活圏域ごとに9ヶ所の地域包括支援センターを設置しています。	
1. 知っている	2. 知らない

Q 10. 認知症についてどんなイメージをもっていますか (いくつでも)		
1. 認知症になりたくない	2. 何もできなくなる	3. 身近な問題である
4. 自分には関係ない	5. 自分も認知症になるかもしれない	
6. 自分は認知症にならない	7. 認知症は高齢者になる病気である	
8. 認知症になると迷惑をかける	9. 認知症になってでもできることはまだたくさんある	
10. 恥ずかしい	11. 人に知られたくない	
Q 11. 成年後見制度について知っていますか (1つのみ)		
1. 名前も内容も知っている	2. 名前も内容も知らない	
3. 名前を聞いたことはあるが、内容は知らない		
Q 12. 成年後見制度の利用希望について (1つのみ)		
1. すでに利用している	2. 利用したい	3. 利用したくない
4. わからない	5. その他	
Q 13. 日常生活自立支援事業について知っていますか (1つのみ)		
1. 名前も内容も知っている	2. 名前も内容も知らない	
3. 名前を聞いたことはあるが、内容は知らない		
Q 14. 日常生活自立支援事業の利用希望について (1つのみ)		
1. すでに利用している	2. 利用したい	3. 利用したくない
4. わからない	5. その他	
Q 15. もしもの時 (急に倒れた時等) の備えを何かしていますか (いくつでも)		
1. 何もしていない	2. 家族等に意思を伝えている	3. 緊急連絡先を決めている
4. 終活をしている	5. その他	
Q 16. 人生会議(ACP アドバンスケア・プランニング)を知っていますか		
※人生会議とは、もしもの時の事を考え、家族や親しい人などに自分の意思をあらかじめ伝えておくことです		
1. 知っている	2. 知らない	

Q 17. eスポーツを知っていますか	
1. 知っている	2. 知らない
【Q 17で「1. 知っている」の方のみ】	
①. eスポーツをしたことがありますか	
1. したことがある	2. したことはない

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。
 調査票を3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、
 令和8年2月2日(月)までに投函(切手不要)してください。

2 在宅介護実態調査票

個人情報保護の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

◆この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、第11次入間市高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、入間市で適切に管理いたします。

◆ただし、介護保険事業計画策定時および効果評価時、本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

在宅介護実態調査
ご協力をお願い

はじめに

皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
日頃から、入間市の高齢者保健福祉施策及び介護保険事業の実施、運営につきましまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、市では、現在の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を見直し、令和9年度からの新たな計画を策定するにあたり、要介護認定を受けている方のうち、自宅で生活されている方を対象に、アンケート調査を実施いたします。
このアンケートでは、高齢者の日常生活・健康管理・介護に関することなどをお聞かせいただき、その結果を次期計画や介護保険事業運営のために活かしてまいりたいと考えております。
趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和8年1月

入間市長 杉 島 理一郎

記入に際してのお願い

1. この調査の対象者は、令和7年12月1日現在、要介護認定を受けている方のうち、自宅で生活されている方から、1,500名を無作為に抽出しています。
2. ご回答にあたっては、「A票“ご本人”についてお答えいただく部分」と「B票“主な介護者の方”にお答えいただく部分」がありますので、ご注意ください。
3. ご回答にあたっては、質問をよくお読みいただき、該当する番号に○をつけてください。
4. この調査についてのお問合せは下記までお願いいたします。

調査票記入後は、3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、
令和8年2月2日（月）までに投函（切手不要）してください。

【問い合わせ先】入間市役所 福祉部 高齢者支援課
〒358-8511 入間市豊岡一丁目16番1号
TEL：04-2964-1111（内線1371・1372）
FAX：04-2966-5517

右にある番号は、市役所の中でのみ、介護保険の認定・利用状況とデータを連結させるためのものです。

20001

A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします	
Q 1. 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（いくつでも）	
1. 調査対象者本人	2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族	4. その他
Q 2. 世帯類型について、ご回答ください（1つのみ）	
1. 単身世帯	2. 夫婦のみ世帯
	3. その他
Q 3. ご本人の性別について、ご回答ください（1つのみ）	
1. 男性	2. 女性
Q 4. ご本人の年齢について、ご回答ください（1つのみ）	
1. 40～64 歳	2. 65～69 歳
	3. 70～74 歳
	4. 75～79 歳
5. 80～84 歳	6. 85～89 歳
	7. 90 歳以上
Q 5. ご本人のお住まいの地区について、ご回答ください（1つのみ）	
豊岡東	1. 豊岡
	2. 東町（東町6丁目2・3番除く）
	3. 向陽台
	4. 大子黒須
豊岡西	5. 厨町屋
	6. 扇台
	7. 久保稻荷
	8. 善蔵新田
豊岡北	9. 黒須
	10. 河原町
	11. 春日町
	12. 宮前町
	13. 鍵山
	14. 高倉
東金子	15. 牛沢町
	16. 小谷田
	17. 上小谷田
	18. 森坂
	19. 新久
	20. 狭山ヶ原
	21. 狭山台4丁目
金子	22. 木蓮寺
	23. 南峯
	24. 寺竹
	25. 金子中央
	26. 西三ツ木
	27. 三ツ木台
	28. 上谷ヶ貫
	29. 下谷ヶ貫
宮寺・二本木	30. 花ノ木
	31. 中神
	32. 根岸
	33. 狭山台3丁目
	34. 宮寺
	35. 二本木
	36. 高根
	37. 駒形富士山
	38. 大字狭山台
	39. 狭山台1丁目
	40. 狭山台2丁目
藤沢	41. 上藤沢
	42. 下藤沢
	43. 東町6丁目2・3番
東藤沢	44. 東藤沢
西武	45. 仏子
	46. 野田
	47. 新光

Q 6. ご本人の要介護度について、ご回答ください（1つのみ）							
1. 要支援 1	2. 要支援 2	3. 要介護 1	4. 要介護 2				
5. 要介護 3	6. 要介護 4	7. 要介護 5	8. 新規申請者				
9. わからない							
Q 7. 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つのみ） ※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。							
1. 入所・入居は検討していない	2. 入所・入居を検討している						
3. すでに入所・入居の申し込みをしている							
Q 8. ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（いくつでも）							
1. 脳血管疾患（脳卒中）	2. 心疾患（心臓病）						
3. 悪性新生物（がん）	4. 呼吸器疾患						
5. 腎疾患（透析）	6. 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）						
7. 膠原病（関節リウマチ含む）	8. 認知症						
9. 変形性関節疾患	10. 難病（パーキンソン病を除く）						
11. パーキンソン病	12. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）						
13. 糖尿病	14. その他						
15. なし	16. わからない						
Q 9. 令和7年12月に、〈住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の〉介護保険サービスを利用しましたか（1つのみ）							
1. 利用した ⇒ Q10へ	2. 利用していない ⇒ Q11へ						

1593

Q 5. 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください (いくつでも)	
【身体介護】	
1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄
3. 食事の介助 (食べるとき)	4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬	10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応 (経管栄養・ストーマ等)	
【生活援助】	
12. 食事の準備 (調理等)	13. その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	
【その他】	
15. その他 ()	16. わからない
Q 6. 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください (現状で行っているか否かは問いません) (3つまで)	
【身体介護】	
1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄
3. 食事の介助 (食べるとき)	4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬	10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応 (経管栄養・ストーマ等)	
【生活援助】	
12. 食事の準備 (調理等)	13. その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	
【その他】	
15. その他	16. 不安に感じていることは、特にない
17. 主な介護者に確認しないと、わからない	

Q 7. 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください (1つのみ)	
※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。	
※フリーランスとは、企業や団体などと雇用契約がなく、独立して仕事を請け負う人をいいます。	
1. フルタイムで働いている	} Q 8～Q 10 へ
2. パートタイムで働いている	
3. 働いていない	
4. 主な介護者に確認してみないと、わからない	
} 調査は終了です	
【Q 7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」の方のみ】	
Q 8. 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていきますか (いくつでも)	
1. 特に行っていない	
2. 介護のために、「労働時間を調整 (残業免除、短時間勤務、遅出・早帰、中抜け等)」しながら、働いている	
3. 介護のために、「休暇 (年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている	
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている	
6. 主な介護者に確認しないと、わからない	

<p>【Q7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」の方のみ】</p> <p>Q9. 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで）</p> <p>※フリーランスとは、企業や団体などと雇用契約がなく、独立して仕事を請け負う人をいいます。</p>	<p>1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない</p> <p>2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実</p> <p>3. 制度を利用しやすい職場づくり</p> <p>4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）</p> <p>5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）</p> <p>6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供</p> <p>7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置</p> <p>8. 介護をしている従業員への経済的な支援</p> <p>9. その他</p> <p>10. 特になし</p> <p>11. 主な介護者に確認しないと、わからない</p>
<p>【Q7で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」の方のみ】</p> <p>Q10. 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つのみ）</p>	<p>1. 問題なく、続けていける</p> <p>2. 問題はあるが、何とか続けていける</p> <p>3. 続けていくのは、やや難しい</p> <p>4. 続けていくのは、かなり難しい</p> <p>5. 主な介護者に確認しないと、わからない</p>

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。
 調査票を3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、
令和8年2月2日（月）までに投函（切手不要）してください。

